



高崎健康福祉大学

Takasaki University of Health and Welfare

2022

令和 4 年度

シラバス

健康福祉学部 医療情報学科



本学の授業とSDGsとの関連

シラバス内で授業内容と「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」との関連を示しています。関連する目標は番号で示されておりますので、履修の参考にしてください。



17の持続可能な開発目標

目標 1.	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる
目標 2.	飢餓を終わらせ、食糧安全保障および栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する
目標 3.	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
目標 4.	すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し生涯学習の機会を促進する
目標 5.	ジェンダー平等を達成し、すべての女性および女児の能力強化を行う
目標 6.	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
目標 7.	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する
目標 8.	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する
目標 9.	強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る
目標 10.	各国内および各国間の不平等を是正する
目標 11.	包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市および人間居住を実現する
目標 12.	持続可能な生産消費形態を確保する
目標 13.	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
目標 14.	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
目標 15.	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
目標 16.	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
目標 17.	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

～シラバス内の表記について～

例として、授業内容が「目標 1」、「目標 3」、「目標 10」、「目標 16」と関連がある場合は下記のように表記します。特に関連のある目標を示しています。空欄であるからといって、いずれの目標にも全く関連しない、ということではありません。

SDGs との関連	①	③	⑩	⑯

令和4年度医療情報学科シラバス目次

基礎教養ゼミ(教養基礎).....	3	Integrated English I (リテラシー).....	99
日本語表現法(教養基礎).....	6	Integrated English II (リテラシー).....	101
日本国憲法(教養基礎).....	8	ドイツ語(リテラシー).....	103
法学(教養基礎).....	10	フランス語(リテラシー).....	105
経済学(教養基礎).....	12	ポルトガル語(リテラシー).....	107
社会学(教養基礎).....	15	中国語(リテラシー).....	109
生涯健康論(教養基礎).....	17	ハンガール語(リテラシー).....	111
生涯学習概論(教養基礎).....	20	コンピュータ入門 I (リテラシー).....	113
生命と環境の科学(教養基礎).....	22	コンピュータ入門 II (リテラシー).....	115
国際関係論(教養基礎).....	26	コンピュータ実習 I (リテラシー).....	117
体育理論(教養基礎).....	29	コンピュータ実習 II (リテラシー).....	119
体育実技(教養基礎).....	31	世界の社会福祉発達史(専門教養科目).....	121
キャリア形成論(教養基礎).....	35	国際保健医療論(専門教養科目).....	123
哲学(人間理解).....	38	世界の歴史と日本(専門教養科目).....	126
倫理学(人間理解).....	40	人間行動学(専門教養科目).....	128
心理学(人間理解).....	42	健康運動実技(専門教養科目).....	130
文学と人間(人間理解).....	44	宗教と倫理(専門教養科目).....	132
芸術論(人間理解).....	46	レクリエーション論(専門教養科目).....	134
ボランティア・市民活動論(人間理解).....	48	数学基礎 I (専門導入科目).....	136
人権論(人間理解).....	51	数学基礎 II (専門導入科目).....	138
人間関係論(人間理解).....	53	物理学基礎(専門導入科目).....	140
ジェンダー論(人間理解).....	55	生物学基礎(専門導入科目).....	142
共生の倫理(人間理解).....	57	化学基礎(専門導入科目).....	144
チーム医療アプローチ論(人間理解).....	59	医療概論(医学英語 I を含む)(専門導入科目).....	147
国際医療事情(人間理解).....	61	情報セキュリティ I (専門導入科目).....	149
Introduction to Healthcare Sciences(人間理解).....	64	プログラミング I (C プログラミング基礎)(専門導入科目).....	151
囲碁の世界(人間理解).....	67	Web デザイン I (専門導入科目).....	153
英語 IA(リテラシー).....	69	情報システム概論(専門導入科目).....	155
英語 IB(リテラシー).....	73	Early Exposure(専門導入科目).....	157
英語 IC(リテラシー).....	75	データサイエンス I (専門導入科目).....	159
英語 IIA(リテラシー).....	77	人体構造・機能論(専門基幹科目).....	162
英語 IIB(リテラシー).....	79	臨床医学総論(専門基幹科目).....	164
英語 IIC(リテラシー).....	83	臨床医学各論 I (感染症・寄生虫・血液)(専門基幹科目).....	166
英語 IIIA(リテラシー).....	85	臨床医学各論 II (新生物・代謝・内分泌)(専門基幹科目).....	168
英語 IIIB(リテラシー).....	88	臨床医学各論 III (循環器・呼吸器)(専門基幹科目).....	170
英語 IIIC(リテラシー).....	90	臨床医学各論 IV (消化器・腎泌尿器・皮膚)(専門基幹科目).....	172
英語 IVA(リテラシー).....	92	臨床医学各論 V (周産期・筋骨格)(専門基幹科目).....	174
英語 IVB(リテラシー).....	94	臨床医学各論 VI (精神・脳神経・感覚器・医学英語 II)(専門基幹科目).....	176
英語 IVC(リテラシー).....	96		

令和4年度 医療情報学科シラバス目次

保健医療情報学(専門基幹科目).....	179
生体情報学Ⅰ(専門基幹科目).....	181
診療情報演習Ⅰ(専門基幹科目).....	183
診療情報演習Ⅱ(専門基幹科目).....	185
情報数学基礎(専門基幹科目).....	187
情報システム各論(専門基幹科目).....	189
ネットワークⅠ(専門基幹科目).....	191
データベース概論(専門基幹科目).....	193
プログラミングⅡ(Cプログラミング実用)(専門基幹科目).....	195
プログラミングⅢ(Cプログラミング応用)(専門基幹科目).....	197
プログラミングⅣ(Windows プログラミング)(専門基幹科目).....	199
情報演習Ⅰ(専門基幹科目).....	201
情報演習Ⅱ(専門基幹科目).....	203
Web デザインⅡ(専門基幹科目).....	205
情報処理演習Ⅰ(専門基幹科目).....	207
アルゴリズムとデータ構造Ⅰ(専門基幹科目).....	209
マルチメディアⅠ(専門基幹科目).....	211
データサイエンスⅡ(専門基幹科目).....	213
医療管理総論(専門展開科目).....	215
医療管理各論Ⅰ(専門展開科目).....	217
医療管理各論Ⅱ(専門展開科目).....	219
医療管理各論Ⅲ(専門展開科目).....	221
診療情報管理Ⅰ(専門展開科目).....	223
診療情報管理Ⅱ(専門展開科目).....	226
診療情報管理Ⅲ(専門展開科目).....	229
医療統計学Ⅰ(専門展開科目).....	231
医療統計学Ⅱ(専門展開科目).....	233
医療統計学演習(専門展開科目).....	236
医療情報学各論(専門展開科目).....	238
生体情報学Ⅱ(専門展開科目).....	240
国際統計分類Ⅰ(専門展開科目).....	242
国際統計分類Ⅱ(専門展開科目).....	245
医療事務論Ⅰ(医療事務の基礎知識)(専門展開科目).....	248
医療事務論Ⅱ(点数計算とレセプトの書き方Ⅰ)(専門展開科目).....	250
医療事務論Ⅲ(点数計算とレセプトの書き方Ⅱ)(専門展開科目).....	252
医療事務論Ⅳ(公費負担医療他、総合演習)(専門展開科目).....	254
医療経済学(専門展開科目).....	256
ソフトウェア工学(専門展開科目).....	259
ネットワークⅡ(専門展開科目).....	262
コンピュータアーキテクチャ(専門展開科目).....	264
情報セキュリティⅡ(専門導入科目).....	266
アニメーション制作演習(専門展開科目).....	268

アルゴリズムとデータ構造Ⅱ(専門展開科目).....	270
データサイエンスⅢ(専門展開科目).....	272
情報処理演習Ⅱ(専門展開科目).....	274
マルチメディアⅡ(専門展開科目).....	276
Web デザインⅢ(専門展開科目).....	278
Web プログラミングⅠ(専門展開科目).....	280
Web プログラミングⅡ(専門展開科目).....	282
オブジェクトプログラミングⅠ(専門展開科目).....	284
オブジェクトプログラミングⅡ(専門展開科目).....	286
病院実習(応用展開科目).....	288
インターンシップ(応用展開科目).....	290
Web 制作演習(応用展開科目).....	291
特別ゼミⅠ(応用展開科目).....	293
特別ゼミⅡ(応用展開科目).....	295
特別ゼミⅢ(応用展開科目).....	297
特別ゼミⅣ(応用展開科目).....	299
情報演習Ⅲ(応用展開科目).....	301
情報演習Ⅳ(応用展開科目).....	303
診療情報演習Ⅲ(応用展開科目).....	305
診療情報演習Ⅳ(応用展開科目).....	308
チーム医療アプローチ演習(応用展開科目).....	310
SPI 講座Ⅰ(非言語能力Ⅰ)(応用展開科目).....	312
SPI 講座Ⅱ(非言語能力Ⅱ)(応用展開科目).....	314
SPI 講座Ⅲ(言語能力Ⅰ)(応用展開科目).....	316
SPI 講座Ⅳ(言語能力Ⅱ)(応用展開科目).....	318
医療情報ゼミ(応用展開科目).....	320
医療情報学総合演習(応用展開科目).....	321
卒業研究(卒業研究).....	323
生涯学習社会と図書館(司書科目).....	324
図書館概論(司書科目).....	326
図書館制度・経営論(司書科目).....	329
図書館情報技術論(司書科目).....	331
図書館サービス概論(司書科目).....	333
情報サービス論(司書科目).....	335
児童サービス論(司書科目).....	337
情報サービス演習(司書科目).....	340
図書館情報資源概論(司書科目).....	343
情報資源組織論(司書科目).....	345
情報資源組織演習(司書科目).....	347
図書館サービス特論(司書科目).....	350
図書館情報資源特論(司書科目).....	352

科目名		基礎教養ゼミ(教養基礎)				科目ナンバリング	LAB001
英文名		Freshman Seminar (FYE)				講義形態	講義
担当教員		町田 修三、根岸 恵子、小泉 英明、武藤 洋一					
科目に関連した実務経験		小泉: 人事、社員教育担当として企業にて勤務(経験) 武藤: 記者、編集者として新聞社にて勤務(経験)					
学年・開講期		1 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位			
履修を必須とする資格							
学位授与方針との対応		5	豊かな人間性と幅広い教養		3	コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能		2	生涯学習力	
			問題解決力				
SDGs との関連		③ ④					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		充実して実り多い大学生活を送るには、どうしたらいいのだろうか？大学で失敗しないためには、初年時に学生生活の送り方を修得しておくことが極めて大切である。本講義では大学生活のキーとなる、学習方法やレポート執筆等にかかる「学習スキル」、コミュニケーション能力をはじめとした「ソーシャルスキル」、読み書きや数的能力などの「アカデミックスキル」。学生にとって必要なこうしたスキルをしっかりと身につけていくことを、講義の目標としている。受講学生には、積極的に講義に参加する受講態度が求められる。 授業では、ジェネリックスキルをつけるため、できる限りアクティブラーニングを取り入れる。日本語作文能力と数学基礎力は、学習支援センターとのコラボレーションで提出と添削を繰り返して涵養を目指す。					
到達目標		1. 大学での学習生活を確立する。 2. 基礎学力を確認し、自己学習の方向性をつかむ。 3. 社会人に必要とされる言葉使い・文章表現を習得する。■ 4. 総合適性検査(SPI)を意識し、対応するための基礎力を養成する。 5. キャリアデザインの構築を図るために、社会常識・マナー等を学び、自ら考え、自ら問える力を養う。 ■					
使用教材		資料、プリント					
参考文献							
評価方法		参加度 50%、提出物 50%で総合的に評価する。総合評価 60%を合格とする。					
課題・評価に対するフィードバック方法		提出物・レポート・小テストを返却し、解説をする。基礎力テストや実力テスト後に解説や結果を知らせる。					
オフィスアワー (研究室)		学習支援センター(2号館2階) 月～金開室 以下の時間に質問を受け付ける。 ●数的処理→常時 ●言語関係・レポート等→木曜3時限		メールアドレス (#→@)		machida#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	大学で何を学ぶか(意義と目的)					
	該当到達目標	予習	事前にシラバスを読み、目標を確認し、大学生活をプランニングする。				1 時間
	1	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法等を確認する。				1 時間
2	講義内容	書くためのスキル(ノート、レポート・論文の書き方)					
	該当到達目標	予習	事前配布した資料に目を通しておく。				1 時間
	1,2,3	復習	ノートテータキング、レポートの書き方をマスターする。				1 時間

3	講義内容	基礎力テスト(計算／言葉)		
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	言語・作文・計算や数式など基礎力を確認しておく。	1 時間
		復習	今までの学習を振り返り、復習する。	1 時間
4	講義内容	解くためのワークⅠ(計算)		
	該当到達目標 1,2,4	予習	計算方法や文章題の復習をしておく。	1 時間
		復習	配布した問題の残りを解く。	1 時間
5	講義内容	考えるためのワークⅠ(言葉の多様性①GW)■		
	該当到達目標 1,2,3	予習	事前配布した教材に目を通しておく。	1 時間
		復習	添削を受けた作文を書き直す。	1 時間
6	講義内容	コミュニケーションスキルⅠ(アクティブラーニング GW)		
	該当到達目標 1,2,3	予習	事前配布した資料に目を通しておく。	1 時間
		復習	自己のコミュニケーションスキルを分析する。	1 時間
7	講義内容	考えるためのワークⅡ(言葉の多様性②)■		
	該当到達目標 1,2,3	予習	事前配布した教材に目を通しておく。	1 時間
		復習	添削を受けた作文を書き直す。	1 時間
8	講義内容	解くためのワークⅡ(数的処理①)		
	該当到達目標 1,2,4	予習	前回の問題を解いておく。	1 時間
		復習	配布した問題の残りを解く。	1 時間
9	講義内容	キャリアデザイン■		
	該当到達目標 1,2,5	予習	自らの人生設計について考えておく。	1 時間
		復習	自らのキャリアを考え、自己分析する。	1 時間
10	講義内容	考えるためのスキルⅠ(新聞を読み説く)■		
	該当到達目標 1,2,3	予習	事前配布した教材に目を通しておく。	1 時間
		復習	添削を受けた作文を書き直す。	1 時間
11	講義内容	解くためのワークⅢ(数的処理②)		
	該当到達目標 1,2,4	予習	前回の問題を解いておく。	1 時間
		復習	配布した問題の残りを解く。	1 時間
12	講義内容	コミュニケーションスキルⅡ(プレゼンテーション GW)		
	該当到達目標 1,2,3,5	予習	事前配布した教材に目を通しておく。	1 時間
		復習	プレゼンテーション資料を作成してみる。	1 時間
13	講義内容	シンポジウムーより充実した学生生活をめざして		
	該当到達目標 1,2	予習	事前配布した資料に目を通しておく。	1 時間
		復習	興味あるトピックについて発表できるようにする。	1 時間
14	講義内容	実力テスト		
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	今まで学習した内容を復習しておく。	1 時間
		復習	試験の内容を振り返り、学習する。	1 時間
15	講義内容	考えるためのスキルⅡ(社会を正しく理解する)		
	該当到達目標 1,2,3,5	予習	これまでの講義内容を振り返り、どう活用するかを考えておく。	1 時間
		復習	大学生活を有意義に過ごすための方策を考える。	1 時間
合計時間(予習・復習)				30 時間
備考	GW＝グループワーク			

	記載した予習・復習時間に加え、自主的な学修や課題の作成等で各自必要な学習時間を補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。

科目名		日本語表現法(教養基礎)				科目ナンバリング	LAB002
英文名		Japanese expression method				講義形態	講義
担当教員		武藤 洋一					
科目に関連した実務経験		記者として上毛新聞社に勤務。記事全般、コラムを執筆。					
学年・開講期		1 年 後期	選必・単位数	選択	2 単位		
履修を必須とする資格							
学位授与方針との対応	5	豊かな人間性と幅広い教養			5	コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能				生涯学習力	
		問題解決力					
SDGs との関連							
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		日本人の極端な日本語能力低下が問題視される中で、「書き言葉」の表現力を向上させるために、まず自分の考えをまとめ、書くに至るプロセスを理解する。次に日本語の基礎知識の把握と、生じやすい表現上のミスを具体的に認識し、自分の考えをいかに文章化するかを修得する。同時に他者の考えを、発言や文面から把握するとともに、その内容に対する自分の意見を構築、交換、指摘する機会を設け、学士力向上を図る。 現代人がよく間違える慣用句や文章表現について、毎回実例を示しながら説明する。また、高校までに学ぶ機会が少なかったと思われる四字熟語・ことわざなどを、講義時間の一部を使って説明する。小論文を「書く→添削→返却」を 3 回程度実施する。					
到達目標		1. 自分の「考え」をまとめ、意思表示できる。 2. 日本語の基礎知識を表現・文法・語彙の三側面から確認し、理解できる。 3. 日本語表現の基本的ミスを確認し、理解できる。■ 4. 文章の組み立て方を理解し、習得できる。 5. 日本語表現的に正確な文章が書けるようにする。■					
使用教材		担当教員作成のプリント。					
参考文献							
評価方法		筆記試験(80%)・授業参加度(20%)によって総合的に評価する。評価方法の基準は講義時に通達する。					
課題・評価に対するフィードバック方法		提出した文章の欠点・修正点を謙虚に捉え、新たな文章作成の場に生かし、文章力向上に挑戦する。					
オフィスアワー (研究室)		授業の前後 1～2 時間。			メールアドレス (#→@)	連絡手段は授業時に説明する。	
1	講義内容	原稿用紙の書き方(実際に執筆する)■					
	該当到達目標	予習	400 字詰め原稿用紙の使い方				1.5 時間
	1	復習	カッコや句読点の書き方 その日の出来事を原稿用紙に書いてみる				1.5 時間
2	講義内容	日常生活の心掛け 小テスト(漢字の特殊読み)					
	該当到達目標	予習	社会の変動に関心を持つ				1.5 時間
	1,4	復習	活字を読む習慣を身に付けるにはどうすべきか考える				1.5 時間
3	講義内容	三段論法と逆三角形 小テスト(書けそうで書けない漢字)■					
	該当到達目標	予習	新聞記事を段落ごとに考えながら読む(新聞は図書館にある)				1.5 時間
	2,4	復習	新聞記事を「逆三角形」を意識しながら熟読する				1.5 時間
4	講義内容	文章をうまく見せる 3 カ条 小テスト(同音異義語)■					
	該当到達目標	予習	1 回目を書いた文章を見直す				1.5 時間
	2,4	復習	1 回目を書いた文章を書き直してみる				1.5 時間
5	講義内容	主語と述語 小テスト(四字熟語ことわざ①)■					
	該当到達目標	予習	テキストをチェックしておく				1.5 時間
	2,3	復習	テキストの悪文例を正しく直す				1.5 時間

6	講義内容	小論文執筆(複数のテーマから 1 つを選んで書く)			
	該当到達目標 1,2,3	予習	4 回目のプリントチェック	1.5 時間	
		復習	書き足りなかったことがないか	1.5 時間	
7	講義内容	修飾語 俳句 小テスト(間違い探し①)■			
	該当到達目標 2,4	予習	文章はリズムが大切 俳句を作ってみる	1.5 時間	
		復習	プリントの悪文例を見直す	1.5 時間	
8	講義内容	話し言葉と書き言葉 小テスト(四字熟語ことわざ②)■			
	該当到達目標 2,3	予習	「ら」抜き言葉の長所短所	1.5 時間	
		復習	話し言葉を書き言葉にしてみる	1.5 時間	
9	講義内容	手紙を書く			
	該当到達目標 1,4	予習	誰宛に書くか、何を書くか準備する	1.5 時間	
		復習	授業で書いたほかにも書いてみる	1.5 時間	
10	講義内容	センテンスは短く 小テスト(同義語反対語)■			
	該当到達目標 3,4	予習	新聞のコラムを読む	1.5 時間	
		復習	悪文例を直す	1.5 時間	
11	講義内容	小論文執筆(同じ形容詞や動詞を何度も使わないように)■			
	該当到達目標 1,2,3	予習	4 回目、7 回目のプリント見直し	1.5 時間	
		復習	別のテーマで書いてみる	1.5 時間	
12	講義内容	敬語 小テスト(四字熟語ことわざ③)			
	該当到達目標 3,4	予習	敬語の種類を調べる	1.5 時間	
		復習	プリントの問題を解く	1.5 時間	
13	講義内容	推敲 小テスト(間違い探し②)■			
	該当到達目標 2,4,5	予習	書籍、新聞を声に出して読む	1.5 時間	
		復習	自分の文章を直してみる	1.5 時間	
14	講義内容	小論文執筆(小論文のテーマに沿ってタイトルを自分で書く)■			
	該当到達目標 1,2,3	予習	社会問題を考える	1.5 時間	
		復習	別のテーマで書いてみる	1.5 時間	
15	講義内容	覚えておきたい短詩と台詞			
	該当到達目標 3,4,5	予習	知っている俳句短歌を思い出してみる	1.5 時間	
		復習	声に出して読んでおく	1.5 時間	
合計時間(予習・復習)					45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す				

科目名		日本国憲法(教養基礎)			科目ナンバリング	LAB003
英文名		Japanese Constitution			講義形態	講義
担当教員		金井 洋行				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応		10	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル
			健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力
			問題解決力			
SDGs との関連		③ ④ ⑤ ⑧ ⑩ ⑯ ⑰				
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		憲法の基本理念と日本国憲法に関する基礎的知識を習得することを第一義的な学習目標とする。第二に、社会人として要求される価値規範意識を、憲法学習を通して醸成することを目標とする。終局的に、身近な生活関係の中から人々の権利の保護や社会への参加の問題を探り出し、憲法上の課題の理解を深めることを目標とする。 講義内容はできうるかぎり予定通り進行させるが、期間内に国内的あるいは国際的に大きな政治の動きがあった場合には、その話題を飛び入りのように割り込ませることはある。日々の社会や政治の動きに興味をもって様々なニュースソースに接し、自分なりに考えておくことを期待する。				
到達目標		1. 日本国憲法を貫いている思考や仕組みと日本国憲法の歴史的背景を理解することができる。 2. 憲法が解決すべき紛争について、その歴史的、社会的背景を認識することができる。 3. 市民相互間の法的関係や公的部門のそれに対する機能の関連性を考察することができる。 4. 政治の世界で起きている出来事について、具体的な憲法規定と結びつけることができる。 5. 主要な学説について、その対立の背景と主張のねらいを認識することができる。				
使用教材		テーマ別レジュメ、概要・事例資料、憲法条文注釈資料(テキストの代替) *テーマによっては DVD の視聴あり。				
参考文献						
評価方法		・平常の授業に対する姿勢・課題提出(35%)、中間テスト(15%)、期末の定期試験(50%) ・中間テストは概ね 3 回の知識テスト又はレポート、定期試験は知識と思考力のテスト				
課題・評価に対するフィードバック方法		重要テーマについてのレポートに対してコメントを配布する(テーマについては適宜指示)				
オフィスアワー (研究室)		出講日の放課後等において、質問及び学習相談を受ける。		メールアドレス (#→@)	連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	憲法とは何か?ー憲法学習の意義と憲法の本質ー				
	該当到達目標 1	予習	条文注釈資料の熟読と疑問点の究明			2 時間
		復習	予備知識アンケート			0.5 時間
2	講義内容	国家・国民・政府ー憲法を構成する基本要素の内容ー				
	該当到達目標 1	予習	条文注釈資料の熟読と疑問点の究明			1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集			1.5 時間
3	講義内容	日本国憲法の制定過程				
	該当到達目標 1,4	予習	条文注釈資料の熟読と疑問点の究明、資料;「日本国憲法の有効性」			1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集			1.5 時間
4	講義内容	日本国憲法の基本構造と特色				
	該当到達目標 1,2	予習	資料「日本国憲法の体系」熟読と疑問点の究明			1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集			1.5 時間
5	講義内容	国民主権と天皇制				

	該当到達目標 1,2,4,5	予習	条文注釈資料の熟読と疑問点の究明	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
6	講義内容	平和主義と9条解釈の変遷		
	該当到達目標	予習	条文注釈資料の熟読と疑問点の究明	1 時間
	1,2,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
7	講義内容	基本的人権の沿革と観念		
	該当到達目標	予習	条文注釈資料の熟読と疑問点の究明	1 時間
	1,2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
8	講義内容	基本的人権規定の適用問題(範囲と限界)		
	該当到達目標	予習	条文注釈資料の熟読と疑問点の究明	1 時間
	2,3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
9	講義内容	個人主義・自由主義・平等主義		
	該当到達目標	予習	条文注釈資料の熟読と疑問点の究明	1 時間
	1,2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
10	講義内容	日本国憲法上の諸権利の性格(消極的権利と積極的権利)		
	該当到達目標	予習	条文注釈資料の熟読と疑問点の究明	1 時間
	1,2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
11	講義内容	国会の地位と選挙の構造と機能		
	該当到達目標	予習	条文注釈資料の熟読と疑問点の究明	1 時間
	4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
12	講義内容	行政権の意義と内閣の組織・権限の特徴		
	該当到達目標	予習	条文注釈資料の熟読と疑問点の究明	1 時間
	4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
13	講義内容	司法権の意義と裁判のルール		
	該当到達目標	予習	条文注釈資料の熟読と疑問点の究明	1 時間
	4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
14	講義内容	権力分立と地方自治・分権		
	該当到達目標	予習	条文注釈資料の熟読と疑問点の究明	1 時間
	1,4	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
15	講義内容	憲法改正と憲法保障		
	該当到達目標	予習	条文注釈資料の熟読と疑問点の究明	1 時間
	1,2,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 当日に即答できない質問や要望については次回に文書をもって応答することを原則とする。 日々の社会や政治の動きに興味をもって様々なニュースソースに接し、自分なりに考えておくことを期待する。			

科目名	法学(教養基礎)				科目ナンバリング	LAB004
英文名	Law				講義形態	講義
担当教員	金井 洋行					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応	10	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
SDGs との関連	3 4 5 8 10 16 17					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	法の存在意義を人生の節目で生じる法律問題を通して理解することを基幹的目標とする。生活上生じる法律問題や法的処理事項の背景にある法社会学的意味を考える。法律関係は権利義務の変動の関係であるので、それぞれ権利義務とその変動要因にどのような種類があるかを知ることを目指す。法律関係の基本的システムを習得することによって、社会的生活者に要求される法規範意識を身につける。 講義内容はできうるかぎり予定通り進行させるが、期間内に大きな社会問題が発生した場合には、その話題あるいは関連する事項を飛び入りのように割り込ませることがある。					
到達目標	1. 法の存在意義や社会的機能の全体的な姿を理解することができる。 2. 法制度の社会学的意義を理解することができる。 3. 契約関係のシステムの意義と特色を理解することができる 4. 家族関係の法的処理の方法を理解することができる。 5. 法的紛争処理の限界を知り円滑な生活関係を維持する手法を考察することができる。					
使用教材	テーマ別レジュメ、概要・事例資料(テキストに代替するプリント) *テーマによってはDVDの視聴あり。					
参考文献						
評価方法	・平常の授業に対する姿勢・課題提出(35%)、中間テスト(15%)、期末の定期試験(50%) ・中間テストは概ね3回の知識テスト又はレポート、定期試験は知識と思考力のテストを実施する。					
課題・評価に対するフィードバック方法	重要テーマについてのレポートに対してコメントを配布する(テーマについては適宜指示)					
オフィスアワー (研究室)	出講日の放課後等において、質問及び学習相談を受ける。		メールアドレス (#→@)		連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	法の意義と機能				
	該当到達目標	予習	高校時の社会の教科書「法分野」の箇所を読んでおくこと			2 時間
	1,5	復習	予備知識アンケート			0.5 時間
2	講義内容	成人と法—人の年齢と能力の法的意味				
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み			1 時間
	1,2,4	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集			1.5 時間
3	講義内容	就職と法—採用の法的意味と選別の法的問題				
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み			1 時間
	2,3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集			1.5 時間
4	講義内容	労働と法—労働契約の内容と労働条件の保護				
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み			1 時間

	2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
5	講義内容	結婚と法—婚姻の要件と夫婦の法律関係		
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	2,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
6	講義内容	親子と法その1—出生をめぐる法律問題と親子関係の形成		
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,4	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
7	講義内容	親子と法その2—親権関係と扶養関係		
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	2,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
8	講義内容	教育と法—義務教育の意義と就学過程の法律問題		
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
9	講義内容	社会活動と法—団体の法律関係と団体生活の法律問題		
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
10	講義内容	社会負担と法—租税等の国民負担と公共生活上の法律問題		
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	2,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
11	講義内容	国際化と法—出入国管理の法律関係と涉外事件の処理		
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
12	講義内容	財産関係と法—取引の法律関係と契約締結上の法律問題		
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
13	講義内容	犯罪と法—犯罪・刑罰の法的意味と科罰手続の法律問題		
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
14	講義内容	争い事と法—紛争の法的処理方法と裁判の仕組み		
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
15	講義内容	老年期と法—介護・医療の法律問題と人の死の法的意味		
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 当日に即答できない質問や要望については次回に文書をもって応答することを原則とする。 日々の社会の動きに興味をもって様々なニュースソースに接し、自分なりにその背景や解決策を考えておくことを期待する。			

科目名	経済学(教養基礎)				科目ナンバリング	LAB005
英文名	Economics				講義形態	講義
担当教員	町田 修三					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応	7	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能		1	生涯学習力	
	2	問題解決力				
SDGs との関連	③ ④ ⑧ ⑫ ⑰					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	経済に関する知識は一般社会や国際社会において極めて重要であるものの、多くの学生は十分な知識を持っていない。選挙権が与えられても経済知識なしで投票に行くのは危険である。この講義では身近なトピックを通して基礎的経済の知識を習得し、国内外の社会のメカニズムや流れを理解できるようになることを目的とする。レベルとしては、新聞やテレビのニュースがしっかりと理解できるようになることを想定している。また、医療分野を専攻する学生にとっては、医療の経済面からの考察も講義に取り入れるので参考にして理解を深めてほしい。 授業開始時に学生から出された質問・疑問に答えながら、前回の復習をする。授業中はクイズをはじめとした問いかけを多く出し、可能な限りアクティブラーニングの導入を試みる。					
到達目標	1. 日本の経済の現状を説明できる 2. 需要と供給、市場メカニズムについて理解を深め、概説できる 3. 景気や GDP について理解を深め、概説できる 4. 国の予算や税金制度について説明できる 5. お金の流れや物価変動について説明できる 6. 経済政策について理解を深め、他者に説明できる 7. 為替レートの変動と貿易の実態について概説できる 8. 新聞やテレビのニュースが理解でき、他者に解説できる					
使用教材	必修テキストはない。講義では毎回資料、データを配布する。					
参考文献	推薦テキストは多数あるので、講義の中で必要に応じて紹介する。					
評価方法	学期末試験 80%、毎回の授業の最後に提出するコメントカード、その他の提出物(クイズ、小レポートなど)20%					
課題・評価に対するフィードバック方法	コメントカードに記載された質問事項、疑問点等に関しては、次回の講義で回答する。クイズについても次回の講義で解説する。小レポートにはコメントを付して返却する。					
オフィスアワー(研究室)	月曜日 4 限目、金曜日 2 限目 研究室:1 号館 6 階 603		メールアドレス (#→@)	machida#takasaki-u.ac.jp		
1	講義内容	イントロダクション(一部 AL[アクティブラーニング]実施)				
	該当到達目標 8	予習	シラバスを熟読し、講義の概要や目標を理解しておく			1 時間
		復習	ニュースに触れる習慣(新聞、テレビ、ネット)を開始する			1 時間
2	講義内容	日本経済の流れ(世界との比較のなかで)				
	該当到達目標 1,8	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく			1 時間
		復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習			1.5 時間

3	講義内容	経済政策の 2 大潮流—マーケット or ケインズ(一部 AL 実施)		
	該当到達目標 1,8	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
4	講義内容	需要と供給(需要曲線の意味)		
	該当到達目標 2,8	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
5	講義内容	市場メカニズムと価格(どうして水よりもダイヤモンドのほうが高いんだろう?)		
	該当到達目標 2,8	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
6	講義内容	価格の変動(どうして缶コーヒーやペットボトルのお茶は、どれも同じ値段なんだろう?)		
	該当到達目標 2,8	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
7	講義内容	国民所得Ⅰ(国の経済力はどう測るんだろう? GDP って何?)		
	該当到達目標 1,3,8	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
8	講義内容	国民所得Ⅱ(あなたが 1 万円使うと GDP はいくら増える?)(一部 AL 実施)		
	該当到達目標 1,3,8	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
9	講義内容	財政(日本の借金は大丈夫? 消費税は何%に?)		
	該当到達目標 1,4,8	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
10	講義内容	景気と失業(不景気で学生の就職はどうなる?)(一部 AL 実施)		
	該当到達目標 1,3,8	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
11	講義内容	金融(日本銀行は何をすること?)(一部 AL 実施)		
	該当到達目標 1,5,8	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
12	講義内容	経済政策のしくみ(アベノミクスは何をした?)		
	該当到達目標 1,6,8	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
13	講義内容	為替レートのメカニズム(円高、円安ってどうして起こるの?)		
	該当到達目標 1,7,8	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
14	講義内容	世界と日本(日本の貿易は黒字? 赤字?)(一部 AL 実施)		
	該当到達目標 1,7,8	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
15	講義内容	まとめと確認のためのテスト		
	該当到達目標 1,2,3,4,5,6, 7,8	予習	これまで学習した事項について目を通し、理解を深めておく	3 時間
		復習	期末試験の出題意図、講義の理解度の再確認と今後の学習の方向性を考える	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				39 時間

備考	AL(アクティブラーニング)は、クローズドクエスチョン、オープンクエスチョン、ペアワーク、グループワークなど。記載した予習・復習時間に加え、自主的な学修(推薦テキストの講読、新聞・雑誌の経済記事講読等)により、必要な学修時間を各自で補完すること。

科目名	社会学(教養基礎)				科目ナンバリング	LAB006
英文名	Sociology				講義形態	講義
担当教員	安達 正嗣					
科目に関連した実務経験	兵庫県庁の家庭問題研究所において3年間、研究員ならびに主任研究員として兵庫県の各市町村で家族・高齢者・福祉調査を実施し調査資料を作成することによって、各課への政策提言をおこなった。					
学年・開講期	1年 前期	選必・単位数	選択 2単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応	10	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル		
		健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力		
		問題解決力				
SDGsとの関連	① ② ③ ④ ⑤ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑯ ⑰					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	社会学的なものの見方とは、どういうものなのか、社会学的にもの考えるときに使用する専門的概念・用語には、どのようなものがあるのかなどといった社会学の基本の理解を目指す。使用教材を中心にしながら、日常の具体的な事例から解説することによって、基本的な社会学の考え方を身につける。					
到達目標	1. 大学生として社会学の基本的な考え方を身につけることができる。 2. 社会学を通じて、豊かな人間性と倫理観を身につけることができる。 3. 日常の人間関係を理解することによって、コミュニケーション能力を身につける。 4. 社会の仕組みを理解して、現代社会における自分自身の立ち位置を知ることができる。 5. 現代社会の社会問題を認識して、その解決を探る能力を身につけることができる。■					
使用教材	篠原清夫・栗田真樹編著『大学生のための社会学入門』晃洋書房。					
参考文献	講義中に、適宜指示する。					
評価方法	平常点(毎回提出してもらうリプライペーパー(設問形式)については、第1回目の講義で説明します)50%、学期末試験 50%です。					
課題・評価に対するフィードバック方法	各受講生の提出したリプライペーパー(設問形式)に書かれた質問、意見、要望などに対して、つぎの講義の前に答える。					
オフィスアワー(研究室)	火曜日 5限・6限			メールアドレス(#→@)	adachi-m#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	オリエンテーション、第1章社会学とは何か(1～12頁)について解説する。				
	該当到達目標	予習	第1章を読んでおくこと。			1.5 時間
	1,2,3,4	復習	第1章を再読して、その内容を理解しておくこと。			1.5 時間
2	講義内容	第2章社会を観察する方法(13～24頁)を解説する。				
	該当到達目標	予習	第2章を読んでおくこと。			1.5 時間
	1,2,3	復習	第2章を再読して、その内容を理解しておくこと。			1.5 時間
3	講義内容	第3章社会で生きる「私」(25～35頁)を解説する。				
	該当到達目標	予習	第3章を読んでおくこと。			1.5 時間
	1,2,3	復習	第3章を再読して、その内容を理解しておくこと。			1.5 時間
4	講義内容	第4章変容する家族のかたち(36～47頁)を解説する。実務で得た調査結果を提示する。■				
	該当到達目標	予習	第4章を読んでおくこと。			1.5 時間
	1,2,3	復習	第4章を再読して、その内容を理解しておくこと。			1.5 時間
5	講義内容	第5章性の多様なあり方を考える(48～59頁)を解説する。				
	該当到達目標	予習	第5章を読んでおくこと。			1.5 時間
	1,2,3	復習	第5章を再読して、その内容を理解しておくこと。			1.5 時間
6	講義内容	第6章「現実を生きる」ための社会学—労働・産業・消費—(60～72頁)を解説する。				
	該当到達目標	予習	第6章を読んでおくこと。			1.5 時間
	1,2,3,4	復習	第6章を再読して、その内容を理解しておくこと。			1.5 時間

7	講義内容	第7章日本で進展する環境・災害社会学(73～86頁)を解説する。		
	該当到達目標	予習	第7章を読んでおくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	第7章を再読して、その内容を理解しておくこと。	1.5 時間
8	講義内容	第8章社会学から医療を見つめる(87～97頁)を解説する。		
	該当到達目標	予習	第8章を読んでおくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	第8章を再読して、その内容を理解しておくこと。	1.5 時間
9	講義内容	第9章社会学は教育とどう向き合うのか(98～109頁)を解説する。		
	該当到達目標	予習	第9章を読んでおくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	第9章を再読して、その内容を理解しておくこと。	1.5 時間
10	講義内容	第10章逸脱行動と社会問題(110～121頁)を解説する。		
	該当到達目標	予習	第10章を読んでおくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	第10章を再読して、その内容を理解しておくこと。	1.5 時間
11	講義内容	第11章「格差」の社会学(122～134頁)を解説する。		
	該当到達目標	予習	第11章を読んでおくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	第11章を再読して、その内容を理解しておくこと。	1.5 時間
12	講義内容	第12章生活空間としての地域社会(135～149頁)を解説する。		
	該当到達目標	予習	第12章を読んでおくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	第12章を再読して、その内容を理解しておくこと。	1.5 時間
13	講義内容	第13章グローバル社会とエスニシティ(150～162頁)を解説する。		
	該当到達目標	予習	第13章を読んでおくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	第13章を再読して、その内容を理解しておくこと。	1.5 時間
14	講義内容	第14章宗教から社会を捉える(163～176頁)を解説する。		
	該当到達目標	予習	第14章を読んでおくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	第14章を再読して、その内容を理解しておくこと。	1.5 時間
15	講義内容	第15章社会の中のメディア／メディアが動かす社会(177～189頁)を解説する。		
	該当到達目標	予習	第15章を読んでおくこと。	3 時間
	1,2,3,4,5	復習	第15章を再読して、その内容を理解しておくこと。	3 時間
合計時間(予習・復習)				48 時間
備考	各受講生が、毎回の講義内容を自分自身の身近な具体的な状況のなかで理解することによって、社会学の考え方を深めることができるので、そうした観点から意欲的に講義に臨んでほしい。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	生涯健康論(教養基礎)			科目ナンバリング	LAB007
英文名	Lifelong Health Theory			講義形態	講義
担当教員	渡邊 秀臣、五十嵐 康、蒲 章則				
科目に関連した実務経験	渡邊:非常勤医師(整形外科医)として病院に勤務				
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
履修を必須とする資格					
学位授与方針との対応	10	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
		問題解決力			
SDGs との関連	①	③	⑧	⑩	⑯
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	生涯を幸せで豊かに過ごすための基本は健康である。日本人は世界有数の長寿を誇っているが、自立して生活を送る健康寿命は、平均寿命より約 10 年も短い。本講義では、健康寿命の延伸に向けて生涯にわたる健康維持・管理について理解し、人々の健康寿命延伸に健康支援チームの一員として参加できる基礎知識を身に着けることを目的としている。 講義においては、前半はテーマについて概要を説明し、後半は質疑応答する形式です。レポートについても発表する時間を持ちたい。				
到達目標	1. 健康の定義と集団の健康評価指標を理解する。■ 2. 個体の健康を維持するため生体の調節機構について理解する。■ 3. 環境・生活習慣の変容と疾病発症の関連について理解する。■ 4. 健康寿命延伸にむけた取り組みについて理解する。■				
使用教材	テキストは使用せず、配布資料及び視聴覚資料を使用する。				
参考文献	参考書として、厚生統計協会刊の「国民衛生の動向」を利用する。				
評価方法	授業参加内容:40 点、課題に対するレポート内容:60 点 :総合 60 点以上を合格とする。(対面講義でもオンライン講義でも同様)				
課題・評価に対するフィードバック方法	レポートに対しコメントする。(対面講義でもオンライン講義でも同様)				
オフィスアワー (研究室)	(金)12:30~13:00 13:30~14:30 研究室 4 号館 2 階保健医療学部長室	メールアドレス (#→@)	watanabe-h#takasaki-u.ac.jp		
1	講義内容	健康の定義と健康評価指標(渡邊) WHO の提唱した健康の定義を知る。集団の健康評価の指標として最もよく使われるのが平均寿命であるが、寿命には、<平均寿命>、<平均余命>、<健康寿命>、<最長寿命>などの呼び方があり、現在の日本で重要なのは、健康寿命であることを理解する。■			
	該当到達目標	予習	「国民衛生の動向」より健康評価諸指標の年代推移を把握する。		1.5 時間
	1	復習	健康の定義と健康評価指標の理解を深める。		1.5 時間
2	講義内容	健康を維持するための食物と物質代謝(五十嵐) 食物(栄養素)は健康に欠かすことのできないエネルギー源である。その物質代謝(同化・異化作用)に関わる体の構造とその働きを理解しながら健康維持について学習する。			
	該当到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書で該当部分を学習する。		1.5 時間
	2	復習	食物のエネルギー代謝と健康について理解する。		1.5 時間
3	講義内容	恒常性維持機構の役割と相互作用(五十嵐) 生体には様々な生理機能をバランスよく正常に機能・維持するための調節機構、すなわち「恒常性維持機構(ホメオスタシス)」が備わっている。このシステムは主に神経系、内分泌系及び免疫系で構成される。また、食物の消化・吸収を担う腸管では細菌の侵入を防ぐ恒常性機構が働いている。これらの様々な維持機構の働きと相互作用について学習する。			

	該当到達目標 2	予習	人体構造・生理学の参考書で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	生体の恒常性機構と健康維持の関係を理解する。	1.5 時間
4	講義内容	運動と健康(渡邊) 運動には、健康維持のための恒常性維持システムを正常に働かせるための運動と筋力を鍛えるための運動がある。ここでは、恒常性維持のための運動とその役割及び自立生活を支え、健康寿命を延ばすための筋力を鍛える運動について理解する。■		
	該当到達目標 2,3,4	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	健康維持における運動の生理学的意義と健康寿命延伸に向けた運動について理解する。	1.5 時間
5	講義内容	喫煙による健康障害(渡邊) たばこが、発がん性だけでなく、血液循環障害や一酸化炭素中毒などの「喫煙と健康障害」のメカニズムについて理解する。「受動喫煙の影響」についても考える。■		
	該当到達目標 2,3,4	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	喫煙とその健康障害及び健康障害の機序を理解する。	1.5 時間
6	講義内容	生活習慣病の起因となる肥満(五十嵐) 肥満は原因により原発性肥満(エネルギー摂取過多など)と二次性肥満(性腺機能低下など)に分けられるが、いずれも高血圧、糖代謝異常、脂質代謝異常などの代謝障害の基盤となり、虚血性心疾患や脳血管障害などの動脈硬化性疾患を発症する危険因子となる。それらの起因となる肥満の発症と予防について学習する。		
	該当到達目標 2,3,4	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	肥満とメタボリックシンドロームの病態と対策を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	生活習慣病の危険因子としての糖尿病(五十嵐) 2型糖尿病(インスリン抵抗性糖尿病)は、冠動脈や脳動脈の動脈硬化、さらには腎障害、視力障害及び神経障害の3大合併症の誘発のみならず、健康寿命短縮の危険因子でもある。危険因子としての糖尿病とその予防法について学習する。		
	該当到達目標 2,3,4	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	糖尿病の病態と対策を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	生活習慣病(脳血管障害)と認知症(五十嵐) 血管性認知症はアルツハイマー病に次いで2番目に多い認知症である。脳は全身の20%近い血液を必要とする臓器であることから、その発症は循環器障害などの生活習慣病と密接に関係する。ここでは血管性認知症と他の認知症の病態を比較しながら、その予防と治療の現状について学習する。		
	該当到達目標 1,3,4	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	認知症の病態と原因、予防、治療などの現状について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	ロコモティブシンドローム(渡邊) 脳卒中と運動器障害は介護の主要原因となっている。骨粗鬆症・サルコペニア・運動器不安定を特徴とするロコモティブシンドローム対策が健康寿命の延伸に重要である。ロコモティブシンドロームの早期診断と予防の重要性について理解する。■		
	該当到達目標 3,4	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	加齢に伴う運動器障害を理解し、早期診断と予防の重要性について理解する	1.5 時間
10	講義内容	生活習慣病(がん)と生活習慣(渡邊) 日本人の死亡原因の1位はがん、2位は心疾患、3位は脳卒中であり、いずれも生活習慣に起因する。ここでは、がんという疾患を理解し、がんを発症する生活習慣「がん発症危険因子」を知る。また、「がん予防のための生活習慣」及び早期発見・早期治療のための「がん検診」の重要性について理解する。■		
	該当到達目標 3,4	予習	「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	生活習慣と発がんとの関係を理解し、がん対策基本計画などその対策について学習する。	1.5 時間
11	講義内容	WHOの歴史と活動内容(蒲)		

		第 2 次世界大戦後に設立された国際専門機関として、戦後から現代にいたるまでの活動変遷を検証する。WHO の取り組みを理解し、現在ある WHO の問題点、改善点を考察する。健康であることがいかにその国の活力(国力)に寄与するかを理解する。		
	該当到達目標 1,4	予習	WHO ウェブサイトで該当部分を学習する	1.5 時間
		復習	国際機関での世界の保健戦略を学習する	1.5 時間
12	講義内容	すべての人に健康を(蒲) アルマータ宣言で採択された「すべての人に健康を」スローガンのもとに、「各国が公衆衛生の原点に立ち返り、保健行政戦略を作成、さらに現代進められている持続可能開発目標(SDGs)に向けたユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)にいたることを検証する。		
	該当到達目標 1,4	予習	WHO ウェブサイトで該当部分を学習する	1.5 時間
		復習	国際機関での世界の保健戦略を学習する	1.5 時間
13	講義内容	途上国の保健医療の現状と保健行政戦略(蒲) 途上国の人種、風土、歴史的背景、宗教等を考察し、独自の保健行政戦略を実施しているが、その成果や反省点を検証し、日本における地域医療の課題を含めて、今後の対策を考察する		
	該当到達目標 1,3,4	予習	WHO ウェブサイトで該当部分を学習する	1.5 時間
		復習	国際機関で発展途上国への保健戦略を学習する	1.5 時間
14	講義内容	厚生労働省の役割と健康への投資(蒲) 膨大な医療・介護予算をどのように有効に使うか、保健医療行政の立場から検証考察をする。各国の取り組みを比較検証し、今後の行政の取り組みを考える。		
	該当到達目標 1,3,4	予習	厚生労働省のウェブサイトで該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	日本における厚生労働省の保健戦略と動向を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	地域における健康支援チーム構成員とその役割(チーム医療)(渡邊) これまでは、健康管理は個人が自分自身の責任で行うとされてきたが、地域における集団での支えあいに重点を置くとされた。地域における健康支援には、本人、家族を中心に、医療専門職者、診療情報管理士、管理栄養士、福祉専門職者、その他多数の職種者からなる<健康支援チームによるチーム医療>が必要である。どのような職種がどのような役割を果たしてチームを構成して健康を支えようとしているのかを理解する。■		
	該当到達目標 4	予習	「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	地域包括ケアシステムを理解し、地域における健康づくりチームの構成員としての各人の役割を理解する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	生涯学習概論(教養基礎)			科目ナンバリング	LAB008
英文名	Introduction to Lifelong Learning			講義形態	講義
担当教員	平林 茂、三村 国宏				
科目に関連した実務経験	(平林)公立小学校・中学校の教員、校長(経験)。群馬県教育委員会教育事務所指導主事・管理主監・所長。教育事務所では生涯学習教育の推進業務、社会教育主事及び地域・学校ボランティア対象の生涯学習推進に関わる研修会講師(経験)。公立小学校長時にはコミュニティ・スクール導入推進(経験)。藤岡市社会教育委員、藤岡市公民館運営審議会委員など(経験)。 (三村)公立中学校の教員、高等学校、中等教育学校の校長(経験)。群馬県総合教育センター(長期研修員「学校経営研究」、特別研修員「進路指導研究」)、伊勢崎市教育委員会(指導主事、指導係長、教育プラン推進担当課長、学校教育課長)にてコミュニティ・スクール推進(経験)。大学・企業との教育連携協定推進等(経験)。伊勢崎市学校保健会(副会長、理事)として医師会と連携した健康教育の推進(経験)。伊勢崎警察署運営協議会委員など(経験)。				
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択	2 単位	
関連資格	なし				
学位授与方針との対応	10	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
		問題解決力			
SDGs との関連	④ ⑤ ⑧ ⑪				
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	人が学習する場は学校だけではなく、図書館・公民館等の社会教育施設やさまざまな団体での学習機会などがある。本授業では生涯学習を実践していく上で必要な基礎的知識や多様な生涯学習施設、学校の現状を学び、理解を深めていく。 授業の進め方:各テーマの説明に加え、話し合い活動や調査活動などを通して課題に取り組み、その成果の発表などの学習活動を行います。今後、変化の激しい現代社会において重要になる「生涯学習」について学ぶことは、社会の一員としての自己の生き方を考える上で意義が大きいと思います。				
到達目標	1 生涯学習の理念や学校や社会教育施設などで行われる学習について理解する。■ 2 生涯学習に関わる様々な現代的課題の内容を把握しその解決に向けた考察をする。■ 3 社会を構成する一員として自らの生き方を積極的に考える。				
使用教材	『よくわかる生涯学習 改訂版』(香川正弘・鈴木真理・永井健夫編、ミネルヴァ書房、2021 年 2,500 円(税別))				
参考文献	講義中に適宜、紹介する。				
評価方法	テストに 50%、小テストの評価 30%、日常点(授業への参加。授業態度。課題への取り組み、貢献度等)に 20%を配分して総合評価をする。				
課題・評価に対するフィードバック方法	授業中の貢献度や発表については、その都度評価する。 試験前後に出題の意図等を説明する。				
オフィスアワー(研究室)	月曜・1限、水曜・1限、 教職支援センター	メールアドレス (#→@)	平林 s-hirabayasi#takasaki-u.ac.jp 三村 k-mimura#takasaki-u.ac.jp		
1	講義内容	オリエンテーション、生涯学習の定義、制度(平林、三村)			
	該当到達目標	予習	シラバスを読み、講義の概要及び、「生涯学習とは何か」を理解する。		1.5 時間
	1,3	復習	テキストをまとめ、生涯学習の定義や制度について理解する。		1.5 時間
2	講義内容	生涯学習と人間形成■(三村)			
	該当到達目標	予習	生涯学習にわたる人間形成についてテキストなどで調べる。		1.5 時間
	1,3	復習	テキストや配布資料をまとめ、生涯学習について理解する。		1.5 時間
3	講義内容	生涯学習を支える思想(三村)			
	該当到達目標	予習	「生涯学習を支える思想」について、テキストや関連する図書などで調べる。		1.5 時間
	1,3	復習	生涯学習における「生きがい・健康づくり」についてまとめ、内容を理解する。		1.5 時間
4	講義内容	生涯学習の現代的課題①■(三村)			
	該当到達目標	予習	「健康・高齢者等」について、テキストや関連する図書などで調べる。		1.5 時間

	2,3	復習	テキストや資料をまとめ、内容を理解する。	1.5 時間
5	講義内容	現代的課題②■(三村)		
	該当到達目標	予習	「高度情報化と人権等」について、テキストや関連する図書などで調べる。	1.5 時間
	2,3	復習	テキストや資料を読んで、内容を理解する。	1.5 時間
6	講義内容	現代的課題③■(三村)		
	該当到達目標	予習	「国際交流と人権尊重」について、テキストや関連する図書などで調べる。	1.5 時間
	2,3	復習	テキストや資料をまとめ、内容を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	現代的課題④■(三村)		
	該当到達目標	予習	「まちづくり等」についてテキストや関連する図書などで調べる。	1.5 時間
	2,3	復習	テキストや資料をまとめ、内容を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	生涯学習の多様な学習方法■(三村)		
	該当到達目標	予習	学習方法の類型等について関連する図書などで調べる。	1.5 時間
	1,2	復習	学習方法及び、持続可能な社会づくりへの取組について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	行政による生涯学習の振興(前編)(平林)		
	該当到達目標	予習	国の行政による生涯学習支援策についてテキストなどで調べる。	1.5 時間
	1,2	復習	テキストや協議内容をまとめ、内容を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	行政による生涯学習の振興(後編)■(平林)		
	該当到達目標	予習	都道府県レベルの生涯学習支援策についてテキストや図書などで調べる。	1.5 時間
	1,2	復習	テキストや発表内容をまとめ、内容を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	民間団体・機関による生涯学習支援(前編)■(平林)		
	該当到達目標	予習	それぞれの団体の活動内容について、テキストや図書などで調べる。	1.5 時間
	1,2	復習	テキストや協議・発表内容をまとめ、内容を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	民間団体・機関による生涯学習支援(後編)■(平林)		
	該当到達目標	予習	NPO、カルチャーセンターやスポーツ施設について、図書などで調べる。	1.5 時間
	1,2	復習	テキストや資料をまとめ、内容を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	施設に基づいた生涯学習活動(前編)(平林)		
	該当到達目標	予習	社会教育施設についてテキストや関連する図書などで調べる。	1.5 時間
	1,2	復習	テキストや発表内容をまとめ、内容を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	施設に基づいた生涯学習活動(後編)■(平林)		
	該当到達目標	予習	博物館や青少年・女性教育施設についてテキストや図書などで調べる。	1.5 時間
	1,3	復習	テキストや発表内容をまとめ、内容を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	生涯学習社会において、どう生きるか(職業能力開発の生涯学習)(平林)		
	該当到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	図書や資料を読んで、内容を理解する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	毎回小テストや資料の提示を c-learning で行いますので、パソコン等を持参してください。また、オンラインで実施する場合はオンデマンド型授業とします。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	生命と環境の科学(教養基礎)				科目ナンバリング	LAB009
英文名	Science of Environment and Life				講義形態	講義
担当教員	奥 浩之					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応	10	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
SDGs との関連	③⑥⑦⑨⑬					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	毎回、生命科学と環境科学の一つのトピックスについて、現状と問題・将来の課題など、高校までに学んだ知識をもとに、わかりやすく順を追って説明してゆく。具体的な事項を取り上げることで、漠然とした生命と環境についてのイメージを一新してもらうことを目的としている。生命分子の構造学習を行うことがあるので、各自で利用できるパソコンのあることが望ましい。(パソコンは持参する必要はなく、自宅で使用できればよい。)					
到達目標	1. 地球環境について元素、物質循環、気候変動の観点から説明できる。 2. 生命を構成する分子(核酸、タンパク質)について、分子構造、反応機構、応用の観点から説明できる。 3. 私たちの生活に関連して、食品、バイオマス、プラスチックごみ、医薬品や医療機器、のトピックスについて説明できる。 4. グローバルな視点から、新しい感染症、ワクチン開発、などのトピックスについて説明できる。 5. 様々な文献や資料を参照し、レポート形式または要約・箇条書きの形式でまとめられるようになる。					
使用教材	使用しない(講義にて用いるスライドを配布予定)					
参考文献						
評価方法	レポート課題 50%、授業参加度 50%					
課題・評価に対するフィードバック方法	提出されたレポート課題に対しては、コメントを付けて返却または講義時間内に課題の解説を行うことで受講学生へフィードバックする。					
オフィスアワー(研究室)	質問等は、授業開始前もしくは終了後に応じる。			メールアドレス(#→@)	連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	生命と環境－自己紹介と研究について				
	該当到達目標	1,5	予習	(1)免疫系と免疫グロブリンについて調べてみよう。 (2)DNA 配列を測定する方法について調べてみよう。		1 時間
			復習	(1)抗体医薬品について (2)免疫グロブリンの分子構造と役割について(特に IgG を構成する重鎖と軽鎖はどのような結合で結びついているか? 着目してみよう。) (3)次世代シーケンサーについて		1.5 時間
2	講義内容	生命と環境－地球における元素の循環				
	該当到達目標	1,5	予習	元素周期表(http://stw.mext.go.jp/series.html)を読んでみよう。		1 時間
			復習	(1)人体を構成する元素の存在比 (2)主要元素・微量・超微量元素の具体的な元素名 (3)様々な元素の生体または医薬品における役割		1.5 時間
3	講義内容	生命と環境－温室効果ガスによる地球温暖化				
	該当到達目標		予習	(1)ヒトの活動による、水需要の増大、化石燃料の大量燃焼、窒素肥料の大量		1 時間

			使用と地球環境への影響について調べてみよう。	
	1,5	復習	(1)大気・土壌における物質循環 (2)水循環、窒素循環、炭素循環、硫黄循環、リン循環の特徴 (3)人類の活動による物質循環への影響	1.5 時間
4	講義内容	生命と環境－温室効果ガスによる地球温暖化		
	該当到達目標	予習	(1)温室効果ガスとは？温室効果は何故起こるか？調べてみよう。	1 時間
	1,5	復習	(1)地球上での物質循環は気候変動と密接に関連する (大気を暖める要因と冷やす要因) (物質循環の詳細な研究による、地球環境変化の予測) (2)IPCC 第5次報告書(2014年)におけるRCPシナリオ (気候モデルによって予測された21世紀末の世界の気温) (世界全体のCO ₂ 累積排出量と気温上昇量は比例する) (3)国連気候変動枠組条約 (日本における温室効果ガス削減目標)	1.5 時間
5	講義内容	生命と生体分子・・・DNA二重らせんとX線構造解析		
	該当到達目標	予習	ワトソンとクリックによるDNA二重らせんモデル (1)当時用いられた分子モデル(ロンドン・サイエンスミュージアム) http://www.sciencemuseum.org.uk/broughttolife/objects/display?id=6145 (2)1953年の論文 http://www.nature.com/nature/dna50/watsoncrick.pdf (3)DNA構造について(英文なので、最初は図を見るのがよい) 特にFigure 5を見て、3種類の二重らせん構造があることに注目しよう http://www.nature.com/scitable/topicpage/discovery-of-dna-structure-and-function-watson-397	1 時間
	2,5	復習	(1)DNAの分子構造はX線回折法によって求められる (2)ブラッグの回折条件式 (3)DNA繊維写真のX型パターン	1.5 時間
6	講義内容	生命と生体分子・・・タンパク質の構造と機能		
	該当到達目標	予習	(1)タンパク質を構成する20種類のアミノ酸とは？ (2)アミノ酸の“光学活性”とは？	1 時間
	2,5	復習	(1)アミノ酸20種類の分子構造 (2)X線回折測定によるタンパク質の3次元構造解析 (3)NMR測定によるタンパク質の3次元構造解析	1.5 時間
7	講義内容	生命と生体分子・・・さまざまなタンパク質		
	該当到達目標	予習	(1)膜タンパク質とは？ (2)リボソームにおけるタンパク質合成 (3)アイスクリームの成分について。特に、低脂肪アイスクリームはなぜ低脂肪なのか？調べてみよう。	1 時間
	2,5	復習	(1)70SリボソームとtRNAの分子構造(PDB ID: 4v4j)(PDB ID: 2tra) (2)カルモデュリンの分子構造変化(PDB ID: 3cln)(PDB entry 2bbm)	1.5 時間
8	講義内容	生命と生体分子・・・ヘム蛋白(Mb、Hb、Cyt c、CYP450)		

	該当到達目標	予習	(1)ヘムタンパク質とは？ (2)ミオグロビンとヘモグロビンの違いは？ (3)CYP3A4とは？	1 時間
	2,5	復習	(1)ミオグロビン (PDB ID, 1A6M)	1.5 時間
			(2)チトクローム c (PDB ID, 2B4Z) (3)チトクローム P450 (PDB ID, 1W0E) (4)医薬品の代謝における CYP3A4 の影響について	
9	講義内容	ヒトの活動と環境・・・さまざまな医薬品		
	該当到達目標	予習	(1)コレステロールと高コレステロール血症 (2)認知症とコリン仮説について (3)ポリ乳酸とは？	1 時間
	2,5	復習	(1)スタチン (2)タクロリムス (3)ドネペジル (4)レボフロキサシン	1.5 時間
10	講義内容	ヒトの活動と環境・・・バイオマスとバイオリファイナリー		
	該当到達目標	予習	(1)バイオマスとは？ (2)バイオエタノールとは？ (3)プラスチックゴミ問題とは？	1 時間
	3,5	復習	(1)バイオリファイナリーとは？ (2)バイオガソリンの成分は？ (3)バイオマスプラスチックの具体的な事例は？	1.5 時間
11	講義内容	ヒトの活動と環境・・・食品の安全確保(加工食品の成分)		
	該当到達目標	予習	(1)アクリルアミドの分子構造、用途、注意点	1 時間
	3,5	復習	(1)行政(農水省)では加工食品の安全確保についてどのような活動をおこなわれているか？	1.5 時間
12	講義内容	ヒトの活動と環境:食べると甘い香りが発散するお菓子について		
	該当到達目標	予習	(1)ワインやコーヒーの香りを分析する装置について調べてみよう(ヘッドスペース装置の付いたガスクロトグラフィー/質量分析計) (2)ヒトにおける薬物代謝のしくみ	1 時間
	3,5	復習	(1)ヒトの体の匂いに関与する成分はどのようにして分析されたか？ (2)お菓子を食べてから、体表面から香気成分が発散するまでの経路は？ (ヒトにおける薬物代謝から説明してみよう。)	1.5 時間
13	講義内容	生命と環境・・・さまざまな感染症(AIDS, 結核, マラリアなど)		
	該当到達目標	予習	(1)感染症とは？	1 時間
	4,5	復習	(1)さまざまな感染症について (2)薬剤耐性について	1.5 時間
14	講義内容	生命と環境・・・インフルエンザワクチンの成分		
	該当到達目標	予習	(1)ワクチンによる予防免疫のしくみ	1 時間
	4,5	復習	(1)様々なインフルエンザの治療薬について (2)様々なインフルエンザワクチンについて	1.5 時間
15	講義内容	生命と環境・・・グローバル化によって必要となる新しいワクチン		
	該当到達目標	予習	(1)蚊によって媒介される感染症とは？	1 時間

	4,5		(2)グローバル化におけるヒトの移動や経済活動の活発化について	
		復習	(1)グローバル化と感染症の拡大はどのように関係するか？ (2)新しいワクチンの開発例について	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完してください。			

科目名		国際関係論(教養基礎)			科目ナンバリング	LAB010
英文名		International Relations			講義形態	講義
担当教員		片桐 庸夫				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位		
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応		10	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル
			健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力
			問題解決力			
SDGs との関連						
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		① 新聞やテレビ等のニュースを見て、世界の動きや日本の外交について理解出来るようになること。 ② 配布プリントを中心に、講義を行います。現代世界を象徴するドキュメントを収録した DVD を数回用います。また、試験を 3 回程度実施します。返却の際には、一人一人に文体、文の構成、意味の曖昧な表現、誤字脱字等について指導します。その代わり、前期試験は行いません。				
到達目標		1. 現代世界の理解 2. 第 2 次世界大戦後の世界の基本構造の理解 3. 国家間の対立要因の理解 4. 国家間の相互理解の理解 5. 自由主義イデオロギーと社会主義イデオロギーの理解 6. 現代の戦争の特徴についての理解 7. 国家の安全保障の理解 8. 核の下での平和の理解 9. 国際秩序概念の理解 10. 国際秩序の喪失と国際テロ、難民、民族や宗教の違いに基づく紛争発生要因の理解 11. 戦後日本の原型についての理解 12. 戦後日本外交の歩み、「戦後」克服の意味の理解 13. 日本の課題である国際貢献問題の理解				
使用教材		配布するプリントを教材として用いる。				
参考文献		細谷雄一『国際秩序』中公新書。				
評価方法		講義中に行う 3 回程度の試験(60%)、講義に臨む態度(20%)、講義参加度(20%)等により総合評価を行う。				
課題・評価に対するフィードバック方法		原則として試験を行った翌週の講義の際に答案を返却する予定である。その際には、一人一人に論文やレポートの文体、文の構成、意味の曖昧な表現、誤字脱字等について指導する。				
オフィスアワー (研究室)		・前期木曜日の昼休み ・非常勤講師控室 随時来てください。講義の後に直接訊ねることも可です。		メールアドレス (#→@)	連絡手段は初回授業時に提示します。	
1	講義内容	講義概要(講義の展開、出席の取り方、試験の方法、成績評価等)についての説明を行う。				
	該当到達目標	予習	必要ナシ			時間
		復習	必要ナシ			時間
2	講義内容	世界の混迷した状況、中国の現状打破勢力としての台頭、米中の覇権争い等について理解する。				
	該当到達目標 1,3,7,8,10	予習	1 週間分の新聞の 1,2 面の記事に目を通しておくこと。			2 時間
		復習	ノートテイキングした部分の加筆、整理、それに新聞記事の内容を付加すること。			2 時間

3	講義内容	「冷戦の特異性」の意味と大規模な戦争の後に起こりやすい戦勝同盟国間の対立を理解する。		
	該当到達目標	予習	プリントのウィーン会議の部分をよく読んでおくこと。	3 時間
	1,2,3,9	復習	細谷雄一『国際秩序』中公新書の p.115-120,282 を読み、内容をノートにまとめること。	3 時間
4	講義内容	戦勝同盟国間の対立の典型的例であるウィーン会議について理解する。		
	該当到達目標	予習	ウィーン会議参加国の価値観の共有についてプリントを利用して予習すること。	2 時間
	2,4,7	復習	『国際秩序』の p.121-124 を読み、内容をノートにまとめること。	2 時間
5	講義内容	国際コミュニケーションにとって重要な価値観の共有の意味について理解する。		
	該当到達目標	予習	プリントの価値観の共有の項を読んでおくこと。	2 時間
	3,4,5	復習	『国際秩序』の p.128-130 を読み、内容をノートにまとめること。	2 時間
6	講義内容	ウィーン会議とは正反対に共通の価値観の欠如していた米ソ間の体制間対立について理解する。		
	該当到達目標	予習	プリントの体制間対立の項を読んでおくこと。	2 時間
	2,3,4,5,8	復習	『国際秩序』の p.237-241 を読み、内容をノートにまとめること。	2 時間
7	講義内容	米ソ間のイデオロギー対立について理解する。		
	該当到達目標	予習	プリントのイデオロギー対立の項を読んでおくこと。	3 時間
	3,5,7	復習	『国際秩序』の p.237-241 を読み、内容をノートにまとめること。	3 時間
8	講義内容	米ソ両国間の安全保障観の相違と戦争の性格の変化(DVD 画像による)について理解する。		
	該当到達目標	予習	プリントの安全保障観の相違と戦争の性格の変化の項を読んでおくこと。	2 時間
	6,7,8	復習	DVD 画像を観ながらノートテイキングしたメモを参考にノートにまとめること。	2 時間
9	講義内容	冷戦の定義、それに基づく冷戦の起源と終焉について理解する。		
	該当到達目標	予習	プリントの冷戦の定義とそれに基づく冷戦の起源と終焉についての項を読んでおくこと。	2 時間
	2,6,7,8	復習	永井陽之介『冷戦の起源』中央公論社の p.6-10 を読み、内容をノートにまとめること。	2 時間
10	講義内容	世界を滅ぼすことも可能な究極の兵器である核の下での平和について理解する。		
	該当到達目標	予習	究極の兵器がもたらした核の下での平和についての項を読んでおくこと。	2 時間
	1,6,7,8	復習	『国際秩序』の p.253-255 を読み、内容をノートにまとめること。	2 時間
11	講義内容	冷戦の逆説である戦後の長い平和について理解する。		
	該当到達目標	予習	プリントのガディスの逆説論についての項を読んでおくこと。	2 時間
	1,7,8,9	復習	『国際秩序』の p.256-260 を読み、内容をノートにまとめること。	2 時間
12	講義内容	冷戦の終焉と終焉後の世界の不安定化の理由・要因について理解する。		
	該当到達目標	予習	プリントの国際秩序維持勢力の喪失と国際秩序の喪失の項を読んでおくこと。	2 時間
	2,7,9	復習	『国際秩序』の p.281-285 を読み、内容をノートにまとめること。	2 時間
13	講義内容	冷戦後初の戦争「湾岸戦争」の意義、テロ・民族対立・宗教対立、難民の大量発生、冷戦と呼ばれた戦後の米ソ対立と今日の米中対立との違いについて理解する。		
	該当到達目標	予習	プリントの湾岸戦争、国際秩序なき時代についての項を読んでおくこと。	2 時間
	6,7,10	復習	『文明の衝突と 21 世紀の日本』集英社新書の P.21-36 を読み、内容をノートにまとめること。	2 時間
14	講義内容	終戦、米国の対日占領政策、天皇制存置、SF 講和、憲法第 9 条、日米安保について理解する。		
	該当到達目標	予習	プリントの終戦から SF 講和に至る項を読んでおくこと。	2 時間
	7,11,12	復習	小此木・赤木共編『冷戦期の国際政治』慶應義塾大学出版会の p.288-306 を読み、内容をノートにまとめること。	2 時間
15	講義内容	「戦後」の克服の意味、今日の日本が直面する外交の課題について理解する。		
	該当到達目標	予習	プリントの「戦後」の克服、国際貢献問題の項を読んでおくこと。	2 時間

	1,10,13	復習	講義中に配布する新聞の切り抜き記事を読み、内容をノートにまとめること。	2 時間
合計時間(予習・復習)				60 時間
備考	「復習」に挙げられている本は、参考文献も兼ねています。随時利用して下さい。予習・復習の結果、不明な点、わからない点などありましたら質問して下さい。			

科目名	体育理論(教養基礎)				科目ナンバリング	LAB011	
英文名	Physical Education: Theory				講義形態	講義	
担当教員	大家 千枝子						
科目に関連した実務経験	「元気に“動こう・歩こう”」実践リーダー養成講座の講師として、リーダー養成事業に従事している。(群馬県保健予防課・2018 年度～)						
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択	1 単位			
履修を必須とする資格							
学位授与方針との対応	5	豊かな人間性と幅広い教養		1	コミュニケーションスキル		
	2	健康・医療および情報に関する知識・技能		1	生涯学習力		
	1	問題解決力					
SDGs との関連	③						
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	現代社会における運動・スポーツの意義を理解し、生涯にわたり健康・体力づくりを実践するために必要な基礎知識を学ぶ。自らの健康・体力の現状を把握し、健康・体力づくりに適した身体活動について、その効果や実践方法を知り、実際の生活に活用する能力を養う。 講義中心だが、自身の「体力を知る」ために体育館にて新体力テストを実施する。また新聞や文献を活用した課題を設定しているため、図書館も利用する。						
到達目標	1.現代社会における運動・スポーツの意義を理解し、具体的に述べることができる。 2.自身の健康・体力の状況とわが国の健康・体力の現状を把握し、問題点をあげることができる。■ 3.健康の保持増進を図るためのアイデアを探り、方法を創造することができる。■ 4.課題に積極的に取り組み、履修者同士でコミュニケーションをとることができる。 5.人間が創造した運動・スポーツの文化としての意味を考え、認識を深めることができる。						
使用教材	プリントを適宜配布する。						
参考文献	参考文献を適宜紹介する。						
評価方法	授業への取り組み実践点 30%、毎回のコメントシート 30%、確認テスト 40%						
課題・評価に対するフィードバック方法	自分以外の履修者による課題(体力テストの結果など)や感想、評価を知ることが学生相互の刺激になるため、C-learning を使ってフィードバックする。最終日の確認テストは返却予定がないので、開示を希望するものは本人が直接申し出ること。						
オフィスアワー (研究室)	質問及び学習相談には、授業開始前もしくは終了後に応じる。			メールアドレス (#→@)	oie#takasaki-u.ac.jp		
1	講義内容	ガイダンス、大学での学び・健康とは・上達の秘訣を考える					
	該当到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。			0.5 時間	
	1,2,5	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する。			0.5 時間	
2	講義内容	A 組:体力を知る(新体力テスト)・B 組:図書館利用術(図書館コラボ企画)					
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。配布された資料に目をとおす。			0.5 時間	
	2,4	復習	C-learning に測定結果と必要事項を入力する。			0.5 時間	
3	講義内容	A 組:図書館利用術(図書館コラボ企画)・B 組:体力を知る(新体力テスト)					
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。配布された資料に目をとおす。			0.5 時間	
	2,4	復習	C-learning に測定結果と必要事項を入力する。			0.5 時間	
4	講義内容	体力を評価する(体力とは)					
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。配布された資料に目をとおす。			0.5 時間	
	2,4	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。			0.5 時間	
5	講義内容	運動・スポーツの実施状況、体力、体格、継続の仕組みづくり、問題解決のための作戦を立てる■					
	該当到達目標	予習	配布された資料に目をとおす。			0.5 時間	
	2,4	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。			0.5 時間	
6	講義内容	体組成、体脂肪の測定方法、エネルギー消費量の算出方法、内臓脂肪について					
	該当到達目標	予習	配布された資料に目をとおす。フィットネスルームで体組成を測定しておく。			0.5 時間	
	1,2	復習	今後どのように運動・スポーツを取り入れるか検討する。			0.5 時間	
7	講義内容	トレーニングの原理・原則					

	該当到達目標 1,2	予習	配布された資料に目をとらす。	0.5 時間
		復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
8	講義内容	まとめ、確認テスト		
	該当到達目標	予習	授業でとったノートを読み直し、確認テストに備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	確認テストについて、授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				8 時間
備考	【オンラインで実施する場合の変更点】 新体力テストと図書館を利用した授業は行わない。変更点の詳細は初回授業でアナウンスする。 【単位修得に必要な時間について】 記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	体育実技(教養基礎)				科目 ナンバリング	LAB012
英文名	Physical Education: Sports & Physical Activities				講義形態	演習
担当教員	佐藤 孝之					
科目に関連した 実務経験						
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	選択 1 単位			
履修を必須とする 資格						
学位授与方針 との対応	10	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
SDGs との関連	3 4 5 7 10 12 13 15 16 17					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	余暇時間の増大や高齢化が進むなかで、生涯にわたってスポーツに親しむことは、活力に満ちた社会の形成や個々人の心身の健全な発達に必要不可欠である。本講義では、人との交流を深めながら生涯スポーツへの自己の取り組み方について学ぶ。 前半は準備運動やチーム練習などを行い、後半は試合を行う。授業の最後にまとめレポートを作成する。					
到達目標	1. 知識・理解の観点:各スポーツ種目の歴史、ルール、マナーを理解・実践できる。 2. 思考・判断の観点:安全に効率よく練習およびゲーム運営における自分の役割を思考し、行動できる。 3. 関心・意欲の観点:種目特性によって異なる身体感覚について関心をもつことができる。 4. 態度の観点:積極的に取り組み、参加者と十分なコミュニケーションを築くことができる。また施設、器具を大切に扱うことができる。 5. 技能・表現の観点:基本スキルを獲得することができる。また相手の力量に合わせ、楽しみながらゲームができる。					
使用教材	授業内において適宜配布する。					
参考文献						
評価方法	授業参加度 50%、レポート 25%、授業記録 25%					
課題・評価に対する フィードバック方法	授業時間内に行う。					
オフィスアワー (研究室)	火曜 1～2 限(非常勤講師)			メールアドレス (#→@)	連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	ストレッチとレジスタンストレーニング				
	該当到達目標	予習	1.栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2.知っているストレッチ方法にチャレンジしてみること。			1 時間
	1,2,4	復習	1.栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を送るために普段の生活を見直すこと。 2.授業内で行ったストレッチやレジスタンストレーニングを積極的に行うこと。			1 時間
2	講義内容	男女混成での団体スポーツ(バドミントン・チーム練習)				
	該当到達目標	予習	1.栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2.チーム内でのコミュニケーションを高めておくこと。			1 時間

	1,2,3	復習	チーム内で話し合いの場を持ち、それぞれの長所、短所を明らかにすること。	1 時間
3	講義内容	男女混成での団体スポーツ(バドミントン・模擬ゲーム)		
	該当到達目標	予習	1.栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2.明らかになった長所、短所について、大学体育施設(フィットネスルームを含む)等を積極的に利用しながら確認すること。時間が取れない場合は日常生活における労働、家事、通学、趣味などの生活活動中の身体活動量を増やすこと。 3.日常からチーム内のコミュニケーションを高めておくこと。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	チーム内で話し合いの場を持ち、勝つためのゲームおよび楽しむためのゲームの進め方を探ること。	1 時間
4	講義内容	男女混成での団体スポーツ(バドミントン・リーグ戦)		
	該当到達目標	予習	1.栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2.話し合った内容を実現するために大学体育施設(フィットネスルームを含む)等を積極的に利用しながらチェックすること。時間が取れない場合は日常生活における労働、家事、通学、趣味などの生活活動中の身体活動量を増やすこと。 3.日常からチーム内のコミュニケーションを高めておくこと。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	1.チーム内で話し合いの場を持ち、リーグ戦での反省事項を見つけ出すこと。 2.次講義からのチーム内で話し合い、コミュニケーションを高めておくこと。	1 時間
5	講義内容	男女混成でのチームスポーツ(ドッジボール・チーム練習)		
	該当到達目標	予習	1.栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2.チーム内でのコミュニケーションを高めておくこと。	1 時間
	1,2,3	復習	チーム内で話し合いの場を持ち、それぞれの長所、短所を明らかにすること。	1 時間
6	講義内容	男女混成でのチームスポーツ(ドッジボール・模擬ゲーム)		
	該当到達目標	予習	1.栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2.明らかになった長所、短所について、大学体育施設(フィットネスルームを含む)等を積極的に利用しながら確認すること。時間が取れない場合は日常生活における労働、家事、通学、趣味などの生活活動中の身体活動量を増やすこと。 3.日常からチーム内のコミュニケーションを高めておくこと。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	チーム内で話し合いの場を持ち、勝つためのゲームおよび楽しむためのゲームの進め方を探ること。	1 時間
7	講義内容	男女混成でのチームスポーツ(ドッジボール・リーグ戦)		
	該当到達目標	予習	1.栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2.話し合った内容を実現するために大学体育施設(フィットネスルームを含む)等を積極的に利用しながらチェックすること。時間が取れない場合は日常生活における労働、家事、通学、趣味などの生活活動中の身体活動量を増やすこと。 3.日常からチーム内のコミュニケーションを高めておくこと。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	1.チーム内で話し合いの場を持ち、リーグ戦での反省事項を見つけ出すこと。	1 時間

			2.次講義からのチーム内で話し合い、コミュニケーションを高めておくこと。	
8	講義内容	男女混成での団体スポーツ(ソフトバレーボール・チーム練習)		
	該当到達目標	予習	1.栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2.チーム内でのコミュニケーションを高めておくこと。	1 時間
	1,2,3	復習	チーム内で話し合いの場を持ち、それぞれの長所、短所を明らかにすること。	1 時間
9	講義内容	男女混成でのチームスポーツ(ソフトバレーボール・模擬ゲーム)		
	該当到達目標	予習	1.栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2.課外時間に大学体育施設(フィットネスルームを含む)等を積極的に利用し、授業の予習・復習を行うこと。時間が取れない場合は日常生活における労働、家事、通学、趣味などの生活活動中の身体活動量を増やすこと。 3.日常からチーム内のコミュニケーションを高めておくこと。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	チーム内で話し合いの場を持ち、それぞれの長所、短所を明らかにすること。	1 時間
10	講義内容	男女混成でのチームスポーツ(ソフトバレーボール・リーグ戦)		
	該当到達目標	予習	1.栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2.大学体育施設(フィットネスルームを含む)等を積極的に利用すること。時間が取れない場合は日常生活における労働、家事、通学、趣味などの生活活動中の身体活動量を増やすこと。 3.日常からチーム内のコミュニケーションを高めておくこと。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	1.チーム内で話し合いの場を持ち、リーグ戦での反省事項を見つけ出すこと。 2.次講義のチーム内で話し合い、コミュニケーションを高めておくこと。	1 時間
11	講義内容	ミニ運動会		
	該当到達目標	予習	1.栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2.大学体育施設(フィットネスルームを含む)等を積極的に利用すること。時間が取れない場合は日常生活における労働、家事、通学、趣味などの生活活動中の身体活動量を増やすこと。 3.日常からチーム内のコミュニケーションを高めておくこと。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	今回のチーム内でお互いに感想を話し合い、コミュニケーションを高めておくこと。	1 時間
12	講義内容	男女別チームによるチームスポーツ(バスケットボール・チーム練習)		
	該当到達目標	予習	1.栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2.チーム内でのコミュニケーションを高めておくこと。	1 時間
	1,2,3	復習	チーム内で話し合いの場を持ち、それぞれの長所、短所を明らかにすること。	1 時間
13	講義内容	男女別チームによるチームスポーツ(バスケットボール・模擬ゲーム)		
	該当到達目標	予習	1.栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2.明らかになった長所、短所について、大学体育施設(フィットネスルームを含む)等を積極的に利用しながら確認すること。時間が取れない場合は日常生活にお	1 時間

	1,2,3,4,5	復習	ける労働、家事、通学、趣味などの生活活動中の身体活動量を増やすこと。 3.日常からチーム内のコミュニケーションを高めておくこと。	1 時間
14	講義内容	男女別チームによるチームスポーツ(バスケットボール・リーグ戦)		
	該当到達目標	予習	1.栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2.大学体育施設(フィットネスルームを含む)等を積極的に利用すること。時間が取れない場合は日常生活における労働、家事、通学、趣味などの生活活動中の	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	身体活動量を増やすこと。 3.日常からチーム内のコミュニケーションを高めておくこと。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	チーム内で話し合いの場を持ち、リーグ戦での反省事項を見つけ出すこと。	1 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当到達目標	予習	1.栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2.大学体育施設(フィットネスルームを含む)等を積極的に利用すること。時間が取れない場合は日常生活における労働、家事、通学、趣味などの生活活動中の身体活動量を増やすこと。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	科目内で知り合った学生と話し合いの場を持ち、大学体育施設等を積極的に利用すること	1 時間
合計時間(予習・復習)				30 時間
備考	受講上の注意 1. 運動にふさわしいジャージおよびシューズ(屋内外別、スパイク禁止)を着用の上、参加すること(ジーパンなどの普段着での受講は不可)。 2. ケガを未然に防ぐために、時計、指輪、ブレスレット、ネックレス、ピアス等の貴金属類はすべて外し、髪が肩にかかる学生は髪を纏めて参加すること。 3. 実技授業を進める上で配慮を必要とする学生は初回授業までに授業担当者まで申し出ること。 4. 貴重品の管理は各自で行うこと。 5. 授業で実施するスポーツ種目の器具は大学が用意しますが、個人で所有する器具がある場合は積極的に持参してください。 6. 天候により施設変更する場合があります。担当教員および事務局からの連絡を確認するようにしてください。			

科目名		キャリア形成論(教養基礎)			科目ナンバリング	LAB013
英文名		Career Development			講義形態	講義
担当教員		小泉 英明				
科目に関連した実務経験		社員研修・人材育成・能力開発・キャリア開発のコンサルタント、トレーナーとして各企業・自治体で指導				
学年・開講期		1 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位		
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応		4	豊かな人間性と幅広い教養	3	コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能	1	生涯学習力	
		2	問題解決力			
SDGs との関連		④ ⑧				
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		AI(人工知能)をはじめとする各種テクノロジーの進化や地球規模的な気候変動など、社会は今、大きな激動期を迎えています。そのような中で、私たちを取り巻く経済・雇用環境も目まぐるしく変わり、生活や仕事の内容までもが大きく変わりつつあります。 本講座ではそのような社会の動きを見据え、私たちが近い将来に求められる『能力』について理解を深めるとともに、キャリア形成の基盤づくりを行います。 授業では社会で求められている高次元のコミュニケーション能力や思考力、さらには問題解決能力などの『社会人基礎力』を身につけるとともに、ケーススタディ等によって社会適応力を習得します。また本学卒業後、社会人として適切なスタートを切ることができるよう、“自身”の強化プラン策定と目標管理ができる自律的人材の養成を目指します。 【授業期間全体を通じた授業の進め方】 教員作成のレジュメを使い、要点をまとめていきます。授業では、ニュースで取り上げられる時事について考察しながら、卒業後における社会の中でどのように取り組んでいくべきか実体験を織り交ぜた説明を行います。また必要な箇所にはグループディスカッションを行うとともに、理解度を深めるための課題を課します。				
到達目標		1. 社会の出来事を理解し、社会に通用する就業観、勤労観を学ぶ。■ 2. 自己の成長に向けて、自己を正しく理解するとともに、自己効力感を養う。■ 3. 社会人基礎力を理解し、社会適応力を身につける。■ 4. コミュニケーションの本質を理解し、高次元のコミュニケーション力を身につける。■ 5. 論理を組み合わせる手法を学び、論理的思考力を高める。■ 6. アイデアの出し方を学び、創造的思考力を高める。■ 7. 気づく力を身につけ、問題発見能力を高める。■ 8. 問題解決のスキルと手法を学び、問題解決能力を高める。■ 9. 自己変革のために必要な自身の問題点を探る。■ 10. 自律型人材に向けての目標管理ができる。■ 11. 社会における人間関係を学び、社会適応力を高める。■				
使用教材		講義内容を随時プリントして配布します。				
参考文献		授業内で提示します。				
評価方法		ファイナルレポート 60%、毎授業後の提出課題 30%、授業参加度・授業態度 10% それぞれの評価基準については初回授業で説明します。総合評価 60%以上を合格とします。				
課題・評価に対するフィードバック方法		授業後の提出課題については、随時コメントをつけてフィードバックします。 ファイナルレポートに関するフィードバックは、出題テーマの意図など掲示等によって示します。				
オフィスアワー (研究室)		木曜日(12～17 時)		メールアドレス (#→@)	連絡手段は初回授業時に提示します。	
1	講義内容	ガイダンス／キャリア形成のために必要なこと■				
	該当到達目標	予習	新聞、テレビ、ネットなどのニュースから、社会の出来事を理解して臨む。			1.5 時間
	1	復習	キャリア形成に必要なコアコンピタンスを理解する。			1.5 時間

2	講義内容	先行きの予測が困難な時代／社会が求める人材■			
	該当到達目標 1,3	予習	事前に配布する第 2 回講義テキストを読み、内容を理解しておく。	1.5 時間	
		復習	キャリア形成に必要な「社会人基礎力」について理解を深める。	1.5 時間	
3	講義内容	自己の理解■			
	該当到達目標 2	予習	事前に配布する第 3 回講義テキストを読み、内容を理解しておく。	1.5 時間	
		復習	自己理解を深め、自己効力感と自分のパーソナリティを理解する。	1.5 時間	
4	講義内容	コミュニケーション力■			
	該当到達目標 3,4	予習	事前に配布する第 4 回講義テキストを読み、内容を理解しておく。	1.5 時間	
		復習	チェックシートによって自身のコミュニケーション力を客観的につかむ。	1.5 時間	
5	講義内容	実践コミュニケーション力■			
	該当到達目標 3,4	予習	事前に配布する第 5 回講義テキストを読み、内容を理解しておく。	1.5 時間	
		復習	コミュニケーションの重要ポイントを理解し、自身の弱点をつかむ。	1.5 時間	
6	講義内容	気づく力(問題発見能力)■			
	該当到達目標 3,7	予習	事前に配布する第 6 回講義テキストを読み、内容を理解しておく。	1.5 時間	
		復習	事例研究課題に取り組む。※問題解決に繋がることを理解する。	1.5 時間	
7	講義内容	考える力Ⅰ(ロジカルシンキング・クリティカルシンキング)■			
	該当到達目標 3,5	予習	事前に配布する第 7 回講義テキストを読み、内容を理解しておく。	1.5 時間	
		復習	事例研究によって論理的思考を理解する。	1.5 時間	
8	講義内容	考える力Ⅱ(クリエイティブシンキング)■			
	該当到達目標 3,6,7,8	予習	事前に配布する第 8 回講義テキストを読み、内容を理解しておく。	1.5 時間	
		復習	事例研究によって創造的思考の重要性を理解する。アイデア発想の演習を行う。	1.5 時間	
9	講義内容	創造力を伸ばす■			
	該当到達目標 3,6,7,8,9	予習	事前に配布する第 9 回講義テキストを読み、内容を理解しておく。	1.5 時間	
		復習	事例研究によって創造力の阻害要因を理解し、力を伸ばすポイントをつかむ。	1.5 時間	
10	講義内容	問題解決能力Ⅰ(問題点を探る・WHY ツリー)■			
	該当到達目標 3,7,8,9	予習	事前に配布する第 10 回講義テキストを読み、内容を理解しておく。	1.5 時間	
		復習	自身が抱える問題の「問題点」を WHY ツリーで探る。	1.5 時間	
11	講義内容	働く意味／「仕事力」と「就業力」■			
	該当到達目標 1,3	予習	事前に配布する第 11 回講義テキストを読み、内容を理解しておく。	1.5 時間	
		復習	自身の「仕事観」「就業観」を見つめ、自身の将来について深く考える。	1.5 時間	
12	講義内容	問題解決能力Ⅱ(問題解決の手法・HOW ツリー／課題発見・目標設定)■			
	該当到達目標 3,8,9,10	予習	事前に配布する第 12 回講義テキストを読み、内容を理解しておく。	1.5 時間	
		復習	自身の課題を HOW ツリーで探り、今後の目標・計画を設定する。	1.5 時間	
13	講義内容	社会における人間関係■			
	該当到達目標 3,11	予習	事前に配布する第 13 回講義テキストを読み、内容を理解しておく。	1.5 時間	
		復習	人との接し方と、よりよい人間関係を築く方法を理解する。	1.5 時間	
14	講義内容	自己の確立(バリュープロポジションとキャリア自律)■			
	該当到達目標 3,10	予習	事前に配布する第 14 回講義テキストを読み、内容を理解しておく。	1.5 時間	
		復習	将来のキャリア形成に向けて、キャリア自律の重要性を理解する。	1.5 時間	
15	講義内容	ストレスマネジメント■			
	該当到達目標 3,11	予習	事前に配布する第 15 回講義テキストを読み、内容を理解しておく。	1.5 時間	
		復習	ストレス対処法を理解し、社会進出後のストレスに対する耐性力を高める。	1.5 時間	
合計時間(予習・復習)					45 時間
備考	事前に配布する教材をもとに予習して授業に臨んでください。講義テキストはファイリングし、いつでも内容を振り返ることができるようにしてください。授業は積み上げ方式で進めていきますから、わからないことがないように授業後は必ず復習してください。新聞、テレビ、ネットなどのニュースには常に関心を持ち、社会の出来事を理解し授業に臨んでください。				

〔健康福祉学部学生に求められる基本的な資質〕

- ① 人の役に立つという心構え
- ② 生活者本位の視点
- ③ コミュニケーション能力
- ④ チームワーキングへの参画
- ⑤ 自己研鑽

※オンラインで授業を行う場合(※オンデマンド)

- ① 教材のデータを授業日の前日までに提示します。
- ② 事前にアップされた教材の内容を良く理解して講義に臨んでください。
- ③ 毎受講後、提示された課題についてレポートを提出してください。(提出期限を厳守してください)
- ④ 提出されたレポートについては、随時コメントをつけてフィードバックします。
- ⑤ 授業への出席は、レポートの提出をもって「出席」とします。
- ⑥ ファイナルレポートは第14回の授業後に提出の予定です。
- ⑦ 評価方法は以下の通りです。
ファイナルレポート 60% 毎授業後の提出課題レポート 30% 授業参加度 10%

■:実務経験に基づく内容を示す。

科目名	哲学(人間理解)				科目ナンバリング	LAH001
英文名	Philosophy				講義形態	講義
担当教員	大石 桂子					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応	5	豊かな人間性と幅広い教養		2	コミュニケーションスキル	
	1	健康・医療および情報に関する知識・技能		1	生涯学習力	
	1	問題解決力				
SDGs との関連	① ② ③ ④ ⑤ ⑩ ⑯					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	「他者とどう関わっていけばよいか」「絶対に正しいことはあるのか」、「病気や“弱さ”にどう向き合うか」。普段は漠然と理解しているように感じることに、改めて疑問を持ち考えるのが哲学である。本講義では身近な題材をもとに医療・福祉・健康分野に関わる者として考えておきたいトピックを取り上げる。哲学者たちの議論や、統計からみえる社会情勢などを手引きとして、論理的に考えていくための基礎力を身につける。 配布プリントを中心に講義を行い、定期的に課題を提示し、学生同士が意見交換する場を設けます。					
到達目標	1. 人と人、人と社会の関係、平等性、自由と責任などについて、多様な視点から説明できる。 2. 共生の意義や、弱者の排除が社会にもたらす影響を説明できる。 3. 各テーマについて、自分の意見をもつことができる。 4. 課題やグループワークを通して、自分の考えを他者に伝わりやすく表現できる。 5. 自分と異なる他者の考えを受け止め、そこから新たな発見ができる。					
使用教材	講義中にプリントを配布する。					
参考文献						
評価方法	定期試験(60%)、講義中に作成する課題(40%)に、参加態度を加えて総合的に評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。					
課題・評価に対するフィードバック方法	提出された課題の内容にコメントを付けて、授業中に紹介する。					
オフィスアワー (研究室)	水曜日の 2 時限、金曜日の 2 時限。 (1 号館 6 階 601)		メールアドレス (#→@)		oishi#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンス				
	該当到達目標	予習	シラバスの内容をよく読み、講義の目標や取り扱う内容を理解する。			1 時間
	1	復習	「哲学」の目標、学ぶ意義について理解する。			1.5 時間
2	講義内容	自分と他者(1)「人に認められたい」のは本能?——ヘーゲル				
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。			1 時間
	1,3	復習	ヘーゲルのいう「承認への欲求」を理解する。			1.5 時間
3	講義内容	自分と他者(2)「本当の自分」とは何か——キルケゴール				
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。			1 時間
	1,3	復習	キルケゴールの「大衆と実存」の違いを理解する。			1.5 時間
4	講義内容	自分と他者(3)人と人の関係性——ブーバー、サルトル				
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。			1 時間
	1,3	復習	第 2 回から第 4 回までの内容を整理する。			1.5 時間
5	講義内容	ディスカッション——これからの自分に大切なこと				

	該当到達目標 1,3,4,5	予習	第 2 回から第 4 回までの内容について、自分の考えをまとめる。	1 時間
		復習	自分にとって大切なことを改めて熟考し、課題を仕上げる。	1.5 時間
6	講義内容	平等と共生(1)誰もが信じられる正しさはあるか——ロールズ		
	該当到達目標 2,3	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	「機会の平等」と「結果の平等」を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	平等と共生(2)環境は人の心にどう影響するのか		
	該当到達目標 2,3,4	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	「無知のヴェール」について理解する。平等について課題を仕上げる。	2 時間
8	講義内容	自由・正しい自己決定のために——カント		
	該当到達目標 1,3	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	「自律」の意義について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	心と身体(1)「私」を形づくるのは心か身体か——ニーチェ		
	該当到達目標 2,3	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	身体がものの見方や価値観に影響する例を考える。	1.5 時間
10	講義内容	心と身体(2)人間の中心は脳なのか		
	該当到達目標 2,3	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	脳死の問題について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	エンハンスメント(1)変化する「病」の定義		
	該当到達目標 2,3	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	エンハンスメントや「医療化」について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	エンハンスメント(2)「弱さ」を否定する社会——ハーバーマス、サンデル		
	該当到達目標 2,3	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	弱さを排除した場合の社会的影響について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	ディスカッション——医療技術と自己決定		
	該当到達目標 2,3,4,5	予習	個人の欲求でどこまで医療技術を利用してよいか、自分の考えをまとめる。	1 時間
		復習	エンハンスメントについての自分の考えをまとめる。	1.5 時間
14	講義内容	責任(1)責任の範囲はどこまで？——アリストテレスほか		
	該当到達目標 1,3	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	責任が問われる基準について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	責任(2)「何もしなかった」ことに責任はあるのか——ヤスパース		
	該当到達目標 1,3,4	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	講義中にあげた事例について、自分の考えを課題にまとめる。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				38 時間
備考	本講義では知識の修得だけでなく、みずから考えることを重視するので、課題など積極的に取り組んで下さい。 予習・復習については試験前の学習で補完して下さい。 *オンライン授業になった場合は、C-Leaning 上で講義資料(PDF ファイル等)を閲覧し、課題を提出する形式になります。			

科目名	倫理学(人間理解)				科目ナンバリング	LAH002
英文名	Ethics				講義形態	講義
担当教員	出雲 春明					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応	10	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
SDGs との関連	③ ⑤ ⑦ ⑩ 16 17					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 現代の医療をめぐる問題をとりあげ、それぞれのトピックを通じて、倫理学の諸理論、人々の多様な価値観について学ぶ。なるべく平易な表現を用いて講義を行う。講義中、一つの問題をめぐる様々な、そしてしばしば対立する見解が示される。自分ならどの立場をとるか、対立する相手に対してどのように反論するか、常に考えながら講義に臨んでほしい。 ② C-Learning の教材倉庫にアップした資料に基づいて講義を行い、毎回、ドリルと小テストを実施して知識の定着を図る。新型コロナの感染状況によってはオンデマンド形式に移行する。					
到達目標	1. 医療に関連する倫理的諸問題について正確な知識を習得し、 2. 自分の考えを表現することができる。 3. また、自分と対立する考えについても理解を深める。					
使用教材	講義中に資料を配布する。C-Learning の教材倉庫に毎回アップする。					
参考文献	加藤尚武『脳死・クローン・遺伝子治療—バイオ・エシックスの練習問題』、PHP 新書、1999 年。 小林亜津子『はじめて学ぶ生命倫理—「いのち」は誰が決めるのか』、筑摩書房、2011 年。					
評価方法	講義への参加態度(資料の閲覧・ドリルの実施など)・・・30% 小テストなどの課題・期末レポート・・・70%					
課題・評価に対するフィードバック方法	講義中、C-Learning「アンケート」を通じて、意見などを提出してもらう場合がある。有意義な意見に関しては講義中に紹介する。					
オフィスアワー (研究室)	1 号館 511 研究室 面談希望の場合は C-Learning「連絡・相談」あるいは左記アドレスまで。		メールアドレス (#→@)		izumo-s#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンス—生命倫理学について				
	該当到達目標	予習	シラバスを読み講義の実施方法や目的を理解する。			1.5 時間
	1	復習	生命倫理学の成立事情について、技術の発展と人間観の変化から理解する。			1.5 時間
2	講義内容	不妊治療(1)人工授精、体外受精				
	該当到達目標	予習	人工授精の定義を確認し、書籍、報道から関連情報を取得しておく。			1.5 時間
	1,2,3	復習	人工授精の特徴とそこで生じる倫理的問題について理解する。			1.5 時間
3	講義内容	不妊治療(2)代理母出産をめぐる議論				
	該当到達目標	予習	体外受精と人工授精の違い、代理母がなぜ求められるかを確認しておく。			1.5 時間
	1,2,3	復習	人工授精、体外受精、代理母の特徴とその倫理的問題について理解する。			1.5 時間
4	講義内容	遺伝子操作(1)ヒトゲノム計画がもたらす未来				
	該当到達目標	予習	ヒトゲノム計画とは何かを調べておく。			1.5 時間
	1,2,3	復習	遺伝情報が現在社会においてどのように利用されようとしているか理解する。			1.5 時間

5	講義内容	遺伝子操作(2)遺伝子診断技術がもたらす未来		
	該当到達目標	予習	遺伝子診断技術について調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	遺伝子診断技術がこれから社会に及ぼす変化を考えてみる。	1.5 時間
6	講義内容	人工妊娠中絶をめぐる問題		
	該当到達目標	予習	日本における人工妊娠中絶の法的規定について調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	人工妊娠中絶をめぐる現在の状況、議論について理解する。	1.5 時間
7	講義内容	優生思想をめぐる問題		
	該当到達目標	予習	優生思想とは何かを調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	これまでの議論を優生思想の問題と関連させて振り返っておく。	1.5 時間
8	講義内容	インフォームド・コンセントと患者の権利		
	該当到達目標	予習	インフォームド・コンセントが求められた歴史的なきっかけを調べておく。	1.5 時間
	1,2	復習	患者を主役とする医療という考え方について確認しておく。	1.5 時間
9	講義内容	QOL の追求		
	該当到達目標	予習	QOL とは何かを調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	様々な QOL のあり方について考える。	1.5 時間
10	講義内容	告知をめぐる問題		
	該当到達目標	予習	告知をめぐる現状について調べてみる。	1.5 時間
	1,2	復習	告知について自分ならどのような選択をするか考える。	1.5 時間
11	講義内容	延命医療について		
	該当到達目標	予習	延命医療について自分の考えをまとめてみる。	1.5 時間
	1,2,3	復習	延命と QOL を関連させて考える。	1.5 時間
12	講義内容	安楽死について		
	該当到達目標	予習	安楽死の区分について調べてみる。	1.5 時間
	1,2	復習	安楽死の区分について理解し、自分の意見をまとめてみる。	1.5 時間
13	講義内容	臓器移植(1)生体臓器移植		
	該当到達目標	予習	日本での生体臓器移植の位置づけについて調べてみる。	1.5 時間
	1,2,3	復習	生体臓器移植の特徴とその倫理的問題について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	臓器移植(2)死後移植と臓器移植法改正		
	該当到達目標	予習	日本における昨今の死後移植の位置づけについて調べてみる。	1.5 時間
	1,2,3	復習	改正臓器移植法について理解し、自分の意見をまとめてみる。	1.5 時間
15	講義内容	総括		
	該当到達目標	予習	企業による不祥事の隠蔽事件について調べ、自分の考えをまとめてみる。	1.5 時間
	1,2	復習	資料に提示されたケースをもとに自らがいかに行動すべきか考える。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	C-Learning の「教材倉庫」「ドリル」「小テスト」「アンケート」「レポート」機能を活用する。毎回、授業(対面)前日に教材をアップするのであらかじめ目を通しておくこと。オンデマンド授業の場合は、授業時間に教材をアップする。「ニュース」欄で、実施すべき課題と期限を確認しておくこと。 「自分ならどう考え、行動するか」を自らに問いかける姿勢を大切にしてほしい。また、授業内容と関連する「報道」などがあった場合には、通常の予習・復習とあわせて確認しておくことが望ましい。			

科目名	心理学(人間理解)				科目ナンバリング	LAH003
英文名	Psychology				講義形態	講義
担当教員	角野 善司					
科目に関連した実務経験	カウンセラーとして臨床心理センターに勤務(経験)					
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応	10	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
SDGs との関連	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	人間の心理的諸機能に関する理論・研究について学び、支援に必要な基礎的知識の習得を目指す。 こころのしくみに関して心理的諸機能を概観し、心の発達や健康について理解したうえで、心理的支援の方法と実際を学ぶ。 授業期間全体を通じた授業の進め方: 基本的に、毎回の授業は、予習してあることを前提に、教科書の該当箇所に関する講義を行う。授業後には、復習課題に取り組むとともに、授業での学修を基に考察を深め、小レポートを作成し、提出することを求める。					
到達目標	1. 心理学理論による人の理解とその技法の基礎について説明できる。 2. 人の成長・発達と心理との関係について説明できる。■ 3. 日常生活と心の健康との関係について説明できる。■ 4. 心理的支援の方法と実際について説明できる。■					
使用教材	加藤伸司ほか「心理学理論と心理的支援[第 2 版]」ミネルヴァ書房 2014 年 2,800 円+税					
参考文献						
評価方法	毎回の課題・小レポート 45%(3 点×15 回)、学期末筆記試験 30%、学期末レポート 25%					
課題・評価に対するフィードバック方法	毎回の課題・小レポートは授業時に、学期末筆記試験・レポートは事後に講評解説の機会を設ける。					
オフィスアワー (研究室)	初回授業時に告知するとともに、研究室ドアに掲出する(8 号館 405 室)		メールアドレス (#→@)		zsumino#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	こころのしくみの理解(1):心理学における主要な理論				
	該当到達目標	予習	シラバスを読んで講義の目標などを理解する。教科書の該当箇所および事前配布資料を精読する。			1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。授業での学修を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。			1.5 時間
2	講義内容	こころのしくみの理解(2):心と脳／情動・情緒				
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所および事前配布資料を精読する。予習課題に解答する。			1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。授業での学修を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。			1.5 時間
3	講義内容	こころのしくみの理解(3):欲求・動機づけと行動				
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所および事前配布資料を精読する。予習課題に解答する。			1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。授業での学修を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。			1.5 時間
4	講義内容	こころのしくみの理解(4):感覚・知覚・認知				
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所および事前配布資料を精読する。予習課題に解答する。			1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。授業での学修を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。			1.5 時間
5	講義内容	こころのしくみの理解(5):学習・記憶・思考／知能・創造性				
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所および事前配布資料を精読する。予習課題に解答する。			1.5 時間

	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。授業での学修を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
6	講義内容	こころのしくみの理解(6): 人格・性格／自己概念・自己実現		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所および事前配布資料を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。授業での学修を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
7	講義内容	こころのしくみの理解(7): 集団		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所および事前配布資料を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。授業での学修を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
8	講義内容	こころのしくみの理解(8): 適応／人と環境		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所および事前配布資料を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。授業での学修を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
9	講義内容	人の成長・発達と心理: 発達の概念■		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所および事前配布資料を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	2	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。授業での学修を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
10	講義内容	日常生活と心の健康: ストレスとストレッサ■		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所および事前配布資料を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	3	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。授業での学修を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
11	講義内容	心理的支援の方法と実際(1): 心理検査の概要■		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所および事前配布資料を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	4	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。授業での学修を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
12	講義内容	心理的支援の方法と実際(2): カウンセリングの概念と範囲■		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所および事前配布資料を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	4	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。授業での学修を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
13	講義内容	心理的支援の方法と実際(3): カウンセリングとソーシャルワーク等の関連活動との関係■		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所および事前配布資料を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	4	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。授業での学修を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
14	講義内容	心理的支援の方法と実際(4): 心理療法の概要と実際■		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所および事前配布資料を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	4	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。授業での学修を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当到達目標	予習	これまでの学習内容を振り返る。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。授業での学修を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	仮に諸事情により対面での学期末筆記試験の実施ができない場合には、成績評価にあたっての配点は以下のとおりとする: 毎回の課題・小レポート 75%(5 点×15 回)、学期末レポート 25% ■: 実務経験に基づく内容を示す。			

科目名		文学と人間(人間理解)			科目ナンバリング	LAH004
英文名		Literature and Humanity			講義形態	講義
担当教員		斎藤 順二				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		1 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位		
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応		10	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
			問題解決力			
SDGs との関連						
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		現代人の基礎教養として、日本の名作文学を朗読 CD で味わうことで、文章表現による心のコミュニケーションを図ることができる。 授業では、朗読 CD を活用して日本文学作品の梗概を理解しながら、人物相関図の板書とテキストの読解を行う。これをきっかけにして、さらに各自が近代文学に興味関心を抱いて原作を読み、発展させた読書につなげることが望ましい。				
到達目標		1. 視聴覚教材を活用して「文学と人間」への洞察を深めることができる。 2. 歴史の諸相における人間と人間生活の理解に役立てることができる。				
使用教材		小田切進『日本の名作』(中央公論新社)定価(本体 720+税)				
参考文献						
評価方法		まとめのレポートを 100 点満点で採点(90%)し、それに授業参加度を加味(10%)して総合評価する。				
課題・評価に対するフィードバック方法		共通課題「授業で学んだ近代文学の名作の中から、人間と人間生活の理解に役立つと思われる 10 作品を選び、それぞれ 80～90 字で論評しなさい」を採点し、その結果を講評する。				
オフィスアワー (研究室)		質問等は、授業開始前もしくは終了後に応じる。		メールアドレス (#→@)	連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	二葉亭四迷『浮雲』・森鷗外『舞姫』				
	該当到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。			1.5 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。			1.5 時間
2	講義内容	森鷗外『高瀬舟』・『雁』				
	該当到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。			1.5 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。			1.5 時間
3	講義内容	幸田露伴『五重塔』・樋口一葉『たけくらべ』				
	該当到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。			1.5 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。			1.5 時間
4	講義内容	尾崎紅葉『金色夜叉』・徳富蘆花『不如帰』				
	該当到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。			1.5 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。			1.5 時間
5	講義内容	泉鏡花『高野聖』・島崎藤村『破戒』『夜明け前』				
	該当到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。			1.5 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。			1.5 時間
6	講義内容	夏目漱石『坊っちゃん』『こころ』				
	該当到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。			1.5 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。			1.5 時間
7	講義内容	伊藤左千夫『野菊の墓』・田山花袋『田舎教師』				

	該当到達目標 1,2	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
		復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
8	講義内容	芥川龍之介『羅生門』『鼻』『地獄変』		
	該当到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
9	講義内容	有島武郎『或る女』・武者小路実篤『友情』		
	該当到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
10	講義内容	川端康成『伊豆の踊子』・小林多喜二『蟹工船』		
	該当到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
11	講義内容	林芙美子『放浪記』・尾崎士郎『人生劇場』		
	該当到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
12	講義内容	谷崎潤一郎『春琴抄』『細雪』		
	該当到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
13	講義内容	志賀直哉『暗夜行路』・太宰治『人間失格』		
	該当到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
14	講義内容	壺井栄『二十四の瞳』・井上靖『天平の薨』		
	該当到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
15	講義内容	学習の整理と展望(まとめのレポート)		
	該当到達目標	予習	これまでに学んだ近代文学の名作の中から10作品に絞り込む。	1.5 時間
	2	復習	知的好奇心から問題意識を持ち、さらに読書の幅を広げる。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考				

科目名		芸術論(人間理解)			科目 ナンバリング	LAH005
英文名		Art Theory			講義形態	講義
担当教員		石原 綱成、志尾 睦子				
科目に関連した 実務経験		志尾:映画上映・宣伝・企画・製作、イベントプロデュース				
学年・開講期		1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
履修を必須とする 資格						
学位授与方針 との対応		10	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
			問題解決力			
SDGs との関連						
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		この講義は芸術を通して、人間の営為の総体として芸術を学ぶ。それによって、豊かな人間性と教養を身につける。また、あらゆるジャンルの芸術(絵画、映像等)を深く理解する。 講義は前半が石原による芸術史、後半は志尾による映画芸術論となる(オムニバス形式)となる。				
到達目標		1. 視覚芸術の歴史を理解できる 2. 芸術を人間の営為の総体として理解できる。 3. 映像芸術を通して、映画の文化史的意義を理解できる。■ 4. 様々な文化を理解することで、グローバルな教養が身につく■				
使用教材		講義スライドの資料を配布する。				
参考文献		担当教員が逐次紹介する。				
評価方法		試験を実施する。(石原 50 点、志尾 50 点、計 100 点)				
課題・評価に対する フィードバック方法		提出された感想シートやレポートについて逐一コメントなどを提示する。				
オフィスアワー (研究室)		石原:月曜 3 限、金曜 2 限、 志尾:火曜日 2 限	メールアドレス (#→@)	石原:ishihara#takasaki-u.ac.jp 志尾:m-shio#takasaki-cc.jp		
1	講義内容	ガイダンス(石原・志尾)				
	該当到達目標	予習	シラバスの内容を理解し授業の目標を理解する			1.5 時間
	2	復習	授業内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法を確認する			1.5 時間
2	講義内容	芸術とは何かー芸術のイメージの調査ー				
	該当到達目標	予習	芸術における各自のイメージを箇条書きできるようにしておく			1.5 時間
	1,2,4	復習	配布したプリントをもとに芸術のジャンルを理解する			1.5 時間
3	講義内容	芸術史概説				
	該当到達目標	予習	芸術史の流れを体系的に理解しておく			1.5 時間
	1,2,4	復習	配布した資料を基に芸術史の歴史を理解する			1.5 時間
4	講義内容	宗教芸術とは何か				
	該当到達目標	予習	世界の主要な宗教の特色を理解する			1.5 時間
	1,2,4	復習	配布した資料を基にキリスト教の教義を理解する			1.5 時間
5	講義内容	キリスト教美術とシンボル				
	該当到達目標	予習	シンボルの本質について理解する			1.5 時間
	1,2,4	復習	キリスト教のシンボルの法則性を理解する			1.5 時間
6	講義内容	ルネサンス美術ー古典古代の芸術ー				
	該当到達目標	予習	配布したプリントをもとに遠近法とは何かを理解する			1.5 時間
	1,2,4	復習	遠近法と人間の「主体」への意識を考える			1.5 時間
7	講義内容	ルネサンス美術ー図像解釈学と美術ー				
	該当到達目標	予習	配布したプリントをもとにプラトンとアリストテレスの相違を理解する			1.5 時間

	1,2,4	復習	アイデア論の違いが視覚芸術にいかに関与するかを理解する	1.5 時間
8	講義内容	中間テスト		
	該当到達目標	予習	今まで学んだ内容を理解しておく	1.5 時間
	1,2,4	復習	試験内容を自分なりに再考する	1.5 時間
9	講義内容	メディア芸術とは何か 映画芸術の入り口に立つ■		
	該当到達目標	予習	メディア と称されるもののイメージを箇条書きできるようにしておく	1.5 時間
	2,3,4	復習	配布した資料をもとに映画の成り立ちを理解する	1.5 時間
10	講義内容	映画の誕生と変遷を辿る■		
	該当到達目標	予習	映画の仕組みを理解する	1.5 時間
	2,3,4	復習	配布した資料をもとに映画史を体系的に理解する	1.5 時間
11	講義内容	映画の表現方法について学ぶ■		
	該当到達目標	予習	様々な映像ジャンルを箇条書きできるようにしておく	1.5 時間
	2,3,4	復習	配布した資料をもとに表現方法の多様性を理解する	1.5 時間
12	講義内容	映画の構造を知る■		
	該当到達目標	予習	映画を組み立てているものの役割を理解する	1.5 時間
	2,3,4	復習	映画が総合芸術であるという本質を理解する	1.5 時間
13	講義内容	演習 1: 見えるもの 見えないもの 映画が伝えることを意識する■		
	該当到達目標	予習	映画を観てみる	1.5 時間
	2,3,4	復習	感想を自分なりの言葉にしてみる	1.5 時間
14	講義内容	演習 2: 演出とは何か■		
	該当到達目標	予習	課題のシナリオを読み、イメージを組み立ててみる	1.5 時間
	2,3,4	復習	映像表現の可能性と奥深さを楽しむ	1.5 時間
15	講義内容	総論: 映画は時代を映す鏡である 映画で世界を知る■		
	該当到達目標	予習	興味のある国について調べる	1.5 時間
	2,3,4	復習	映画が語る文化、時代性を考える	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■: 実務経験に基づく内容を示す。			

科目名		ボランティア・市民活動論(人間理解)			科目ナンバリング	LAH006				
英文名		Civil and Voluntary Activities			講義形態	講義				
担当教員		金井 敏								
科目に関連した実務経験		前職でボランティア・市民活動支援センターの運営支援に従事していました。また、様々なボランティア活動実践者と交流があります。 現在、大学ボランティア・市民活動支援センター(VSC)でセンター長として VSC を運営しています。								
学年・開講期		1 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位						
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応		10	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル					
			健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力					
			問題解決力							
SDGs との関連		①	③	④	⑤	⑧	⑩	⑪	⑯	⑰
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		ボランティア・市民活動は、手助けを求めている個人や団体に対して自主的に貢献する活動です。身近な地域や福祉、環境、情報、国際協力まで幅広く取り組まれ、今日の社会に不可欠な存在です。この講義では、具体的なボランティア・市民活動の考え方や実践方法を学び、学生が自ら実践する力を養成します。 毎回の授業は、ボランティアに関する映像視聴、テーマに基づく講義、ゲストスピーカー講義(7 回予定)、ディスカッション、振り返り、次週の予定、という流れで進めます。								
到達目標		1. ボランティア・市民活動の対象者のニーズを学び、ボランティア・市民活動の意義を説明できる。 ■ 2. ボランティア・市民活動の多様な実践例を学ぶことにより、活動の実際の展開を説明できる。■ 3. ボランティア・市民活動支援センターを活用して、自身の関心に即した活動に参加する。■ 4. 参加したボランティア・市民活動の実践を振り返り、成果や課題、次のチャレンジについて考察できる。■								
使用教材		各講義に即したオリジナル・レジュメや関係資料は授業にて配布します。テキストは使用しません。								
参考文献		その他、講義に必要な教材・資料は適宜プリントして配付します。								
評価方法		成績評価 ① 毎回の授業後に作成するリアクションペーパーによる評価(80%)。 ② ボランティア活動に参加して作成する実践レポートによる評価(20%)。評価方法は、ボランティア実践の回数や時間ではなく、ボランティア活動に参加することによる学びを評価します。 ③ 追再試は実施しません。								
		その他の評価 ① 授業開講数の 2/3 以上を出席することにより、成績の評価対象とします。 ② 忌引きや実習、就職活動などによる欠席は、届け出(要添付書類)を提出すれば出席扱いとします。なお、15 分以上の遅刻は欠席とみなします。 ③ ボランティア実践の時間(1 回当たり 4 時間×4 回＝16 時間相当)も本時の講義時間に含めます。								
課題・評価に対するフィードバック方法		質問や相談については C-Learning で適時回答するほか、必要に応じて授業時に学生全体にフィードバックする。								
オフィスアワー (研究室)		月曜日・水曜日の昼休み 質問はメールでも受け付けます。		メールアドレス (#→@)	kanai#takasaki-u.ac.jp					
1	講義内容	ボランティア・市民活動～新しい世界への誘い■ ボランティア・市民活動支援センター(VSC)の活用方法、授業の進め方を確認する。								
	該当到達目標	予習	シラバスの内容をよく読んで、現時点でのボランティアの理解を把握する。			1.5 時間				
	1,3	復習	講義内容、学位授与方針、成績評価方法、VSC 利用方法などを確認する。			1.5 時間				
2	講義内容	ボランティアの力を活かす仕組み～ボランティアセンターの役割■								
	該当到達目標	予習	自分の地元市町村のボランティアセンターの組織や活動内容を調べる。			1.5 時間				

	1,2,3,4	復習	ボランティアセンターの活用方法を理解する。	1.5 時間
3	講義内容	子どもの明日と子育てをサポートするボランティア活動■(ゲストスピーカーあり)		
	該当到達目標	予習	児童を対象としたボランティア活動を調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	児童を対象としたボランティアの意義や活動上の注意事項などを理解する。	1.5 時間
4	講義内容	人々はどのようにボランティアに取り組んできたか ～欧米と日本の歴史		
	該当到達目標	予習	世界の国々でボランティア活動がどのように取り組まれているか調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	欧米と日本のボランティア活動の歴史の違いや長所を理解する。	1.5 時間
5	講義内容	障害者スポーツ・レクリエーションをサポートするボランティア活動■(ゲストスピーカーあり)		
	該当到達目標	予習	障害者を対象としたスポーツやレクリエーションについて調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	障害者との接し方や支援の内容や方法を理解する。	1.5 時間
6	講義内容	被災地に届け、災害支援ボランティア活動■		
	該当到達目標	予習	我が国における災害ボランティア活動について調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	被災地におけるボランティア活動の内容や活動上の注意事項などを理解する。	1.5 時間
7	講義内容	ユニバーサルデザイン・バリアフリーとボランティア活動■(ゲストスピーカーあり)		
	該当到達目標	予習	バリアフリーに関わるボランティア活動を調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	バリアフリーをすすめるボランティア活動のあり方を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	身近な動物とボランティアの良い関係(ゲストスピーカーあり)		
	該当到達目標	予習	動物を対象としたボランティア活動について調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	動物に対するボランティア活動の実際や人間との共生について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	地域ささえあいのボランティア ～ふれあい・いきいきサロン～■		
	該当到達目標	予習	地域で取り組まれているふれあい・いきいきサロンについて調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	高齢者の介護予防や健康、子育て家庭を住民で支える活動について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	心と命をつなぐボランティア活動 ～いのちの電話の実践から考える■(ゲストスピーカーあり)		
	該当到達目標	予習	心の悩みや自殺予防に取り組むボランティア活動を調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	いのちの電話の役割と学生でもできる活動について考察する。	1.5 時間
11	講義内容	ボランティアとNPO ～学生でも創れるNPO 法人■		
	該当到達目標	予習	NPO 法人とは何かについて調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	NPO 法人の活動内容や設立の要件、ボランティアとの違いなどを理解する。	1.5 時間
12	講義内容	国際貢献・多文化共生とボランティア活動■(ゲストスピーカーあり)		
	該当到達目標	予習	海外で活躍するボランティア活動について調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	国際貢献や多文化共生のボランティア活動のあり方を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	行政に協力するボランティア ～民生委員・児童委員の活躍～■		
	該当到達目標	予習	行政に協力するボランティアについて調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	民生委員・児童委員の活動を理解し、自分の地域の民生委員を確認する。	1.5 時間
14	講義内容	分かちあう寄付の文化で花咲く貢献社会～赤い羽根共同募金■(ゲストスピーカーあり)		
	該当到達目標	予習	赤い羽根共同募金の概要や寄付の実際について調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	赤い羽根共同募金のあり方や寄付の文化とは何かを理解する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ～新しい支え合いと20年後の自分の生き方■		
	該当到達目標	予習	さまざまなボランティア活動を通じて理解した人々の生活のしづらさや今後の課題について考える。	1.5 時間
	1,3,4	復習	ボランティア活動の講義と実際の実践活動を踏まえて、ボランティア活動のあり方や自身の将来の役割について考察する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	● ボランティア実践は、もちろん強制ではありません。自分の興味や関心のある分野や活動に参加する契機として設定しています。大学生として様々な活動にチャレンジしましょう。授業の理解を深めるために現場で活躍するゲストスピーカーから実践を紹介してもらいます(7回予定)。 ● ボランティア・市民活動支援センター(VSC, 9号館1階)を活用してください。活動を始める前には必ず、ボランティア活動保険に加入すること。そのほかボランティアの相談に何でも応じます。			

VSC 直通 TEL:027-352-1108, VSC メールアドレス:vsc@takasaki-u.ac.jp

- シラバス中の■は実務経験に基づく授業内容を表しています。

科目名	人権論(人間理解)				科目ナンバリング	LAH007
英文名	Theory of Human Right				講義形態	講義
担当教員	金井 洋行					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応	10	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
SDGs との関連	3 4 5 8 10 16 17					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	人権の観念について、他の観念－人道、倫理、文化規範、宗教的信念、条理原則等－との比較を通して分析し、人間の本性(human nature)との関係を理解する。日本国憲法に規定する「国民の権利」の内容を知り、その効力にどのような制約や限界があるかについて認識する。身近な生活体験から感得した権利侵害や不条理の発生について、人権の観点から考察する姿勢を身につける。 講義内容はできうるかぎり予定通り進行させるが、期間内に国内的にあるいは国際的に大きな人権をめぐる事象があった場合には、その話題を飛び入りの割りに割り込ませることがある。					
到達目標	1. 人権について特にヨーロッパの歴史的発展を背景に人道等の他の価値観との比較で観念できる。 2. 人権の様々な観念から憲法の人権規定の適用関係を認識できる。 3. 個々の人権の性格を、内面的と外面的、精神的と経済的、消極的と積極的、等の区分で理解できる。 4. 人権の擁護がどのような考え方と仕組みによって行われるのかについて、憲法規定を通して認識できる。 5. 人権に関する主要な争点について裁判所、特に最高裁判所の考え方を整理できる。					
使用教材	テーマ別レジュメ、基礎知識資料(テキストに代替するプリント) *テーマによって DVD の視聴あり					
参考文献						
評価方法	・平常の授業に対する姿勢・課題提出(35%)、中間テスト(15%)、期末の定期試験(50%) ・中間テストは概ね 2 回の知識テスト。 定期試験は知識と思考力のテスト					
課題・評価に対するフィードバック方法	重要テーマについてのレポートに対してコメントを配布する(テーマについては適宜指示)					
オフィスアワー(研究室)	出講日の放課後等において、質問及び学習相談を受ける。		メールアドレス(#→@)		連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	人権の観念と内容				
	該当到達目標	予習	日本国憲法における基本的人権の項目の資料等による再チェック			2 時間
	1	復習	予備知識アンケート			0.5 時間
2	講義内容	人権の享有主体と人権規定の適用関係				
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み			1 時間
	1,2	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集			1.5 時間
3	講義内容	人権の制約と限界				
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み			1 時間
	1,2,4	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集			1.5 時間

4	講義内容	幸福追求権の意義と具体化			
	該当到達目標 1,2,4	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間	
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間	
5	講義内容	法の下での平等－平等権と平等原則－			
	該当到達目標 1,2,5	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間	
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間	
6	講義内容	人間の内心の価値と保護			
	該当到達目標 1,3,5	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間	
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間	
7	講義内容	自由と自由主義			
	該当到達目標 1,3,5	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間	
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間	
8	講義内容	表現の自由とその抑制			
	該当到達目標 3,4,5	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間	
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間	
9	講義内容	経済活動の自由と財産権			
	該当到達目標 3,5	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間	
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間	
10	講義内容	人身の自由と刑事手続の保障			
	該当到達目標 3,4,5	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間	
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間	
11	講義内容	政治活動の自由と参政権			
	該当到達目標 3,5	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間	
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間	
12	講義内容	生存権の意義と福祉国家の諸権利			
	該当到達目標 3,4,5	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間	
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間	
13	講義内容	教育を受ける権利と学習権			
	該当到達目標 3,5	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間	
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間	
14	講義内容	人権の国際化			
	該当到達目標 3,5	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間	
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間	
15	講義内容	人権の現状と今後の課題			
	該当到達目標 1,4	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間	
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間	
合計時間(予習・復習)					37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 当日に即答できない質問や要望については次回に文書をもって応答することを原則とする。 日常の身の回りに起こる権利侵害や条理違反に目を向け、人権擁護の観点から自分なりに考えておくことを期待する。				

科目名		人間関係論(人間理解)				科目ナンバリング	LAH008
英文名		Theory of Human Relations				講義形態	講義
担当教員		富田 純喜					
科目に関連した実務経験							
学年・開講期		1 年 後期	選必・単位数	選択	2 単位		
関連資格		免許・資格指定科目: なし					
学位授与方針との対応		10	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
			問題解決力				
SDGs との関連							
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		人間関係論といえば、ホーソン実験を基盤として体系化された理論を指すことが多い。また、社会科学における研究アプローチを指すこともある。本講義では、広く生活上の諸現象を人と人との関係から理解することを目的とする。 授業は主に講義形式で進めるが、ワークやグループディスカッションを随時取り入れる。なお、授業内で扱える内容は限られているため、紹介する参考文献などを使って理解を深めること。					
到達目標		1.人間関係論の基礎的内容を理解している。 2.人間関係を多角的な視点から説明できる。 3.人間関係の構築に関する基礎的なアプローチを説明できる。					
使用教材		菅野仁(2008)『友だち幻想—人と人のくつながり—を考える—(ちくまプリマー新書)』筑摩書房					
参考文献							
評価方法		試験(70%)、授業内課題・参画度(30%)					
課題・評価に対するフィードバック方法		試験前後に出題の意図等を説明する。					
オフィスアワー (研究室)		水曜 5 限、木曜 5 限(8 号館 406)			メールアドレス (#→@)	tomita-t#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンス					
	該当到達目標	予習	各回の授業内容を確認し、人間関係について考えてみる。				1.5 時間
	1	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。				1.5 時間
2	講義内容	ホーソン実験と人間関係論					
	該当到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。				1.5 時間
	1	復習	人間関係論の成り立ちについて理解する。				1.5 時間
3	講義内容	「友人重視指向」の日本の高校生(はじめに)					
	該当到達目標	予習	テキストの該当ページを読み、言葉の意味等を調べておく。				1.5 時間
	2,3	復習	授業内容を踏まえ、テキストを読み直し、理解を深める。				1.5 時間
4	講義内容	人は一人では生きられない?(第一章)					
	該当到達目標	予習	テキストの該当ページを読み、言葉の意味等を調べておく。				1.5 時間
	2,3	復習	授業内容を踏まえ、テキストを読み直し、理解を深める。				1.5 時間
5	講義内容	幸せも苦しみも他者がもたらす(第二章)①前半					
	該当到達目標	予習	テキストの該当ページ(p.27-37)を読み、言葉の意味等を調べておく。				1.5 時間
	2,3	復習	授業内容を踏まえ、テキストを読み直し、理解を深める。				1.5 時間
6	講義内容	幸せも苦しみの他者がもたらす(第二章)②後半					
	該当到達目標	予習	テキストの該当ページ(p.37-46)を読み、言葉の意味等を調べておく。				1.5 時間
	2,3	復習	授業内容を踏まえ、テキストを読み直し、理解を深める。				1.5 時間
7	講義内容	共同性の幻想——なぜ「友だち」のことで悩みは尽きないのか(第三章)①前半					
	該当到達目標	予習	テキストの該当ページ(p.47-58)を読み、言葉の意味等を調べておく。				1.5 時間
	2,3	復習	授業内容を踏まえ、テキストを読み直し、理解を深める。				1.5 時間

8	講義内容	共同性の幻想——なぜ「友だち」のことで悩みは尽きないのか(第三章)②後半		
	該当到達目標	予習	テキストの該当ページ(p.58-79)を読み、言葉の意味等を調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	授業内容を踏まえ、テキストを読み直し、理解を深める。	1.5 時間
9	講義内容	「ルール関係」と「フィーリング共有関係」(第四章)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当ページを読み、言葉の意味等を調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	授業内容を踏まえ、テキストを読み直し、理解を深める。	1.5 時間
10	講義内容	熱心さゆえの教育幻想(第五章)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当ページを読み、言葉の意味等を調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	授業内容を踏まえ、テキストを読み直し、理解を深める。	1.5 時間
11	講義内容	家族との関係と、大人になること(第六章)①前半		
	該当到達目標	予習	テキストの該当ページ(p.106-113)を読み、言葉の意味等を調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	授業内容を踏まえ、テキストを読み直し、理解を深める。	1.5 時間
12	講義内容	家族との関係と、大人になること(第六章)②後半		
	該当到達目標	予習	テキストの該当ページ(p.113-120)を読み、言葉の意味等を調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	授業内容を踏まえ、テキストを読み直し、理解を深める。	1.5 時間
13	講義内容	「傷つきやすい私」と友だち幻想(第七章)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当ページを読み、言葉の意味等を調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	授業内容を踏まえ、テキストを読み直し、理解を深める。	1.5 時間
14	講義内容	言葉によって自分を作り変える(第八章)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当ページを読み、言葉の意味等を調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	授業内容を踏まえ、テキストを読み直し、理解を深める。	1.5 時間
15	講義内容	現代社会における人間関係		
	該当到達目標	予習	これまでの講義内容を振り返る。	1.5 時間
	2,3	復習	現代社会における人間関係について自身の考えをまとめる。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	オンライン授業の場合は、オンデマンド型で実施する。資料の配布や課題の提出には C-learning を用いる。			

科目名	ジェンダー論(人間理解)				科目ナンバリング	LAH009
英文名	Gender Theory				講義形態	講義
担当教員	前田 由美子					
科目に関連した実務経験	女性相談の非常勤相談員として行政機関に勤務(経験)					
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応	10	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
SDGs との関連	5810					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	人間の性とはどういう意味をもつのか。それによって形成されている秩序と、それゆえに起こるさまざまな葛藤を真摯にみつめ、性を制度設計に組み込む社会の問題を解き明かす。その上で、それらをどのように解決して行ったら良いのかを深く思索する。そうすることによってより豊かで包容力のある社会を創造する力を備え、行動する人になり、新しい自分や社会を発見することになるであろう。レジュメに基づき解説を行う。時にグループワークも行い、課題について考察を深める。 集中講義なので、日ごとに短いレポートを作成提出してもらう。仕事の選択、恋愛、卒業後の人生設計において、この授業で学ぶ知識は大きな影響をもたらすはずである。自身のために、社会を創るために是非学んでほしい。					
到達目標	1. 自分自身の内部にある「性」のとらえ方を見つめ直す。■ 2. 内面化している固定的な性のイメージや制度に対する固定観念に気づく。■ 3. 他者や社会への豊かなまなざしを持てる。■ 4. 豊かな社会創造への力を身につける。■					
使用教材	教科書:『ジェンダー論をつかむ』中西祐子、千田有紀、青山薫著、有斐閣。他に文献資料等を随時配布する。必要に応じてメディア教材を使用する。					
参考文献						
評価方法	レポートで 100%評価する(計 4 回)。総合評価 60%以上で合格とする。					
課題・評価に対するフィードバック方法	レポートごとに問題出題意図を解説する。					
オフィスアワー (研究室)	質問等は、授業中もしくは終了後に応じ解説する。		メールアドレス (#→@)		連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	講義全体の説明				
	該当到達目標	予習	性別についての自分の考え方を見つめておく。			1.5 時間
		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価法などを確認する。			1.5 時間
2	講義内容	ジェンダーと言う概念				
	該当到達目標	予習	文献資料に目を通す。			1.5 時間
		1	復習	ジェンダー概念について理解する。		
3	講義内容	生き物としての性とその多様性■				
	該当到達目標	予習	文献資料を読んでおく。			1.5 時間
		1,2	復習	性の多様性を理解する。		
4	講義内容	セクシュアリティ・性的指向■				
	該当到達目標	予習	文献資料を読んでおく。			1.5 時間
		1,2,3	復習	セクシュアリティの多様性について理解する。		
5	講義内容	性役割と性規範■				
	該当到達目標	予習	文献資料を読んでおく。			1.5 時間

	1,2	復習	身の回りの性役割や性規範について気づく。	1.5 時間
6	講義内容	ジェンダー・アイデンティティ■		
	該当到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	ジェンダー・アイデンティティについて理解する。	1.5 時間
7	講義内容	性別と経済		
	該当到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	経済と性別のつながりを理解する。	1.5 時間
8	講義内容	女性とこども■		
	該当到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	女性と子どものつながりへの偏重を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	男性と子ども		
	該当到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	男性と子どものつながりの困難を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	労働と性別■		
	該当到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	労働と性別のつながりの問題を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	労働と性別とそれぞれの暮らし		
	該当到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	ワーク・ライフ・バランスを理解し、問題解決法を考える。	1.5 時間
12	講義内容	男性のかかえる問題■		
	該当到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	男性をとりまく問題を理解し、女性の問題との関連を考える。	1.5 時間
13	講義内容	セクシュアル・ハラスメント■		
	該当到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	問題の本質を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	ドメスティック・バイオレンス■		
	該当到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	社会問題として理解する。	1.5 時間
15	講義内容	性別と社会の問題		
	該当到達目標	予習	全ての文献のつながりを理解する。	1.5 時間
	3,4	復習	問題の確認と解決法を考える。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	予め配布される資料を読み込み、授業での理解を深めるよう努力すること。国際社会の大きな動きと関連させて、自分の身を置く社会のあり様を考える。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	共生の倫理(人間理解)				科目 ナンバリング	LAH010
英文名	Ethics of Symbiosis				講義形態	講義
担当教員	大石 桂子					
科目に関連した 実務経験						
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする 資格						
学位授与方針 との対応	4	豊かな人間性と幅広い教養		2	コミュニケーションスキル	
	1	健康・医療および情報に関する知識・技能		2	生涯学習力	
	1	問題解決力				
SDGs との関連	① ② ③ ④ ⑤ ⑦ ⑧ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑯ ⑰					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	現代では多様な価値観・文化をもつ人々が、性別や年齢、職業や病気・障がいの有無などを超えて「共生」することが求められている。誰もがもちやすい偏見や排除をのりこえ、共生を実現するためのどのような取り組みができるか。多くの事例から基礎的な理論と方法の知識を習得し、今後の生活に生かす基盤を培うことを目標にする。 授業ではパワーポイントを用いる。定期的に資料分析、考察する機会を設ける。					
到達目標	1. 現代社会での共生の意義について理解し、説明できる。 2. 共生の歴史について理解し、説明できる。 3. 共生を支える社会学、倫理学、心理学また教育的・臨床的なアプローチを理解し、説明できる。 4. 共生の具体的なあり方や事例について理解し、説明できる。 5. 各テーマについて自分の考えをもつことができる。					
使用教材	講義中にプリントを配布する。					
参考文献	講義中に指示する。					
評価方法	定期試験(60%)、講義中に作成する課題(40%)に、参加態度を加えて総合的に評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。					
課題・評価に対する フィードバック方法	提出課題の内容にコメントを添えて、講義中に紹介する。					
オフィスアワー (研究室)	月曜日の 3 時限、金曜日の 2 時限。 (1 号館 6 階 601)		メールアドレス (#→@)		oishi#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンス				
	該当到達目標	予習	シラバスの内容に目を通し、到達目標などを確認する。			1 時間
	1	復習	講義の目的や学ぶ意義を理解する。			1.5 時間
2	講義内容	ノーマライゼーションから当事者主権へ				
	該当到達目標	予習	ノーマライゼーションの定義を調べる。			1 時間
	1,2	復習	障害者の権利をめぐる歴史を理解する。			1.5 時間
3	講義内容	障害者権利条約と意思決定支援				
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。			1 時間
	1,3,5	復習	各国での意思決定支援の制度・取り組みを理解し、課題を作成する。			1.5 時間
4	講義内容	ユニバーサルデザイン				
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。			1 時間
	1,3,5	復習	ユニバーサルデザインの意義を理解し、身近な実例を考える。			1.5 時間
5	講義内容	優生思想				
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。			1 時間

	2,5	復習	20世紀初頭～現在の優生思想について、問題点を理解する。	1.5 時間
6	講義内容	援助行為の動機とは		
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,4,5	復習	人がなぜ他者を援助できるのか、様々な理論を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	偏見といかに向き合うか		
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,4,5	復習	偏見が生じるメカニズムを理解し、その解消に向けた取り組みについて考える。	1.5 時間
8	講義内容	認知症介護・ケアへの取り組み①社会制度の側面から		
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	1,3	復習	認知症介護をめぐる現代の課題を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	認知症介護・ケアへの取り組み②身体拘束を減らすために		
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,4,5	復習	拘束を減らす手法、コミュニケーション改善の取り組みを理解し、考察する	1.5 時間
10	講義内容	いじめ問題にどう取り組むか①いじめが発生するメカニズム		
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,5	復習	国内でのいじめの状況、発生メカニズムを理解する。	1.5 時間
11	講義内容	いじめ問題にどう取り組むか②いじめへの対応策		
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,4,5	復習	国内外でのいじめ予防・対応の実践例を理解し、有効な手段を考察する。	1.5 時間
12	講義内容	環境問題と世代間倫理①ヨナスの世代間倫理		
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,4,5	復習	現在世代が未来世代への責任をどのようにもつか、理解できる。	1.5 時間
13	講義内容	環境問題と世代間倫理②環境問題をめぐる論争		
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	1,2,3,5	復習	環境問題についての議論を理解し、みずからの考えをもつ。	1.5 時間
14	講義内容	社会のレジリエンスを高める		
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,4,5	復習	災害復興支援、暴力犯罪の低減などの事例をもとに、有効な手段を考察する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ・共生社会へ向けて		
	該当到達目標	予習	これまでのノート・資料に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	共生の意義、方法について理解し、自分の考えをまとめる。	2 時間
合計時間(予習・復習)				38 時間
備考	予習・復習については試験前の学習で補完してください。 *オンライン授業となった場合は、C-Learning 上で講義資料(PDF ファイル等)を閲覧し、課題を提出する形式になります。			

科目名	チーム医療アプローチ論(人間理解)			科目ナンバリング	LAH011
英文名	Team Approach to Health Care			講義形態	講義
担当教員	土井信幸、大川喜代美、加藤大輔、竹内真理、梅原里実、渡邊秀臣、篠原智行、小竹利夫				
科目に関連した実務経験	土井(薬学): 薬剤師として主に薬局で勤務(経験) 大川(情報): 診療報管理士として診療情報管理業務および医事課に勤務(経験) 加藤(福祉): 医療ソーシャルワーカーとしてケアミックス病院に勤務(経験) 竹内(栄養): 管理栄養士として国立病院機構に勤務(経験)。健大附属クリニック管理栄養士兼務。 梅原(看護): 看護師として病院に勤務、病棟・外来・地域医療連携室の管理業務(経験) 渡邊(理学): 整形外科医として医療機関に勤務(非常勤) 篠原(理学): 急性期、回復期病院に勤務経験あり。現在は生活期病院に非常勤勤務 小竹(子ども): 障害児母子通所支援施設に勤務(経験)				
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	選択	1 単位	
履修を必須とする資格					
学位授与方針との対応	5	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
		問題解決力			
SDGs との関連	② ③ ④		⑪	⑯	
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	福祉・医療系の専門職育成を担う大学として、チーム医療を推進する上で各学科の学生が各専門職の役割・活動を理解する。 各講義ではテーマについて概要を説明する。授業はパワーポイントにより要点を提示する。				
到達目標	1. チーム医療を促進するための福祉・医療系専門職の協働の必要性について理解できる。■ 2. 各専門職の役割と活動について理解できる。■ 3. チーム医療における専門職の連携を促進するための課題について考察できる。■				
使用教材	講義のスライドを随時プリントして配布する。				
参考文献					
評価方法	授業参加への積極性 40%、レポート 60%				
課題・評価に対するフィードバック方法	・他学科の学生が参加していることから講義中に双方向型講義を行い、学生の考えや意見を導入しながら講義を展開する。 ・課題レポートを読んで感じた点や補足すべき点について文章化し、次回の授業時に受講生に配布する。				
オフィスアワー (研究室)	土井(薬学) 12:00-13:00(7 号館 319 研究室) 大川(情報) 木曜 3 限(1 号館 609 研究室) 加藤(福祉) 木曜 2 限(1 号館 5 階研究室) 竹内(栄養) 金曜 3 限(1 号館 308 研究室) 梅原(看護) 金曜 1~2 限(4 号館 506 研究室) 渡邊(理学) 金曜 3 限(4 号館 2 階学部長室) 篠原(理学) 水曜 3 限(3 号館 206 研究室) 小竹(子ども) 水曜 3 時限(8 号館 403 研究室)	メールアドレス (#→@)	土井(薬学) doi-n#takasaki-u.ac.jp 大川(情報) okawa-ki#takasaki-u.ac.jp 加藤(福祉) kato-d#takasaki-u.ac.jp 竹内(栄養) mtakeuchi#takasaki-u.ac.jp 梅原(看護) umehara#takasaki-u.ac.jp 篠原(理学) shinohara-t#takasaki-u.ac.jp 小竹(子ども) kotake#takasaki-u.ac.jp ※メールでの質問可の教員のみ掲載		
1	講義内容	チーム医療を促進するための福祉・医療系専門職の協働の必要性について■			
	該当到達目標	予習	チーム医療とはどのようなものなのか、学習する。		1.5 時間

	1	復習	21世紀の医療では、なぜ多職種協働のチーム医療が必須であるか理解する。	1.5 時間
2	講義内容	チーム医療における看護師の役割と活動■		
	該当到達目標	予習	チーム医療に関連する書籍、雑誌等を読んでおく	1.5 時間
	1,2,3	復習	看護師の役割・活動、チーム医療における看護職の役割について講義内容から復習しておく。	1.5 時間
3	講義内容	チーム医療における理学療法士の役割と活動■		
	該当到達目標	予習	理学療法士の一般的な役割について調べる	1.5 時間
	1,2,3	復習	チームにおけるリハビリテーションの位置づけを復習し、チーム医療に求められる個人の資質について考察する。	1.5 時間
4	講義内容	チーム医療における薬剤師の役割と活動■		
	該当到達目標	予習	チーム医療(病院・薬局)における薬剤師の役割と活動についてインターネット等の電子媒体を用いて調査する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	医薬品が患者や社会に与える影響(メリットとデメリット)を考え、その上でチーム医療を行うことの有益性についてレポートにまとめる。	1.5 時間
5	講義内容	チーム医療における管理栄養士の役割と活動■		
	該当到達目標	予習	今までに学習した1～4のコメディカルの役割と活動について復習し、一般的な管理栄養士の役割と活動について各自で調査する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	管理栄養士と他のコメディカルとの関わりについて理解し、それぞれの立場においてチーム医療で求められる役割・活動と、多職種連携について考察する	1.5 時間
6	講義内容	チーム医療における社会福祉士の役割と活動■		
	該当到達目標	予習	①高齢化社会の現状を調べる ②地域における医療・介護・福祉の連携、地域包括ケアシステムの進展を調べる。 ③医療ソーシャルワーカーについて調べる。	1.5 時間
	1,2,3	復習	地域での自立生活に必要となる、チーム医療における社会福祉士の役割を考察する。	1.5 時間
7	講義内容	チーム医療における特別支援学校教諭の役割と活動■		
	該当到達目標	予習	乳幼児期・学齢期に罹患しやすい病気の概要や主要な障害について予習をすること。	1.5 時間
	1,2,3	復習	保育士・幼稚園教諭・小学校教諭・特別支援学校教諭と各種医療職との連携のあり方について復習をすること。	1.5 時間
8	講義内容	チーム医療における診療情報士の役割と活動■		
	該当到達目標	予習	診療情報管理士と病院事務職について調べてみる。	1.5 時間
	1,2,3	復習	診療情報管理士と病院事務職について得た知識を整理する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				24 時間
備考	【キーワード】 専門職、チーム医療、チームアプローチ 「チーム医療アプローチ演習」(3または4年次開講)履修には、原則として本科目の単位修得が必要となる。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名		国際医療事情(人間理解)				科目ナンバリング	LAH012
英文名		International Healthcare				講義形態	講義
担当教員		クリストファー・ターン、町田 修三					
科目に関連した実務経験							
学年・開講期		1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格							
学位授与方針との対応		4	豊かな人間性と幅広い教養		2	コミュニケーションスキル	
		3	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		1	問題解決力				
SDGs との関連		③ ④ ⑩ ⑰					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		学生の国際化促進とグローバル人材の養成を目的として設置された科目である。特に本学学生は医療系を専攻する者が多いため、海外の医療に関する様々な事項を経験的に学ぶことに重点を置いている。具体的な内容としては、海外諸国の健康・医療教育、健康・医療の実態、医療制度、病医院や医師・コメディカル等の供給体制、病医院や医療施設の世界比較等について学ぶ。国際化を促進するため、学生には英語で日本の文化や医療の説明をしたり、医療に関する基礎的なディスカッションをしたりすることを取り入れる。また本講義では、学生が実際に海外に赴き実体験として国際医療事情を見聞することを強く推奨する。 海外研修に参加して、実際に海外の医療現場を経験することを強く勧める。その際、どのような視点を持ってリサーチするかを示唆と、見聞したことの要約法・分析法を教授する。リサーチ原稿の作成と発表までをもって1クールとする。					
到達目標		1. 諸外国の医療教育を理解し、日本との違いを説明できる 2. 諸外国の医療の実態を理解し、日本との違いを説明できる 3. 諸外国の医療制度を理解し、日本との違いを説明できる 4. 諸外国の病医院について学び、日本との違いを説明できる 5. 日本の医療教育や医療事情について、英語で解説ができる					
使用教材		特に指定はない。各自自分のリサーチ目的に沿った文献、教材を探すこと					
参考文献							
評価方法		最終レポート(50%)、提出物(20%)、発表、討論など授業参加度(30%) 海外研修参加者は、事前・事後研修および発表のパフォーマンス(30%)、研修レポート(30%)、研修中のパフォーマンス(40%)					
課題・評価に対するフィードバック方法		レポートや提出物については、コメントを付して返却する。発表や討論等のパフォーマンスについては、その都度コメントやアドバイスを伝える					
オフィスアワー(研究室)		月曜日 4 限目、金曜日 2 限目 研究室:1 号館 6 階 603		メールアドレス (#→@)		machida#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	イントロダクション					
	該当到達目標	予習	シラバスを熟読し、講義の概要や目標を理解しておく				1 時間
		復習	自分の興味のある国の医療事情リサーチを開始する				1.5 時間
2	講義内容	医療の国際化とは					
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく				1 時間
		復習	講義内容の復習、特に世界で進行中の医療の国際化についてしっかりと理解				1.5 時間

			する	
3	講義内容	日本の医療教育、医療制度、医療事情（一部 AL 実施）		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
4	講義内容	日本の医療教育、医療制度、医療事情を英語で説明してみよう		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	5	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
5	講義内容	先進国（アメリカ、イギリス、ドイツ）の医療教育		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
6	講義内容	先進国の医療事情Ⅰ（一部 AL 実施）		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
7	講義内容	先進国の医療事情Ⅱ（一部 AL 実施）		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
8	講義内容	先進国の病院		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
9	講義内容	その他の先進国（北欧、カナダ、オーストラリアなど）の医療事情Ⅰ（一部 AL 実施）		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
10	講義内容	その他の先進国の医療事情Ⅱ（一部 AL 実施）		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
11	講義内容	中進国（台湾、シンガポール、中国など）、途上国（ベトナム、インドネシア、タイなど）の医療教育		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
12	講義内容	中進国、途上国の医療事情Ⅰ（一部 AL 実施）		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情発表準備	1.5 時間
13	講義内容	中進国、途上国の医療事情Ⅱ（一部 AL 実施）		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情発表準備	1.5 時間
14	講義内容	学生プレゼンテーション		
	該当到達目標	予習	発表原稿とプレゼンテーションの準備	3 時間
	1,2,3,4,5	復習	学生プレゼンテーションの復習とコメント記入	1.5 時間
15	講義内容	学生プレゼンテーションとまとめ		
	該当到達目標	予習	発表原稿とプレゼンテーションの準備	3 時間
	1,2,3,4,5	復習	学生プレゼンテーションの復習とコメント記入	1.5 時間
合計時間（予習・復習）				41.5 時間

備考	AL(アクティブラーニング)は、ペアワーク、グループワーク、ディスカッション、クローズドクエスチョン、オープンクエスチョンなど。 記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。

科目名	Introduction to Healthcare Sciences(人間理解)				科目ナンバリング	LAH013
英文名	Introduction to Healthcare Sciences				講義形態	講義
担当教員	町田 修三、小澤 滯司、東福寺 幾夫、松尾 仁司、クリストファー・ターン、應本 真、今井 純、大石 時子、富田 陽介					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応	2	豊かな人間性と幅広い教養		2	コミュニケーションスキル	
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能		1	生涯学習力	
		問題解決力				
SDGs との関連	③ ④					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	学生の国際化推進とグローバル人材の育成を目的に設置された講義科目であり、授業は原則英語で行う。日本では医療分野の国際化はまだ遅れているが、世界的には急速に拡大しつつある。本講義では、国際的な医療人養成のため、世界共通語である英語を用いて、医療に関する基礎的な事項を易しく解説していく。複数の教員がオムニバス形式で担当するが、学生の理解度を確認しながら平易な英語で解説するので、受講に際して特に高度な英語力は要求しない。英語による授業を学生がしっかりと理解し、医療コミュニケーション能力を高めることで、医療教育の国際化を先取りするような講義へと発展させることを目指す。 数人の教員がオムニバス形式で英語にて、学生の理解度を確認しながら講義を展開する。英語を使用する授業であるので、予習用に授業で用いる教材・資料・データ等をあらかじめ配布する。授業にはこれらの資料を十分に下調べしたうえで臨むことが特に重要である。					
到達目標	1. 医療に関する基礎的な内容に関して、英語での説明を理解できる 2. 理解した内容について、第三者に説明できる 3. 医療に関するトピックに関して、英語での基礎的なプレゼンテーションやディスカッションができる 4. 医療に関するトピックについて、外国の学生と話をすることができる					
使用教材	各教員が作成した資料やデータを用いて講義する					
参考文献						
評価方法	担当各教員による評価を総合して決定する。各教員は、毎回の授業参加度(20%程度)や講義終了時に課す提出物または小レポート(80%程度)により、それぞれの持ち点に応じて学生を評価する					
課題・評価に対するフィードバック方法	提出物や小レポートには、コメントを付して返却する					
オフィスアワー (研究室)	月曜日 4 限目、金曜日 2 限目 研究室:1 号館 6 階 603		メールアドレス (#→@)		machida#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	Introduction of the course (町田)				
	該当到達目標	予習	シラバスを熟読し、講義の概要や目標を理解しておく			1 時間
	1	復習	講義内容の復習、特に専門用語(英語)を覚える			1 時間
2	講義内容	Medical globalization and Japan's healthcare system (町田)				
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通す。特に専門用語(英語)を予習しておく、授業に参加する準備をしておく			1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解			1.5 時間

3	講義内容	Healthcare system of foreign countries (町田)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく き, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
4	講義内容	Introduction of nursing education in Japan and other countries (大石)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく き, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
5	講義内容	Introduction to telemedicine (東福寺)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく き, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
6	講義内容	Using Medline Plus to obtain medical information in English I (小澤)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく き, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
7	講義内容	Using Medline Plus to obtain medical information in English II (小澤)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく き, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
8	講義内容	Immunity and diseases I (今井)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく き, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
9	講義内容	Immunity and diseases II (今井)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく き, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
10	講義内容	Medical information system (松尾)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく き, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
11	講義内容	Introduction to sensory science (應本)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく き, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
12	講義内容	The integration of Biomechanics and Neuroscience to optimize rehabilitation I (富田)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく き, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
13	講義内容	The integration of Biomechanics and Neuroscience to optimize rehabilitation II (富田)		

	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料，データに目を通す．特に専門用語(英語)を予習しておく き，授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
14	講義内容	Mental health and social skills (ターン)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料，データに目を通す．特に専門用語(英語)を予習しておく き，授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
15	講義内容	Summary and concluding remarks (ターン)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料，データに目を通す．特に専門用語(英語)を予習しておく き，授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				44 時間
備考	講義内容は学生の興味を持つような分野から、基礎的なものを選んでいる。学生の積極的な授業参加が求められる。 記載した予習・復習時間に加え、自主的な学修により医療の国際化に関する理解を深め、単位修得に必要な時間を各自確保すること。			

科目名	囲碁の世界(人間理解)				科目 ナンバリング	LAH014
英文名	Introduction to Igo				講義形態	講義
担当教員	三谷 哲也					
科目に関連した 実務経験	2002 年に公益財団法人日本棋院に入段、囲碁教室や他大学の囲碁授業の講師（経験）					
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする 資格						
学位授与方針 との対応	2	豊かな人間性と幅広い教養		5	コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
	3	問題解決力				
SDGs との関連						
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 講義の目標 近年、囲碁は脳を活性化し考える力を養うということで注目されている。囲碁を学ぶことで「考える力」と「集中力」を磨き、「先を読む力」を身につける。 また、日本の伝統文化である囲碁を体得することで、言葉と世代を超えたコミュニケーション力を身につけ、国際交流のコミュニケーション力を高める。 ② 実施方法 ・ 毎回の授業では、基本的に講義形式で打ち方の解説をした後、受講生同士で対局を行う。 ・ 決め打ち碁(模範的な碁を並べ、途中から打つ)で布石の考え方を身につけ、初心者でもすぐに終局まで打てるようにする。 ・ 囲碁の心得、法則「まわりに来たらごあいさつ」等、言葉で表したものを積極的に使い上達を図る。					
到達目標	1. 囲碁を全く知らない状態から囲碁の世界を知り、19 路盤で最後まで打てるようになる。■ 2. 「囲碁の心得、法則」の形を言葉で覚え、積極的に使い囲碁の考え方を身につける。■					
使用教材	光文社新書「東大教養囲碁講座」(備考欄を要確認)					
参考文献						
評価方法	毎回の授業貢献度、技術の習熟度を総合的に判断する(60%) 試験(20%)×2 回					
課題・評価に対する フィードバック方法	試験後に解説を行う。					
オフィスアワー (研究室)	質問及び学習相談は授業の前後に応じる。状況により次回の授業での対応となる場合がある。			メールアドレス (#→@)	連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	囲碁の歴史と基本ルール■				
	該当到達目標	予習	教科書 第 1 章 1～3 に目を通し講義の目的を理解する。			1.5 時間
	1,2	復習	囲碁の基本的なルールを理解する。			1.5 時間
2	講義内容	ルールの復習(1)■				
	該当到達目標	予習	教科書 第 2 章 1-1～1-3 に目を通し基本ルールを確認する。			1.5 時間
	1,2	復習	囲碁の 5 つの基本ルールを理解する。			1.5 時間
3	講義内容	ルールの復習(2)■				
	該当到達目標	予習	教科書 第 2 章 1-4～1-5 に目を通し基本ルールを確認する。			1.5 時間
	1,2	復習	打てない場所、打てる場所を理解する。			1.5 時間
4	講義内容	ルールの復習及び初歩技術(1)■				
	該当到達目標	予習	教科書 P97 に目を通し、囲碁の打ち方のポイントを確認する。			1.5 時間
	1,2	復習	基本的な 3 つの心得を理解する。			1.5 時間
5	講義内容	ルールの復習及び初歩技術(2)■				

	該当到達目標 1,2	予習	教科書 第3章2に目を通し、石の取り方を確認する。	1.5 時間
		復習	取れている石、シチョウを理解する。	1.5 時間
6	講義内容	問題演習■		
	該当到達目標	予習	教科書 第2章1～2に目を通し基本的な考え方を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	地の数え方、石のつながりを理解する。	1.5 時間
7	講義内容	技術の解説(1)■		
	該当到達目標	予習	教科書 P188～199に目を通し終盤の考え方を確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	19路盤の終盤の考え方を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	技術の解説(2)■		
	該当到達目標	予習	教科書 P173～188に目を通し中盤の考え方を確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	19路盤の中盤の考え方を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	技術の解説(3)■		
	該当到達目標	予習	教科書 P158～172に目を通し序盤の考え方を確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	19路盤の序盤の考え方を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	9子局の解説・連碁(対局)■		
	該当到達目標	予習	教科書 第5章1に目を通し9子局の打ち方を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	9子局の打ち方を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	技術の解説(4)■		
	該当到達目標	予習	教科書 P207～220に目を通し決め打ち碁のポイントを理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	隅の死活を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	技術の解説(5)とペア碁■		
	該当到達目標	予習	教科書 第4章に目を通し、19路盤の考え方を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	19路盤の中盤の打ち方を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	問題演習■		
	該当到達目標	予習	教科書 第2章4に目を通し、石の追い方を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	石の取り方、死活、終局の仕方を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	技術の解説(6)■		
	該当到達目標	予習	教科書 P259～267に目を通し、総合的な石の取り方を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	19路盤の序盤～中盤の打ち方を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	イベント対局とまとめ■		
	該当到達目標	予習	教科書 第4章～5章に目を通し、これまで習ってきたことを確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	インターネットやスマートフォンで対局する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	●履修条件 - 本講義は、囲碁を知らない状態から19路盤で最後まで打てるようになることが目標です。囲碁の未経験者や囲碁のルールを知らない者を強く求めます。 ●その他、授業に関する事項 - 使用教材(教科書)は、授業形態(オンラインや録画配信)への変更により使用しない場合があります。 - 授業では毎回対局を行います。道具の準備や片づけも授業の一環であるため、積極的に関わること。 - 第5回目の授業までは基本的なルールを学び復習します。欠席や遅刻などしないこと。 - PCや携帯端末で囲碁の対局ソフト(アプリ)を指示、使用する場合があります。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	英語 IA(リテラシー)				科目 ナンバリング	LAL001
英文名	English IA				講義形態	講義
担当教員	Angela Karsten					
科目に関連した 実務経験	30 years of experience as English language educator. Has taught from kindergarten to university students, and in the private and public sectors. 30 年間の教職歴(幼稚園児から大学生まで)					
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	必修 1 単位			
履修を必須とする 資格						
学位授与方針 との対応	6	豊かな人間性と幅広い教養		4	コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
SDGs との関連						
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	Overview of Course Content: (Topics to be presented and discussed in class. Target English sentences related to each topic will be practiced, while enhancing vocabulary, grammar and communication skills) Weeks 1~4 ● TALKING ABOUT MYSELF 1 自己紹介 (Introduction). COURSE GUIDANCE DAY. コースガイダンスデー ● TALKING ABOUT MYSELF 2 自己紹介 (Review, practice, production) ● HUMAN RELATIONSHIPS 1 人間関係 (Introduction, practice, production) ● APRIL ASSIGNMENT PRESENTATION DAY 4 月のレポート発表日 Weeks 5~9 ● HUMAN RELATIONSHIPS 2 人間関係 (Review, practice, production) ● INTERESTS 1 各人の興味について (Introduction, practice, production) ● INTERESTS 2 各人の興味について (Review, practice, production) ● INTERESTS 3 各人の興味について (Review, practice, production) ● MAY ASSIGNMENT PRESENTATION DAY 5 月のレポート発表日 Weeks 10~12 ● HEALTH AND WELL-BEING 1 健康と福祉 (Introduction, practice, production) ● HEALTH AND WELL-BEING 2 PLUS FINAL REPORT INSTRUCTIONS 健康と福祉 (Review, practice, production) 復習/最終レポート ● JUNE ASSIGNMENT PRESENTATION DAY 6 月のレポート発表日 Weeks 13~15 ● OPINIONS & REFLECTIONS 1 まとめ、フィードバック (Introduction, practice, production) ● OPINIONS & REFLECTIONS 2 まとめ、フィードバック (Review, practice, production) ● FINAL REPORT PRESENTATION DAY ファイナルレポートプレゼンテーションデー					
到達目標	1. Improve self-confidence and accurateness in English skills (writing, reading, speaking, listening) 英語の 4 技能と自信の向上 2. Gain experience in making use of technology while using English. デバイスや機器を利用しての英語学習 3. Gain a better understanding of oneself and of human life & culture related topics, while relating these to the use of English language. 自己理解、人間関係、文化といったトピックスについて英語を通じて学ぶ 4. Practice of interactions and presentations in English 英語での相互作用とプレゼンテーションの練習					
使用教材	Reference books 参考書籍: ※購入の必要はありません。 Topic Talk – David Martin Talk a Lot Book Two – David Martin Now You’re Talking! – Chris Elvin (You do not need to buy these books. Content will be provided by the instructor).					
参考文献	https://www.allthingstopics.com					

		https://www.allthingsgrammar.com			
評価方法		Active participation in class (クラスへの積極的な参加).....15% Participation in online questionnaires (アンケートへの参加).....15% Assignments & Presentations (3 X) 月次レポートとプレゼンテーション(3X) 30% Homework (大学の宿題).....20% Final Report & Presentation (once in the end of the term) 20% 最終レポート、プレゼンテーション(学期末 1 回)			
課題・評価に対する フィードバック方法		● Self-assessment 自己評価 ● Peer assessment ピアアセスメント ● Instructor's comments 教員によるコメント ● Assignments/Final Report assessment 課題、最終レポート評価			
オフィスアワー (研究室)		Please send me a message when you need. I will answer as soon as possible. 学生からの質問などは C-Learning で受け、教員より回答する		メールアドレス (#→@)	Please message me through C-Learning. C-Learning 上(連絡・相談)を通して
1	講義内容	TALKING ABOUT MYSELF 1			
	該当到達目標	予習	● Please read this syllabus carefully and send me any questions you may have. You can use C-learning messages➡ this. シラバスを読み、質問がある場合は C-ラーニング、Message(連絡・相談)から質問する。 ● Please take a look at C-learning using the English display (Change display) C-learning 上の英語ディスプレイを確認		1.5 時間
	1,2,3,4	復習	● Reread this syllabus. シラバスの再確認 ● Please work on your April Assignment/Presentation 4 月の課題、プレゼンテーションへの取り組み ● Review vocabulary, phrases and sentences 単語、表現、文の復習 (check “Teaching Materials”) C-learning⇒教材倉庫より ● Please do your weekly homework 毎週宿題をしてください		1.5 時間
2	講義内容	TALKING ABOUT MYSELF 2			
	該当到達目標	予習	● Please answer the weekly questionnaire アンケート回答 (go to C-learning ➡ questionnaire)		1.5 時間
	1,2,3,4	復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) 単語、表現、文の復習 ● Please work on your April Assignment/Presentation 4 月の課題、プレゼンテーション準備をすすめる ● Please work on your weekly homework. 宿題への取り組み		1.5 時間
3	講義内容	HUMAN RELATIONSHIPS 1			
	該当到達目標	予習	● Please answer the weekly questionnaire アンケート回答 (go to C-learning ➡ questionnaire)		1.5 時間
	1,2,3,4	復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) 単語、表現、文の復習 ● Please work on your April Assignment/Presentation 4 月の課題、プレゼンテーション準備をすすめる		1.5 時間
4	講義内容	APRIL ASSIGNMENT PRESENTATION DAY 4 月のレポート発表日			
	該当到達目標	予習	● <u>April Assignment Deadline! Please send it to the instructor.</u> <u>4 月の課題提出期限！(教員へ Web 上の提出)</u> ● Please answer the weekly questionnaire アンケート回答 (go to C-learning ➡ questionnaire)		1.5 時間
	1,2,3,4	復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) 単語、表現、文の復習 ● Please work on your weekly homework. 宿題への取り組み		1.5 時間

5	講義内容	HUMAN RELATIONSHIPS 2		
	該当到達目標	予習	● Please answer the weekly questionnaire アンケート回答 (go to C-learning ➡ questionnaire)	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) 単語、表現、文の復習 ● Please work on your May Assignment/Presentation 5月の課題、プレゼンテーションへの取り組み ● Please work on your weekly homework. 宿題への取り組み	1.5 時間
6	講義内容	INTERESTS 1		
	該当到達目標	予習	● Please answer the weekly questionnaire アンケート回答 (go to C-learning ➡ questionnaire)	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) 文、表現、文の復習 ● Please work on your May Assignment/Presentation 5月の課題、プレゼンテーションへの取り組み ● Please work on your weekly homework 宿題への取り組み	1.5 時間
7	講義内容	INTERESTS 2		
	該当到達目標	予習	● Please answer the weekly questionnaire アンケート回答 (go to C-learning ➡ questionnaire)	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) 単語、表現、文の復習 ● Please work on your May Assignment/Presentation 5月の課題、プレゼンテーションへの取り組み ● Please work on your weekly homework 宿題への取り組み	1.5 時間
8	講義内容	INTERESTS 3		
	該当到達目標	予習	● Please answer the weekly questionnaire アンケート回答 (go to C-learning ➡ questionnaire)	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) 単語、表現、文の復習 ● Please work on your May Assignment/Presentation 5月の課題、プレゼンテーションへの取り組み	1.5 時間
9	講義内容	MAY ASSIGNMENT PRESENTATION DAY 5月のレポート発表日		
	該当到達目標	予習	● <u>May Assignment Deadline! Please send it to the instructor.</u> <u>5月の課題提出期限！（教員へ Web 上の提出）</u> ● Please answer the weekly questionnaire アンケート回答 (go to C-learning ➡ questionnaire)	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) 単語、表現、文の復習 ● Please work on your weekly homework. 宿題への取り組み	1.5 時間
10	講義内容	HEALTH AND WELL-BEING 1		
	該当到達目標	予習	● Please answer the weekly questionnaire アンケート回答 (go to C-learning ➡ questionnaire)	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) 単語、表現、文の復習 ● Please work on your June Assignment/Presentation. 6月の課題、プレゼンテーションへの取り組み ● Please work on your weekly homework 宿題への取り組み	1.5 時間
11	講義内容	HEALTH AND WELL-BEING 2 / FINAL REPORT INSTRUCTIONS 最後のレポートの指示		
	該当到達目標	予習	● Please answer the weekly questionnaire アンケート回答 (go to C-learning ➡ questionnaire)	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) 単語、表現、文の復習 ● Please finish working on your June Assignment/Presentation.	1.5 時間

			6月の課題、プレゼンテーションへの取り組み Please review the instructions for the FINAL REPORT and start working on it 最終レポートについて内容確認し取り組み開始	
12	講義内容	JUNE ASSIGNMENT PRESENTATION DAY 6月のレポート発表日		
	該当到達目標	予習	June Assignment Deadline! Please send it to the instructor. 6月の課題提出期限！（教員へWeb上の提出） - Please answer the weekly questionnaire アンケート回答 (go to C-learning ➡ questionnaire)	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	- Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) 単語、表現、文の復習 - Please work on your weekly homework 宿題への取り組み - Please work on your FINAL REPORT 最終レポートへの取り組み	1.5 時間
13	講義内容	OPINIONS & REFLECTIONS 1		
	該当到達目標	予習	Please answer the weekly questionnaire アンケート回答 (go to C-learning ➡ questionnaire)	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	- Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) 単語、表現、文の復習 - Please work on your weekly homework 宿題への取り組み - Please work on your FINAL REPORT 最終レポートへの取り組み	1.5 時間
14	講義内容	OPINIONS & REFLECTIONS 2		
	該当到達目標	予習	Please answer the weekly questionnaire アンケート回答 (go to C-learning ➡ questionnaire)	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	- Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) 単語、表現、文の復習 - Please work on your FINAL REPORT 最終レポートへの取り組み	1.5 時間
15	講義内容	FINAL REPORT PRESENTATION DAY ファイナルレポートプレゼンテーションデー		
	該当到達目標	予習	FINAL REPORT Deadline! Please send it to the instructor. 最終レポート提出期限！（教員へWeb上の提出） - Please answer the weekly questionnaire アンケート回答 (go to C-learning ➡ questionnaire)	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) 単語、表現、文の復習	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				30 時間
備考				

科目名	英語 IB(リテラシー)				科目ナンバリング	LAL001
英文名	English IB				講義形態	講義
担当教員	岡田 和子					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	必修 1 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応	6	豊かな人間性と幅広い教養		4	コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
SDGs との関連						
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	幅広い現代的トピックをあつかったテキストにふれ、大学生レベルの英文を読むための基礎的な語彙を獲得する。また、一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 授業は基本的に演習形式で進め、受講者の英語運用能力を高めるために、適宜、音声・映像教材を用いた活動を取り入れる。					
到達目標	1. 一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 2. 大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 3. 公衆衛生に関する基礎知識を得る					
使用教材	『The Hospital Team 医療系学生のための総合英語』高津昌宏ほか(著)南雲堂					
参考文献	1. 『沈みゆく大国アメリカ―逃げ切れ！日本の医療』堤未果(著) 集英社新書 2015 2. 『日本が売られる』堤未果(著) 幻冬社新書 2018					
評価方法	平常点 20%(予習・発表状況など)、定期試験 80%を総合的に評価する。					
課題・評価に対するフィードバック方法	課題、試験等の解説は授業中に行う。必要な場合は添削・コメントを付した後返却する。					
オフィスアワー(研究室)	火曜の 4 限まで。1 号館 1 階の講師室		メールアドレス(#→@)		連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	高カロリーと健康(1)				
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する			0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する			0.5 時間
2	講義内容	高カロリーと健康(2)				
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する			0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する			0.5 時間
3	講義内容	伝染病(1)				
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する			0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する			0.5 時間
4	講義内容	伝染病(2)				
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する			0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する			0.5 時間
5	講義内容	個人と公衆の衛生管理(1)				
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する			0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する			0.5 時間
6	講義内容	個人と公衆の衛生管理(2)				
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する			0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する			0.5 時間
7	講義内容	日本の医療の改善策(1)				

令和4年度 医療情報学科シラバス

	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
8	講義内容	日本の医療の改善策(2)		
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
9	講義内容	医療における「針刺し損傷」(1)		
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
10	講義内容	医療における「針刺し損傷」(2)		
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
11	講義内容	北里柴三郎と日本の医療(1)		
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
12	講義内容	北里柴三郎と日本の医療(2)		
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
13	講義内容	チーム医療の必要性(1)		
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
14	講義内容	チーム医療の必要性(2)		
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
15	講義内容	医療が売られる——日本の皆保険制度の危機		
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考				

科目名	英語 IC(リテラシー)				科目ナンバリング	LAL001
英文名	English IC				講義形態	講義
担当教員	Louise Arai					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	必修 1 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応	6	豊かな人間性と幅広い教養		4	コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
SDGs との関連						
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	幅広い現代的トピックをあつかったテキストにふれ、大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。また、一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得するとともに、リスニング・ライティング等の総合的な英語運用能力を高める。 授業は基本的に演習形式で進め、受講者の英語運用能力を高めるために、適宜、音声・映像教材を用いた活動を取り入れる。					
到達目標	1. 情報医療を学ぶ学生にとって基本的な英語の語彙を獲得する。 2. 情報医療についての英語を読めるようになる。 3. 情報医療について英語で話せるようになる。					
使用教材	Everything will be provided by the instructor					
参考文献						
評価方法	Classroom participation and attitude 30%, Flipgrid videos 30%, Assignments 10%, Final report 30%					
課題・評価に対するフィードバック方法	Most results from videos, assignments and reports will be returned to students after marking.					
オフィスアワー(研究室)	授業の前後に対応する。		メールアドレス(#→@)		louisebarnett75@yahoo.co.nz	
1	講義内容	Introductions, review course syllabus, general review and assessment, useful English				
	該当到達目標	予習	Look at syllabus and make name cards			0.5 時間
	1,2,3	復習	Self introductions and read Useful Classroom/online English			0.5 時間
2	講義内容	Learn how to write an email				
	該当到達目標	予習	Read handout			0.5 時間
	1,2,3	復習	Send email to teacher			0.5 時間
3	講義内容	Meeting people and Flipgrid introduction				
	該当到達目標	予習	Read handout			0.5 時間
	1,2,3	復習	Submit video on Fripgrid			0.5 時間
4	講義内容	Restaurant English and Movies				
	該当到達目標	予習	Read handout			0.5 時間
	1,2,3	復習	Introduce your favorite movie			0.5 時間
5	講義内容	Talking about events and festival				
	該当到達目標	予習	Prepare to talk about your favorite festival			0.5 時間
	1,2,3	復習	Introduce your favorite festival			0.5 時間
6	講義内容	Food Culture and Cooking in English				
	該当到達目標	予習	Be ready to talk about your favorite recipe			0.5 時間
	1,2,3	復習	Introduce a healthy recipe			0.5 時間
7	講義内容	Emergencies				
	該当到達目標	予習	Think about emergency kit			0.5 時間
	1,2,3	復習	Prepare an emergency kit			0.5 時間
8	講義内容	Useful travel English				

令和4年度 医療情報学科シラバス

	該当到達目標 1,2,3	予習	Read hand out. Be ready to talk about the best place you have visited	0.5 時間
		復習	Write about your favorite place	0.5 時間
9	該当到達目標 1,2,3	講義内容	Talking about pets	
		予習	Be ready to talk about your pet or your favorite animal	0.5 時間
		復習	Review the benefits of having pets	0.5 時間
10	該当到達目標 1,2,3	講義内容	Online Friends	
		予習	Be ready to talk about if you prefer online or in person communication	0.5 時間
		復習	Write about the benefits of both	0.5 時間
11	該当到達目標 1,2,3	講義内容	Corona Virus and stress	
		予習	Read handout	0.5 時間
		復習	Discuss in groups	0.5 時間
12	該当到達目標 1,2,3	講義内容	A healthy lifestyle	
		予習	Read handout	0.5 時間
		復習	Discuss in groups	0.5 時間
13	該当到達目標 1,2,3	講義内容	Make a blog	
		予習	Prepare blog	0.5 時間
		復習	Prepare blog	0.5 時間
14	該当到達目標 1,2,3	講義内容	Blog presentation	
		予習	Prepare blog	0.5 時間
		復習	Review blogs in groups	0.5 時間
15	該当到達目標 1,2,3	講義内容	Communication activities	
		予習	Prepare for fun!	0.5 時間
		復習	Review the activities	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考	Syllabus may change a little.			

科目名	英語 IIA(リテラシー)				科目ナンバリング	LAL002
英文名	English IIA				講義形態	講義
担当教員	Louise Arai					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	必修 1 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応	6	豊かな人間性と幅広い教養		4	コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
SDGs との関連						
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	幅広い現代的トピックをあつかったテキストにふれ、大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。また、一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得するとともに、リスニング・ライティング等の総合的な英語運用能力を高める。 授業は基本的に演習形式で進め、受講者の英語運用能力を高めるために、適宜、音声・映像教材を用いた活動を取り入れる。					
到達目標	4. 情報医療を学ぶ学生にとって基本的な英語の語彙を獲得する。 5. 情報医療についての英語を読めるようになる。 6. 情報医療について英語で話せるようになる。					
使用教材	Everything will be provided by the instructor					
参考文献						
評価方法	Classroom participation and attitude 30%, Flipgrid videos 30%, Assignments 10%, Final report 30%					
課題・評価に対するフィードバック方法	Most results from videos, assignments and reports will be returned to students after marking.					
オフィスアワー(研究室)	授業の前後に対応する。		メールアドレス(#→@)		louisebarnett75@yahoo.co.nz	
1	講義内容	Introductions, review course syllabus, general review and assessment, useful English				
	該当到達目標	予習	Look at syllabus and make name cards			0.5 時間
	1,2,3	復習	Self introductions and read Useful Classroom/online English			0.5 時間
2	講義内容	Learn how to write an email				
	該当到達目標	予習	Read handout			0.5 時間
	1,2,3	復習	Send email to teacher			0.5 時間
3	講義内容	Meeting people and Flipgrid introduction				
	該当到達目標	予習	Read handout			0.5 時間
	1,2,3	復習	Submit video on Fripgrid			0.5 時間
4	講義内容	Restaurant English and Movies				
	該当到達目標	予習	Read handout			0.5 時間
	1,2,3	復習	Introduce your favorite movie			0.5 時間
5	講義内容	Talking about events and festival				
	該当到達目標	予習	Prepare to talk about your favorite festival			0.5 時間
	1,2,3	復習	Introduce your favorite festival			0.5 時間
6	講義内容	Food Culture and Cooking in English				
	該当到達目標	予習	Be ready to talk about your favorite recipe			0.5 時間
	1,2,3	復習	Introduce a healthy recipe			0.5 時間
7	講義内容	Emergencies				
	該当到達目標	予習	Think about emergency kit			0.5 時間
	1,2,3	復習	Prepare an emergency kit			0.5 時間
8	講義内容	Useful travel English				

令和4年度 医療情報学科シラバス

	該当到達目標 1,2,3	予習	Read hand out. Be ready to talk about the best place you have visited	0.5 時間
		復習	Write about your favorite place	0.5 時間
9	該当到達目標 1,2,3	講義内容	Talking about pets	
		予習	Be ready to talk about your pet or your favorite animal	0.5 時間
		復習	Review the benefits of having pets	0.5 時間
10	該当到達目標 1,2,3	講義内容	Online Friends	
		予習	Be ready to talk about if you prefer online or in person communication	0.5 時間
		復習	Write about the benefits of both	0.5 時間
11	該当到達目標 1,2,3	講義内容	Corona Virus and stress	
		予習	Read handout	0.5 時間
		復習	Discuss in groups	0.5 時間
12	該当到達目標 1,2,3	講義内容	A healthy lifestyle	
		予習	Read handout	0.5 時間
		復習	Discuss in groups	0.5 時間
13	該当到達目標 1,2,3	講義内容	Make a blog	
		予習	Prepare blog	0.5 時間
		復習	Prepare blog	0.5 時間
14	該当到達目標 1,2,3	講義内容	Blog presentation	
		予習	Prepare blog	0.5 時間
		復習	Review blogs in groups	0.5 時間
15	該当到達目標 1,2,3	講義内容	Communication activities	
		予習	Prepare for fun!	0.5 時間
		復習	Review the activities	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考	Syllabus may change a little.			

科目名	英語 IIB(リテラシー)				科目 ナンバリング	LAL002
英文名	English IIB				講義形態	講義
担当教員	Angela Karsten					
科目に関連した 実務経験	30 years of experience as English language educator. Has taught from kindergarten to university students, and in the private and public sectors. 30 年間の教職歴(幼稚園児から大学生まで)					
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	必修 1 単位			
履修を必須とする 資格						
学位授与方針 との対応	6	豊かな人間性と幅広い教養		4	コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
SDGs との関連						
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	Overview of Course Content: (Topics to be presented and discussed in class. Target English sentences related to each topic will be practiced, while enhancing vocabulary, grammar and communication skills) Weeks 1~4 ● TALKING ABOUT MYSELF 1 自己紹介 (Introduction). COURSE GUIDANCE DAY. コースガイダンスデー ● TALKING ABOUT MYSELF 2 自己紹介 (Review, practice, production) ● HUMAN RELATIONSHIPS 1 人間関係 (Introduction, practice, production) ● OCTOBER ASSIGNMENT PRESENTATION DAY 10 月のレポート発表日 Weeks 5~9 ● HUMAN RELATIONSHIPS 2 人間関係 (Review, practice, production) ● INTERESTS 1 各人の興味について (Introduction, practice, production) ● INTERESTS 2 各人の興味について (Review, practice, production) ● INTERESTS 3 各人の興味について (Review, practice, production) ● NOVEMBER ASSIGNMENT PRESENTATION DAY 11 月のレポート発表日 Weeks 10~12 ● HEALTH AND WELL-BEING 1 健康と福祉 (Introduction, practice, production) ● HEALTH AND WELL-BEING 2 PLUS FINAL REPORT INSTRUCTIONS 健康と福祉 (Review, practice, production) 復習/最終レポート ● DECEMBER ASSIGNMENT PRESENTATION DAY 12 月のレポート発表日 Weeks 13~15 ● OPINIONS & REFLECTIONS 1 まとめ、フィードバック (Introduction, practice, production) ● OPINIONS & REFLECTIONS 2 まとめ、フィードバック (Review, practice, production) ● FINAL REPORT PRESENTATION DAY ファイナルレポートプレゼンテーションデー					
到達目標	1. Improve self-confidence and accurateness in English skills (writing, reading, speaking, listening) 英語の 4 技能と自信の向上 2. Gain experience in making use of technology while using English. デバイスや機器を利用しての英語学習 3. Gain a better understanding of oneself and of human life & culture related topics, while relating these to the use of English language. 自己理解、人間関係、文化といったトピックスについて英語を通じて学ぶ Practice of interactions and presentations in English 英語での相互作用とプレゼンテーションの練習					
使用教材	Reference books 参考書籍: ※購入の必要はありません。 Topic Talk – David Martin Talk a Lot Book Two – David Martin Now You’re Talking! – Chris Elvin (You do not need to buy these books; content will be provided in C-Learning).					
参考文献	https://www.allthingstopics.com					

		https://www.allthingsgrammar.com			
評価方法		Active participation in class (クラスへの積極的な参加).....15% Participation in online questionnaires (アンケートへの参加).....15% Assignments & Presentations (3 X) 月次レポートとプレゼンテーション(3X) 30% Homework (大学の宿題).....20% Final Report & Presentation (once in the end of the term) 20% 最終レポート、プレゼンテーション(学期末 1 回)			
課題・評価に対する フィードバック方法		● Self-assessment 自己評価 ● Peer assessment ピアアセスメント ● Instructor's comments 教員によるコメント ● Assignments/Final Report assessment 課題、最終レポート評価			
オフィスアワー (研究室)		Please send me a message when you need. I will answer as soon as possible. 学生からの質問などは C-Learning で受付け、教員より回答する		メールアドレス (#→@)	Please message me through C-Learning. C-Learning 上(連絡・相談)を通して
1	講義内容	TALKING ABOUT MYSELF 1			
	該当到達目標	予習	● Please read this syllabus carefully and send me any questions you may have. You can use C-learning messages for this. シラバスを読み、質問がある場合は C-ラーニング、Message(連絡・相談)から質問する。 ● Please take a look at C-learning using the English display (Change display) C-learning 上の英語ディスプレイを確認		1.5 時間
	1,2,3,4	復習	● Reread this syllabus. シラバスの再確認 ● Please work on your October Assignment/Presentation 10 月の課題、プレゼンテーションへの取り組み ● Review vocabulary, phrases and sentences 単語、表現、文の復習 (check “Teaching Materials”) C-learning⇒教材倉庫より ● Please do your weekly homework 毎週宿題をしてください		1.5 時間
2	講義内容	TALKING ABOUT MYSELF 2			
	該当到達目標	予習	● Please answer the weekly questionnaire アンケート回答 (go to C-learning ➡ questionnaire)		1.5 時間
	1,2,3,4	復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) 単語、表現、文の復習 ● Please work on your October Assignment/Presentation 10 月の課題、プレゼンテーション準備をすすめる ● Please work on your weekly homework 宿題への取り組み		1.5 時間
3	講義内容	HUMAN RELATIONSHIPS 1			
	該当到達目標	予習	● Please answer the weekly questionnaire アンケート回答 (go to C-learning ➡ questionnaire)		1.5 時間
	1,2,3,4	復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) 単語、表現、文の復習 ● Please work on your April Assignment/Presentation 4 月の課題、プレゼンテーション準備をすすめる		1.5 時間
4	講義内容	OCTOBER ASSIGNMENT PRESENTATION DAY 10 月のレポート発表日			
	該当到達目標	予習	● <u>October Assignment Deadline! Please send it to the instructor.</u> <u>10 月の課題提出期限！(教員へ Web 上の提出)</u> ● Please answer the weekly questionnaire アンケート回答 (go to C-learning ➡ questionnaire)		1.5 時間
	1,2,3,4	復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) 単語、表現、文の復習		1.5 時間

			● Please work on your weekly homework 宿題への取り組み	
5	講義内容	HUMAN RELATIONSHIPS 2		
	該当到達目標	予習	● Please answer the weekly questionnaire アンケート回答 (go to C-learning ➡ questionnaire)	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) 単語、表現、文の復習 ● Please work on your November Assignment/Presentation 11月の課題、プレゼンテーションへの取り組み ● Please work on your weekly homework 宿題への取り組み	1.5 時間
6	講義内容	INTERESTS 1		
	該当到達目標	予習	● Please answer the weekly questionnaire アンケート回答 (go to C-learning ➡ questionnaire)	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) 文、表現、文の復習 ● Please work on your November Assignment/Presentation 11月の課題、プレゼンテーションへの取り組み ● Please work on your weekly homework 宿題への取り組み	1.5 時間
7	講義内容	INTERESTS 2		
	該当到達目標	予習	● Please answer the weekly questionnaire アンケート回答 (go to C-learning ➡ questionnaire)	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) 単語、表現、文の復習 ● Please work on your November Assignment/Presentation 11月の課題、プレゼンテーションへの取り組み ● Please work on your weekly homework 宿題への取り組み	1.5 時間
8	講義内容	INTERESTS 3		
	該当到達目標	予習	● Please answer the weekly questionnaire アンケート回答 (go to C-learning ➡ questionnaire)	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) 単語、表現、文の復習 ● Please work on your November Assignment/Presentation 11月の課題、プレゼンテーションへの取り組み	1.5 時間
9	講義内容	NOVEMBER ASSIGNMENT PRESENTATION DAY 11月のレポート発表日		
	該当到達目標	予習	● <u>November Assignment Deadline! Please send it to the instructor.</u> <u>11月の課題提出期限！（教員へWeb上の提出）</u> ● Please answer the weekly questionnaire アンケート回答 (go to C-learning ➡ questionnaire)	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) 単語、表現、文の復習 ● Please work on your weekly homework 宿題への取り組み	1.5 時間
10	講義内容	HEALTH AND WELL-BEING 1		
	該当到達目標	予習	● Please answer the weekly questionnaire アンケート回答 (go to C-learning ➡ questionnaire)	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) 単語、表現、文の復習 ● Please work on your December Assignment/Presentation. 12月の課題、プレゼンテーションへの取り組み ● Please work on your weekly homework 宿題への取り組み	1.5 時間
11	講義内容	HEALTH AND WELL-BEING 2/ FINAL REPORT INSTRUCTIONS 最後のレポートの指示		
	該当到達目標	予習	● Please answer the weekly questionnaire アンケート回答 (go to C-learning ➡ questionnaire)	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) 単語、表現、文の復習	1.5 時間

			- Please finish working on your December Assignment/Presentation. 12月の課題、プレゼンテーションへの取り組み - Please review the instructions for the FINAL REPORT and start working on it 最終レポートについて内容確認し取り組み開始	
12	講義内容	DECEMBER ASSIGNMENT PRESENTATION DAY 12月のレポート発表日		
	該当到達目標	予習	<u>December Assignment Deadline! Please send it to the instructor.</u> <u>12月の課題提出期限！(教員へWeb上の提出)</u> - Please answer the weekly questionnaire アンケート回答 (go to C-learning ➡ questionnaire)	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	- Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) 単語、表現、文の復習 - Please work on your weekly homework 宿題への取り組み - Please work on your FINAL REPORT 最終レポートへの取り組み	1.5 時間
13	講義内容	OPINIONS & REFLECTIONS 1		
	該当到達目標	予習	Please answer the weekly questionnaire アンケート回答 (go to C-learning ➡ questionnaire)	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	- Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) 単語、表現、文の復習 - Please work on your weekly homework 宿題への取り組み - Please work on your FINAL REPORT 最終レポートへの取り組み	1.5 時間
14	講義内容	OPINIONS & REFLECTIONS 2		
	該当到達目標	予習	Please answer the weekly questionnaire アンケート回答 (go to C-learning ➡ questionnaire)	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	- Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) 単語、表現、文の復習 - Please work on your FINAL REPORT 最終レポートへの取り組み	1.5 時間
15	講義内容	FINAL REPORT PRESENTATION DAY ファイナルレポートプレゼンテーションデー		
	該当到達目標	予習	<u>FINAL REPORT Deadline! Please send it to the instructor.</u> <u>最終レポート提出期限！(教員へWeb上の提出)</u> - Please answer the weekly questionnaire アンケート回答 (go to C-learning ➡ questionnaire)	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) 単語、表現、文の復習	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				30 時間
備考				

科目名	英語 IIC(リテラシー)				科目ナンバリング	LAL002
英文名	English IIC				講義形態	講義
担当教員	岩田 道子					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	必修 1 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応	6	豊かな人間性と幅広い教養		4	コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
SDGs との関連						
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	現代的トピックスを幅広く集めたテキストを使い、テーマごとに必要且つ十分な語彙を習得する。従来の英文読解を超えて、アイデアを把握するためのリーディング・スキルを獲得するとともに、ライティング等発信能力を高め、総合的な英語運用能力の向上を目指す。 授業は基本的に演習形式で進め、適宜音声や映像教材を用いた活動を取り入れる。					
到達目標	1. 大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 2. 一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 3. リスニング・ライティング・コミュニケーション等の総合的な英語運用能力を高める。					
使用教材	Linda Lee & Erik Gundersen, <i>Select Readings Pre-Intermediate</i> , Oxford University Press, 2011. 2,500 円					
参考文献						
評価方法	期末試験 60% 平常点 40%(授業への参加度、課題など)の総合評価とする。					
課題・評価に対するフィードバック方法	添削のうえ返却する、またはクラス全体で問題解決する。					
オフィスアワー (研究室)	授業の前後に対応する。			メールアドレス (#→@)	初回に指示する。	
1	講義内容	ガイダンス				
	該当到達目標	予習	学習内容の確認			0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習			0.5 時間
2	講義内容	Chapter 1 ①				
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく			0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習			0.5 時間
3	講義内容	Chapter 1 ②				
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく			0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習			0.5 時間
4	講義内容	Chapter 2 ①				
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく			0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習			0.5 時間
5	講義内容	Chapter 2 ②				
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく			0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習			0.5 時間
6	講義内容	Chapter 3 ①				
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく			0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習			0.5 時間
7	講義内容	Chapter 3 ②				
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく			0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習			0.5 時間

令和4年度 医療情報学科シラバス

8	講義内容	Chapter 4 ①		
	該当到達目標 1,2,3	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	0.5 時間
		復習	新出単語・表現の復習	0.5 時間
9	講義内容	Chapter 4 ②		
	該当到達目標 1,2,3	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	0.5 時間
		復習	新出単語・表現の復習	0.5 時間
10	講義内容	Chapter 5 ①		
	該当到達目標 1,2,3	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	0.5 時間
		復習	新出単語・表現の復習	0.5 時間
11	講義内容	Chapter 5 ②		
	該当到達目標 1,2,3	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	0.5 時間
		復習	新出単語・表現の復習	0.5 時間
12	講義内容	Chapter 6 ①		
	該当到達目標 1,2,3	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	0.5 時間
		復習	新出単語・表現の復習	0.5 時間
13	講義内容	Chapter 6 ②		
	該当到達目標 1,2,3	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	0.5 時間
		復習	新出単語・表現の復習	0.5 時間
14	講義内容	Chapter 7		
	該当到達目標 1,2,3	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	0.5 時間
		復習	新出単語・表現の復習	0.5 時間
15	講義内容	Review & Term Exam		
	該当到達目標 1,2,3	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	0.5 時間
		復習	新出単語・表現の復習	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考				

科目名		英語 IIIA(リテラシー)				科目ナンバリング	LAL003
英文名		English IIIA				講義形態	講義
担当教員		山田 HAY 美由紀					
科目に関連した実務経験							
学年・開講期		2 年 前期	選必・単位数	必修 1 単位			
履修を必須とする資格							
学位授与方針との対応		6	豊かな人間性と幅広い教養		4	コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
			問題解決力				
SDGs との関連							
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		この講義では、英語をツールとして、情報医療の現場において必要とされるコミュニケーション能力を習得する。各自が自分の考えを持って英語で意見交換できる課題、コミュニケーションを必要とするグループ活動課題等を通し、日常英語の語彙、リスニング能力、英語表現力を身につける。また、専門用語に使用される英語についての理解、発音、使用例などに触れる。時事問題について時勢に沿ったテーマを取り上げる時間も設ける。 講義は学生の既習内容を考慮した上、英語で行う。質問、疑問、意見等はその都度か講義後に発言すること。質問や意見は、積極的な参加態度、自己表現として奨励し評価の対象となる。グループ課題終了後、自己評価・講義に対する評価用紙に意見を記入することもできる。					
到達目標		英語を使って自己の考えを口頭表現することができる。 コミュニケーションに必要な英語表現を学び、日常的に実践できる。 協力して課題を解決していくことにより、互いの能力を認め合い、個人を尊重する姿勢を身につける。					
使用教材		課題により印刷教材を配布する。					
参考文献							
評価方法		講義は実技中心のため、時間内のコミュニケーション状況(30%)、課題発表(50%)、講義への参加(20%)を評価する。個人課題は、講義の始めに毎回評価する。ペア、グループ課題は講義内での実践中、各人の英語によるコミュニケーションの様子を評価する。コミュニケーションのためのキーフレーズを毎時紹介するので、記録して課題実践中に使うことが期待される。講義内外でのコミュニケーション(参加度)も評価の対象となる。自己評価用紙の記入は行うが、筆記試験による評価は実施しない。講義に参加することが評価の対象になるので、欠席は 3 日を超えないよう留意すること。超える場合は要相談。					
課題・評価に対するフィードバック方法		実技実施中、グループ課題発表後に口頭にてフィードバックする。					
オフィスアワー (研究室)		授業の前後に対応する。			メールアドレス (#→@)	初回に指示する。	
1	講義内容	講義内容、出欠、評価の概要について理解する。個人活動。					
	該当到達目標	予習	英語に触れる機会を増やすための個人課題を出すので、受講期間中続けること。				0.5 時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。				0.5 時間

2	講義内容	個人課題について発表し教員評価を受ける。簡単なグループ活動と発表。ペア活動の紹介と実践。			
	該当到達目標	予習	個人課題を続ける。	0.5	時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5	時間
3	講義内容	個人課題について発表し教員評価を受ける。ペア活動。グループ課題1の紹介。			
	該当到達目標	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	0.5	時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5	時間
4	講義内容	個人課題についてペアで発表し合う。グループ課題1について理解する。専門用語・時事問題等			
	該当到達目標	予習	個人課題を修正しながら続ける。	0.5	時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5	時間
5	講義内容	個人課題についてペアで発表し合う。グループ課題1の実践。専門用語・時事問題等			
	該当到達目標	予習	個人課題を修正しながら続ける。	0.5	時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5	時間
6	講義内容	個人課題についてグループ内で評価し発表する。グループ課題1の実践。専門用語・時事問題等			
	該当到達目標	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	0.5	時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5	時間
7	講義内容	個人課題についてグループ内で評価し発表する。グループ課題1の実践。			
	該当到達目標	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	0.5	時間
	1,2,3	復習	グループ課題1の発表に向けて個人練習すること。	0.5	時間
8	講義内容	個人課題についてグループ内で評価し発表する。グループ課題1のリハーサル。			
	該当到達目標	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	0.5	時間
	1,2,3	復習	グループ課題1の発表に向けて個人練習すること。	0.5	時間
9	講義内容	個人課題についてグループ内で評価し発表する。グループ課題1の発表。			
	該当到達目標	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	0.5	時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5	時間
10	講義内容	発表について教員から口頭評価。自己評価・講義に対する評価(印刷物配布)。グループ課題2の説明			
	該当到達目標	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	0.5	時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5	時間
11	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題2の内容構成。英語押韻について			
	該当到達目標	予習	個人課題を続ける。グループ課題2の内容について必要事項を調べておく。	0.5	時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5	時間
12	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題2の内容構成。英語押韻について			
	該当到達目標	予習	個人課題を続ける。グループ課題2の内容について必要事項を調べておく。	0.5	時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5	時間
13	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題2の練習。英語押韻について			
	該当到達目標	予習	個人課題を続ける。グループ課題2の練習をしておく。	0.5	時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5	時間
14	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題2のリハーサル。			
	該当到達目標	予習	個人課題を続ける。グループ課題2の練習をしておく。	0.5	時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5	時間
15	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題の発表。口頭で評価。自己評価・講義に対する評価の記入(印刷物配布)。			

	該当到達目標	予習	個人課題を続ける。グループ課題2の練習をしておく。	0.5	時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5	時間
合計時間(予習・復習)				15	時間
備考	講義内で電子辞書またはスマートフォンによる辞書検索を行うので持参すること。検索以外の使用については学生として品位のある態度で取り扱うこと。 コミュニケーションのためのフレーズを毎回紹介するので、記録して講義中に使用すること。記録用媒体はノート、スマートフォンなど個人で選択する。				

科目名	英語 IIIB(リテラシー)				科目ナンバリング	LAL003
英文名	English IIIB				講義形態	講義
担当教員	柳澤 順一					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	必修 1 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応	6	豊かな人間性と幅広い教養		4	コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
SDGs との関連						
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	幅広い現代的トピックをあつかったテキストにふれ、大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。また、一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得するとともに、リスニング・ライティング等の総合的な英語運用能力を高める。 授業は基本的に演習形式で進め、受講者の英語運用能力を高めるために、適宜、音声・映像教材を用いた活動を取り入れる。					
到達目標	1. 大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 2. 一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 3. リスニング・ライティング・コミュニケーション等の総合的な英語運用能力を高める。					
使用教材	New English Upgrade (Student Book 2), Steven Gershon & Chris Mares, Macmillan Language House (2008)					
参考文献						
評価方法	期末試験 50% 平常点 50%(出席率、発表課題、授業での発言など)の総合評価とする。					
課題・評価に対するフィードバック方法	レポートは評価またはショートコメントを付した後返却する(学期末課題については返却しないことがある)。期末試験は採点后、得点を通知する(通知方法については授業内で連絡する)。					
オフィスアワー(研究室)	授業の前後に対応する。			メールアドレス(#→@)	jyanagisawa555#gmail.com	
1	講義内容	Introduction (1), Introductory DVD-Watching				
	該当到達目標	予習	特になし(語彙調べ)			0.5 時間
	1,2,3	復習	プリント練習問題の解法			0.5 時間
2	講義内容	Introduction (2), 英検 CAT の利用法				
	該当到達目標	予習	特になし			0.5 時間
	1,2,3	復習	プリント練習問題のパラグラフ作成			0.5 時間
3	講義内容	Unit 1 Meeting people				
	該当到達目標	予習	Listen in & Build up オーラル・プラクティス			0.5 時間
	1,2,3	復習	Express yourself 別バージョン作成			0.5 時間
4	講義内容	Unit 2 Family and friends				
	該当到達目標	予習	Listen in & Build up オーラル・プラクティス			0.5 時間
	1,2,3	復習	Express yourself 別バージョン作成			0.5 時間
5	講義内容	Unit 3 Lifestyles				
	該当到達目標	予習	Listen in & Build up オーラル・プラクティス			0.5 時間
	1,2,3	復習	Express yourself 別バージョン作成			0.5 時間
6	講義内容	Unit 4 Work, work, work!				
	該当到達目標	予習	Listen in & Build up オーラル・プラクティス			0.5 時間
	1,2,3	復習	Express yourself 別バージョン作成			0.5 時間

7	講義内容	Unit 5 Having fun		
	該当到達目標	予習	Listen in & Build up オーラル・プラクティス	0.5 時間
	1,2,3	復習	Express yourself 別バージョン作成	0.5 時間
8	講義内容	Unit6 Review; Additional DVD-Watching (1)		
	該当到達目標	予習	Review unit ディクテーション問題解法	0.5 時間
	1,2,3	復習	練習問題プリントの解法	0.5 時間
9	講義内容	Additional DVD-Watching (2)		
	該当到達目標	予習	特になし(語彙調べ)	0.5 時間
	1,2,3	復習	練習問題プリントの解法	0.5 時間
10	講義内容	Unit 7 Spend, spend, spend!		
	該当到達目標	予習	Listen in & Build up オーラル・プラクティス	0.5 時間
	1,2,3	復習	Express yourself 別バージョン作成	0.5 時間
11	講義内容	Unit 8 Looking back		
	該当到達目標	予習	Listen in & Build up オーラル・プラクティス	0.5 時間
	1,2,3	復習	Express yourself 別バージョン作成	0.5 時間
12	講義内容	Unit 9 Life's experiences		
	該当到達目標	予習	Listen in & Build up オーラル・プラクティス	0.5 時間
	1,2,3	復習	Express yourself 別バージョン作成	0.5 時間
13	講義内容	Unit 10 Around town		
	該当到達目標	予習	Listen in & Build up オーラル・プラクティス	0.5 時間
	1,2,3	復習	Express yourself 別バージョン作成	0.5 時間
14	講義内容	Unit 11 Looking ahead		
	該当到達目標	予習	Listen in & Build up オーラル・プラクティス	0.5 時間
	1,2,3	復習	Express yourself 別バージョン作成、英検 CAT ポートフォリオ作成	0.5 時間
15	講義内容	Unit 12 Review		
	該当到達目標	予習	Review unit ディクテーション問題解法	0.5 時間
	1,2,3	復習	Reading file 指定問題のスラッシュ・リーディング	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考	PC/CALL 教室を使用する。データ保存用の USB メモリを必ず持参すること。左記以外の教室の場合、C-Learning 上の指定ファイル(音声・テキスト)をダウンロードの上、携帯またはタブレット端末に入れて教室持参のこと。			

科目名	英語 IIIC(リテラシー)				科目ナンバリング	LAL003
英文名	English IIIC				講義形態	講義
担当教員	高橋 栄作					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	必修 1 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応	6	豊かな人間性と幅広い教養		4	コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
SDGs との関連						
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	これまで、中学校から高等学校で学んだ数学・理科の内容を英語で理解する。将来実験レポートや研究論文を英語で読んだり書いたりすること、海外の学生や研究者たちと英語で議論できる基礎英語力を獲得する。 授業は基本的にテキストに沿いながら、演習形式で進め、適宜、音声教材を用いた活動を取り入れる。					
到達目標	1. 「元素」「微積分」「電磁気」などの内容を英語で理解できるようにする。 2. 基本的な文法・表現を理解できるようにする。 3. 数学・理科の内容を英語で情報発信できるようにする。					
使用教材	亀山太一他 (2019) Fundamental Science in English II Seibido					
参考文献	授業内で紹介する。					
評価方法	向上的変化 10%、平常点 40%(確認テスト、提出物、出席状況など)、定期試験 50%を総合的に評価する。					
課題・評価に対するフィードバック方法	質問などはリアクションペーパーで確認する。確認テストなどは採点后返却する。					
オフィスアワー (研究室)	授業終了後			メールアドレス (#→@)	eisaku#tcue.ac.jp	
1	講義内容	Introduction, Warm-up Activity				
	該当到達目標	予習	教科書の Contents などを読む。			1 時間
	1,2,3	復習	Warm-up Activity のふりかえり			1 時間
2	講義内容	Lesson 1 Trigonometry (1)				
	該当到達目標	予習	Lesson 1Trigonometry の英文を読み, 課題に取り組む			1 時間
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する.Workbook に解答する。			1 時間
3	講義内容	Lesson 1 Trigonometry (2)				
	該当到達目標	予習	Lesson 1Trigonometry の英文を読み, 課題に取り組む			1 時間
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する.Workbook に解答する。			1 時間
4	講義内容	Lesson 2 Element (1)				
	該当到達目標	予習	Lesson 2 Elements の英文を読み疑問点を明らかにする。			1 時間
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する.Workbook に解答する。			1 時間
5	講義内容	Lesson 2 Element (2)				
	該当到達目標	予習	Lesson 2 Elements の英文を読み疑問点を明らかにする。			1 時間
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する.Workbook に解答する。			1 時間
6	講義内容	Lesson 3 Force (1)				
	該当到達目標	予習	Lesson 3 Force の英文を読み疑問点を明らかにする。			1 時間
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する.Workbook に解答する。			1 時間
7	講義内容	Lesson 3 Force (2)				
	該当到達目標	予習	Lesson 3 Force の英文を読み疑問点を明らかにする。			1 時間
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する.Workbook に解答する。			1 時間
8	講義内容	Lesson 4 Calculus (1)				

	該当到達目標 1,2,3	予習	Lesson 4 Calculus の英文を読み疑問点を明らかにする.	1 時間
		復習	ノートで今時の内容を確認する.Workbook に解答する.	1 時間
9	該当到達目標 1,2,3	講義内容 Lesson 4 Calculus (2)		
		予習	Lesson 4 Calculus の英文を読み疑問点を明らかにする.	1 時間
		復習	ノートで今時の内容を確認する.Workbook に解答する.	1 時間
10	該当到達目標 1,2,3	英語の音について		
		予習	英語の音について疑問点を明らかにする	1 時間
		復習	ノートで今時の内容を確認する.	1 時間
11	該当到達目標 1,2,3	Lesson 5 Waves (1)		
		予習	Lesson 5 Waves の英文を読み疑問点を明らかにする	1 時間
		復習	ノートで今時の内容を確認する.Workbook に解答する.	1 時間
12	該当到達目標 1,2,3	Lesson 5 Waves (2)		
		予習	Lesson 5 Waves の英文を読み疑問点を明らかにする	1 時間
		復習	ノートで今時の内容を確認する.Workbook に解答する.	1 時間
13	該当到達目標 1,2,3	Lesson 7 Electromagnetism (1)		
		予習	Lesson 7 Electromagnetism の英文を読み疑問点を明らかにする	1 時間
		復習	ノートで今時の内容を確認する.Workbook に解答する.	1 時間
14	該当到達目標 1,2,3	Lesson 7 Electromagnetism (2)		
		予習	Lesson7 Electromagnetism の英文を読み疑問点を明らかにする	1 時間
		復習	ノートで今時の内容を確認する.Workbook に解答する.	1 時間
15	該当到達目標 1,2,3	Lesson 9 Chemical Reactions		
		予習	Lesson 9 Chemical Reactions の英文を読み疑問点を明らかにする	1 時間
		復習	ノートで今時の内容を確認する.Workbook に解答する.	1 時間
合計時間(予習・復習)				30 時間
備考	授業には辞書を必ず持参してください。英語を学習する意欲を持って出席してください。			

科目名	英語 IVA(リテラシー)				科目ナンバリング	LAL004
英文名	English IVA				講義形態	講義
担当教員	岡田 和子					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	必修 1 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応	6	豊かな人間性と幅広い教養		4	コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
SDGs との関連						
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	幅広い現代的トピックをあつかったテキストにふれ、大学生レベルの英文を読むための基礎的な語彙を獲得する。また、一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 授業は基本的に演習形式で進め、受講者の英語運用能力を高めるために、適宜、音声・映像教材を用いた活動を取り入れる。					
到達目標	4. 一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 5. 大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 6. 公衆衛生に関する基礎知識を得る					
使用教材	『The Hospital Team 医療系学生のための総合英語』高津昌宏ほか(著)南雲堂					
参考文献	3. 『沈みゆく大国アメリカ―逃げ切れ！日本の医療』堤未果(著) 集英社新書 2015 4. 『日本が売られる』堤未果(著) 幻冬社新書 2018					
評価方法	平常点 20%(予習・発表状況など)、定期試験 80%を総合的に評価する。					
課題・評価に対するフィードバック方法	課題、試験等の解説は授業中に行う。必要な場合は添削・コメントを付した後返却する。					
オフィスアワー (研究室)	火曜の 4 限まで。1 号館 1 階の講師室		メールアドレス (#→@)		連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	高カロリーと健康(1)				
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する			0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する			0.5 時間
2	講義内容	高カロリーと健康(2)				
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する			0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する			0.5 時間
3	講義内容	伝染病(1)				
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する			0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する			0.5 時間
4	講義内容	伝染病(2)				
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する			0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する			0.5 時間
5	講義内容	個人と公衆の衛生管理(1)				
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する			0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する			0.5 時間
6	講義内容	個人と公衆の衛生管理(2)				
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する			0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する			0.5 時間
7	講義内容	日本の医療の改善策(1)				

令和4年度 医療情報学科シラバス

	該当到達目標 1,2,3	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5	時間
		復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5	時間
8	講義内容	日本の医療の改善策(2)			
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5	時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5	時間
9	講義内容	医療における「針刺し損傷」(1)			
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5	時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5	時間
10	講義内容	医療における「針刺し損傷」(2)			
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5	時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5	時間
11	講義内容	北里柴三郎と日本の医療(1)			
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5	時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5	時間
12	講義内容	北里柴三郎と日本の医療(2)			
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5	時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5	時間
13	講義内容	チーム医療の必要性(1)			
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5	時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5	時間
14	講義内容	チーム医療の必要性(2)			
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5	時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5	時間
15	講義内容	医療が売られる——日本の皆保険制度の危機			
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5	時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5	時間
合計時間(予習・復習)					15 時間
備考					

科目名		英語 IVB(リテラシー)				科目ナンバリング	LAL004
英文名		English IVB				講義形態	講義
担当教員		中村博生					
科目に関連した実務経験		英語教諭として中学校に勤務(経験)					
学年・開講期		1 年 後期	選必・単位数	医療情報 必修 1 単位			
関連資格							
学位授与方針との対応		6	豊かな人間性と幅広い教養		4	コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
			問題解決力				
SDGs との関連							
実施概要		この授業は、大学生に必要とされる基礎的な英語 4 技能の獲得のための講義である。					
①講義の目標		授業は PC 教室で個別学習とアクティブ・ラーニングを用いて進め、受講者の英語運用能力を高めるために、適宜、音声教材を用いた言語活動を取り入れる。					
②講義の実施方法							
到達目標		1.大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 2.一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 3.コミュニケーションのためのリスニング・スピーキング・ライティングの英語運用能力を高める。■					
使用教材		Reading Pass 1 Second Edition、南雲堂、2015、2, 300 円＋税					
参考文献		参考となる文献はその都度紹介する。					
評価方法		授業参加度(10%)と小テスト／課題遂行度(30%)、試験(60%)から総合的に評価する。					
課題・評価に対するフィードバック方法		課題はコメント・添削・評価の上返却する。 期末試験は採点の後返却する。					
オフィスアワー(研究室)		火曜日 2 限、木曜日 2 限(8 号館 1 階学部長室)		メールアドレス(#→@)		nakamura-h#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	Guidance					
	該当到達目標	予習	シラバスを読んで学習内容を把握する				1.0 時間
	1, 2, 3	復習	講義の目標、学位授与方針、評価方法などを確認する。				1.0 時間
2	講義内容	Unit 1 Olympic Cities					
	該当到達目標	予習	テキストとワークシートに従って言語活動の準備をする。				1.0 時間
	1, 2, 3	復習	テキストの本文や練習問題で各技能の向上を目指した復習をする。				1.0 時間
3	講義内容	Unit 2 Internet Communities					
	該当到達目標	予習	テキストとワークシートに従って言語活動の準備をする。				1.0 時間
	1, 2, 3	復習	テキストの本文や練習問題で各技能の向上を目指した復習をする。				1.0 時間
4	講義内容	Unit 3 Console Gaming					
	該当到達目標	予習	テキストとワークシートに従って言語活動の準備をする。				1.0 時間
	1, 2, 3	復習	テキストの本文や練習問題で各技能の向上を目指した復習をする。				1.0 時間
5	講義内容	Unit 4 Teleworking					
	該当到達目標	予習	テキストとワークシートに従って言語活動の準備をする。				1.0 時間
	1, 2, 3	復習	テキストの本文や練習問題で各技能の向上を目指した復習をする。				1.0 時間
6	講義内容	Unit 5 Graffiti					
	該当到達目標	予習	テキストとワークシートに従って言語活動の準備をする。				1.0 時間
	1, 2, 3	復習	テキストの本文や練習問題で各技能の向上を目指した復習をする。				1.0 時間
7	講義内容	Unit 6 E-books					

	該当到達目標 1, 2, 3	予習	テキストとワークシートに従って言語活動の準備をする。	1.0 時間
		復習	テキストの本文や練習問題で各技能の向上を目指した復習をする。	1.0 時間
8	該当到達目標 1, 2, 3	講義内容 Unit 7 Multiculturalism		
		予習	テキストとワークシートに従って言語活動の準備をする。	1.0 時間
		復習	テキストの本文や練習問題で各技能の向上を目指した復習をする。	1.0 時間
9	該当到達目標 1, 2, 3	講義内容 Unit 8 Space Tourism		
		予習	テキストとワークシートに従って言語活動の準備をする。	1.0 時間
		復習	テキストの本文や練習問題で各技能の向上を目指した復習をする。	1.0 時間
10	該当到達目標 1, 2, 3	講義内容 Unit 9 Cultural Taboos		
		予習	テキストとワークシートに従って言語活動の準備をする。	1.0 時間
		復習	テキストの本文や練習問題で各技能の向上を目指した復習をする。	1.0 時間
11	該当到達目標 1, 2, 3	講義内容 Unit 10 Volunteering		
		予習	テキストとワークシートに従って言語活動の準備をする。	1.0 時間
		復習	テキストの本文や練習問題で各技能の向上を目指した復習をする。	1.0 時間
12	該当到達目標 1, 2, 3	講義内容 Unit 11 The Burj Al Arab		
		予習	テキストとワークシートに従って言語活動の準備をする。	1.0 時間
		復習	テキストの本文や練習問題で各技能の向上を目指した復習をする。	1.0 時間
13	該当到達目標 1, 2, 3	講義内容 Review 1 Communication Drill 1 ■		
		予習	Chapter1～4 の総まとめをする。	1.0 時間
		復習	4 技能を用いたコミュニケーション活動の総復習	1.0 時間
14	該当到達目標 1, 2, 3	講義内容 Review 2 Communication Drill 2 ■		
		予習	Chapter5～8 の総まとめをする。	1.0 時間
		復習	4 技能を用いたコミュニケーション活動の総復習	1.0 時間
15	該当到達目標 1, 2, 3	講義内容 Review 3 Communication Drill 3 ■		
		予習	Chapter9～11 の総まとめをする。	1.0 時間
		復習	4 技能を用いたコミュニケーション活動の総復習	1.0 時間
合計時間(予習・復習)				30 時間
備考	質問はメールでも受け付ける。授業は、アクティブ・ラーニングの方法を用いて行うので、授業外学修(ワークシートに基づいた予習・復習)を丁寧に行うこと。また、授業でのペア・グループ・全体での発表などの活動では、積極的に参加することが望まれる。オンラインで実施する場合は、オンデマンド型授業とする。資料の配布や課題の提出には C-learning を用いる。 ■: 実務経験に基づく内容を示す。			

科目名		英語 IVC(リテラシー)				科目ナンバリング	LAL004
英文名		English IVC				講義形態	講義
担当教員		山田 HAY 美由紀					
科目に関連した実務経験							
学年・開講期		2 年 後期	選必・単位数	必修 1 単位			
履修を必須とする資格							
学位授与方針との対応		6	豊かな人間性と幅広い教養		4	コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
			問題解決力				
SDGs との関連							
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		この講義では、英語をツールとして、情報医療の現場において必要とされるコミュニケーション能力を習得する。各自が自分の考えを持って英語で意見交換できる課題、コミュニケーションを必要とするグループ活動課題等を通し、日常英語の語彙、リスニング能力、英語表現力を身につける。また、専門用語に使用される英語についての理解、発音、使用例などに触れる。時事問題について時勢に沿ったテーマを取り上げる時間も設ける。 講義は学生の既習内容を考慮した上、英語で行う。質問、疑問、意見等はその都度か講義後に発言すること。質問や意見は、積極的な参加態度、自己表現として奨励し評価の対象となる。グループ課題終了後、自己評価・講義に対する評価用紙に意見を記入することもできる。					
到達目標		英語を使って自己の考えを口頭表現することができる。 コミュニケーションに必要な英語表現を学び、日常的に実践できる。 協力して課題を解決していくことにより、互いの能力を認め合い、個人を尊重する姿勢を身につける。					
使用教材		課題により印刷教材を配布する。					
参考文献							
評価方法		講義は実技中心のため、時間内のコミュニケーション状況(30%)、課題発表(50%)、講義への参加(20%)を評価する。個人課題は、講義の始めに毎回評価する。ペア、グループ課題は講義内での実践中、各人の英語によるコミュニケーションの様子を評価する。コミュニケーションのためのキーフレーズを毎時紹介するので、記録して課題実践中に使うことが期待される。講義内外でのコミュニケーション(参加度)も評価の対象となる。自己評価用紙の記入は行うが、筆記試験による評価は実施しない。講義に参加することが評価の対象になるので、欠席は 3 日を超えないよう留意すること。超える場合は要相談。					
課題・評価に対するフィードバック方法		実技実施中、グループ課題発表後に口頭にてフィードバックする。					
オフィスアワー (研究室)		授業の前後に対応する。			メールアドレス (#→@)	初回に指示する。	
1	講義内容	講義内容、出欠、評価の概要について理解する。個人活動。					
	該当到達目標	予習	英語に触れる機会を増やすための個人課題を出すので、受講期間中続けること。				0.5 時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。				0.5 時間

2	講義内容	個人課題について発表し教員評価を受ける。簡単なグループ活動と発表。ペア活動の紹介と実践。			
	該当到達目標	予習	個人課題を続ける。	0.5	時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5	時間
3	講義内容	個人課題について発表し教員評価を受ける。ペア活動。グループ課題1の紹介。			
	該当到達目標	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	0.5	時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5	時間
4	講義内容	個人課題についてペアで発表し合う。グループ課題1について理解する。専門用語・時事問題等			
	該当到達目標	予習	個人課題を修正しながら続ける。	0.5	時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5	時間
5	講義内容	個人課題についてペアで発表し合う。グループ課題1の実践。専門用語・時事問題等			
	該当到達目標	予習	個人課題を修正しながら続ける。	0.5	時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5	時間
6	講義内容	個人課題についてグループ内で評価し発表する。グループ課題1の実践。専門用語・時事問題等			
	該当到達目標	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	0.5	時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5	時間
7	講義内容	個人課題についてグループ内で評価し発表する。グループ課題1の実践。			
	該当到達目標	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	0.5	時間
	1,2,3	復習	グループ課題1の発表に向けて個人練習すること。	0.5	時間
8	講義内容	個人課題についてグループ内で評価し発表する。グループ課題1のリハーサル。			
	該当到達目標	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	0.5	時間
	1,2,3	復習	グループ課題1の発表に向けて個人練習すること。	0.5	時間
9	講義内容	個人課題についてグループ内で評価し発表する。グループ課題1の発表。			
	該当到達目標	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	0.5	時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5	時間
10	講義内容	発表について教員から口頭評価。自己評価・講義に対する評価(印刷物配布)。グループ課題2の説明			
	該当到達目標	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	0.5	時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5	時間
11	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題2の内容構成。英語押韻について			
	該当到達目標	予習	個人課題を続ける。グループ課題2の内容について必要事項を調べておく。	0.5	時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5	時間
12	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題2の内容構成。英語押韻について			
	該当到達目標	予習	個人課題を続ける。グループ課題2の内容について必要事項を調べておく。	0.5	時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5	時間
13	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題2の練習。英語押韻について			
	該当到達目標	予習	個人課題を続ける。グループ課題2の練習をしておく。	0.5	時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5	時間
14	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題2のリハーサル。			
	該当到達目標	予習	個人課題を続ける。グループ課題2の練習をしておく。	0.5	時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5	時間
15	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題の発表。口頭で評価。自己評価・講義に対する評価の記入(印刷物配布)。			

	該当到達目標	予習	個人課題を続ける。グループ課題2の練習をしておく。	0.5	時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5	時間
合計時間(予習・復習)				15	時間
備考	講義内で電子辞書またはスマートフォンによる辞書検索を行うので持参すること。検索以外の使用については学生として品位のある態度で取り扱うこと。 コミュニケーションのためのフレーズを毎回紹介するので、記録して講義中に使用すること。記録用媒体はノート、スマートフォンなど個人で選択する。				

科目名	Integrated English I (リテラシー)				科目ナンバリング	LAL005
英文名	Integrated English I				講義形態	講義
担当教員	クリストファー・ターン					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	選択 1 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応	6	豊かな人間性と幅広い教養		4	コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
SDGs との関連						
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	本講義では、海外英語研修参加希望者を対象とする。英語による日常英会話レベルのコミュニケーション能力を獲得することを講義目標としている。 教員より、コミュニケーションをとる必要がある様々な場面設定が提示される。受講生はその対応を考え、実践演習を行う。その後課題を分析し、再度実践演習を行う。また、学生生活で学んだ英語をまとめてノートを作成する。					
到達目標	1. コミュニケーションの基礎知識を学ぶ 2. 海外での様々な場面を想定した英会話の練習をする 3. プレゼンテーションの実践演習を行う また海外英語研修に向けた事前準備や説明を行う。					
使用教材	特に定めない。					
参考文献						
評価方法	授業内パフォーマンス 90%、提出物 10%					
課題・評価に対するフィードバック方法	提出物にはコメントをつけて返却する。個人面談を行う。					
オフィスアワー (研究室)	火曜 3 限、金曜 3 限 (1 号館 315 研究室)			メールアドレス (#→@)	tarn#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	What is communication?				
	該当到達目標	予習	なし			0.5 時間
	1,2,3	復習	授業内容について要約する			0.5 時間
2	講義内容	Cognitive Psychology: Get to Know Yourself				
	該当到達目標	予習	自分自身について書く			0.5 時間
	1,2,3	復習	自分のインターナショナル・スキルについて書く			0.5 時間
3	講義内容	Social Skills				
	該当到達目標	予習	社会心理学について事前調べを行う			0.5 時間
	1,2,3	復習	改善すべき自分の社会的スキルについて書く			0.5 時間
4	講義内容	The Power of Imagination and Innovation				
	該当到達目標	予習	行きたい国、行きたい理由を挙げる			0.5 時間
	1,2,3	復習	その国について調べる			0.5 時間
5	講義内容	Learning to Control a Conversation				
	該当到達目標	予習	言葉が理解できない状況でどういくコミュニケーションが有効か考える			0.5 時間
	1,2,3	復習	ホストファミリーとの会話例を考える			0.5 時間
6	講義内容	Listening Strategies				
	該当到達目標	予習	訪問国の英語発音について調べる			0.5 時間
	1,2,3	復習	訪問国の短編映画やアニメを見る			0.5 時間
7	講義内容	Basic English: Self Introduction and First Step for Communication in English				

	該当到達目標 1,2,3	予習	自己紹介文を書く	0.5 時間
		復習	自己紹介文を仕上げる	0.5 時間
8	講義内容	Create your own English Database		
	該当到達目標	予習	ノートの準備をする	0.5 時間
	1,2,3	復習	English Database を作成する	0.5 時間
9	講義内容	Meet a Foreigner		
	該当到達目標	予習	外国人ゲストとの会話を考える	0.5 時間
	1,2,3	復習	外国人ゲストとの会話から、スピーキングの課題を見つける	0.5 時間
10	講義内容	Speech Basics: Talking to Audience		
	該当到達目標	予習	相手に伝わるプレゼンテーションについて調べる	0.5 時間
	1,2,3	復習	大学紹介についてのパワーポイントを作成する	0.5 時間
11	講義内容	Presentation 1		
	該当到達目標	予習	自分の学科(専門)についてのプレゼンテーションを作成する	0.5 時間
	1,2,3	復習	プレゼンテーションの直しと仕上げをする	0.5 時間
12	講義内容	Presentation 2		
	該当到達目標	予習	テーマについてのプレゼンテーションの準備をする	0.5 時間
	1,2,3	復習	プレゼンテーションの直しと仕上げをする	0.5 時間
13	講義内容	Make your own Textbook 1		
	該当到達目標	予習	海外研修・ホームステイを想定し自分自身のテキストブックを作成する	0.5 時間
	1,2,3	復習	海外研修・ホームステイを想定し自分自身のテキストブックを作成する	0.5 時間
14	講義内容	Do Group Work to Improve your Textbook		
	該当到達目標	予習	グループごとに各自のテキストブックについて話し合い改善する	0.5 時間
	1,2,3	復習	想定した研修やホームステイについてレポートを書く	0.5 時間
15	講義内容	Conclusion		
	該当到達目標	予習	これまでの授業の復習をする	0.5 時間
	1,2,3	復習	全講義を通して学んだことをレポートにする	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考	本講義は海外英語研修参加者を対象とする。			

科目名	Integrated English II (リテラシー)				科目ナンバリング	LAL006
英文名	Integrated English II				講義形態	講義
担当教員	高橋 栄作					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 1 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応	6	豊かな人間性と幅広い教養		4	コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
SDGs との関連						
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	英語の基礎文法事項を整理し、語彙力をつけながら TOEIC®テスト受験に必要とされる基礎的な英語力養成を目指す。 そのため授業では、TOEIC®テスト形式の問題演習を中心に、英語の基礎力を主にリスニングとリーディングの面から強化する。練習問題の音声をリピートしたり、スクリプトを音読したり、耳に英語が入った瞬間に理解できるようにインプットする。リーディングでは正解不正解の確認だけでなく、解答の根拠を理解し、応用可能な解法を身につける。					
到達目標	1. TOEIC®テストの形式と内容を理解できる。 2. 語彙力が身につく。 3. 文法事項を理解できる。 4. リスニング力が身につく。 リーディング力が身につく。					
使用教材	Ayako Yokogawa and Tony Cook. (2016). <i>Level-up Trainer for the TOEIC® TEST</i> . 東京: センゲージラーニング.					
参考文献	授業内で紹介する。					
評価方法	授業への参加度、発表、課題(40%)、期末試験(60%)で評価する。					
課題・評価に対するフィードバック方法	課題の解説をする。					
オフィスアワー (研究室)	授業終了後			メールアドレス (#→@)	eisaku #tcue.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンス・TOEIC テストとは				
	該当到達目標	予習	教科書の「はじめに」「目次」「本書の使い方」「シラバス」などの内容を読んで、講義の目標などを理解する。			0.5 時間
	1	復習	Pre-test を解いて現在の実力を把握しよう。			0.5 時間
2	講義内容	Unit 1: テスト形式を知る				
	該当到達目標	予習	Unit 1 の語彙の意味を調べる。			0.5 時間
	2,3,4,5	復習	Unit 1 の練習問題の内容を理解する。			0.5 時間
3	講義内容	Unit 2: 基本戦略①				
	該当到達目標	予習	Unit 2 の語彙の意味を調べる。			0.5 時間
	2,3,4,5	復習	Unit 2 の練習問題の内容を理解する。			0.5 時間
4	講義内容	Unit 3: 基本戦略②				
	該当到達目標	予習	Unit 3 の語彙の意味を調べる。			0.5 時間
	2,3,4,5	復習	Unit 3 の練習問題の内容を理解する。			0.5 時間
5	講義内容	Unit 4: 英文の基本構造を見抜く				
	該当到達目標	予習	Unit 4 の語彙の意味を調べる。			0.5 時間
	2,3,4,5	復習	Unit 4 の練習問題の内容を理解する。			0.5 時間

6	講義内容	Unit 5: 解答根拠の登場順		
	該当到達目標	予習	Unit 5 の語彙の意味を調べる。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	Unit 5 の練習問題の内容を理解する。	0.5 時間
7	講義内容	Unit 6: 正解の言い換えパターンを知る		
	該当到達目標	予習	Unit 6 の語彙の意味を調べる。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	Unit 6 の練習問題の内容を理解する。	0.5 時間
8	講義内容	Units 1-6 のまとめ		
	該当到達目標	予習	指定されたリスニング・リーディングの問題を解く。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	解説を聞いて理解し、間違えたところを確認する。	0.5 時間
9	講義内容	Unit 7: 機能疑問文を聞き取る		
	該当到達目標	予習	Unit 7 の語彙の意味を調べる。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	Unit 7 の練習問題の内容を理解する。	0.5 時間
10	講義内容	Unit 8: 動詞の時制を見極める		
	該当到達目標	予習	Unit 8 の語彙の意味を調べる。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	Unit 8 の練習問題の内容を理解する。	0.5 時間
11	講義内容	Unit 9: 接続詞 vs. 前置詞		
	該当到達目標	予習	Unit 9 の語彙の意味を調べる。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	Unit 9 の練習問題の内容を理解する。	0.5 時間
12	講義内容	Unit 10: 複数パッセージ問題の攻略		
	該当到達目標	予習	Unit 10 の語彙の意味を調べる。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	Unit 10 の練習問題の内容を理解する。	0.5 時間
13	講義内容	Unit 11: 接続副詞に強くなる		
	該当到達目標	予習	Unit 11 の語彙の意味を調べる。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	Unit 11 の練習問題の内容を理解する。	0.5 時間
14	講義内容	Unit 12: NOT 型設問のコツ		
	該当到達目標	予習	Unit 12 の語彙の意味を調べる。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	Unit 12 の練習問題の内容を理解する。	0.5 時間
15	講義内容	Units 7-12 のまとめ		
	該当到達目標	予習	Post-test の問題を解く。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	解説を聞いて理解し、間違えたところを確認する。	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考				

科目名	ドイツ語(リテラシー)				科目ナンバリング	LAL007
英文名	German				講義形態	講義
担当教員	出雲 春明					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応	10	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
SDGs との関連						
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 初習者がドイツ語に親しみ、講義終了後も学習を持続していくための足がかりを築くことを目標とする。 ② 指定のテキストと併せて C-Learning「教材倉庫」に公開する資料を用いて講義を実施する。記述よりも実際に口に出して発音することを重視し、ドイツ語でのコミュニケーションに最低限必要な文法や挨拶などの定型表現を一緒に練習していく。毎回、C-Learning の「ドリル」「小テスト」で知識の定着を図る。新型コロナの感染状況に応じてオンデマンド授業に移行する。					
到達目標	1. ドイツ語を正確に発音し、聞き取ることができる。 2. 初級文法を用いて基本的な会話を行い、読み書きすることができる。					
使用教材	羽根田知子・熊谷知実『ネコと学ぶドイツ語』、三修社(¥2,400)。 C-Learning 上で音声解説付き PDF など別途補足資料を配付する。					
参考文献	なし					
評価方法	授業への参加態度(資料の閲覧、ドリルの実施状況など)・・・30% 小テストなどの課題、確認テスト・・・70%					
課題・評価に対するフィードバック方法	C-Learning「ドリル」「小テスト」を用いて課題を出し、解説を行う。					
オフィスアワー (研究室)	1 号館 511 研究室 面談希望の場合は C-Learning「連絡・相談」あるいは左記アドレスまで。		メールアドレス (#→@)		izumo-s#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンスー日常のなかのドイツ語と、ドイツ語のアルファベットー				
	該当到達目標	予習	シラバスを読み講義内容を理解する。テキスト Lektion1 に目を通しておく。			1.5 時間
	1	復習	アルファベットの読みを声に出して練習する。			1.5 時間
2	講義内容	Lektion1 母音の発音、ドイツ語の挨拶(1)				
	該当到達目標	予習	テキスト(p.1,8)を読み、付属の CD の対応する箇所を聞いておくこと。			1.5 時間
	1	復習	テキストと配付した資料を用いて発音練習をしておくこと。			1.5 時間
3	講義内容	Lektion1 子音の発音(1)、ドイツ語の挨拶(2)				
	該当到達目標	予習	テキスト(p.1-2,8)を読み、付属の CD を聞いておくこと。			1.5 時間
	1	復習	テキストと配付した資料を用いて発音練習をしておくこと。			1.5 時間
4	講義内容	Lektion1 子音の発音(2)、ドイツ語の数字(1)				
	該当到達目標	予習	テキスト(p.2,14)を読み、付属の CD を聞いておくこと。			1.5 時間
	1	復習	テキストと配付した資料を用いて発音練習をしておくこと。			1.5 時間
5	講義内容	Lektion1 特殊な発音、ドイツ語の数字(2)				
	該当到達目標	予習	テキスト(p.1-2,8)の対応箇所、配付資料を読み、付属の CD を聞いておくこと。			1.5 時間

	1	復習	テキストと配付した資料を用いて発音練習をしておくこと。	1.5 時間
6	講義内容	Lektion2 一般動詞の特徴とその人称変化(1)、ドイツ語の時刻表現		
	該当到達目標	予習	テキスト(p.4-5,14)を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1.5 時間
	1,2	復習	テキスト(p.4) を用いて人称変化の練習をしておくこと。	1.5 時間
7	講義内容	Lektion2 ドイツ語の一般動詞の特徴とその人称変化(2)		
	該当到達目標	予習	テキスト(p.5-6)を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1.5 時間
	1,2	復習	テキストに出てくる動詞を用いて人称変化の練習をしておくこと。	1.5 時間
8	講義内容	Lektion2 ドイツ語の平叙文、疑問文、否定文、命令文(1)		
	該当到達目標	予習	テキスト(p.4-6)を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1.5 時間
	1,2	復習	テキストに出てくる語句を用いて、ドイツ語での作文を練習しておくこと。	1.5 時間
9	講義内容	Lektion2 ドイツ語の平叙文、疑問文、否定文、命令文(2)、ドイツ語での自己紹介		
	該当到達目標	予習	テキスト(p.7) を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1.5 時間
	1,2	復習	作文の練習だけでなく、CD の音声を参照しながら、正しい発音か確認しておく。	1.5 時間
10	講義内容	Lektion3 sein 動詞の特徴とその人称変化(1)		
	該当到達目標	予習	テキスト(p.9-10,12)を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1.5 時間
	1,2	復習	sein 動詞の変化を確認しておくこと。	1.5 時間
11	講義内容	Lektion3 sein 動詞の特徴とその人称変化(2)		
	該当到達目標	予習	テキスト(p.9,13)を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1.5 時間
	1,2	復習	sein 動詞の使い方をテキストの語句を用いて練習しておくこと。	1.5 時間
12	講義内容	Lektion3 haben の特徴とその人称変化(1)		
	該当到達目標	予習	テキスト(p.9,11)を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1.5 時間
	1,2	復習	haben の変化を確認、練習しておくこと。	1.5 時間
13	講義内容	Lektion3 haben の特徴とその人称変化(2)		
	該当到達目標	予習	テキスト(p.9,13)を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1.5 時間
	1,2	復習	haben の使い方をテキストの語句を用いて練習しておくこと。	1.5 時間
14	講義内容	Lektion4 ドイツ語の名詞には性別がある(1)		
	該当到達目標	予習	テキスト(p.15-16)を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1.5 時間
	1,2	復習	ドイツ語の名詞には男性、女性、中性名詞の区別があることを理解すること。	1.5 時間
15	講義内容	Lektion4 ドイツ語の名詞には性別がある(2)		
	該当到達目標	予習	テキスト(p.16-17)を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1.5 時間
	1,2	復習	それぞれの名詞の性別について確認しておく。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	毎回、授業の前日に C-Learning に教材をアップする。オンデマンド授業で実施する場合は、ニュース欄で実施すべき課題とその期限などを通知するので確認すること。			

科目名	フランス語(リテラシー)				科目ナンバリング	LAL008
英文名	French				講義形態	講義
担当教員	松島 洋子					
科目に関連した実務経験	医療通訳・翻訳(産婦人科、形成外科、外科)					
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応	5	豊かな人間性と幅広い教養		5	コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
SDGs との関連	4					17
実施概要	フランス語に興味を持ってもらう。					
①講義の目標	毎回1つのテーマを中心に、「伝わるフランス語」を学ぶ。文法は会話に取り入れ、生徒が楽しんで身に付けられるように進める。					
②講義の実施方法						
到達目標	1. フランス語で簡単な会話ができる■ 2. フランス語検定4級相当の文法を理解する■					
使用教材	フランス語の日常基本単語集・CD付き ナツメ社 ISBN978-4-8163-6166-1					
参考文献						
評価方法	講師作成のテストにて文法理解度を確認 50%、授業内の発言・ロールプレイ等 50%					
課題・評価に対するフィードバック方法	授業内で取り組んだテストをチェックして返却する。					
オフィスアワー(研究室)	質問等は、開始前もしくは終了後に応じる。			メールアドレス	連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	フランス語の基本／アルファベットの発音、発音記号、仏語の特性■				
	該当到達目標	予習	第 1 回で取り組む単元を CD で聞いておく。			0.5 時間
	1,2	復習	第 1 回で取り組んだ単元を再確認しておく。			0.5 時間
2	講義内容	動詞の活用①／be 動詞の役割を持つ動詞■				
	該当到達目標	予習	第 2 回で取り組む単元を CD で聞いておく。			0.5 時間
	1,2	復習	第 2 回で取り組んだ単元を再確認しておく。			0.5 時間
3	講義内容	名詞／名詞の性数(男性名詞・女性名詞と単数形・複数形)■				
	該当到達目標	予習	第 3 回で取り組む単元を CD で聞いておく。			0.5 時間
	1,2	復習	第 3 回で取り組んだ単元を再確認しておく。			0.5 時間
4	講義内容	動詞の活用②／規則動詞と不規則動詞 avoir の使い方■				
	該当到達目標	予習	第 4 回で取り組む単元を CD で聞いておく。			0.5 時間
	1,2	復習	第 4 回で取り組んだ単元を再確認しておく。			0.5 時間
5	講義内容	動詞の活用③／不規則動詞 aller と場所を表す前置詞■				
	該当到達目標	予習	第 5 回で取り組む単元を CD で聞いておく。			0.5 時間
	1,2	復習	第 5 回で取り組んだ単元を再確認しておく。			0.5 時間
6	講義内容	所有形容詞／「私の」「彼の」、名詞「身の回りのもの」■				
	該当到達目標	予習	第 6 回で取り組む単元を CD で聞いておく。			0.5 時間
	1,2	復習	第 6 回で取り組んだ単元を再確認しておく。			0.5 時間
7	講義内容	否定文の作り方 / 名詞「色々な職業」■				
	該当到達目標	予習	第 7 回で取り組む単元を CD で聞いておく。			0.5 時間

	1,2	復習	第7回で取り組んだ単元を再確認しておく。	0.5 時間
8	講義内容	疑問文の作り方 / 名詞「町にある建物」■		
	該当到達目標	予習	第8回で取り組む単元をCDで聞いておく。	0.5 時間
	1,2	復習	第8回で取り組んだ単元を再確認しておく。	0.5 時間
9	講義内容	動詞 <i>aimer/manger/venir</i> の使い方 / <i>-ir, -er</i> で終わる動詞■		
	該当到達目標	予習	第9回で取り組む単元をCDで聞いておく。	0.5 時間
	1,2	復習	第9回で取り組んだ単元を再確認しておく。	0.5 時間
10	講義内容	動詞 <i>faire</i> の使い方 / 名詞「スポーツの名前」■		
	該当到達目標	予習	第10回で取り組む単元をCDで聞いておく。	0.5 時間
	1,2	復習	第10回で取り組んだ単元を再確認しておく。	0.5 時間
11	講義内容	「どこ?」とたずねる文 / 「いくら?」とたずねる文■		
	該当到達目標	予習	第11回で取り組む単元をCDで聞いておく。	0.5 時間
	1,2	復習	第11回で取り組んだ単元を再確認しておく。	0.5 時間
12	講義内容	「これは何ですか?」とたずねる文 / 名詞「食べ物とお菓子の名前」■		
	該当到達目標	予習	第12回で取り組む単元をCDで聞いておく。	0.5 時間
	1,2	復習	第12回で取り組んだ単元を再確認しておく。	0.5 時間
13	講義内容	「誰ですか?」とたずねる文 / 名詞「家族、友達、先生」など■		
	該当到達目標	予習	第13回で取り組む単元をCDで聞いておく。	0.5 時間
	1,2	復習	第13回で取り組んだ単元を再確認しておく。	0.5 時間
14	講義内容	時計を読む・前置詞 / 時間、曜日、月、季節■		
	該当到達目標	予習	第14回で取り組む単元をCDで聞いておく。	0.5 時間
	1,2	復習	第14回で取り組んだ単元を再確認しておく。	0.5 時間
15	講義内容	買い物で使う動詞 / 「〇〇を買う」と「〇〇を買いたい」■		
	該当到達目標	予習	第15回で取り組む単元をCDで聞いておく。	0.5 時間
	1,2	復習	第15回で取り組んだ単元を再確認しておく。	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す			

科目名		ポルトガル語(リテラシー)			科目ナンバリング	LAL009
英文名		Portuguese			講義形態	講義
担当教員		伊勢島 セリア明美				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		1 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位		
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応		10	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル
			健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力
			問題解決力			
SDGs との関連		③ ⑩ ⑪ ⑯				
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		文法事項を確認しながら、練習問題に答えて頂きます。 授業の後半は会話の練習及びリスニングを行い、日常会話が身につくことを目標とします。				
到達目標		1. 初級レベルの日常会話 2. 多文化に触れる				
使用教材		教材プリント				
参考文献		ニューエクスプレスプラス ブラジルポルトガル語 香川正子著 白水社				
評価方法		期末テスト 評価 60%以上を合格とします。				
課題・評価に対するフィードバック方法		学生による応用会話の内容を確認し、必要に応じて補足説明を行います。				
オフィスアワー (研究室)		授業日の授業開始前もしくは終了後に 教室等で相談に応じます。		メールアドレス (#→@)	連絡手段は初回授業時に提示します。	
1	講義内容	ガイダンス、アルファベット、挨拶表現				
	該当到達目標	予習	シラバスの内容を読んで、講義の目標などを理解する。			1.5 時間
	1,2	復習	動詞 ser の活用形を覚える。単語力アップ「挨拶」の音読。			1.5 時間
2	講義内容	自己紹介、家族を紹介する				
	該当到達目標	予習	指示詞・所有詞を確認する。単語力アップ「国名・国籍」の音読。			1.5 時間
	1	復習	名詞の性・数を確認する。単語力アップ「家族」の音読。			1.5 時間
3	講義内容	持ち物について尋ねる・答える				
	該当到達目標	予習	動詞 ter の活用形を覚える。			1.5 時間
	1,2	復習	定冠詞・不定冠詞の形を覚える。			1.5 時間
4	講義内容	物の所在を尋ねる・説明する				
	該当到達目標	予習	動詞 estar の活用形を覚える。			1.5 時間
	1	復習	前置詞 em の縮合形を確認する。動詞 ser と estar の違いを理解する。			1.5 時間
5	講義内容	好みを伝える				
	該当到達目標	予習	-ar、-er、-ir 動詞の変化を確認する。動詞 ir の活用形を覚える。			1.5 時間
	1	復習	前置詞 a の縮合形を覚える。単語力アップ「乗り物」の音読。			1.5 時間

6	講義内容	予定を尋ねる・答える				
	該当到達目標 1	予習	疑問詞を覚える。「時を表す表現」の音読。	1.5	時間	
		復習	単語力アップ「1日の生活」の音読。	1.5	時間	
7	講義内容	意思を尋ねる・伝える				
	該当到達目標 1	予習	動詞 querer、preferir の活用形を覚える。	1.5	時間	
		復習	曜日の名前及び数字①を覚える。	1.5	時間	
8	講義内容	許可を得る・依頼する				
	該当到達目標 1	予習	動詞 poder、saber、conhecer の活用形を確認する。	1.5	時間	
		復習	動詞 saber と conhecer の違いを理解する。色の名前を覚える。	1.5	時間	
9	講義内容	時間を尋ねる・答える				
	該当到達目標 1,2	予習	再帰代名詞を覚える。	1.5	時間	
		復習	数字②の音読	1.5	時間	
10	講義内容	昨日したことを尋ねる・答える				
	該当到達目標 1,2	予習	規則動詞の過去形を確認する。前置詞の変化を確認する。	1.5	時間	
		復習	単語力アップ「行動を表す動詞」の過去形を確認する。	1.5	時間	
11	講義内容	経験・体験について述べる				
	該当到達目標 1	予習	不規則動詞の過去形を確認する。	1.5	時間	
		復習	不規則な人称代名詞を覚える。	1.5	時間	
12	講義内容	人やものを比べて説明する				
	該当到達目標 1,2	予習	形状を表す形容詞を覚える。	1.5	時間	
		復習	不規則な比較級を確認する。単語力アップ「衣料品」の音読。	1.5	時間	
13	講義内容	過去の状態や習慣について話す				
	該当到達目標 1	予習	不完全過去形を確認する。	1.5	時間	
		復習	不規則動詞の活用を確認する。	1.5	時間	
14	講義内容	近況について尋ねる・述べる				
	該当到達目標 1	予習	動詞 ter の活用形の再確認。	1.5	時間	
		復習	動詞 estar の用法形を覚える。	1.5	時間	
15	講義内容	未来・願望について話し合う				
	該当到達目標 1,2	予習	未来形の活用形を確認する。	1.5	時間	
		復習	接続法現在の活用形を確認する。	1.5	時間	
合計時間(予習・復習)					45	時間
備考						

科目名		中国語(リテラシー)			科目 ナンバリング	LAL010
英文名		Chinese			講義形態	講義
担当教員		渡邊 賢				
科目に関連した 実務経験						
学年・開講期		2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位		
履修を必須とする 資格						
学位授与方針 との対応		10	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
			問題解決力			
SDGs との関連						
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		中国語を学ぶ上で不可欠である発音とその表記と、また最も基礎的な語彙と構文とを身に付け、簡単なコミュニケーションができる語学力の養成を目指す。同時に中国文化の全般に関する興味を喚起したい。 授業は全 15 回を通じて、音声および表記の反復学習を徹底する形で展開し、中国語基礎学力の定着を目指す。失敗を恐れず、積極的に楽しく学んでほしい。外国語学習には習慣性とある程度の忍耐が必要である。学生諸君には外国語の学習を通じて、習慣的学習や知的忍耐力を身に付けられたい。				
到達目標		1. 中国の地理、風俗および言語とその多様性を理解する。 2. 中国語音を表記する音声記号を習得する。 3. 中国語音を表記する音声記号を正確に発音する能力を育成する。 4. 中国語音を聞いて、弁別する聴力を育成する。 5. 日常会話に不自由しない程度の語彙と語法とを習得する。				
使用教材		教科書『大学一年生のための合格中国語』小幡敏行著(朝日出版社) ISBN97-4-255-45224-1C1087				
参考文献						
評価方法		毎回の小試験 20%、発音中間試験 30%、学期末筆記試験 50%により評価する。 総合評価 60%以上を合格とみなす。				
課題・評価に対する フィードバック方法		毎回の小試験は採点の上、返却する。各自、未熟な点をよく自覚し克服されたい。				
オフィスアワー (研究室)		授業開始前もしくは授業終了後に 応じる。	メールアドレス	連絡手段は初回授業時に提示する。		
1	講義内容	ガイダンス				
	該当到達目標	予習	シラバス内容、教科書第 8 頁「中国語について」を読み、講義目標や中国語の特 性などについて理解する。			1 時間
	1	復習	不要			0 時間
2	講義内容	発音の基礎Ⅰ:ピンイン字母、単母音、四声などを学習する。				
	該当到達目標	予習	不要			0 時間
	2,3,4	復習	業で学習したことを、毎日、一日 10 分程度、発音する。			1 時間
3	講義内容	発音の基礎Ⅱ:複合母音、「声(子音)」の唇音・舌先音・舌根音などを学習する。				
	該当到達目標	予習	不要			0 時間
	2,3,4	復習	授業で学習したことを、毎日、一日 10 分程度、発音する。			1 時間
4	講義内容	発音の基礎Ⅲ:鼻母音、「声(子音)」の舌面音・捲舌音・舌歯音などを学習する。				
	該当到達目標	予習	不要			0 時間
	2,3,4	復習	授業で学習したことを、毎日、一日 10 分程度、発音する。			1 時間
5	講義内容	教科書第 1 課、名前の聞き方・答え方、人称代名詞などの学習。				

	該当到達目標	予習	教科書第1課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
6	講義内容	教科書第2課、指示代名詞、「是」を用いた判断文などの学習。		
	該当到達目標	予習	教科書第2課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
7	講義内容	教科書第3課、形容詞述語文や数量表現などの学習。		
	該当到達目標	予習	教科書第3課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
8	講義内容	教科書第4課、存在文や構造助詞「的」などの学習。		
	該当到達目標	予習	教科書第4課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
9	講義内容	教科書第5課、介詞構造や方位詞などの学習。		
	該当到達目標	予習	教科書第5課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
10	講義内容	教科書第6課、連動文や能願動詞などの学習。		
	該当到達目標	予習	教科書第7課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
11	講義内容	教科書第7課、数量補語や動態助詞の「了」と語気詞の「了」などの学習。		
	該当到達目標	予習	教科書第7課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
12	講義内容	教科書第8課、動態助詞「過」や程度補語などについての学習。		
	該当到達目標	予習	教科書第8課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
13	講義内容	教科書第9課、能願動詞「会」「能」「可以」などについての学習。		
	該当到達目標	予習	教科書第9課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
14	講義内容	教科書第10課、方向補語や結果補語などについての学習。		
	該当到達目標	予習	教科書第10課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
15	講義内容	教科書第11課、主述述語文や比較表現などについての学習。		
	該当到達目標	予習	教科書第11課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				26 時間
備考	復習は机に向かうには及ばない。通学時などわずかな余暇を利用して、10分程度で構わぬので、必ず毎日、口や舌を動かして毎回の授業の内容を消化することが望ましい。毎回の積み重ねが肝要。後刻、自力でマスターしようとしてもほとんど不可能と心得よ。記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。			

科目名		ハングル語(リテラシー)				科目ナンバリング	LAL011
英文名		Korean				講義形態	講義
担当教員		徐 明煥					
科目に関連した実務経験							
学年・開講期		1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格							
学位授与方針との対応		10	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
			問題解決力				
SDGs との関連							
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		はじめて韓国語をまなぶ学生を対象とする。表音文字であるハングルの表記を覚え、単語や文章を正確に発音する練習をする。会話の練習を通して簡単な挨拶や自己紹介、身の回りのものについて覚える。 ハングルの文字と単語の書き方、読み方から発音練習や会話表現の練習を行う。また、小テストを行うため、必ず予習・復習を行うこと。					
到達目標		1. 正確なハングル文字の表記及び発音を習得する。 2. 합니다体の叙述・疑問に関する表現を習得する。 3. 100 語程度を用いた簡単な挨拶や自己紹介などの基本文型を習得する。 4. 日常生活でよく使われる基本的な表現や言い回しを理解し、簡単な会話ができる。					
使用教材		朴庾卿,仲島淳子,金美順,徐明煥(2022)『ワンアクション韓国語【会話編】朝日出版社					
参考文献		斉藤明美(2005)『ことばと文化の日韓比較—相互理解をめざして』世界思想社					
評価方法		授業への参加度 10%、宿題・小テスト 40%、定期試験 50%					
課題・評価に対するフィードバック方法		課題にはコメントを付けて返却する。小テストを毎回返却し解説する。					
オフィスアワー (研究室)		質問等がある場合は授業の前後に応じる。もしくはメールで連絡すること。		メールアドレス (#→@)		intgvseo21jp#gmail.com	
1	講義内容	授業概要、ハングルについて、基本母音					
	該当到達目標	予習	テキストを用意し、2 頁～6 頁を読んでくる。韓国語のノートを用意すること。				1.5 時間
	1	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。				1.5 時間
2	講義内容	基本子音（平音、激音、濃音）					
	該当到達目標	予習	7 頁～17 頁を読んでくる。				1.5 時間
	1	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。				1.5 時間
3	講義内容	複合母音					
	該当到達目標	予習	18 頁～21 頁を読んでくる。				1.5 時間
	1	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。				1.5 時間
4	講義内容	終声(パッチム)					
	該当到達目標	予習	22 頁～25 頁を読んでくる。				1.5 時間
	1	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。				1.5 時間
5	講義内容	発音の変化					
	該当到達目標	予習	26 頁～30 頁を読んでくる。				1.5 時間
	1	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。				1.5 時間
6	講義内容	基礎まとめ、日本語のハングル表記、ハングル入力(メール)					
	該当到達目標	予習	31 頁～32 頁を読んでくる。				1.5 時間

	1	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
7	講義内容	「挨拶をする」입니다、助詞「는/은」、助詞「도」、라고/이라고 합니다		
	該当到達目標	予習	32 頁～35 頁を読んでくる。単語及び本文の内容を確認すること。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
8	講義内容	「挨拶をする」입니다、助詞「는/은」、助詞「도」、라고/이라고 합니다、作文練習		
	該当到達目標	予習	34 頁～43 頁を読んでくる。単語及び本文の内容を確認すること。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
9	講義内容	「状況を説明する」합니다体、助詞「를/을」		
	該当到達目標	予習	44 頁～47 頁を読んでくる。単語及び本文の内容を確認すること。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
10	講義内容	「状況を説明する」助詞「에서」、助詞「에」(位置)、否定形「지 않다」、作文練習		
	該当到達目標	予習	48 頁～53 頁を読んでくる。単語及び本文の内容を確認すること。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
11	講義内容	「買い物をする」指示語、助詞「가/이」、助詞「와/과」		
	該当到達目標	予習	54 頁～59 頁を読んでくる。単語及び本文の内容を確認すること。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
12	講義内容	「買い物をする」漢数詞、가/이 아니다、作文練習		
	該当到達目標	予習	60 頁～65 頁を読んでくる。単語及び本文の内容を確認すること。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
13	講義内容	「予定を述べる」固有数詞、助詞「에」(時間)、助詞「에」(方向)		
	該当到達目標	予習	66 頁～71 頁を読んでくる。単語及び本文の内容を確認すること。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
14	講義内容	「予定を述べる」助詞「에서/부터～까지」、否定形「안」、를/을 좋아합니다、作文練習		
	該当到達目標	予習	72 頁～77 頁を読んでくる。単語及び本文の内容を確認すること。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
15	講義内容	総まとめ		
	該当到達目標	予習	今まで勉強した内容をもう一度、確認して理解しておく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習		1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	次回の授業時まで予習・復習を必ずすること。PPT 映像を活用し、テキストの読みを練習すること。 メールを送る際は「件名」に「高崎健康福祉大学ハングル語：名前」を必ず記入すること。			

科目名	コンピュータ入門Ⅰ（リテラシー）				科目ナンバリング	LAL012
英文名	Introduction to ComputerⅠ				講義形態	講義
担当教員	坂本 孝					
科目に関連した実務経験	SEとして情報通信企業に勤務（経験）					
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位			
履修を必須とする資格	J 検情報活用試験対応科目					
学位授与方針との対応	5	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
SDGs との関連	9					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	IT 社会においてコンピュータを真に活用するためには、ただ単にコンピュータの操作ができるだけでなく、その背景となる技術を理解することが必要不可欠である。「コンピュータ入門」の前編である本講義では、情報活用に関する基礎知識を習得し、コンピュータ内でのデータの扱いや構成装置の機能等について学ぶ。 各講義において、最初に前回授業内容の確認テストを実施、その後、各回テーマについて教員が作成したプリントを使って、説明および問題取組みを行っていく。					
到達目標	1. 情報関連資格の内容と意義について理解できる。 2. コンピュータのハードウェアの仕組みを説明できる。 3. コンピュータのソフトウェアの役割を説明できる。 4. コンピュータ内部で情報がどのように記憶・処理されているかを説明できる。 5. 現代社会におけるコンピュータの利用分野とその役割を説明できる。■					
使用教材	自作のプリント					
参考文献						
評価方法	毎回の確認テスト(80%)、検定結果(20%)により評価する。					
課題・評価に対するフィードバック方法	毎回の確認テストは採点して翌週返却する。					
オフィスアワー (研究室)	火曜日 4 時限と 5 時限			メールアドレス (#→@)	sakamoto#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	講義概要と情報関連資格について				
	該当到達目標	予習	不要			1 時間
	1	復習	講義での説明内容をまとめ、様々な資格について調べる。			1.5 時間
2	講義内容	コンピュータの歴史と種類■				
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。			1 時間
	2,3	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。			1.5 時間
3	講義内容	コンピュータの基礎知識				
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。			1 時間
	2,3	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。			1.5 時間
4	講義内容	情報社会とコンピュータ■				
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。			1 時間
	2,5	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。			1.5 時間
5	講義内容	コンピュータの構成と性能				
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。			1 時間
	2	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。			1.5 時間
6	講義内容	基数変換① n 進数のしくみ				
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。			1 時間

	4	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
7	講義内容	基数変換② 2進数、8進数、16進数の相互変換		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	4	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
8	講義内容	文字データの表現		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	4	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
9	講義内容	記憶装置① 主記憶装置と補助記憶装置の分類		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	2	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
10	講義内容	記憶装置② ハードディスクの仕組み		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	2	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
11	講義内容	J 検対策		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	2,3,4,5	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
12	講義内容	入出力装置		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	2	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
13	講義内容	入出力インターフェース		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	2	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
14	講義内容	論理演算		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	4	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	2,3,4,5	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	予習・復習についての時間は参考程度であり、単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	コンピュータ入門Ⅱ（リテラシー）				科目ナンバリング	LAL013
英文名	Introduction to Computer Ⅱ				講義形態	講義
担当教員	坂本 孝					
科目に関連した実務経験	SEとして情報通信企業に勤務（経験）					
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	必修 2 単位			
履修を必須とする資格	J 検情報活用試験対応科目					
学位授与方針との対応	5	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
SDGs との関連	9					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	IT 社会においてコンピュータを真に活用するためには、ただ単にコンピュータの操作ができるだけでなく、その背景となる技術を理解することが必要不可欠である。「コンピュータ入門」の後編である本講義では、ネットワークとセキュリティを中心とした基本知識について学ぶ。 各講義において、最初に前回授業内容の確認テストを実施、その後、各回テーマについて教員が作成したプリントを使って、説明および問題取組みを行っていく。					
到達目標	1.コンピュータ内部での演算の仕組みやファイルの扱いについて説明できる。 2.ネットワークの基本用語について説明できる。 3.IP アドレスの設定について理解し、自分で適切な設定できる。■ 4.セキュリティ対策の基本用語について説明できる。 5.システムの性能についての計算ができる。■					
使用教材	自作のプリント					
参考文献						
評価方法	毎回の確認テスト（80％）、検定結果（20％）により評価する。					
課題・評価に対するフィードバック方法	毎回の確認テストは採点して翌週返却する。					
オフィスアワー（研究室）	火曜日 4 時限と 5 時限		メールアドレス（#→@）		sakamoto#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	補数				
	該当到達目標	予習	不要			1 時間
	1	復習	講義での説明内容をまとめ、様々な資格について調べる。			1.5 時間
2	講義内容	負の数				
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。			1 時間
	1	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。			1.5 時間
3	講義内容	演算のしくみ				
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。			1 時間
	1	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。			1.5 時間
4	講義内容	ファイルシステム				
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。			1 時間
	1	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。			1.5 時間
5	講義内容	ファイル形式				
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。			1 時間
	1	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。			1.5 時間
6	講義内容	ネットワーク① 基本用語				
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。			1 時間
	2	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。			1.5 時間

7	講義内容	ネットワーク② プロトコル、サーバ		
	該当到達目標 2,3	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
		復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
8	講義内容	IP アドレスとサブネットマスク① ネットワーク設定の基本■		
	該当到達目標 2,3	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
		復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
9	講義内容	IP アドレスとサブネットマスク② ネットワーク設定の詳細■		
	該当到達目標 2,3	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
		復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
10	講義内容	コンピュータ犯罪とセキュリティ対策■		
	該当到達目標 4	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
		復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
11	講義内容	J 検対策		
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
		復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
12	講義内容	バックアップ		
	該当到達目標 4	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
		復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
13	講義内容	RAID システム		
	該当到達目標 4	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
		復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
14	講義内容	小数の表現		
	該当到達目標 1,5	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
		復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
15	講義内容	システムの性能■		
	該当到達目標 5	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
		復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	予習・復習についての時間は参考程度であり、単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	コンピュータ実習 I (リテラシー)				科目ナンバリング	LAL014
英文名	Computer Practice I				講義形態	演習
担当教員	高橋 大志					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	必修 1 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	10	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
SDGs との関連	④					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	コンピュータはいまや文房具と同様に使われており、コンピュータ操作はこれからの社会を生き抜くための基礎力となっている。そこで、本実習では文書作成・表計算・プレゼンテーションの各ソフトウェアを使用できる能力を養うため教科書内容に沿って演習を行う。					
到達目標	1.PC を自己の目的に合わせて使用することができるようになる。 2.マイクロソフトの Word を使用してレポート等の作成ができるようになる。 3.マイクロソフトの Excel を使用してデータ整理や集計、グラフ作成等ができるようになる。 4.マイクロソフトの PowerPoint を使用してプレゼンテーションの作成と発表ができるようになる。					
使用教材	30 時間アカデミック Office2019 実教出版					
参考文献						
評価方法	出席状況(40%)、小レポートの完成度(60%)を総合的に評価する。					
課題・評価に対するフィードバック方法	課題の完成度によってコメントを付し再提出を求める。					
オフィスアワー (研究室)	質問はメールで受け付ける。 研究室:1 号館 314		メールアドレス (#→@)		takahashi-d#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	オリエンテーション、PC ログイン方法、eメールの使い方、Windows 操作の基本、文字の入力				
	該当到達目標	予習	教科書(P10～17、34)を読んでおくこと			0.5 時間
		復習	授業時間外 PC の利用、eメールマナー等を復習する			0.5 時間
2	講義内容	Word 文書作成の基本操作・文書作成				
	該当到達目標 1	予習	教科書(P18～24)を読んでおくこと			0.5 時間
		復習	講義内容に関する課題を作成する			0.5 時間
3	講義内容	Word 文書編集、書式設定				
	該当到達目標 2	予習	教科書(P25～33)を読んでおくこと			0.5 時間
		復習	講義内容に関する課題を作成する			0.5 時間
4	講義内容	Word ページ設定、課題文書の作成、印刷				
	該当到達目標 2	予習	教科書(P36～39)を読んでおくこと			0.5 時間
		復習	小レポート(Word)(P35 実習 02)を作成し提出する			0.5 時間
5	講義内容	Excel 基本操作、データ入力の基礎、基本的なワークシート編集				
	該当到達目標 3	予習	教科書(P88～92、175)を読んでおくこと			0.5 時間
		復習	講義内容に関する課題を作成する			0.5 時間
6	講義内容	Excel データ入力、編集				
	該当到達目標	予習	教科書(P93～99)を読んでおくこと			0.5 時間

	3	復習	講義内容に関する課題を作成する	0.5 時間
7	講義内容	Excel	表の作成、関数入力、罫線、フォント設定	
	該当到達目標	予習	教科書(P102～111)を読んでおくこと	0.5 時間
	3	復習	講義内容に関する課題を作成する	0.5 時間
8	講義内容	Excel	グラフ作成	
	該当到達目標	予習	教科書(P148～154)を読んでおくこと	0.5 時間
	3	復習	講義内容に関する課題を作成する	0.5 時間
9	講義内容	Excel	図形作成	
	該当到達目標	予習	教科書(P155～159)を読んでおくこと	0.5 時間
	3	復習	講義内容に関する課題を作成する	0.5 時間
10	講義内容	Excel	ソート、データ抽出	
	該当到達目標	予習	教科書(P160～173)を読んでおくこと	0.5 時間
	3	復習	小レポート(Excel)(P175 実習 29)を作成し提出すること	0.5 時間
11	講義内容	PowerPoint	スライド作成の基本操作	
	該当到達目標	予習	教科書(P188～199)を読んでおくこと	0.5 時間
	4	復習	講義内容に関する課題を作成する	0.5 時間
12	講義内容	PowerPoint	スライド移動、スライドショー実行	
	該当到達目標	予習	教科書(P199～201)を読んでおくこと	0.5 時間
	4	復習	講義内容に関する課題を作成する	0.5 時間
13	講義内容	PowerPoint	図・オブジェクトの挿入と編集	
	該当到達目標	予習	教科書(P202～208)を読んでおくこと	0.5 時間
	4	復習	講義内容に関する課題を作成する	0.5 時間
14	講義内容	PowerPoint	課題プレゼンテーション資料作成	
	該当到達目標	予習	教科書(P209～230、特に P225)を読んでおくこと	0.5 時間
	1,2,4	復習	発表資料(自己紹介 5 スライド・図と表を挿入する事)の作成を行うこと	0.5 時間
15	講義内容	PowerPoint	課題プレゼンテーション実施	
	該当到達目標	予習	資料作成及び発表練習をしておくこと	0.5 時間
	1,4	復習	小レポート(Power Point)(自己紹介 5 スライド)を作成し提出する	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考	オンラインで実施する場合であっても講義内容は変更せず、各自の PC で実施してもらう。 成績も対面と同様に評価し、出席は毎回のコメントや課題提出等で確認する。			

科目名	コンピュータ実習Ⅱ（リテラシー）				科目ナンバリング	LAL015
英文名	Computer PracticeⅡ				講義形態	演習
担当教員	高橋 大志					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	必修 1 単位			
履修を必須とする資格	Excel 表計算処理技能認定試験					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	10	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
SDGs との関連	④					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	Excel はあらゆるビジネスシーンにおいて最も活用されている表計算ソフトである。本講義では、Excel を活用して効果的に実務を行うための、さらに高度な技術、知識を習得することを目的とする。講義では課題に必要な説明を行った後、実習課題を課す。					
到達目標	1.Excel 表計算処理技能認定試験 3 級に合格する。 2.Excel 表計算処理技能認定試験 2 級に合格する。 3.Excel 表計算処理技能認定試験 1 級に合格する。					
使用教材	・Excel 表計算処理技能認定試験 1・2 級問題集 サーティファイ ソフトウェア活用能力認定委員会					
参考文献	30 時間アカデミック Office2019 実教出版					
評価方法	期末試験(100%)で評価する。また、資格合格の場合には合格級で成績を評価(100%)する。					
課題・評価に対するフィードバック方法	講義にて解答・解説を行なう。					
オフィスアワー (研究室)	質問はメールで受け付ける。 研究室:1 号館 314		メールアドレス (#→@)		takahashi-d#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	講義全体のガイダンス、作業環境、基本操作				
	該当到達目標	予習	Excel の使用方法を確認する。			0 時間
	1,2	復習	次週に必要なファイル(練習 01 問題.xlsx)をダウンロードする。			0.5 時間
2	講義内容	公民館利用状況表の作成 1(P62～68)				
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読む。			0 時間
	1,2	復習	課題を実施する。			0.5 時間
3	講義内容	公民館利用状況表の作成 2(P62～68)				
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読む。			0 時間
	1,2	復習	課題を提出し、次週のファイル(練習 02 問題.xlsx)をダウンロードする。			1 時間
4	講義内容	配車予定表の作成 1(P69～75)				
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読む。			0 時間
	1,2	復習	課題を実施する。			1 時間
5	講義内容	配車予定表の作成 2(P69～75)				
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読む。			0 時間
	1,2	復習	課題を提出し、次週のファイル(練習 03 問題.xlsx)をダウンロードする。			1 時間
6	講義内容	売り上げ分析資料の作成 1(P76～82)				
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読む。			0 時間
	1,2	復習	課題を実施する。			1 時間

7	講義内容	売り上げ分析資料の作成 2(P76～82)		
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読む。	0 時間
	1,2	復習	課題を提出し、次週のファイル(模擬 01 問題.xlsx)をダウンロードする。	1 時間
8	講義内容	2 級模擬問題(実技)(P93～99)		
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読む。	2 時間
	1,2	復習	課題を提出し、次週のファイル(練習 01 問題.xlsx)をダウンロードし、“練習 01 解答.xlsx”で保存する。	0 時間
9	講義内容	貸出票の作成 1(P208～214)		
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読む。	0 時間
	2,3	復習	課題を実施する。	0.5 時間
10	講義内容	貸出票の作成 2(P208～214)		
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読む。	0 時間
	2,3	復習	課題を提出し、次週のファイル(練習 02 問題.xlsx)をダウンロードし、“練習 02 解答.xlsx”で保存する。	0.5 時間
11	講義内容	山名所在集計表の作成 1(P215～221)		
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読む。	0 時間
	2,3	復習	課題を実施する。	1 時間
12	講義内容	山名所在集計表の作成 2(P215～221)		
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読む。	0 時間
	2,3	復習	課題を提出し、次週のファイル(練習 03 問題.xlsx)をダウンロードし、“練習 03 解答.xlsx”で保存する。	1 時間
13	講義内容	出退勤給与表の作成 1(P222～229)		
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読む。	0 時間
	2,3	復習	課題を実施する。	1 時間
14	講義内容	出退勤給与表の作成 2(P222～229)		
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読む。	0 時間
	2,3	復習	課題を提出し、次週のファイル(模擬 01 問題.xlsx)をダウンロードし、“模擬 01 解答.xlsx”で保存する。	1 時間
15	講義内容	1 級模擬問題(実技)(P239～246)		
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読む。	2 時間
	2,3	復習	課題を提出する。	0 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考	オンラインで実施する場合であっても講義内容は変更せず、各自の PC で実施してもらう。 成績も対面と同様に評価し、出席は毎回のコメントや課題提出等で確認する。 Excel 表計算処理技能認定試験(各級)に対応			

科目名		世界の社会福祉発達史(専門教養科目)				科目ナンバリング	LSH001
英文名		History of World Welfare				講義形態	講義
担当教員		戸澤 由美恵					
科目に関連した実務経験							
学年・開講期		2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格							
学位授与方針との対応		10	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
			問題解決力				
SDGs との関連		① ② ③ ④ ⑤ ⑧ ⑩ ⑪ ⑮ ⑯ ⑰					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		① 今日、様々な人が社会福祉を必要としている。社会福祉が、その国の中でどのように発展してきたのか、各国の歴史的経緯を踏まえて、現状を理解する。 ② 授業時に配布するレジュメ・資料、紹介する文献等に沿って進める。該当する国の学習回が終わるまで資料を持参すること。各国のイメージや理解を促すために視聴覚教材を視聴する。					
到達目標		1. 視聴覚教材や配布資料等を参考に、その国の歴史や文化、人々の生活のイメージがもてる 2. 歴史的文化的背景を踏まえた、その国の社会福祉制度の発達を理解できる 3. 各国の人々の生活と社会福祉の現状を知り、自国や自身の生活との共通点・相違点等を考えることができる					
使用教材		教科書は指定しない。 授業時にレジュメ・資料等を配布する。					
参考文献		参考文献等は、随時紹介する					
評価方法		毎回のリアクションペーパー、アンケート、レポート、小テスト等の提出物で総合的に評価する。総合評価 60%以上を合格とする。					
課題・評価に対するフィードバック方法		ミニレポートやリアクションペーパーへの記入を通して授業内容の理解について確認する。必要に応じて、全体への追加説明やコメント等を行う。					
オフィスアワー(研究室)		水曜 2 限 (1 号館 3 階 303)			メールアドレス(#→@)		連絡手段は初回授業時に提示する
1	講義内容	オリエンテーション					
	該当到達目標	予習	シラバスを読んで、授業内容や講義の目標などを理解する				0.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容、到達目標、評価方法などを確認し、全体像を把握する				0.5 時間
2	講義内容	アジアの社会福祉-マレーシア① マレーシアの歴史や文化を知り、マレーシア国をイメージする					
	該当到達目標	予習	世界史・地理(高校)の教科書・資料やインターネットを活用し、マレーシアを知る				1.5 時間
	1	復習	配布資料や映像を元に、マレーシアの新たな側面を確認しノートを整理する				1.5 時間
3	講義内容	アジアの社会福祉-マレーシア② マレーシアの社会福祉の考え方を理解する					
	該当到達目標	予習	前回作成のノートを元に、歴史的文化的背景を理解する				1.5 時間
	1,2	復習	配布資料等を読み、マレーシアの歴史的文化的背景をふまえた福祉観を知る				1.5 時間
4	講義内容	アジアの社会福祉-マレーシア③ マレーシアの社会福祉の現状を知る					
	該当到達目標	予習	配布資料等をノートに整理し、マレーシアの福祉観を理解する				1.5 時間
	2,3	復習	マレーシアの社会福祉の現状を理解し、自分なりの意見や感想を持つ				1.5 時間
5	講義内容	西欧の社会福祉-英国① 英国の歴史や文化をイメージする					
	該当到達目標	予習	世界史・地理(高校)の教科書・資料やインターネットを活用し、英国を知る				1.5 時間
	1	復習	配布資料や映像等を元に、英国の新たな側面を確認しノートを整理する				1.5 時間
6	講義内容	西欧の社会福祉-英国② 英国の社会福祉の考え方を理解する					
	該当到達目標	予習	前回作成のノートを元に、歴史的文化的背景を理解する				1.5 時間
	1,2	復習	配布資料等を読み、歴史的文化的背景をふまえた英国の福祉観を知る				1.5 時間

7	講義内容	西欧の社会福祉－英国③ 英国の社会福祉の現状を知る			
	該当到達目標 2,3	予習	配布資料をノートに整理し、英国の福祉観を理解する	1.5 時間	
		復習	英国の社会福祉の現状を理解し、自分なりの意見や感想を持つ	1.5 時間	
8	講義内容	前半のまとめ			
	該当到達目標 1,2,3	予習	マレーシア・英国のノート作成を通し、不明な点を確認しておく	2 時間	
		復習	二国の特徴を理解し、自分なりの感想や意見をもつ	2 時間	
9	講義内容	北米の社会福祉－アメリカ合衆国① アメリカ合衆国の歴史や文化をイメージする			
	該当到達目標 1	予習	世界史・地理(高校)の教科書・資料やインターネットを活用し、アメリカ合衆国を知る	1.5 時間	
		復習	配布資料や映像等を元に、アメリカ合衆国の新たな側面を確認しノートを整理する	1.5 時間	
10	講義内容	北米の社会福祉－アメリカ合衆国② アメリカ合衆国の福祉の考え方を理解する			
	該当到達目標 1,2	予習	前回作成のノートを元に、歴史的文化的背景を理解する	1.5 時間	
		復習	配布資料等を読み、歴史的文化的背景をふまえたアメリカ合衆国の福祉観を知る	1.5 時間	
11	講義内容	北米の社会福祉－アメリカ合衆国③ アメリカ合衆国の社会福祉の現状を知る			
	該当到達目標 2,3	予習	配布資料等をノートに整理し、アメリカ合衆国の福祉観を理解する	1.5 時間	
		復習	アメリカ合衆国の社会福祉の現状を理解し、自分なりの意見や感想を持つ	1.5 時間	
12	講義内容	北欧の社会福祉－スウェーデン① スウェーデンの歴史や文化をイメージする			
	該当到達目標 1	予習	世界史・地理(高校)の教科書・資料やインターネットを活用し、スウェーデンを知る	1.5 時間	
		復習	配布資料や映像等を元に、スウェーデンの新たな一面を確認しノートを整理する	1.5 時間	
13	講義内容	北欧の社会福祉－スウェーデン② スウェーデンの福祉の考え方を理解する			
	該当到達目標 1,2	予習	前回作成のノートを元に、歴史的文化的背景を理解する	1.5 時間	
		復習	配布資料等を読み、スウェーデン・北欧の歴史的文化的背景をふまえた福祉観を知る	1.5 時間	
14	講義内容	北欧の社会福祉－スウェーデン③ スウェーデンの社会福祉の現状を知る			
	該当到達目標 2,3	予習	配布資料等をノートに整理し、スウェーデンの福祉観を理解する	1.5 時間	
		復習	スウェーデンの社会福祉の現状を理解し、自分なりの意見や感想を持つ	1.5 時間	
15	講義内容	まとめ			
	該当到達目標 1,2,3	予習	アメリカ合衆国・スウェーデンのノート整理を通し、不明な点を確認しておく	2 時間	
		復習	二国の特徴を理解し、自分なりの感想や意見をもつ。四カ国の学びを元に、日本の社会福祉について自分なりの意見をもつ	2 時間	
合計時間(予習・復習)					45 時間
備考	* 予習は、日頃から新聞を読み、ニュースや映画を見るなどして海外情勢や文化などに興味を持つようにしましょう。 * 復習は、紹介された文献や映画等を視聴し、レジュメ・配布資料等をノートに整理・保存しましょう。 * 不明な点、疑問点等がある場合は、C-Learning を通じて連絡してください。				

科目名	国際保健医療論(専門教養科目)			科目ナンバリング	LSH002
英文名	Theory of International Health			講義形態	講義
担当教員	李孟蓉				
科目に関連した実務経験	開発途上国、在日外国人への健康支援(経験) 元 JICA 専門家をゲストスピーカーとして招く(第 9 回) 元青年海外協力隊をゲストスピーカーとして招く(第 10、11 回)				
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
履修が必須となる資格					
学位授与方針との対応	10	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
		問題解決力			
SDGs との関連	① ② ③		⑩		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	①世界における健康格差の実態を知り、医療従事者として世界平和・全人類の繁栄と福祉を願いつつ、新たな国連の目標である SDGs を軸に、グローバルヘルスの基本理念と戦略を学び、国際保健医療の活動の場を地球的視野で認識できる。また、地球規模の健康課題やその影響要因、国際保健医療の関連分野の活動の理念と実際を学びながら、国際協力に必要な知識や方法を習得し、グローバル化の時代に活躍する医療職を目指すことができる。 ②授業方法は講義内容の要点について説明し、質問などに対して具体的に説明する。到達目標に向け学習が効果的に積み重ねられるよう学習内容を体系的に提示し進めいく。また、学生が自律的に学習を進められるようグループワークを取り入れ、発表させる。				
到達目標	1. 国際保健医療学、国際保健医療協力の概念と変遷を理解できる。 2. 保健医療分野での国際協力の必要性和意義を理解できる。 3. 世界の保健・医療・福祉の動向と課題、それに対する国際的戦略や取組みおよび課題を理解できる。 4. 異文化を理解し、異文化適応のプロセスを理解できる。■ 5. 国際保健医療協力の実際や実践手法を理解できる。■ 6. 在日外国人への健康支援を理解できる。■				
使用教材	配布資料				
参考文献	①「世界で一番いのちの短い国 シェラレオネの国境なき医師団」 山本敏晴 小学館 ②「国際協力―その新しい潮流」 下村恭人 有斐閣 ③「国際保健医療学」第 3 版 国際保健医療学会編 杏林書院 ④世界の厚生労働 2019 有限会社正陽文庫/ 厚生労働省. 2020 年海外情勢報告 https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kaigai/21/ ⑤「国民衛生の動向 2020/2021」 厚生労働統計協会 ⑥「SDGsを学ぶ 国際開発・国際協力入門 法律文化社」(電子ブック) ⑦「世界の貧国 1 日 1 ドルで暮らす人びと」 ジェレミーシーブルック 青土社 適宜参考書を紹介する				
評価方法	【学内授業の場合】 ・定期試験を受験するために必要な出席回数を満たしたことを条件に、授業出席・参加度 30 点(30%) (個人/グループワーク、プレゼンテーション)、期末レポート 70 点(70%)の配分で合計 60 点以上を合格とする。 【オンライン授業の場合】 ・定期試験を受験するために必要な出席回数を満たしたことを条件に、レポート 10 点(10%)、授業出席・参加度 20 点(20%) (個人/グループワーク、プレゼンテーション)、期末レポート 70 点(70%)の配分で合計 60 点以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	授業後にアンケートを行い、次回の授業初めに振り返りを行う。				

		発表や討論については、その都度コメントやアドバイスをする。レポートについては、コメントを付して返却する。(対面授業・オンライン授業とも共通)			
オフィスアワー (研究室)		火曜・水曜の 2 限、質問はメールでも対応する。		メールアドレス (#→@)	ri#takasaki-u.ac.jp
1	講義内容	講義オリエンテーション、国際保健、国際保健医療学の定義、国際保健医療協力の概念			
	該当到達目標	予習	国際保健医療協力に関する新聞・雑誌などの記事を読むこと。		1.5 時間
	1、2	復習	配布資料を目を通し、国際保健協力の定義、世界や国内の国際協力の概念についてまとめ、理解を深めること。		1.5 時間
2	講義内容	グローバルヘルスと国際保健医療協力の歴史			
	該当到達目標	予習	世界で起きている健康問題に関する新聞・雑誌などの記事を読むこと。		1.5 時間
	1、2	復習	配布資料に目を通し、世界で起きている健康問題と支援の必要性についてまとめ、理解を深めること。		1.5 時間
3	講義内容	国際保健医療関連の国際機関、NGO の取り組みと日本の国際協力			
	該当到達目標	予習	参考文献①「世界で一番いのちの短い国 シェラレオネの国境なき医師団」、②国際協力―その新しい潮流に目を通しておくこと。		1.5 時間
	1、3	復習	配布資料に目を通し、国際保健医療協力の仕組み、国際保健医療関連の国際機関や NGO 団体、ODA の活動についてまとめ、理解を深めること。		1.5 時間
4	講義内容	グローバルヘルスと開発理念の変遷 (プライマリーヘルスケア～SDGs)			
	該当到達目標	予習	参考文献③「国際保健医療学」第3版の第 I 部1～4、10～11まで目を通しておくこと。		1.5 時間
	1、3	復習	配布資料に目を通し、世界の歴史の中でのプライマリーヘルスケアとヘルスプロモーション、MDGsの基本理念と変遷について理解を深め、SDGsの目標と活動について興味関心をまとめること。		1.5 時間
5	講義内容	諸外国における保健・医療・福祉			
	該当到達目標	予習	参考文献④世界の厚生労働 2019 p. 102-136、事前配布資料を読むこと。		1.5 時間
	3	復習	配布資料に目を通し、タイ、ベトナム、インドネシア、台湾等の諸外国における保健・医療・福祉の動向と課題についてまとめ、理解を深めること。		1.5 時間
6	講義内容	世界における健康の格差① (保健指標、母子保健)			
	該当到達目標	予習	参考文献⑤「国民衛生の動向 2019/2020」を参考し、日本における衛生の主要指標、保健と医療の動向(人口動態、生命表、母子保健など)について目を通しておくこと。		1.5 時間
	2、3	復習	配布資料に目を通し、世界で生じている健康格差の実態とその原因についてまとめ、理解を深めること。		1.5 時間
7	講義内容	世界における健康の格差② (感染症と非感染性疾病)			
	該当到達目標	予習	参考文献⑥SDGsを学ぶ 国際開発・国際協力入門 法律文化社(電子ブック)第2章 保健・健康 SDG3 に目を通しておくこと。		1.5 時間
	2、3	復習	開発途上国の保健医療課題とその原因についてまとめて、理解を深めること。		1.5 時間
8	講義内容	異文化と異文化適応			
	該当到達目標	予習	身近にある異文化体験をまとめておくこと。		1.5 時間
	4	復習	配布資料に目を通し、文化が人々の生活様式へ与える影響についてまとめ、理解を深めること。		1.5 時間
9	講義内容	国際保健医療協力と異文化理解 ■ 元 JICA 専門家を招き、異文化の中での国際協力活動について事例をもとに解説を加えて講義する			
	該当到達目標	予習	世界で行われてる国際保健医療協力を調べておくこと。		1.5 時間
	2、3、4	復習	配布資料に目を通し、国際協力として行われている支援について、目的、実際の活動内容、異文化適応について考察したことをまとめ、理解を深めること。		1.5 時間
10	講義内容	「貧困と格差」を考えるワークショップ① ■ 国際協力の経験をもとに、国づくりを行うシミュレーションゲームをワークショップという形で取り入れて、各グループが協力しあえるように指導をしながら行う			
	該当到達目標	予習	参考書⑦「世界の貧国 1日1ドルで暮らす人びと」に目を通しておくこと。		1.5 時間

	2、3、5	復習	ワークショップに参加し、世界の不平等や格差に気づき、国の豊かさについて考えを深めること。	1.5 時間
11	講義内容	「持続可能な開発目標の達成に向けて」を考えるワークショップ② ■ SDGsの目標にて世界の課題、日本ができること、自分にできることを考えるワークショップという形を取り入れて、各グループが円滑にディスカッションを進めるように指導をしながら行う		
	該当到達目標	予習	第4回目の授業内容を再度確認しておくこと。	1.5 時間
	2、3、5	復習	SDGsの目標を理解し、自分たちが取り組めることについて考えておくこと。	1.5 時間
12	講義内容	在日外国人の健康支援 ■ 在日外国人の背景や特性、健康問題、医療機関へのアクセス等について、事例をもとに解説を加えて講義する。		
	該当到達目標	予習	日本、群馬県内の在日外国人(人口、国籍、在留資格、居住地域、生活など)について調べ、体験、新聞等の媒体から実情に関心をもち把握しておくこと。	1.5 時間
	4、6	復習	配布資料を再確認し、在日外国人が抱えている健康問題と支援について、理解を深めること。	1.5 時間
13	講義内容	グローバルヘルス 個人ワーク/グループワーク①		
	該当到達目標	予習	興味関心のあるSDGの目標についてを調べておくこと。	1.5 時間
	2、3、5	復習	興味関心のあるSDGの目標やターゲットについてまとめておくこと	1.5 時間
14	講義内容	グローバルヘルス 個人ワーク/グループワーク②		
	該当到達目標	予習	興味関心のあるSDGにおける日本を含めて、国際機関や世界でのNGO、企業等の活動・取り組みを調べておくこと。	1.5 時間
	2、3、5	復習	調べてまとめた興味関心のあるSDGについて、第11回講義と関連付けて自分たちが取り組めることをまとめておくこと	1.5 時間
15	講義内容	プレゼンテーション、まとめ		
	該当到達目標	予習	第13回～第14回の個人ワーク/グループワークの発表資料を作成すること。	1.5 時間
	2、3、4、5	復習	第1回～第15回の授業資料の資料を読み、地球規模の健康課題や国際協力に必要な知識、方法についてまとめ、理解を深めること。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	研究室:3号館2階208 1. 単位修得に必要な時間を満たしていない場合 2. ルール 1) 能動的に、積極的に学ぶ姿勢で授業に臨むこと。 2) 他学生の学習の妨げとなるような行為を慎むこと。 3. 出席登録の方法 出席の登録は、C-learningの下記1)～2)のいずれかの方法で行う。方法は授業、「ニュース」で確認すること。 1) 「レポート」の課題をする。 2) 「アンケート」を提出する。 4. グループワークとレポートの詳細については授業を進めながら提示する。 5. オンライン講義を実施する場合には、講義内容のワークショップを変更することがある。 ■: 実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	世界の歴史と日本(専門教養科目)				科目ナンバリング	LSH003
英文名	The World History and Japan				講義形態	講義
担当教員	山本 麻子					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応	10	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
SDGs との関連						
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	多様化し複雑になっている現代社会において就労し、よりよい人間関係を築いていくためには、異なる価値観の存在を認識し異文化への理解を深めることは重要だ。本講座ではイギリスの場合を一つのケーススタディとし、特定のテーマについてどのような背景・要因があり、どのような過程をたどりどのような結果に至り、どのように現代に影響しているかを考察する。 長年在住したイギリスでの公的・私的な経験を参考に、テーマに即して、事例を紹介する。イギリス以外の国々にも言及しつつ、日本の諸側面と比較する。					
到達目標	1. テーマについての知識を深め、理解を深めることができる。 2. 先人たちの努力や業績を認識することができる。 3. 日本の該当する箇所と比較考察することができる。 4. 毎回の授業を通して、物事を多角的に考え、日常の生活に応用することのできる能力を発揮させられる。					
使用教材	決まった教材は使用しないが、必要に応じて、資料を配布する。また、参考資料を提示する。					
参考文献	同上					
評価方法	予習、復習(特に復習)30%、授業中の態度 30%、そしてレポート 40%の合計で評価する					
課題・評価に対するフィードバック方法	課題も含め、質問等にはできる限り、フィードバックを与える。					
オフィスアワー(研究室)	質問、および学習相談には授業開始前、もしくは終了後に応じる。		メールアドレス(#→@)		連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	ガイダンス・授業の進め方についてのイントロ;「歴史とは何か」について				
	該当到達目標	予習	講座選択の理由、歴史とは何かについて考えてくる			0.5 時間
	1,2,3	復習	授業で扱った例についてコメントを考える			1.5 時間
2	講義内容	イギリスの最近の話題から				
	該当到達目標	予習	前回の授業で出された課題についてコメントを考える			0.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で使用した資料についてコメントを考える			1.5 時間
3	講義内容	イギリスの教育 1: 多文化環境での学校; 実践例				
	該当到達目標	予習	これまでに受けた教育について考える			0.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で扱った例についてコメントを考える			1.5 時間
4	講義内容	イギリスの教育 2: 学習の方法、内容等での日英の比較を含める。				
	該当到達目標	予習	前回の授業の復習			0.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で扱った内容のコメントを考える			1.5 時間
5	講義内容	産業革命 1: 背景と経過				
	該当到達目標	予習	産業革命について知っていることを考える			0.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で扱った内容についてコメントを考える			1.5 時間
6	講義内容	産業革命: 影響と問題				
	該当到達目標	予習	前回の復習			0.5 時間

	1,2,3,4	復習	授業で扱った内容のコメントを考える	1.5 時間
7	講義内容	女性の地位 1: イギリスの婦人参政権運動の背景と経過		
	該当到達目標	予習	前回出された課題について考える	0.5 時間
	1,2,4	復習	授業で扱った内容のコメントを考える	1.5 時間
8	講義内容	女性の地位 2: 経過の続きと結果等々		
	該当到達目標	予習	前回の授業内容の復習	0.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で扱った内容のコメントを考える	1.5 時間
9	講義内容	英語の歴史 1: 英語の歴史は英国の歴史(前半)		
	該当到達目標	予習	英語について考える	0.5 時間
	1,2,4	復習	授業内容についてのコメントを考える	1.5 時間
10	講義内容	英語の歴史 2: 英語の歴史は英国の歴史(後半)		
	該当到達目標	予習	前回の授業内容の復習	0.5 時間
	1,2,4	復習	授業内容についてのコメントを考える	1.5 時間
11	講義内容	シェイクスピアの時代の前後 1: スペインの無敵艦隊(背景等)		
	該当到達目標	予習	前回出された課題について考える	0.5 時間
	1,2,4	復習	授業内容についてのコメントを考える	1.5 時間
12	講義内容	シェイクスピアの時代の前後2: 背景、グローブ座等々		
	該当到達目標	予習	シェイクスピアについて知っていることを考える	0.5 時間
	1,2,4	復習	授業内容についてのコメントを書く	1.5 時間
13	講義内容	レポートの書き方について		
	該当到達目標	予習	レポートテーマについて考える	0.5 時間
	1,4	復習	レポートテーマを決める	1.5 時間
14	講義内容	マグナカルタについて: 意義と背景、影響		
	該当到達目標	予習	マグナカルタについて何を知っているか考える	0.5 時間
	1,2,4	復習	授業内容についてのコメントを考える	1.5 時間
15	講義内容	まとめ、また、ことばの学習について		
	該当到達目標	予習	これまでの授業内容を概観する	0.5 時間
	2,3,4	復習	授業内容についてのコメントを考える	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				30 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位習得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。			

科目名	人間行動学(専門教養科目)				科目ナンバリング	LSH004
英文名	Theory of Human Behavior				講義形態	講義
担当教員	上原 徹、服部 卓					
科目に関連した実務経験	精神科医として大学病院等で勤務経験 30 年以上、現在も非常勤医師として実務を行っている(上原)。臨床心理士として大学病院等で勤務経験は約 30 年、現在に至る(服部)。					
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応	10	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
SDGs との関連	③			⑩		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	学生が行動科学の基礎と応用を学ぶことで、臨床や対人支援の場面におけるクライアントの行動や、支援者である自らの行動との相互作用を理解することができる。前半を服部、後半を上原が担当する。 授業では配布資料も使って要点をまとめ、一部 DVD を視聴しつつ進める。					
到達目標	1. 医療などの対人支援における基本的姿勢を身につける 2. ケアを受ける人の心理や行動を理解できる 3. 適切な対人的交流のための知識と技術が説明できる 4. 他職種と機能的に連携する視点を持てる■ 5. 行動科学や心理学の初級知識を解説できる					
使用教材	福村出版「行動科学への招待〔改訂版〕現代心理学のアプローチ」を教科書として用いるので必携。DVD 教材を用いた授業も加える。					
参考文献						
評価方法	レポートを 90%とし、授業中の態度を 10%程度参考にして総合評価する。授業態度(静肅さ、不要な私語、真摯な姿勢など)に問題がある場合は、個別に減点する。					
課題・評価に対するフィードバック方法	レポートについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバックする。					
オフィスアワー(研究室)	月 4 金 3 研究室:1 号館 5 階 501		メールアドレス(#→@)		授業で提示する	
1	講義内容	青年期の心理と性格				
	該当到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。			0.5 時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。			2.5 時間
2	講義内容	対人行動				
	該当到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。			1 時間
	1,2	復習	ノートを読むこと。			2 時間
3	講義内容	集 団■				
	該当到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。			1 時間
	2,3,4	復習	ノートを読むこと。			2 時間
4	講義内容	異文化と自己				
	該当到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。			1 時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。			2 時間
5	講義内容	ヒューマンファクター——労働の心理学				
	該当到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。			1 時間
	1,5	復習	ノートを読むこと。			2 時間

6	講義内容	きずなの発達		
	該当到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	2,5	復習	ノートを読むこと。	2 時間
7	講義内容	自己の形成と発達		
	該当到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	2,5	復習	ノートを読むこと。	2 時間
8	講義内容	医療における人間関係		
	該当到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	1,2,3	復習	ノートを読むこと。	2 時間
9	講義内容	健 康		
	該当到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	1,2,5	復習	ノートを読むこと。	2 時間
10	講義内容	学習と学習支援		
	該当到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。	2 時間
11	講義内容	知 覚		
	該当到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。	2 時間
12	講義内容	記 憶		
	該当到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。	2 時間
13	講義内容	思 考		
	該当到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。	2 時間
14	講義内容	疲労・メンタルヘルスと現代の職場■		
	該当到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	4,5	復習	ノートを読むこと。	2 時間
15	講義内容	音楽と脳・まとめ■		
	該当到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	ノートを読むこと。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	複数の学科学生が多人数で聴講し、非常勤講師もお迎えするので、静粛に臨むこと。授業中の不必要な私語や不謹慎な態度は、厳に慎むこと(成績評価に影響する)。 オンラインで行わざるを得ない場合は、DVD 上映の代替えとなるパワーポイントおよびウェブサイト動画の紹介を行う。 予習・復習については、試験前後の学習で補完すること。オフィスアワーや連絡先は、主任講師の上原がオリエンテーション時に案内する。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名		健康運動実技(専門教養科目)				科目ナンバリング	LSH005
英文名		Health Exercise Skills				講義形態	講義
担当教員		大家 千枝子					
科目に関連した実務経験							
学年・開講期		2 年 前期	選必・単位数	選択 1 単位			
履修を必須とする資格							
学位授与方針との対応		5	豊かな人間性と幅広い教養		2	コミュニケーションスキル	
		1	健康・医療および情報に関する知識・技能		1	生涯学習力	
		1	問題解決力				
SDGs との関連		③					
実施概要		健康保持増進のための運動実践力育成と体力の向上を図り、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質と能力を身につける。					
①講義の目標		実技を中心に授業を進めていく。					
②講義の実施方法							
到達目標		1.運動に対する欲求や運動が好きであることを感じることができる。 2.運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができる。 3.公正・協力・責任・参画・勇気などに対する意欲をもつことができる。 4.仲間や教員と積極的にコミュニケーションを図ることができる。 5.健康・安全を確保して、スポーツライフを継続するための工夫や仕組みを創造することができる。					
使用教材		プリントを適宜配布する。					
参考文献		参考文献を適宜紹介する。					
評価方法		授業ごとの取り組みの評価点 65%、課題 20%、記録(提出物・コメント)15%					
課題・評価に対するフィードバック方法		毎回の授業後に授業記録カードの提出を求める。授業記録カードに付したコメントやスタンプは必ずチェックすること。また最終日には、授業で学んだことの整理・課題・目標到達度の確認(ルーブリックにて自己評価)を行う。課題は返却しないので、開示を希望するものは本人が直接申し出ること。					
オフィスアワー(研究室)		質問及び学習相談には、授業開始前もしくは終了後に応じる。		メールアドレス(#→@)		oie#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンス・履修者からの需要調査					
	該当到達目標	予習	シラバスを読んで講義目標などを理解する。要配慮の場合は申告すること。				0.5 時間
	3,4,5	復習	到達目標、学位記授与方針、成績評価方法などを確認する。				0.5 時間
2	講義内容	室内種目からの需要調査結果による選択種目の実施					
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。				0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。実際に動く。				0.5 時間
3	講義内容	室内種目からの需要調査結果による選択種目の実施					
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。				0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。実際に動く。				0.5 時間
4	講義内容	室内種目からの需要調査結果による選択種目の実施					
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。				0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。実際に動く。				0.5 時間
5	講義内容	室内種目からの需要調査結果による選択種目の実施					
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。				0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。実際に動く。				0.5 時間
6	講義内容	室内種目からの需要調査結果による選択種目の実施					
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。				0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。実際に動く。				0.5 時間
7	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施					

	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5	時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。実際に動く。	0.5	時間
8	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施			
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5	時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。実際に動く。	0.5	時間
9	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施			
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5	時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。実際に動く。	0.5	時間
10	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施			
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5	時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。実際に動く。	0.5	時間
11	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施			
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5	時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。実際に動く。	0.5	時間
12	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施			
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5	時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。実際に動く。	0.5	時間
13	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施			
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5	時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。実際に動く。	0.5	時間
14	講義内容	室内種目からの需要調査結果による選択種目の実施			
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5	時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。実際に動く。	0.5	時間
15	講義内容	まとめ、授業で学んだことの整理・確認テスト(または課題)・目標到達度の確認			
	該当到達目標	予習	これまで授業で学んだこと、自身の授業態度を振り返る。	0.5	時間
		復習	目標達成度の確認。今後どのように運動・スポーツを継続できるか検討する。	0.5	時間
合計時間(予習・復習)				15	時間
備考	【オンラインで実施する場合の変更点】 授業ごとの取り組み内容、評価など、具体的な変更点は初回授業でアナウンスする。 【単位修得に必要な時間について】 記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 【受講上の注意】 ①運動に適した服装(ジャージ、Tシャツなど)とシューズ(屋内外別)を着用すること。 (※ジーンズ・普段着での受講は不可。スマホや時計、指輪、ブレスレット、ネックレス、ピアスなどは外しておく。) ②原則として見学は認めない。配慮を必要とする学生は初回ガイダンス終了までに申し出ること。 ③貴重品は各自で管理すること。 ④授業で使用する用具は基本的に大学側で用意するが、個人所有のラケットなどがあれば持参を推奨する。 ⑤天候による施設変更がある。教務課掲示板やポータルサイトで確認すること。 ⑥フットサルコートの人混みがとれやすく、靴下やウエアに付着することがある 【履修条件】 準備・後片付けなどの授業運営は受講生の積極的な姿勢を求める。また、技術の高低や得意不得意、好き嫌い、勝ち負けにとらわれず、自分の持っている技術力をいかして、スポーツそのものを楽しむ能力や積極的に体を動かすことが求められる。 【ルール】 授業開始時には整列し、出席をとる。授業終了時には、振り返りとして授業記録カードの提出がある。次の行為は授業中にしないこと。①ガムを噛む、②授業と関係のないスマホ使用。				

科目名		科目ナンバリング		LSH006
英文名		講義形態		講義
担当教員		出雲 春明		
科目に関連した実務経験				
学年・開講期		2年 後期	選必・単位数	選択 2単位
履修を必須とする資格				
学位授与方針との対応	10	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル
		健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力
		問題解決力		
SDGs との関連		10		16
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		① 東西の代表的な宗教・倫理思想に触れることで、世の多様な価値観への理解を養うことを目的とする。また、それによって自己の在り方に対する客観的・批判的な視座を養う。なるべく平易な表現を用いて講義を行う。「宗教」は「非日常的なもの」として敬遠されることも多い。しかし、だからこそ、そこで語られる教えや物語は、しばしば漠然と過ごされている私たちの日常を省みる絶好の機会を提供してくれる。自分が普段どのような判断や行動をしているか常に考えつつ、講義に臨んでほしい。 ② C-Learning の教材倉庫にアップした資料に基づいて講義を行い、毎回アンケートに意見を記述してもらう。また、定期的にドリルと小テストを実施して知識の定着を図る。新型コロナの感染状況によってはオンデマンド形式に移行する。		
到達目標		1. 講義で取り扱った諸宗教・倫理思想の基本について説明することができる。 2. そして、それを自己理解、他者理解に役立てることができる。		
使用教材		C-Learning の教材倉庫に資料をアップする。		
参考文献		関根正雄(訳)『旧約聖書 ヨブ記』、岩波文庫、1971年。 金子大栄『歎異抄』、岩波文庫、改版、1981年。		
評価方法		授業への取り組み(資料の閲覧状況など)・・・30% 毎回の課題(アンケートの実施状況)、ドリル・小テスト、期末レポート・・・70%		
課題・評価に対するフィードバック方法		毎回、授業終了時に意見や質問などを C-Learning「アンケート」に記述してもらい、それらに対してコメントを返す。有意義な意見に関しても紹介の時間を設ける。		
オフィスアワー (研究室)		1号館 511 研究室 面談希望の場合は C-Learning「連絡・相談」あるいは左記アドレスまで。	メールアドレス (#→@)	izumo-s#takasaki-u.ac.jp
1	講義内容		ガイダンス	
	該当到達目標		予習	シラバスを読み、講義目標、到達目標、評価方法などについて確認しておく。
	1		復習	これからの講義内容の大枠について確認しておく。
2	講義内容		『聖書』の思想：一神教の系譜	
	該当到達目標		予習	一神教(ユダヤ教、キリスト教、イスラム教)それぞれの関係について調べておく。
	1,2		復習	ユダヤ教、キリスト教、イスラム教、それぞれの特徴について確認しておく。
3	講義内容		善人とは何か—『旧約聖書』(『ヨブ記』)より(1)「契約」について	
	該当到達目標		予習	『ヨブ記』の概略について調べておく。
	1,2		復習	「旧約」、「新約」とは何か、「応報主義」とは何か理解する。
4		講義内容 善人とは何か—『ヨブ記』より(2)生誕の災い		

	該当到達目標 1,2	予習	『ヨブ記』のプロローグを読んでおく。	1.5 時間
		復習	ヨブ記、ギリシア神話、仏教などにおけるペシミスティックな人間観を理解する。	1.5 時間
5	該当到達目標 1,2	講義内容	善人とは何か—『ヨブ記』より(3)自己の在り方を省みる	
		予習	『ヨブ記』の登場人物の関係性について考えておく。	1.5 時間
		復習	自己と他者の間にある鏡像的な相互関係について理解する。	1.5 時間
6	該当到達目標 1,2	講義内容	善人とは何か—『ヨブ記』より(4)現代の事例から考える	
		予習	ヨブと彼の友人たちの議論を確認しておく。	1.5 時間
		復習	自己批判の欠如がもたらす事態について歴史的事件を通じて理解する。	1.5 時間
7	該当到達目標 1,2	講義内容	善人とは何か—『ヨブ記』より(5)「懺悔」ということ	
		予習	『ヨブ記』エピローグを読んでおく。	1.5 時間
		復習	聖書の思想における「懺悔」の位置づけについて理解する。	1.5 時間
8	該当到達目標 1,2	講義内容	旧約から新約へ：イエスの教え	
		予習	『ヨブ記』をめぐる議論について確認しておく。	1.5 時間
		復習	イエスの教えが登場してくる背景とその意義について理解する。	1.5 時間
9	該当到達目標 1	講義内容	悪人とは何か—『歎異抄』より(1)『歎異抄』について	
		予習	『歎異抄』とはどんな書か調べておく。	1.5 時間
		復習	『歎異抄』第三条の特異性について理解する。	1.5 時間
10	該当到達目標 1	講義内容	悪人とは何か—『歎異抄』より(2)罪の意識	
		予習	『歎異抄』第三条に関する様々な見解を確認しておく。	1.5 時間
		復習	親鸞の内面を支配していた深い罪の意識を理解する。	1.5 時間
11	該当到達目標 1,2	講義内容	悪人とは何か—『歎異抄』より(3)浄土思想の展開(1)	
		予習	親鸞の師である法然が登場してきた時代背景について調べておく。	1.5 時間
		復習	当時の人々の心に去来していた思いについて理解する。	1.5 時間
12	該当到達目標 1,2	講義内容	悪人とは何か—『歎異抄』より(4)浄土思想の展開(2)	
		予習	親鸞の生涯について調べておく。	1.5 時間
		復習	親鸞の罪の意識の由来について理解し、自らに引きつけて考える。	1.5 時間
13	該当到達目標 1,2	講義内容	悪人とは何か—『歎異抄』より(5)「悪人正機説」	
		予習	これまでの議論について確認しておく。	1.5 時間
		復習	『歎異抄』第三条の悪人正機説の意味を理解する。	1.5 時間
14	該当到達目標 1,2	講義内容	悪人とは何か—『歎異抄』より(6)悪の不可避性とそれゆえの無力	
		予習	親鸞における悪について自らに引きつけて考えておく。	1.5 時間
		復習	我々が気づかず捕らわれている自己中心的な考え方について理解する。	1.5 時間
15	該当到達目標 1,2	講義内容	総括—東西の宗教	
		予習	聖書の思想と浄土思想の核心部分について確認しておく。	1.5 時間
		復習	東西の宗教、倫理思想の共通点について理解する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	C-Learning の「教材倉庫」「ドリル」「小テスト」「アンケート」「レポート」機能を活用する。毎回、授業(対面)前日に教材をアップするのであらかじめ目を通しておくこと。オンデマンド授業の場合は、授業時間に教材をアップする。「ニュース」欄で、実施すべき課題と期限を確認しておくこと。 「自分ならどう考え、行動するか」を自らに問いかける姿勢を大切にしてほしい。			

科目名	レクリエーション論(専門教養科目)				科目ナンバリング	LSH007
英文名	Recreation Theory				講義形態	演習
担当教員	大家 千枝子					
科目に関連した実務経験	レクリエーション・インストラクター養成講習会講師として、公認指導者養成に従事(現在)。(公益財団法人日本レクリエーション協会公認・群馬県レクリエーション協会主催、2015 年度より)					
学年・開講期	3 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応	5	豊かな人間性と幅広い教養		5	コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
SDGs との関連	③					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	人びとの「心を元気にする」ための手助けができるレクリエーション支援の強み(専門性)を理解する。支援の目的とそれを達成するための方法の裏付けとなる人の心の仕組みを学ぶ。 教員による講義がベースとなるが、グループワークによるテーマに沿った共同作業も予定している。「心を元気にする」ための理論をその実践へと結び付けるため、各グループによるレクリエーション活動を用いた短時間のレクリエーション支援を行い、「集団をリードする」、「コミュニケーションを促進する」、「楽しい空間をつくる」という感覚を養う。					
到達目標	1.レクリエーション支援の目的と手段について、理解し、説明できる。■ 2.レクリエーション活動の楽しさが心を元気にすることについて、理解できる。■ 3.コミュニケーションの促進がレクリエーション支援の基盤であることを理解し、説明できる。■ 4.授業の性質やグループ内での個人の役割について、理解し、行動することができる。 5.必要な資料や情報を収集し、意見をまとめ、期日を守って提出できる(C-learning も含む)。					
使用教材	「楽しさをとおした心の元気づくり レクリエーション支援の理論と方法」、公益財団法人日本レクリエーション協会、1,800 円+税 ISBN978-4-931180-95-6					
参考文献	「基本のアイスブレイキング・ゲーム」、公益財団法人日本レクリエーション協会、2,530 円(税込) ISBN978-4-931180-92-5 C2076					
評価方法	授業への参加度・態度(30%)、課題(35%)、確認テスト(35%)を総合的に評価する。 (※ 履修期間中、学内外のレク支援に自ら関わった場合は所定用紙提出で「課題」点に加点。)					
課題・評価に対するフィードバック方法	自分以外の履修者による課題や感想、評価を知ることが学生相互の刺激になるため、C-learning を使ってフィードバックする。また紙媒体の提出課題は、適宜返却を予定している。ただし最終日の確認テストは返却予定がないので、開示を希望するものは本人が直接申し出ること。					
オフィスアワー (研究室)	質問及び学習相談には、授業開始前もしくは終了後に応じる。		メールアドレス (#→@)		oie#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンス、さまざまな現場でのレク支援について理解を深める(視聴覚教材使用)■				
	該当到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。			0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する。			0.5 時間
2	講義内容	レクリエーション支援の方法(アイスブレイキングのプログラムを体験する)■、グループわけ				
	該当到達目標	予習	自身がこれまで体験したレクリエーション活動について振り返る。			0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	楽しさをとおした心の元気づくりについて授業を振り返って、イメージをもつ。			0.5 時間
3	講義内容	レクリエーション概論(レクリエーションの主旨と手段を理解する)■、レク支援の説明と日程抽選				
	該当到達目標	予習	テキスト第 1 章(p.9~17)を読んでおくこと。			0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	楽しさをとおした心の元気づくりについて授業を振り返って、イメージをもつ。			0.5 時間
4	講義内容	楽しさと心の元気づくりの理論(楽しさをとおした心の元気づくりを理解する)				
	該当到達目標	予習	テキスト第 2 章(p.19~32)を読んでおくこと。			0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	楽しさをとおした心の元気づくりについて授業を振り返って、イメージをもつ。			0.5 時間
5	講義内容	楽しさと心の元気づくりの理論(楽しさをとおした心の元気づくりを理解する)				
	該当到達目標	予習	テキスト第 2 章(p.33~36)を読んでおくこと。			0.5 時間

	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
6	講義内容	レクリエーション支援の理論(コミュニケーションと信頼関係づくりの理論)		
	該当到達目標	予習	テキスト第3章(p.37～43)を読んでおくこと。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
7	講義内容	レクリエーション支援の理論(良好な集団づくりの理論)		
	該当到達目標	予習	テキスト第3章(p.44～49)を読んでおくこと。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
8	講義内容	レクリエーション支援の理論(自主的、主体的に楽しむ力を高める理論)		
	該当到達目標	予習	テキスト第4章(p.50～55)を読んでおくこと。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
9	講義内容	レクリエーション支援の方法(信頼関係づくりの方法・ホスピタリティ)		
	該当到達目標	予習	テキスト第4章(p.57～65)を読んでおくこと。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
10	講義内容	レクリエーション支援の方法(ホスピタリティの体験的理解 その1・その2)		
	該当到達目標	予習	テキスト第4章(p.66～69)を読んでおくこと。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
11	講義内容	レクリエーション支援の方法(ハードル設定の習得)		
	該当到達目標	予習	テキスト第4章(p.70～82)を読んでおくこと。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
12	講義内容	レクリエーション支援の方法(アレンジ方法の習得)		
	該当到達目標	予習	テキスト第4章(p.70～82)を読んでおくこと。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
13	講義内容	レクリエーション支援の方法(CSSプロセスの習得)		
	該当到達目標	予習	テキスト第4章(p.70～82)を読んでおくこと。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
14	講義内容	安全管理の方法■		
	該当到達目標	予習	これまでの自身のレク活動における安全管理について振り返る。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
15	講義内容	授業で学んだことの整理・確認テスト(または課題)・目標到達度の確認		
	該当到達目標	予習	これまでの授業を振り返る。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	確認テストについて、授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考	【オンラインで実施する場合の変更点】 初回の授業でアナウンスする。 【単位修得に必要な時間について】 記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 【履修条件】 積極的に参加する学生を求める。 【ルール】 レクリエーション論を学ぶうえで、信頼関係づくりの方法における「あたたかくもてなす意識と配慮」の観点より、次の行為は授業中にしないこと。①ガムを噛む、②授業と関係のないスマホ使用、③帽子の着用(事情がある場合を除く。) ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	数学基礎 I (専門導入科目)				科目ナンバリング	HII101
英文名	Mathematics Basic I				講義形態	講義
担当教員	東福寺 幾夫					
科目に関連した実務経験	オリンパス在職中に、血液分析装置のデータ処理方式の研究開発やシステム開発に従事した。					
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応	3	豊かな人間性と幅広い教養			1	コミュニケーションスキル
	2	健康・医療および情報に関する知識・技能			1	生涯学習力
	3	問題解決力				
SDGs との関連	① ③ ④ ⑤ ⑧ ⑩ ⑫					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	授業は、教科書の例題を解説後に各自練習問題を解き、指名された学生が解答例を板書する形式を基本とする。その他、必要に応じて関連するプリントを配布し、宿題を出すことがある。学期末には、総合的な演習問題を配布し、授業内容の復習を行う。 大学での学習に必要な数学の基礎を習得し、以下の範囲の基礎的問題が解けるようになる。					
到達目標	1. 式に示された計算の手順を論理的に分析・理解し、正しく数の計算・式の計算ができる。 2. 式の展開や因数分解ができ、各種の一次方程式・二次方程式を解くことができる。 3. 一次式・二次式・円・楕円・双曲線のグラフの概形が描ける。 4. 三角比と弧度法を理解し、三角関数のグラフの概形が描け、公式の説明ができる。■ 5. 指数法則・対数法則を理解し指数・対数の計算ができ、指数関数・対数関数のグラフの概形が描ける。■					
使用教材	「大学新入生のための数学入門増補版」石村園子著・共立出版 ISBN4-320-01769-2					
参考文献						
評価方法	授業への参加と貢献 10%、授業毎のドリル 20%、期末試験 70%で評価し、60 点以上を合格とする。					
課題・評価に対するフィードバック方法	毎回の授業の冒頭で前回授業の振り返りを行う。 また、出席カードで自宅での学習状況や授業における疑問点や改善要望等を収集する。					
オフィスアワー (研究室)	月曜日の 4 時限と水曜日 3 時限 1 号館 6 階 605			メールアドレス (#→@)	tofukuji#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンス				
	該当到達目標	予習	教科書のまえがき、シラバスを読む。			1 時間
	1,2,3,4,5	復習	プリントの課題を解く。			1 時間
2	講義内容	数と式の計算 1 整数、分数、小数、繁分数、平方根、複素数				
	該当到達目標	予習	教科書の 1 章 p.2～3、6～7 を読む。			1 時間
	1	復習	教科書 14 章の練習問題 1.1、1.2、1.5、1.6 の A を解く。			1.5 時間
3	講義内容	数と式の計算 2 展開公式、因数分解、分数式の計算、部分分数の計算、無理式の計算				
	該当到達目標	予習	教科書の 1 章 p.4～5、8～10 を読む。			1 時間
	2	復習	教科書 14 章の練習問題 1.3、1.4、1.7～1.9 の A を解く。			1.5 時間
4	講義内容	数と式の計算 3 方程式、連立一次方程式、代数方程式				
	該当到達目標	予習	教科書の 1 章 p.11～12 を読む。			1 時間
	2	復習	教科書 14 章の練習問題 1.10、1.11 の A を解く。			1.5 時間
5	講義内容	数と式の計算 1 練習問題を解き、解法を確認する。				

	該当到達目標 1,2	予習	教科書の 14 章の練習問題 1.1～1.11 の B を解く。	1 時間
		復習	教科書の 14 章の練習問題 1.1～1.11 の C を解く。	1.5 時間
6	講義内容	関数とグラフ 1 関数、直線、放物線		
	該当到達目標 2	予習	教科書の 2 章 p.14～18 を読む。	1 時間
		復習	教科書の 14 章の練習問題 2.1～2.3 の A を解く。	1.5 時間
7	講義内容	関数とグラフ 2 円、楕円、双曲線		
	該当到達目標 3	予習	教科書の 2 章 p.19～21 を読む。	1 時間
		復習	教科書の 14 章の練習問題 2.4、2.5 の A を解く。	1.5 時間
8	講義内容	関数とグラフ 3 不等式		
	該当到達目標 3	予習	教科書の 2 章 p.22～24 を読む。	1 時間
		復習	教科書の 14 章の練習問題 2.6、2.7 の A を解く。	1.5 時間
9	講義内容	関数とグラフ 4 練習問題を解き、解法を確認する。		
	該当到達目標 3	予習	教科書の 14 章の練習問題 2.1～2.7 の B を解く。	1 時間
		復習	教科書の 14 章の練習問題 2.1～2.7 の C を解く。	1.5 時間
10	講義内容	三角関数 1 三角比、ラジアン単位と一般角、三角関数■		
	該当到達目標 4	予習	教科書の 3 章 p.26～34 を読む。	1 時間
		復習	教科書の 14 章の練習問題 3.1～3.5、3.7 の A を解く。	1.5 時間
11	講義内容	三角関数 2 三角関数、三角関数のグラフ、三角関数の公式■		
	該当到達目標 4	予習	教科書の 3 章の p.35～39 を読む。	1 時間
		復習	教科書の 14 章の練習問題 3.1～3.5、3.7 の B を解く。	1 時間
12	講義内容	三角関数 3 三角関数の基本を確認する。■		
	該当到達目標 5	予習	配布されたプリントを読む。	1 時間
		復習	プリントの課題を解く。	1.5 時間
13	講義内容	指数関数・対数関数 1 指数と指数法則、指数関数とグラフ、特別な関数 $y = e^x$ ■		
	該当到達目標 5	予習	教科書の 4 章 p.42～49 を読む。	1 時間
		復習	教科書の 14 章の練習問題 4.1～4.3 の A を解く。	1.5 時間
14	講義内容	指数関数・対数関数 2 対数と対数法則、常用対数と自然対数、対数関数とグラフ■		
	該当到達目標 5	予習	教科書の 5 章 p.52～58 を読む。	1 時間
		復習	教科書の 14 章の練習問題 5.1～5.4 の A を解く。	1.5 時間
15	講義内容	指数関数・対数関数 3■		
	該当到達目標 5	予習	教科書の 14 章の練習問題 4.1～4.3、5.1～5.4 の B を解く。	1.5 時間
		復習	教科書の 14 章の練習問題 4.1～4.3、5.1～5.4 の C を解く。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	数学基礎Ⅱ（専門導入科目）				科目ナンバリング	HII102
英文名	Mathematics Basic Ⅱ				講義形態	講義
担当教員	東福寺 幾夫					
科目に関連した実務経験	オリンパス在職中に、血液分析装置のデータ処理方式の研究開発やシステム開発に従事した。					
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応	3	豊かな人間性と幅広い教養		1	コミュニケーションスキル	
	2	健康・医療および情報に関する知識・技能		1	生涯学習力	
	3	問題解決力				
SDGs との関連	① ③ ④ ⑤ ⑧ ⑩ ⑫					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	授業は、教科書の例題を解説後に各自練習問題を解き、指名された学生が解答例を板書する形式を基本とする。その他、必要に応じて関連するプリントを配布し、宿題を出すことがある。学期末には、総合的な演習問題を配布し、授業内容の復習を行う。 大学での学習に必要な数学の基礎を習得し、上記範囲の基礎的問題が解けるようになる。					
到達目標	1. 独立変数の変動に対応した関数値の変動について理解でき、極限値の収束・発散が説明できる。 2. ある区間における関数の平均変化率を計算できる。 3. 平均変化率の極限値としての微分係数の演算式が理解でき、接線の方程式を求めることができる。 ■ 4. 不定積分、原始関数の意味が説明できる、2 次式までの不定積分ができる。 5. 定積分が計算でき、複数の曲線が囲む領域の面積を計算できる。■ 6. 集合の概念を理解し、集合の演算や要素の個数の問題を解くことができる。 7. 順列、組み合わせや二項定理を説明できる。 8. 確率と期待値の説明ができる。■					
使用教材	「大学新入生のための数学入門増補版」石村園子著・共立出版 ISBN4-320-01769-2					
参考文献						
評価方法	授業への参加と貢献 10%、授業毎のドリル 20%、期末試験 70%で評価し、60 点以上を合格とする。					
課題・評価に対するフィードバック方法	毎回の授業の冒頭で前回授業の振り返りを行う。 また、出席カードで自宅での学習状況や授業における疑問点や改善要望等を収集する。					
オフィスアワー (研究室)	月曜日の 4 時限と水曜日 3 時限 1 号館 6 階 605		メールアドレス (#→@)		tofukuji#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンス				
	該当到達目標	予習	シラバスを読む			1 時間
	1	復習	プリントの課題を解く。			1.5 時間
2	講義内容	関数の極限				
	該当到達目標	予習	教科書の 6 章 p.60～65 を読む。			1 時間
	1	復習	教科書 14 章の練習問題 6.1～6.2 の B,C を解く。			1.5 時間
3	講義内容	関数の極限 極限公式				
	該当到達目標	予習	教科書の 6 章 p.66～68 を読む。			1 時間
	1	復習	教科書 14 章の練習問題 6.3 を解く。			1.5 時間
4	講義内容	微分係数■				

	該当到達目標 2,3	予習	教科書の 7 章 p.70～72 を読む。	1 時間
		復習	教科書 14 章の練習問題 7.1～7.2 を解く。	1.5 時間
5	講義内容	導関数、微分計算■		
	該当到達目標 2,3	予習	教科書の 7 章 p.73～75 を読む。	1 時間
		復習	教科書 14 章の練習問題 7.3～7.5 の A,B を解く。	1.5 時間
6	講義内容	接線の方程式、関数の増減とグラフ■		
	該当到達目標 3	予習	教科書の 7 章 p.76～82 を読む。	1 時間
		復習	教科書 14 章の練習問題 7.6～7.8 の A を解く。	1.5 時間
7	講義内容	不定積分、定積分■		
	該当到達目標 4,5	予習	教科書の 8 章 p.84～87 を読む。	1 時間
		復習	教科書の 14 章の練習問題 8.1～8.2 の A,B を解く。	1.5 時間
8	講義内容	面積■		
	該当到達目標 5	予習	教科書の 8 章 p.88～92 を読む。	1 時間
		復習	教科書の 14 章の練習問題 8.3～8.4 の A,B を解く。	1.5 時間
9	講義内容	集合 1 集合と要素、数の集合、部分集合、包含関係、ベン図		
	該当到達目標 6	予習	教科書の 12 章 p.120～122 を読む。	1 時間
		復習	教科書の 14 章の練習問題 12.1、12.2 を解く。	1.5 時間
10	講義内容	集合 2 集合の演算、要素の個数		
	該当到達目標 6	予習	教科書の 12 章 p.123～124 を読む。	1 時間
		復習	教科書の 14 章の練習問題 12.3、12.4 を解く。	1.5 時間
11	講義内容	順列と組合せ		
	該当到達目標 7	予習	教科書の 13 章 p.126,127 を読む。	1 時間
		復習	教科書の 14 章の練習問題 13.1、13.2 を解く。	1.5 時間
12	講義内容	二項定理		
	該当到達目標 7	予習	教科書の 13 章 p.128、p.129 を読む。	1 時間
		復習	教科書の 14 章の練習問題 13.3 を解く。	1.5 時間
13	講義内容	確率 1■		
	該当到達目標 8	予習	教科書の 13 章 p.130～131 を読む。	1 時間
		復習	教科書の 14 章の練習問題 13.4、13.5 を解く。	1.5 時間
14	講義内容	確率 2■		
	該当到達目標 8	予習	教科書の 13 章 p.132～133 を読む。	1 時間
		復習	教科書の 14 章の練習問題 13.6 を解く。	1.5 時間
15	講義内容	期待値■		
	該当到達目標 8	予習	教科書の 13 章 p.134 を読む。	1 時間
		復習	教科書の 14 章の練習問題 13.7 を解く。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名		物理学基礎(専門導入科目)			科目ナンバリング	HII103
英文名		Physics Basis			講義形態	講義
担当教員		高橋 大志				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		1 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位		
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応		10	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
			問題解決力			
SDGs との関連		④				
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		3 年生での講義(生体情報学Ⅰ、Ⅱ)の内容(適切に生体情報を計測するための技術)を理解できるように、本講義では力や電気、エネルギーといった基本的な物理現象を学習する。また、本講義ではスライドによるアニメーションを用いて物理現象を視覚的に理解させるとともに演習問題も適宜実施する。				
到達目標		1.物体の運動とエネルギーについて概念を理解できる。 2.光、音、熱、電気などの性質や現象を説明できる。 3.健康や医療との関係について理解できる。				
使用教材		「大学新入生のための物理入門(廣岡 秀明著、共立出版)」を使用する。				
参考文献						
評価方法		中間試験(50%)および期末試験(50%)の総合結果で評価し、60%以上を合格とする。				
課題・評価に対するフィードバック方法		中間および期末試験は記述式として採点後に評価のポイントを解説する。				
オフィスアワー (研究室)		質問はメールで受け付ける。 研究室:1 号館 314		メールアドレス (#→@)	takahashi-d#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	導入・力の釣り合い				
	該当到達目標	予習	教科書 p.1~6 を読む。			1.5 時間
	1	復習	教科書 p.6~8 の演習問題を解く。			1.5 時間
2	講義内容	力とモーメント、圧力				
	該当到達目標	予習	教科書 p.9~16 を読む。			1.5 時間
	1	復習	教科書 p.17~18 の演習問題を解く。			1.5 時間
3	講義内容	物体の運動				
	該当到達目標	予習	教科書 p.19~25 を読む。			1.5 時間
	1	復習	教科書 p.26~27 の演習問題を解く。			1.5 時間
4	講義内容	運動の法則				
	該当到達目標	予習	教科書 p.28~36 を読む。			1.5 時間
	1	復習	教科書 p.37 の演習問題を解く			1.5 時間
5	講義内容	仕事量と仕事率				
	該当到達目標	予習	教科書 p.64~70 を読む。			1.5 時間
	1	復習	教科書 p.70~71 の演習問題を解く。			1.5 時間
6	講義内容	エネルギー				
	該当到達目標	予習	教科書 p.72~80 を読む。			1.5 時間
	1	復習	教科書 p.80~81 の演習問題を解く。			1.5 時間
7	講義内容	熱と温度				
	該当到達目標	予習	教科書 p.92~99 を読む。			1.5 時間
	2	復習	教科書 p.99~100 の演習問題を解く。			1.5 時間

8	講義内容	中間まとめ			
	該当到達目標 1,2	予習	7回目までの講義内容を確認する。	1.5 時間	
		復習	7回目までの講義のポイントを整理する。	1.5 時間	
9	講義内容	音波、ドップラー効果			
	該当到達目標 2	予習	教科書 p.131~137、p.139~143 を読む。	1.5 時間	
		復習	教科書 p.137~138、p.143~144 の演習問題を解く。	1.5 時間	
10	講義内容	光とレンズの性質			
	該当到達目標 2	予習	教科書 p.145~150、p.158~163 を読む。	1.5 時間	
		復習	教科書 p.150、p.163~164 の演習問題を解く。	1.5 時間	
11	講義内容	電流と磁場 1			
	該当到達目標 1,2	予習	教科書 p.176~184 を読む。	1.5 時間	
		復習	教科書 p.184-185 の演習問題を解く。	1.5 時間	
12	講義内容	電気回路			
	該当到達目標 1,3	予習	教科書 p.186~195 を読む。	1.5 時間	
		復習	教科書 p.196~197 の演習問題を解く。	1.5 時間	
13	講義内容	健康・医療と物理現象 I			
	該当到達目標 1,3	予習	光、音等を用いた生体計測装置を調べる。	1.5 時間	
		復習	光、音等を用いた生体計測装置を理解する。	1.5 時間	
14	講義内容	健康・医療と物理現象 II			
	該当到達目標 1,3	予習	磁場、放射線を利用した生体計測装置を調べる。	1.5 時間	
		復習	磁場、放射線を利用した生体計測装置を理解する。	1.5 時間	
15	講義内容	全体まとめ			
	該当到達目標 1,2,3	予習	講義全体で実施した内容を確認する。	1.5 時間	
		復習	講義全体を通して重要なポイントを整理する。	1.5 時間	
合計時間(予習・復習)					45 時間
備考	本講義では、自ら考えて物理学を理解してもらうため必ず予習と復習に取り組むこと。 オンラインで実施する場合、成績は毎週提出してもらうレポートで評価(100%)し、60%以上で合格とする。 また、毎週のレポート提出をもって当該講義に出席したものとする。				

科目名	生物学基礎(専門導入科目)				科目ナンバリング	HII104
英文名	Biology Basis				講義形態	講義
担当教員	坂井 隆浩					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応	10	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
SDGs との関連	③ ④					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	①講義の目標 生物学の基本的な知識を修得するために「細胞の機能」「多細胞生物のからだ」「タンパク質・糖・脂質」「遺伝」「遺伝情報とその発現」「エネルギー代謝と物質代謝」「生体内の情報伝達」「免疫」などについて学習する。 ②講義の実施方法 講義の最初に前回の復習、講義の最後に練習問題を実施することによって理解度を高める。					
到達目標	1.細胞の構造や機能について説明できる。 2.動物のからだの構造や組織や器官の働きについて説明できる。 3.生命活動を支える分子の構造や役割について説明できる。 4.遺伝子の構造と機能について説明できる。 5.生命活動に必要なエネルギーの産生について説明できる。 6.生体内の情報伝達機構について説明できる。 7.免疫のしくみについて説明できる。					
使用教材	教科書：「ZERO からの生命科学」(南山堂)、他に随時プリントを配布する。					
参考文献						
評価方法	定期試験の成績により評価する。評価基準の詳細は初回講義時に説明する。					
課題・評価に対するフィードバック方法	定期試験後に、解答を掲示すると同時に、指定した期間内に必要に応じて個別にフィードバックをおこなう。講義で実施した練習問題については、講義の中で解説する。					
オフィスアワー(研究室)	木曜 2 限(7 号館 203 研究室・坂井)			メールアドレス(#→@)	sakai#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	細胞の構造と機能 ①細胞の多様性				
	該当到達目標	予習	細胞の多様性について、教科書 5 頁～10 頁を読んでおく。			1.5 時間
	1	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。			1.5 時間
2	講義内容	細胞の構造と機能 ②細胞の基本構造とそのはたらき				
	該当到達目標	予習	細胞の構造とはたらきについて、教科書 10 頁～25 頁を読んでおく。			1.5 時間
	1	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。			1.5 時間
3	講義内容	動物の組織と器官				
	該当到達目標	予習	動物のからだの構造について、教科書 27 頁～38 頁を読んでおく。			1.5 時間
	2	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。			1.5 時間
4	講義内容	からだを作る物質 ①タンパク質				
	該当到達目標	予習	タンパク質について、教科書 54 頁～68 頁を読んでおく。			1.5 時間
	3	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。			1.5 時間
5	講義内容	からだを作る物質 ②糖質				
	該当到達目標	予習	糖質について、教科書 68 頁～71 頁を読んでおく。			1.5 時間

細

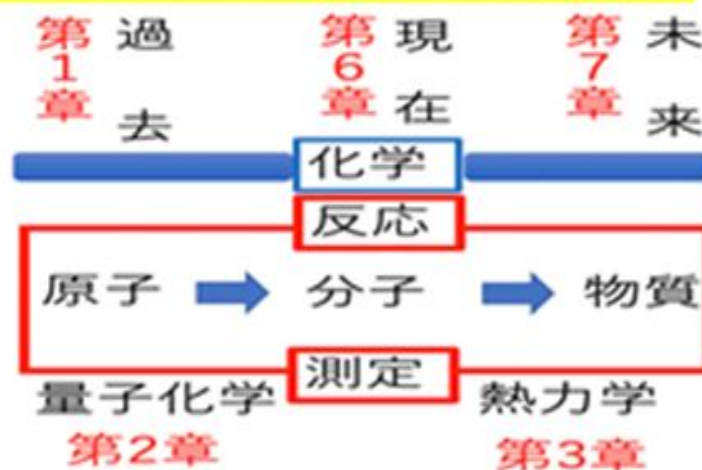
	3	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1.5 時間
6	講義内容	からだを作る物質 ③脂質		
	該当到達目標	予習	脂質について、教科書 71 頁～77 頁を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1.5 時間
7	講義内容	体内における物質代謝 ①消化と吸収		
	該当到達目標	予習	体内における物質代謝 ①消化と吸収	1.5 時間
	4	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1.5 時間
8	講義内容	体内における物質代謝 ②物質の代謝		
	該当到達目標	予習	糖質、タンパク質、脂質の代謝について、教科書 87 頁～100 頁を読んでおく。	1.5 時間
	4	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1.5 時間
9	講義内容	メンデル遺伝		
	該当到達目標	予習	メンデルの法則について、教科書 101 頁～108 頁を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1.5 時間
10	講義内容	DNA の構造と複製		
	該当到達目標	予習	DNA の構造と複製について、教科書 109 頁～118 頁を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1.5 時間
11	講義内容	遺伝子の発現とその調節		
	該当到達目標	予習	DNA の構造と複製について、教科書 109 頁～118 頁を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1.5 時間
12	講義内容	DNA 損傷と修復		
	該当到達目標	予習	DNA 損傷と修復について、教科書 131 頁～137 頁を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1.5 時間
13	講義内容	遺伝子の操作		
	該当到達目標	予習	遺伝子の操作について、教科書 137 頁～146 頁を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1.5 時間
14	講義内容	恒常性の維持 内分泌系と神経系		
	該当到達目標	予習	恒常性について、教科書 147 頁～156 頁を読んでおく。	1.5 時間
	6	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1.5 時間
15	講義内容	生体の防御 免疫系		
	該当到達目標	予習	免疫について、教科書 163 頁～171 頁を読んでおく。	1.5 時間
	7	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	本講義は可能な限り、対面型の講義をする予定であるが実施するが、オンライン形式に変更する場合もある。			

科目名	化学基礎(専門導入科目)				科目ナンバリング	HII105
英文名	Chemical Basis				講義形態	講義
担当教員	西村 淳					
科目に関連した実務経験	1966 年—2009 年有機化学の研究、1976 年—2021 年有機化学に関する教育					
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応	10	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
SDGs との関連	46713					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	受講生が化学の領域の思考法を獲得することを目指した講義である。言い換えれば、どのような物質が現在の社会を支えるものとして利用されていて、なぜそれが利用できるのか、を考える素地を与えることを目標としている。科学(化学)を深く理解することを目指す他の講義への導入を目的としている。各章のまとめを授業中に示すので、ノートに記し、口頭あるいはメールなどで質問して、その内容を確実に理解できるように努力することが期待されている。 講義形式で授業を進める。LCD を用いてパワーポイントで講義する。ノートを取ることは必須である。授業の最初に要点を板書するので、予習してノートを取った部分に書き加えること。					
到達目標	1.化学の基礎的事項の概略が説明できる。■ 2.物質の利用が、原子・分子のどのような性質によるものかを概略説明できる。■ 3.実際に世の中で役立っている物質に興味を持てる。 4.化学の現状と将来の概略が説明できる。■					
使用教材	アトキンス著、渡辺訳「化学、美しい原理と恵み」(丸善出版株式会社、2014、価格 1,080 円)。誤植等の訂正が公にされていないので、授業中に指摘する箇所を各自訂正すること。また、この教科書には、図表がないので、関連する必要な画像や表及び説明を授業毎にファイルにして、C-learning (CL)に上げ、閲覧可能とするので、予習、復習に利用することを勧める。					
参考文献	西村ら著「有機合成化学入門」(丸善出版株式会社)などの他、適宜紹介する。加えて数多くの興味ある科学的話題も CL で紹介するので、読んで記憶に留めて欲しい。					
評価方法	授業参加度及び貢献度(毎回の小テストや課題を CL で回収することで評価する。50 点満点)。試験(期末に試験を行う。教科書とノートは持ち込み可、但し配布資料以外のゼロックスコピーを貼ったものは不可。50 点満点)。総合評価 60 点以上を合格とする。					
課題・評価に対するフィードバック方法	授業中の質問は随時可能である。質問はメールでも受け付ける。					
オフィスアワー(研究室)	授業開講日(水曜日)の 15:00~16:00		メールアドレス(#→@)		jfgaorh.jun#gmail.com	
1	講義内容	ガイダンス:教師自己紹介、授業の到達目標およびテーマ、キーワード、授業についての注意				
	該当到達目標	予習	CL で送られたファイル、教科書の前書き、シラバスの内容を読んで講義の目的などを理解し、要点をノートする。			1.5 時間
		復習	ノートで書き取った内容を整理する。			1.5 時間
2	講義内容	化学の起源・対象・成り立ち、物質の出現、化学史■				
	該当到達目標	予習	CL で送られたファイル、教科書のまえがき、第1章を読む。			1.5 時間
		1 復習	ノートを教科書によって補完する。			1.5 時間
3	講義内容	化学の原理①—原子と分子、周期表■				
	該当到達目標	予習	CL で送られたファイル、教科書の第2章前半を読む。			1.5 時間
		1 復習	原子と分子、周期表について、ノートを教科書によって補完する。			1.5 時間
4	講義内容	化学の原理②—原子と分子、結合、量子化学■				

	該当到達目標	予習	CLで送られたファイル、教科書の第2章後半を読む。	1.5 時間
	1	復習	結合や量子化学についてノート教科書によって補完する。	1.5 時間
5	講義内容	化学の原理③—原子と分子、熱力学■		
	該当到達目標	予習	CLで送られたファイル、教科書の第3章前半を読む。	1.5 時間
	1	復習	熱力学の法則について、ノート教科書によって補完する。	1.5 時間
6	講義内容	化学の原理④—原子と分子、発熱反応、吸熱反応■		
	該当到達目標	予習	CLで送られたファイル、教科書の第3章後半を読む。	1.5 時間
	1	復習	発熱反応や吸熱反応について、ノート教科書によって補完する。	1.5 時間
7	講義内容	化学反応、四つの基本的な反応■		
	該当到達目標	予習	CLで送られたファイル、教科書の第4章前半を読む。	1.5 時間
	1	復習	四つの基本的な化学反応について、ノート教科書によって補完する。	1.5 時間
8	講義内容	化学反応、有機分子の反応と電子雲■		
	該当到達目標	予習	CLで送られたファイル、教科書の第4章後半を読む。	1.5 時間
	1	復習	有機分子の反応と電子雲について、ノート教科書によって補完する。	1.5 時間
9	講義内容	化学の道具、秤りとる■		
	該当到達目標	予習	CLで送られたファイル、教科書の第5章前半を読む。	1.5 時間
	1	復習	秤りとることについて、ノート教科書によって補完する。	1.5 時間
10	講義内容	化学の道具、原子の並びをつかむ■		
	該当到達目標	予習	CLで送られたファイル、教科書の第5章後半を読む。	1.5 時間
	1	復習	原子の並びについて、ノート教科書によって補完する。	1.5 時間
11	講義内容	化学の恵み、水を安全にする化学■		
	該当到達目標	予習	CLで送られたファイル、教科書の第6章前半を読む。	1.5 時間
	2,3	復習	化学の恵みについて、ノート教科書によって補完する。	1.5 時間
12	講義内容	化学の恵み、土と空気■		
	該当到達目標	予習	CLで送られたファイル、教科書の第6章中間部分を読む。	1.5 時間
	2,3	復習	化学の恵みについて、ノート教科書によって補完する。	1.5 時間
13	講義内容	化学の恵み、医薬■		
	該当到達目標	予習	CLで送られたファイル、教科書の第6章後半を読む。	1.5 時間
	2,3	復習	医薬について、ノート教科書によって補完する。	1.5 時間
14	講義内容	化学の未来、ナノの世界■		
	該当到達目標	予習	CLで送られたファイル、教科書の第7章を読む。	1.5 時間
	2,3	復習	ナノの世界について、ノート教科書によって補完する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当到達目標	予習	教科書を再読し、ノートの補完をする。	1.5 時間
	4	復習	全体のまとめをノートに記す。試験で該当部分がすぐに見つかるように整理する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	授業中の私語は厳禁であるが、授業時間中の小テスト解答中は周りの受講生と相談することを許している。 各講義における有機化学領域は、実務経験を含めて解説する。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

授業の全体像は下図に示す通りである。

アトキンスの化学の全体像



この図は重要で章立ては別として化学の本質を表している。

第4章

第5章

科目名	医療概論(医学英語Ⅰを含む)(専門導入科目)				科目ナンバリング	HII106
英文名	Introduction to Medicine & Medical English I				講義形態	講義
担当教員	坂本 輝彦					
科目に関連した実務経験	非常勤医師として病院に勤務(現在)					
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応	2	豊かな人間性と幅広い教養		1	コミュニケーションスキル	
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能		1	生涯学習力	
	1	問題解決力				
SDGs との関連	③ ④ ⑥					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	医学の体系、医学の歴史、医学倫理、医療制度など医学・医療に関する包括的な事項、および、英語による医学用語の表現法					
到達目標	1.医学の体系、医学の歴史について概要を説明できる。 2.医療と社会の関わり、医療の倫理、医療制度を理解する。■ 3.医学英語に関して、英語で表記された基本的な医学用語を日本語に訳すことができる。					
使用教材	テキスト： ①診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅰ(基礎・医学編)」第8版 日本病院会 ②診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅱ(基礎・医学用語編)」第8版 日本病院会					
参考文献						
評価方法	期末試験 50%、レポート、ミニテスト、授業参加度等を 50%として、合計 60%以上を合格とする。					
課題・評価に対するフィードバック方法	講義中のレポート、ミニテストでは、実施直後に出題の意図、問題に対する模範解答を解説する。					
オフィスアワー (研究室)	質問等はメールで受け付ける。			メールアドレス (#→@)	tsaka.20121006#gmail.com	
1	講義内容	医学の体系(基礎医学、臨床医学、予防医学)、および社会と医療				
	該当到達目標	予習	テキスト①の 3-6 ページに目を通す。			1.5 時間
	1,2	復習	基礎医学、臨床医学、予防医学の役割、それぞれの分野の学問体系を理解する。また、医療と社会の関わりについての重要事項を理解する。			1.5 時間
2	講義内容	医学の歴史 (1)ギリシャ、ローマ、中世の医学				
	該当到達目標	予習	テキスト①の 6-9 ページに目を通す。			1.5 時間
	1	復習	ギリシャ、ローマ、中世の有名な医学者の名前と業績を覚える。			1.5 時間
3	講義内容	医学の歴史 (2)近代の医学(ルネッサンスから 18 世紀まで)				
	該当到達目標	予習	テキスト①の 9-11 ページに目を通す。			1.5 時間
	1	復習	ルネッサンスから 18 世紀までの有名な医学者の名前と業績を覚える。			1.5 時間
4	講義内容	医学の歴史 (3)19 世紀の医学				
	該当到達目標	予習	テキスト①の 11-12 ページに目を通す。			1.5 時間
	1	復習	19 世紀の有名な医学者の名前と業績を覚える。			1.5 時間
5	講義内容	医学の歴史 (4)20 世紀の医学				
	該当到達目標	予習	テキスト①の 12-13 ページに目を通す。			1.5 時間
	1	復習	20 世紀の有名な医学者の名前と業績を覚える。			1.5 時間

6	講義内容	医学の歴史（5）現代の医学（治療医学および検査・診断学の進歩）			
	該当到達目標 1	予習	テキスト①の 14-18 ページに目を通す。	1.5 時間	
		復習	現代までに大きな発展を遂げた診断法、検査法、治療法の概略を理解する。	1.5 時間	
7	講義内容	医学の歴史（6）わが国の医学の歴史			
	該当到達目標 1,2	予習	テキスト①の 18-26 ページに目を通す。	1.5 時間	
		復習	わが国の医学の歴史について、特に明治期以降の発展を理解する。また、医学研究において、わが国の医学者の成し遂げた先端的研究業績について学ぶ。	1.5 時間	
8	講義内容	医の倫理（医療人の遵守すべき倫理規範、臨床医学研究の在り方など）■			
	該当到達目標 1,2	予習	テキスト①の 27-40 ページに目を通す。	1.5 時間	
		復習	医療倫理規範、倫理綱領、脳死と臓器移植、インフォームド・コンセントなどについて理解する。	1.5 時間	
9	講義内容	社会保障制度と医療制度■			
	該当到達目標 2	予習	テキスト①の 42-50 ページに目を通す。	1.5 時間	
		復習	わが国の社会保証制度の全体像、国民総医療費の現状、医療保険制度、およびそれらの問題点について理解する。	1.5 時間	
10	講義内容	パンデミックとの闘い（昨年度、特別にこの項目を設けたが、今年度も継続する）■			
	該当到達目標 2	予習	配布される講義教材に目を通す。	1.5 時間	
		復習	パンデミックとの闘いの歴史を踏まえて、コロナ禍への正しい対処法を考える。	1.5 時間	
11	講義内容	医学英語Ⅰ（1）造語の基本			
	該当到達目標 3	予習	テキスト②の 1-2 ページを精読する。	1.5 時間	
		復習	医学用語の構成を理解する。	1.5 時間	
12	講義内容	医学英語Ⅰ（2）語根、接頭語、接尾語			
	該当到達目標 3	予習	テキスト②の 2-9 ページを精読する。	1.5 時間	
		復習	基本となる語根、接頭語、接尾語を理解して覚える。	1.5 時間	
13	講義内容	医学英語Ⅰ（3）感染症と腫瘍に関する医学用語			
	該当到達目標 3	予習	テキスト②の 10 ページを精読する。	1.5 時間	
		復習	感染症と腫瘍に関する医学用語を理解して覚える。	1.5 時間	
14	講義内容	医学英語Ⅰ（4）器官系の解剖生理、疾患症状、検査に関する英語表現、および 1-14 回の講義での重要事項の指摘			
	該当到達目標 1,2,3	予習	テキスト②の 11-12 ページを精読する。	1.5 時間	
		復習	循環器系の解剖生理、症状、検査に関連する医学用語を理解して覚える。および 1-14 回の講義で指摘された重要事項の理解度を確認する。	1.5 時間	
15	講義内容	終了試験の実施(まとめ、重要事項の解説など)			
	該当到達目標 1,2,3	予習	テキスト、講義教材等を利用して 1-14 回の講義の内容を復習して、特に講義中に強調された点について理解を深め、終了試験に備える。	1.5 時間	
		復習	終了試験を復習し、まとめ、重要事項の解説で示された事項のすべてを理解したことを確認する。	1.5 時間	
合計時間(予習・復習)					45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。				

科目名	情報セキュリティ I (専門導入科目)			科目ナンバリング	HII107
英文名	Cyber Security I			講義形態	講義
担当教員	松尾 仁司				
科目に関連した実務経験	情報系企業で医療情報システムの研究開発に従事(経験) 保健医療福祉情報システム工業会(JAHIS)運営幹事(経験)				
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	必修 2 単位		
履修を必須とする資格	情報セキュリティマネジメント対応科目				
学位授与方針との対応	5	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
		問題解決力			
SDGs との関連	③ ④ ⑧ ⑨ ⑪				
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	デジタル社会の発展に伴い、基盤となる情報システムの安全確保や個人情報の保護など情報セキュリティは益々重要になっている。本講義では情報ネットワークにおける脅威の理解と情報セキュリティ技術と対策、システム運用の方法を体系的に学ぶ。 講義の中で小テストを実施し理解度の確認と解答の理解による再学習を行う。				
到達目標	1.情報セキュリティの基本知識を習得することができる。■ 2.保健医療分野で必要とされる情報セキュリティに関する知識を習得することができる。■				
使用教材	情報セキュリティマネジメント合格教本(最新版) (株)技術評論社				
参考文献					
評価方法	期末試験の成績 60%、授業中の小テスト 40%で評価。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題・評価に対するフィードバック方法	小テストは次回の授業で解説を行う。				
オフィスアワー (研究室)	水曜日 3 限 (研究室:1 号館 6 階 607 室)		メールアドレス (#→@)	matsuo#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	導入:情報セキュリティ			
	該当到達目標	予習	教科書の目次と 1-1 を熟読する。		1.0 時間
	1	復習	教科書 1-1 の演習問題を解く。		2.0 時間
2	講義内容	情報資産・脅威・脆弱性			
	該当到達目標	予習	教科書 1-2 を熟読する。		1.5 時間
	1	復習	教科書 1-2 の演習問題を解く。		1.5 時間
3	講義内容	サイバー攻撃手法			
	該当到達目標	予習	教科書 1-3 を熟読する。		1.5 時間
	1	復習	教科書 1-3 の演習問題を解く。		1.5 時間
4	講義内容	暗号			
	該当到達目標	予習	教科書 1-4 を熟読する。		1.5 時間
	1	復習	教科書 1-4 の演習問題を解く。		1.5 時間
5	講義内容	認証■			
	該当到達目標	予習	教科書 1-5 を熟読する。		1.5 時間
	1	復習	教科書 1-5 の演習問題を解く。		1.5 時間
6	講義内容	マルウェア対策			
	該当到達目標	予習	教科書 3-1 を熟読する。		1.5 時間
	1	復習	教科書 3-1 の演習問題を解く。		1.5 時間
7	講義内容	ネットワークの基礎			

令和4年度 医療情報学科シラバス

	該当到達目標 1	予習	教科書 5-1-1～5-1-7 を熟読する。	1.5 時間
		復習	教科書 5-1 の関連演習問題を解く。	1.5 時間
8	講義内容	ネットワーク機器と不正アクセス対策		
	該当到達目標 1	予習	教科書 5-1-8～5-1-10,3-2 を熟読する	1.5 時間
		復習	教科書 5-1,3-2 の関連演習問題を解く。	1.5 時間
9	講義内容	情報漏えい対策とアクセス管理		
	該当到達目標 1	予習	教科書 3-3, 3-4 を熟読する	1.5 時間
		復習	教科書 3-3, 3-4 の演習問題を解く。	1.5 時間
10	講義内容	リスク分析■		
	該当到達目標 1,2	予習	教科書 2-1 を熟読する。	1.5 時間
		復習	教科書 2-1 の演習問題を解く。	1.5 時間
11	講義内容	セキュリティポリシー■		
	該当到達目標 1,2	予習	教科書 2-2 を熟読する。	1.5 時間
		復習	教科書 2-2 の演習問題を解く。	1.5 時間
12	講義内容	人的対策とシステム監査■		
	該当到達目標 1,2	予習	教科書 3-5, 2-6 を熟読する。	1.5 時間
		復習	教科書 3-5, 2-6 の演習問題を解く。	1.5 時間
13	講義内容	情報セキュリティ関連法規とガイドライン■		
	該当到達目標 1,2	予習	教科書 4-2,4-3,2-3 を熟読する。	1.5 時間
		復習	教科書 4-2,4-3,2-3 の演習問題を解く。	1.5 時間
14	講義内容	経営とセキュリティシステム■		
	該当到達目標 1,2	予習	教科書 6-1, 6-2 を熟読する。	1.5 時間
		復習	教科書 6-1, 6-2 の演習問題を解く。	1.5 時間
15	講義内容	全体まとめ		
	該当到達目標 1,2	予習	講義全体を通して重要なポイントを確認する。	1.5 時間
		復習	演習問題を復習し理解を確実にする。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	プログラミング I (C プログラミング基礎)(専門導入科目)				科目 ナンバリング	HII108
英文名	Programming I (C Programming Foundation)				講義形態	演習
担当教員	坂本 孝					
科目に関連した 実務経験	SE として情報通信企業に勤務(経験)					
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位			
履修を必須とする 資格	基本情報技術者試験対応科目					
学位授与方針 との対応	2	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	3	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
	5	問題解決力				
SDGs との関連	9					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	プログラミング言語として C 言語を用い、基本的なプログラミング技法を習得することを目的とする。毎回 5～10 題程度の小課題に取り組み、ステップアップ学習方式で多くの課題をこなすことにより、プログラミングにおける様々な手法を身につける。 講義テーマごとに教員が作成したプリントを使い、各回、前半は例題の説明を行い、後半は例題を参考にしながら各自課題に取り組む形式で進める。 課題は毎回 5～10 題程度あるので、授業内にできなかった分も含めて、次回授業までに仕上げて提出する。					
到達目標	1. プログラミングに必要な PC 環境と操作方法について理解できる。 2. 入力した数値に演算を施して適切な結果を出力することができる。■ 3. 条件によって処理を振り分けて適切な結果を出力することができる。■ 4. 繰り返し処理を行って適切な結果を出力することができる。■ 5. 複数の数値を処理して合計値・平均値・最大値・最小値・公倍数・公約数等を求めることができる。■					
使用教材	自作のプリント					
参考文献						
評価方法	課題提出状況(60%)、試験(20%)、授業における学習姿勢(20%)により評価する。					
課題・評価に対する フィードバック方法	課題の解答例を提示し、解説する。					
オフィスアワー (研究室)	火曜日 4 時限と 5 時限		メールアドレス (#→@)		sakamoto#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	プログラミング環境と基本操作				
	該当到達目標	予習	不要			0 時間
	1	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。			3 時間
2	講義内容	文字列の表示■				
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。			1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。			2 時間
3	講義内容	変数の表示と演算■				
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。			1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。			2 時間
4	講義内容	キーボードからの数値入力■				
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。			1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。			2 時間
5	講義内容	条件分岐処理① if 文■				
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。			1 時間
	1,2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。			2 時間
6	講義内容	条件分岐処理② if 文のネスティング■				

	該当到達目標 1,2,3	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
7	該当到達目標 1,2,4	講義内容 反復処理① while 文■		
		予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
8	該当到達目標 1,2,4	講義内容 反復処理② while 文を使った一覧表出力■		
		予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
9	該当到達目標 1,2,3,4,5	講義内容 合計計算■		
		予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
10	該当到達目標 1,2,3,4,5	講義内容 最大値・最小値■		
		予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
11	該当到達目標 1,2,3,4,5	講義内容 まとめ問題と復習		
		予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
12	該当到達目標 1,2,3,4,5	講義内容 前回までの内容に関する確認テスト		
		予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
13	該当到達目標 1,2,3,4,5	講義内容 反復処理① for 文■		
		予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
14	該当到達目標 1,2,3,4,5	講義内容 反復処理② for 文を使った応用■		
		予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
15	該当到達目標 1,2,3,4,5	講義内容 特別課題とりくみ■		
		予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	Web デザイン I (専門導入科目)				科目ナンバリング	HII109
英文名	Web Design I (Introduction to Web Design)				講義形態	演習
担当教員	長澤 亨、田村 拓郎					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位			
履修を必須とする資格	Web クリエータ認定試験					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能		1	生涯学習力	
	4	問題解決力				
SDGs との関連	④					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	ネットワークで情報を発信する場合には、ホームページに関する知識が必要であり、きめ細やかなサイトを作成に基礎となる HTML4.01 の知識を修得する。特に HTML のタグの利用方法、CSS の記述方法を学習して、基本的な Web サイトを作成できる能力を身につける。 授業の進め方は、指定教科書を基本に授業を進め、単元毎に演習問題を解き知識の定着を図る。最終段階では総合的な知識の定着度を確認するために総合問題を解く。					
到達目標	1.HTML と CSS について説明できる。 2.HTM の記述方法、一般定義を記述できる。 3.HTML の仕切り、文字修飾、イメージ、作表、リンクを記述できる。 4.CSS の記述方法、スタイル関連の HTML タグを記述できる。 5.CSS によるテキスト、フォント、背景、ボックス、配置、疑似クラス、ID を記述できる。					
使用教材	教科書「よくわかるマスターWeb クリエータ能力認定試験 HTML4.01 対応初級 ISBN978-4-8651-034-1C3055 演習教材は随時プリントして配布またはネット配信する。					
参考文献						
評価方法	定期試験 40%、課題提出 40%、授業の参加度 20%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。					
課題・評価に対するフィードバック方法	評価を付け、誤りがあった場合、その箇所の訂正のためのヒントを記入し返却する。					
オフィスアワー (研究室)	月曜日の 1 時限、3 時限 質問はメールでも受け付ける。 研究室:1 号館 6 階 608			メールアドレス (#→@)	nagasawa#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンス、Web クリエータ能力試験の概要				
	該当到達目標	予習	教科書のはじめから 15 ページまで、シラバスを一読しておくこと			1 時間
	1,2	復習	自分の PC に CD-ROM から作業ファイルをインストールする			1.5 時間
2	講義内容	HTML の基本、Step1 HTML と CSS の切り分け、Step2 HTML の記述方法				
	該当到達目標	予習	Chapter1 の Step1HTML と CSS の切り分け、Step2 を事前学習しておくこと			1 時間
	1,2	復習	Step2 を復習			1.5 時間
3	講義内容	HTML の記述、Step1 一般定義				
	該当到達目標	予習	Step1 を読んでおく			1 時間
	1,2,3	復習	Step1 の課題を完成する			1.5 時間
4	講義内容	HTML の記述、Step2 仕切り				
	該当到達目標	予習	Step2 を読んでおく			1 時間
	1,2,3	復習	Step2 の課題を完成する			1.5 時間
5	講義内容	HTML の記述、Step3 文字就職				

	該当到達目標 1,2,3	予習	Step3 を読んでおく	1 時間
		復習	Step3 の課題を完成する	1.5 時間
6	講義内容	HTML の記述、Step4 イメージ/マルチメディア		
	該当到達目標 1,2,3	予習	Step4 を読んでおく	1 時間
		復習	Step4 の課題を完成する	1.5 時間
7	講義内容	HTML の記述、Step5 リスト		
	該当到達目標 1,2,3	予習	Step5 を読んでおく	1 時間
		復習	Step5 の課題を完成する	1.5 時間
8	講義内容	HTML の記述、Step6 作表		
	該当到達目標 1,2,3	予習	Step6 を読んでおく	1 時間
		復習	Step6 の課題を完成する	1.5 時間
9	講義内容	HTML の記述、Step7 リンク		
	該当到達目標 1,2,3	予習	Step7 を読んでおく	1 時間
		復習	Step7 の課題を完成する	1.5 時間
10	講義内容	CSS の基本、Step1 CSS の記述方法		
	該当到達目標 1,4,5	予習	Step7 を読んでおく	1 時間
		復習	Step7 の課題を完成する	1.5 時間
11	講義内容	CSS の記述、Step1 スタイル関連の HTML タグ		
	該当到達目標 1,4,5	予習	CSS の Step1 を読んでおく	1 時間
		復習	CSS の Step1 の課題を完成する	1.5 時間
12	講義内容	CSS の記述、Step2 テキスト		
	該当到達目標 1,4,5	予習	CSS の Step2 を読んでおく	1 時間
		復習	CSS の Step2 の課題を完成する	1.5 時間
13	講義内容	CSS の記述、Step3 フォント、背景		
	該当到達目標 1,4,5	予習	CSS の Step3 を読んでおく	1 時間
		復習	CSS の Step3 の課題を完成する	1.5 時間
14	講義内容	CSS の記述、Step4 ボックス		
	該当到達目標 1,4,5	予習	CSS の Step4 を読んでおく	1 時間
		復習	CSS の Step4 の課題を完成する	1.5 時間
15	講義内容	CSS の記述、Step5 配置、疑似クラス、ID		
	該当到達目標 1,4,5	予習	CSS の Step5 を読んでおく	1 時間
		復習	CSS の Step5 の課題を完成する	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 VOD:出席と成績は課題提出で評価する。			

科目名	情報システム概論(専門導入科目)				科目ナンバリング	HII110
英文名	Overview of Information System				講義形態	講義
担当教員	高橋 真悟					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位			
履修を必須とする資格	IT パスポート対応科目					
学位授与方針との対応	3	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能		2	生涯学習力	
		問題解決力				
SDGs との関連	49					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① IT 化の進む社会において、情報システムは必要不可欠なものである。医療機関や一般企業内にも様々な情報システムがあり、それらを結ぶ大規模なシステムも存在する。これらの基本的な知識を取得するとともに、情報システムを通して情報技術の知識を習得する。 ② 本講義はテキストおよび資料を用いて進めていく。また、毎回 C-Learning を用いてテストを実施する。					
到達目標	1.企業と法務に関する基本的な知識を取得できる。 2.経営戦略、システム戦略に関する基本的な知識を取得できる。 3.開発技術やマネジメントに関する基本的な知識を取得できる。 4.コンピュータシステムに関する基本的な知識を取得できる。					
使用教材	IT パスポート試験 対策テキスト&過去問題集(FOM 出版)、最新版を使用する。					
参考文献						
評価方法	授業毎のテスト 90%、授業への取り組み 10%。					
課題・評価に対するフィードバック方法	テストなど行い、正答率が低い箇所などをフィードバックする。					
オフィスアワー (研究室)	水曜 4 限		メールアドレス (#→@)		takahashi-shin#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンス				
	該当到達目標	予習	教科書の目次とシラバスを熟読し、勉強の進め方についても理解する			0.5 時間
	1	復習	講義の概要、目的、評価方法を理解する。			2.5 時間
2	講義内容	企業活動の基礎				
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する			0.5 時間
	1	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する			2.5 時間
3	講義内容	法務の基礎				
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する			0.5 時間
	1	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する			2.5 時間
4	講義内容	経営戦略、技術戦略の基礎				
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する			0.5 時間
	2	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する			2.5 時間
5	講義内容	システム戦略の基礎				
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する			0.5 時間
	2	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する			2.5 時間

6	講義内容	開発技術の基礎			
	該当到達目標 2	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	0.5	時間
		復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	2.5	時間
7	講義内容	プロジェクトマネジメントの基礎			
	該当到達目標 3	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	0.5	時間
		復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	2.5	時間
8	講義内容	サービスマネジメントの基礎			
	該当到達目標 3	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	0.5	時間
		復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	2.5	時間
9	講義内容	システム構成要素の基礎			
	該当到達目標 4	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	0.5	時間
		復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	2.5	時間
10	講義内容	ハードウェアの基礎			
	該当到達目標 4	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	0.5	時間
		復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	2.5	時間
11	講義内容	ソフトウェアの基礎			
	該当到達目標 4	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	0.5	時間
		復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	2.5	時間
12	講義内容	ネットワークの基礎			
	該当到達目標 4	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	0.5	時間
		復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	2.5	時間
13	講義内容	ユーザ・インタフェースの基礎			
	該当到達目標 4	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	0.5	時間
		復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	2.5	時間
14	講義内容	セキュリティの基礎			
	該当到達目標 4	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	0.5	時間
		復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	2.5	時間
15	講義内容	最新テクノロジー			
	該当到達目標 4	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	0.5	時間
		復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	2.5	時間
合計時間(予習・復習)					45 時間
備考	講義では、大学で購入する PC を使用します。				

科目名	Early Exposure(専門導入科目)				科目ナンバリング	HII111
英文名	Early Exposure				講義形態	講義
担当教員	医療情報学科全教員					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	必修 2 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応	3	豊かな人間性と幅広い教養		3	コミュニケーションスキル	
	4	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
SDGs との関連	③ ④ ⑧ ⑬ ⑭					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	社会人として必要とされる基礎知識やマナーなどを身につけるとともに、将来の進路を考えるための礎を築く。また、接遇や礼儀作法、一般常識、表現方法、報告書作成などの病院実習やインターンシップに必要な知識と技能を身につける。講義は、オムニバス形式で、接遇や礼儀作法、一般常識、表現方法、報告書作成の知識・技能を学ぶ。アドバイザーのゼミごとのグループワークも行う。					
到達目標	1.一般常識を身につけることができる。 2.コミュニケーション能力を身につけることができる。 3.社会人としてのマナーを身につけることができる。 4.論理的な思考能力を身につけることができる。					
使用教材	講義資料を随時配布する。					
参考文献						
評価方法	レポート 80%、授業への参加度 20%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。					
課題・評価に対するフィードバック方法	オムニバス形式の講義であり、課題に対してはその都度担当教員がフィードバックを行う。					
オフィスアワー (研究室)	質問等は、授業開始前もしくは終了後に 応じる。		メールアドレス (#→@)		連絡手段については、各自で教員に 確認すること。	
1	講義内容	ガイダンス				
	該当到達目標	予習	シラバスを熟読しておく。			1 時間
		復習	講義全体の目的とスケジュールを理解する。			2 時間
2	講義内容	社会人の常識				
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。			1 時間
	1,2,3	復習	講義内容を復習し、提示された課題に取り組む。			2 時間
3	講義内容	病院と事務系人材について				
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。			1 時間
	1,2	復習	講義内容を復習し、提示された課題に取り組む。			2 時間
4	講義内容	PG・SE の業務内容、資格取得に必要な知識と技術				
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。			1 時間
	1,2	復習	講義内容を復習し、提示された課題に取り組む。			2 時間
5	講義内容	診療情報管理士の業務内容、資格取得に必要な知識と技術				
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。			1 時間
	1,2	復習	講義内容を復習し、提示された課題に取り組む。			2 時間
6	講義内容	医療情報の基礎と一般事務職の仕事、必要な知識と技術				
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。			1 時間
	1,2,3	復習	講義内容を復習し、提示された課題に取り組む。			2 時間
7	講義内容	医療機関の概要と医療制度				

令和4年度 医療情報学科シラバス

	該当到達目標 1,2,3	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
		復習	講義内容を復習し、提示された課題に取り組む。	2 時間
8	講義内容	電話対応とコミュニケーションスキル		
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容を復習し、提示された課題に取り組む。	2 時間
9	講義内容	院内コミュニケーションと患者接遇、来客対応		
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容を復習し、提示された課題に取り組む。	2 時間
10	講義内容	企業における社会生活の基本		
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容を復習し、提示された課題に取り組む。	2 時間
11	講義内容	情報検索と参考文献の書き方		
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容を復習し、提示された課題に取り組む。	2 時間
12	講義内容	医療人材に必要な教養とは		
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容を復習し、提示された課題に取り組む。	2 時間
13	講義内容	就職に向けての心構えと準備		
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を復習し、提示された課題に取り組む。	2 時間
14	講義内容	Society5.0 時代に必要とされる知識と技能		
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を復習し、提示された課題に取り組む。	2 時間
15	講義内容	統一テーマによるアドバイザー毎のゼミ		
	該当到達目標	予習	ゼミ毎に分かれレポートを作成する。	1 時間
	1,2,3,4	復習	レポートを作成する。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考				

科目名	データサイエンスⅠ（専門導入科目）				科目ナンバリング	HII112
英文名	Data scienceⅠ（Introduction to Data Science）				講義形態	講義
担当教員	光山 訓					
科目に関連した実務経験	企業において医療、産業のデータ分析に関連した製品・サービス開発に従事					
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応	1	豊かな人間性と幅広い教養			1	コミュニケーションスキル
	2	健康・医療および情報に関する知識・技能			2	生涯学習力
	4	問題解決力				
SDGs との関連	③					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 講義の目標 データサイエンスは、単なる数値、記号の集まりであるデータから情報を読み取り、現実世界に役立つ判断を行うことを目的とした分野である。データの取得、蓄積、解析、モデル構築、検証、課題解決の全てを含む広範な知識が必要になる。大学 4 年間を通じて関連科目を学び知識を涵養する。本講義では、データから情報を読み取る際に不可欠な記述統計を中心にデータ分析の基礎知識を習得し、分析の実践力を身に着ける。 ② 講義の実施方法 授業は、指定教科書に基づいた講義により基礎知識の習得と理論の理解を進め、PC を利用した演習により知識の定着と実践・応用力の獲得を図る。最終段階では総合的な知識の定着度を確認するために総合演習を行う。なお、内容を理解し、スキルを身につけるためには、予習復習が必要である。					
到達目標	1. データの種類を理解し、データの種類と分析目的に応じた適切な可視化ができる■ 2. 可視化したデータから、データの特徴を読み取り、その特徴の背景を考察することができる■ 3. 分布の形状を定量化する指標(代表値、分散、標準偏差 5 数要約)とその特徴を説明できる 4. 分布の特徴を定量的に説明することができる 5. 2 変数の関連性を、相関係数を用いて説明することができる 6. 回帰分析について説明することができる■ 7. 確率の基本的性質について説明できる					
使用教材	「データの分析」日本統計学会編、東京図書、ISBN978-4-489-02332-3 講義資料・演習教材は随時プリントして配布またはネット配信する。					
参考文献						
評価方法	総合演習 80%、授業への参加度 20%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。					
課題・評価に対するフィードバック方法	毎週演習を行い、授業中に解き方を説明する。誤りの多かった箇所については、気を付けるべきポイントを翌週フィードバックする。					
オフィスアワー (研究室)	月曜日 3 時限、木曜日 3 時限 質問はメールでも受け付ける。 1 号館 6 階 615			メールアドレス (#→@)	mitsuyama#takasaki- u.ac.jp	
1	講義内容	データサイエンスとは何か、本講の概要とデータの種類				
	該当到達目標	予習	高校の「データの分析」を復習し、教科書の「1.1 データの種類」を読む。			1.5 時間
	1	復習	講義資料を読み、復習する。			1.5 時間
2	講義内容	質的データの集計と可視化				

	該当到達目標 1,2	予習	「1.2 質的変数の要約」「1.3 グラフによるデータの要約」「1.4 グラフ表現の工夫と注意点」を読む	1.5 時間
		復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
3	該当到達目標 1,2	講義内容	時系列データの可視化■	
		予習	「1.5 時系列データの要約」「1.6 時系列グラフ作成上の注意点」を読む。	1.5 時間
		復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
4	該当到達目標 1,2	講義内容	度数分布とヒストグラム■	
		予習	「2.1 度数分布表の作成」「2.2 ヒストグラムと度数分布多角形」「2.3 分布の特徴の把握」を読む	1.5 時間
		復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
5	該当到達目標 3,4	講義内容	分布の位置を表す代表値	
		予習	「3.1 位置に関する代表値」「A.1 総和記号 Σ 」を読む。	1.5 時間
		復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
6	該当到達目標 3,4	講義内容	5数要約と箱ひげ図	
		予習	「2.4 分位数と5数要約」「2.5 データの散らばり」「2.6 箱ひげ図」を読む。	1.5 時間
		復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
7	該当到達目標 3,4	講義内容	分散と標準偏差	
		予習	「3.2 観測値の散らばりの尺度」「3.3 変数の変換と平均値、分散、標準偏差」を読む。	1.5 時間
		復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
8	該当到達目標 3,4	講義内容	観測値の標準化とはずれ値	
		予習	「3.3 変数の変換と平均値、分散、標準偏差」「3.4 探索的データ解析法と外れ値」を読む。	1.5 時間
		復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
9	該当到達目標 1,2	講義内容	相関と散布図	
		予習	「4.1 2つの変数の相関」「4.2 層別散布図」を読む。	1.5 時間
		復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
10	該当到達目標 5	講義内容	相関係数	
		予習	「4.3 相関係数」「4.4 相関係数の注意点」「4.5 相関と因果」を読む。	1.5 時間
		復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
11	該当到達目標 6	講義内容	回帰分析■	
		予習	「5. 回帰直線と予測」を読む	1.5 時間
		復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
12	該当到達目標 7	講義内容	確率の基本的な性質	
		予習	「6.1 事象と確率」を読む。	1.5 時間
		復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
13	該当到達目標 7	講義内容	反復試行	
		予習	「6.2 事象の独立性と試行の独立性」「A.2 階乗、順列、組合せ」を読む。	1.5 時間
		復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
14	該当到達目標 1～7	講義内容	総合演習(1) Excelを使ったデータの分析	
		予習	これまでの講義内容を講義資料、教科書で復習しておく。	2.0 時間
		復習	理解できていなかった事柄について、講義資料、教科書で復習する。	1.0 時間
15	該当到達目標 1～7	講義内容	総合演習(2) 本講義全体の復習	
		予習	これまでの講義内容を講義資料、教科書で復習しておく。	2.0 時間
		復習	理解できていなかった事柄について、講義資料、教科書で復習する。	1.0 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	人体構造・機能論(専門基幹科目)				科目ナンバリング	HIB201
英文名	Structure & Function of the Human Body				講義形態	講義
担当教員	小澤 滯司					
科目に関連した実務経験	非常勤医師として病院・診療所に勤務(経験)					
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応	2	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	4	健康・医療および情報に関する知識・技能		2	生涯学習力	
	2	問題解決力				
SDGs との関連	③ ④ ⑥					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	人体の構造と機能についての基本的事項、およびそれらの基礎的知識に基づく病気の起こるメカニズムの概要					
到達目標	1.人体を構成する細胞・組織・器官および器官系の構造と機能を理解する。 2.上記の知識に基づき、それらの異常がどのような病気をもたらすかを推論できる。■ 本科目の内容を十分に理解しておくことは、臨床医学総論、および臨床医学各論Ⅰ－Ⅵを学ぶための準備として不可欠である。					
使用教材	テキスト:人体の構造と機能 第5版 医歯薬出版 テキストの中から、人体の構造と機能の基本を理解するための重要事項を選んで講義する。					
参考文献	診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅰ(基礎・医学編)」第8版 日本病院会					
評価方法	期末試験 50%、レポート、ミニテスト、授業参加度等を 50%として、合計 60%以上を合格とする。					
課題・評価に対するフィードバック方法	講義中のレポート、ミニテストでは実施直後に出題の意図、模範解答を解説する。					
オフィスアワー (研究室)	火曜日の 3 時限と 4 時限			メールアドレス (#→@)	sozawa#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	人体の構造と機能の概要、細胞				
	該当到達目標	予習	テキストの第 1 章 1-6 ページに目を通す。			1.5 時間
	1,2	復習	人体の構造と機能の概要、細胞とその構成要素、およびそれらの役割を理解する。			1.5 時間
2	講義内容	人体の構成、細胞を取り巻く環境とその恒常性				
	該当到達目標	予習	テキストの第 1 章 9-15 ページに目を通す。			1.5 時間
	1,2	復習	細胞・組織・器官・器官系の関連、および細胞を取り巻く環境とその恒常性、特に細胞外液の浸透圧濃度の恒常性を理解する。			1.5 時間
3	講義内容	遺伝子のはたらき				
	該当到達目標	予習	テキストの第 1 章 6-9 ページに目を通す。			1.5 時間
	1,2	復習	遺伝子、DNA の複製、タンパク質合成の分子メカニズムを理解する。			1.5 時間
4	講義内容	骨格系・骨格筋系(1) 身体の区分、運動の方向、姿勢、骨格、骨と関節の構造■				
	該当到達目標	予習	テキストの第 2 章 17-44 ページに目を通す。			1.5 時間
	1,2	復習	身体の区分と表示法、骨格とその構成要素である骨と関節の構造を理解する。			1.5 時間
5	講義内容	骨格系・骨格筋系(2) 骨格筋の構造と機能■				
	該当到達目標	予習	テキストの第 2 章 44-63 ページに目を通す。			1.5 時間
	1,2	復習	骨格筋の構造と収縮メカニズムを理解する。主要な骨格筋の名称を覚える。			1.5 時間

6	講義内容	神経系の構造と機能(1) ニューロン、グリア、シナプス		
	該当到達目標	予習	テキストの第3章 71-80 ページに目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	神経線維およびシナプスにおける情報伝達のメカニズムを理解する。	1.5 時間
7	講義内容	神経系の構造と機能(2) 中枢神経系(脳と脊髄)■		
	該当到達目標	予習	テキストの第3章 80-99 ページに目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	脳と脊髄の構造、および脳の区分と各部位の機能の概要を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	神経系の構造と機能(3) 末梢神経系(体性神経系、自律神経系)■		
	該当到達目標	予習	テキストの第3章 99-113 ページに目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	体性神経系と自律神経系の区分、およびそれらの構造と機能を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	循環器系の構造と機能■		
	該当到達目標	予習	テキストの第5章 149-183 ページに目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	心臓と血管の構造と機能を理解する。特に、心臓弁の名称と機能、興奮伝導系、心電図、冠循環について時間をかけて復習する。	1.5 時間
10	講義内容	血液・体液■		
	該当到達目標	予習	テキストの第6章 187-203 ページと第7章 206-213 ページに目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	血液組成、血液凝固、血液型、体液区分、体液の恒常性(浸透圧、電解質組成、酸塩基平衡など)について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	呼吸器系の構造と機能■		
	該当到達目標	予習	テキストの第9章 233-256 ページに目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	呼吸器の構造、換気とガス交換のメカニズム、呼吸調節について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	消化器系の構造と機能■		
	該当到達目標	予習	テキストの第10章 259-284 ページに目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	消化器系の構造、および胃、小腸、大腸、肝臓、膵臓、胆嚢の機能を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	泌尿器系の構造と機能■		
	該当到達目標	予習	テキストの第11章 305-321 ページに目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	泌尿器系の構造、および腎臓において尿が生成される過程を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	内分泌系とホルモン。および 1-14 回の講義の内容のうちで重要な事項を指摘する。特に、心と身体の不調がどのような人体構造と機能の異常によって生じるのかを具体例を挙げて説明する。■		
	該当到達目標	予習	テキストの第12章 323-348 ページに目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	内分泌の定義を理解し、主要なホルモンの名称、化学構造、機能を覚える。および 1-14 回の講義で指摘された重要事項の理解度を確認する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ、重要事項の解説		
	該当到達目標	予習	テキストおよび配布された講義教材を利用して 1-14 回の講義の内容を復習して、特に講義中に強調された重要事項について理解を深める。	1.5 時間
	1,2	復習	まとめ、重要事項の解説で示された事項のすべてを理解したことを確認する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	臨床医学総論(専門基幹科目)				科目ナンバリング	HIB202
英文名	Outline of Clinical Medicine				講義形態	講義
担当教員	尾形 敏郎					
科目に関連した実務経験	常勤医師として病院に勤務(現在)					
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格	診療情報管理士					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	8	健康・医療および情報に関する知識・技能		1	生涯学習力	
	1	問題解決力				
SDGs との関連	③⑥					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	病気の原因・診断・検査と治療の概要、先天奇形・染色体異常、および損傷・中毒・その他の外因が人体にもたらす影響					
到達目標	1. 病気の主な原因とその際に起こる人体の組織・器官の変化の概要を説明できる。 2. 病気の診断と治療がどのように行われるか、および病気の診断と治療の過程で行われる多種類の検査のもつ意義を説明できる。■ 3. 先天奇形、主な染色体異常症候群、および損傷・中毒・その他の外因が人体にもたらす影響を説明できる。					
使用教材	診療情報管理士テキスト「診療情報管理 I (基礎・医学編)」第 8 版 日本病院会					
参考文献						
評価方法	期末試験は行わず、毎回講義ごとに小テストを行い、その結果の総計を評価対象とする(80%)。授業への参加度・貢献度(授業中の質疑に積極的に参加し、授業の進行に協力すること:20%)との合計 60%以上を合格とする。					
課題・評価に対するフィードバック方法	小テストについては、実施ごとに配点、問題に対する模範解答を掲示する。					
オフィスアワー (研究室)	質問等はメールで受け付ける。		メールアドレス (#→@)		togata45#gmail.com	
1	講義内容	健康と疾病、病気の原因(1)				
	該当到達目標	予習	テキストの 113-114 ページに目を通す。			1.5 時間
	1	復習	健康と疾病の言葉の定義、病気の原因を理解する。			1.5 時間
2	講義内容	病気の原因(2)				
	該当到達目標	予習	テキストの 114-119 ページに目を通す。			1.5 時間
	1	復習	病気の原因を理解する。			1.5 時間
3	講義内容	病気の原因(3)				
	該当到達目標	予習	テキストの 114-119 ページに目を通す。			1.5 時間
	1	復習	病気の原因を理解する。			1.5 時間
4	講義内容	臓器の病理学的変化、病気の診断、治療の方針				
	該当到達目標	予習	テキストの 121-122 ページと 134-136 ページに目を通す。			1.5 時間
	1,2	復習	臓器の病理学的変化、病気の診断方法および治療方針を理解する。			1.5 時間
5	講義内容	検査(検査技師による検体検査など)				
	該当到達目標	予習	テキストの 123-125 ページと 129-134 ページに目を通す。			1.5 時間
	2	復習	検査技師による検体検査などの概要を理解する。			1.5 時間
6	講義内容	検査(放射線技師による画像検査など)				
	該当到達目標	予習	テキストの 126-128 ページに目を通す。			1.5 時間

	2	復習	放射線技師による画像検査を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	先天奇形:神経系、眼、耳、顔面、頸部、呼吸器系の奇形		
	該当到達目標	予習	テキストの 137-150 ページに目を通す。	1.5 時間
	3	復習	神経系、眼、耳、顔面、頸部、呼吸器系の奇形を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	先天奇形:消化器系、生殖器、腎・尿路系、筋骨格系の奇形		
	該当到達目標	予習	テキストの 137-150 ページに目を通す。	1.5 時間
	3	復習	消化器系、生殖器、腎・尿路系、筋骨格系を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	染色体異常		
	該当到達目標	予習	テキストの 151-152 ページに目を通す。	1.5 時間
	3	復習	染色体異常の定義、疾患について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	損傷(1)皮膚、筋・腱、血管、靱帯など軟部の損傷■		
	該当到達目標	予習	テキストの 153-155 ページに目を通す。	1.5 時間
	3	復習	皮膚、筋・腱、血管、靱帯など軟部組織の損傷の概要を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	損傷(2)頭部、頸部、胸部の損傷■		
	該当到達目標	予習	テキストの 156-160 ページに目を通す。	1.5 時間
	3	復習	頭部、頸部、胸部の損傷の概要を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	損傷(3)腹部、下背部、腰椎、骨盤部の損傷■		
	該当到達目標	予習	テキストの 161-165 ページに目を通す。	1.5 時間
	3	復習	腹部、下背部、腰椎、骨盤部の損傷の概念について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	損傷(4)肩、四肢の損傷		
	該当到達目標	予習	テキストの 165-178 ページに目を通す。	1.5 時間
	3	復習	肩、四肢の損傷の概念について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	薬物による中毒、物質の毒作用(アルコール、農薬、生物由来の毒物などの作用)		
	該当到達目標	予習	テキストの 178-192 ページに目を通す。	1.5 時間
	3	復習	薬物による中毒、物質の毒作用などの概要を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	薬物による中毒、物質の毒作用(アルコール、農薬、生物由来の毒物などの作用)		
	該当到達目標	予習	テキストの 178-192 ページに目を通す。	1.5 時間
	3	復習	薬物による中毒、物質の毒作用などの概要を理解する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	○オンライン授業の導入の場合は、上記計 15 回の講義内容は適宜変更・調整する。 ○担当教員(尾形)は、講義聴講後または講義動画を視聴後の復習に重点を置くことを推奨する。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	臨床医学各論Ⅰ（感染症・寄生虫、血液）（専門基幹科目）				科目ナンバリング	HIB203
英文名	Clinical MedicineⅠ（Infection, Blood etc.）				講義形態	講義
担当教員	坂本 輝彦					
科目に関連した実務経験	非常勤医師として病院に勤務（現在）					
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格	診療情報管理士					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	8	健康・医療および情報に関する知識・技能		1	生涯学習力	
	1	問題解決力				
SDGsとの関連	③⑥					
実施概要	病原微生物による疾患、および血液疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などについて、基本的な知識を習得する。					
①講義の目標	各講義で毎回復習問題を出題し、講義終了時にその解説を行う。					
②講義の実施方法						
到達目標	1. 病原微生物による疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などの基本的事項を説明できる。■ 2. 血液疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などの基本的事項を説明できる。■					
使用教材	診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅰ（基礎・医学編）」第8版 日本病院会					
参考文献	「病気が見える」シリーズ MEDIC MEDIA 社 人体の構造と機能 第5版 医歯薬出版					
評価方法	期末試験 50%、レポート、ミニテスト、授業参加度等を 50%として、合計 60%以上を合格とする。					
課題・評価に対するフィードバック方法	各講義の際に毎回出題する復習問題については、各講義終了時に解説を行う。終了試験では、全般理解度を確認し、試験後にまとめの解説を行う。					
オフィスアワー（研究室）	質問等は電子メールで受け付ける。		メールアドレス（#→@）		tsaka.20121006#gmail.com	
1	講義内容	感染症総論（1）病原微生物の種類、検査など				
	該当到達目標	予習	テキストの 197-200 ページに目を通す。			1.5 時間
	1	復習	感染症の発生するメカニズムや検査法などを理解し、配布プリントに目を通す。			1.5 時間
2	講義内容	感染症総論（2）治療、予防など				
	該当到達目標	予習	テキストの 199-201 ページに目を通す。			1.5 時間
	1	復習	感染症の治療と予防を理解する。配布プリントに目を通す。			1.5 時間
3	講義内容	腸管感染症■				
	該当到達目標	予習	テキストの 202-206 ページに目を通す。			1.5 時間
	1	復習	腸管感染症の概要を理解する。配布プリントに目を通す			1.5 時間
4	講義内容	結核および非結核性抗酸菌症				
	該当到達目標	予習	テキストの 207-209、214 ページに目を通す。			1.5 時間
	1	復習	結核および非結核性抗酸菌症を理解する。配布プリントに目を通す。			1.5 時間
5	講義内容	人獣共通感染症、種々の感染症				
	該当到達目標	予習	テキストの 210-221 ページ目を通す。			1.5 時間
	1	復習	呼吸器および人獣共通感染症の概略を理解し、配布プリントに目を通す。			1.5 時間
6	講義内容	性感染症、スピロヘータなど				
	該当到達目標	予習	テキストの 225-233 ページに目を通す。			1.5 時間
	1	復習	性感染症、スピロヘータの概略を理解する。配布プリントに目を通す。			1.5 時間
7	講義内容	ウイルス感染症（1）総論、種々のウイルス感染症				
	該当到達目標	予習	テキストの 234-240 ページに目を通す。			1.5 時間
	1	復習	ウイルス感染症総論および代表的ウイルス疾患を理解する。配布プリントに目を通す。			1.5 時間

8	講義内容	ウイルス感染症(2) 皮膚、粘膜などの疾患		
	該当到達目標	予習	テキストの 240-243 ページに目を通す。	1.5 時間
	1	復習	皮膚、粘膜のウイルス感染症を理解する。配布プリントに目を通す。	1.5 時間
9	講義内容	ウイルス肝炎、HIV、その他ウイルス疾患		
	該当到達目標	予習	テキストの 244-252 ページに目を通す。	1.5 時間
	1	復習	ウイルス肝炎、HIV および関連感染症を理解する。配布プリントに目を通す。	1.5 時間
10	講義内容	真菌症、原虫疾患、寄生虫病など		
	該当到達目標	予習	テキストの 253-262 ページに目を通す。	1.5 時間
	1	復習	真菌症、原虫疾患、寄生虫症などを理解する。配布プリントに目を通す。	1.5 時間
11	講義内容	血液疾患(1) 血液疾患総論		
	該当到達目標	予習	テキストの 319-325 ページに目を通す。	1.5 時間
	2	復習	血液疾患総論(組成、造血メカニズムなど)を理解する。配布プリントに目を通す。	1.5 時間
12	講義内容	血液疾患(2) 貧血■		
	該当到達目標	予習	テキストの 328-334 ページに目を通す。	1.5 時間
	2	復習	さまざまな貧血疾患につき理解する。配布プリントに目を通す。	1.5 時間
13	講義内容	血液疾患(3) 無形成性貧血およびその他の貧血、凝固障害		
	該当到達目標	予習	テキストの 335-341 ページに目を通す。	1.5 時間
	2	復習	無形成性貧血、その他の貧血、凝固障害を理解し、配布プリントに目を通す。	1.5 時間
14	講義内容	血液および造血器、免疫機構の障害		
	該当到達目標	予習	テキストの 342-345 ページに目を通す。	1.5 時間
	2	復習	血液および造血器、免疫機構の障害につき理解し、配布プリントに目を通す。	1.5 時間
15	講義内容	終了試験の実施(まとめ、重要ポイントの解説など)		
	該当到達目標	予習	復習問題の理解、講義内容の復習を行う。	1.5 時間
	1,2	復習	終了試験に向け、自己理解度を判断し、不十分と思われた箇所は自己学習にて理解しておく。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	臨床医学各論Ⅱ（新生物、代謝・内分泌）（専門基幹科目）			科目ナンバリング	HIB204
英文名	Clinical Medicine Ⅱ（Neoplasm, Metabolism etc）			講義形態	講義
担当教員	坂本 輝彦				
科目に関連した実務経験	非常勤医師として病院に勤務（現在）				
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
履修を必須とする資格	診療情報管理士				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
	8	健康・医療および情報に関する知識・技能	1	生涯学習力	
	1	問題解決力			
SDGs との関連	③⑥				
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	腫瘍（新生物）による疾患、および内分泌・代謝系疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などについて、基本的な知識を習得する。 各講義で毎回復習問題を出題し、講義終了時にその解説を行う。				
到達目標	1. 腫瘍（新生物）による疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。■ 2. 内分泌・代謝系疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。■				
使用教材	診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅰ（基礎・医学編）」第 8 版 日本病院会				
参考文献	「病気がみえる」シリーズ MEDIC MEDIA 社 人体の構造と機能 第 5 版 医歯薬出版				
評価方法	期末試験 50%、レポート、ミニテスト、授業参加度等を 50%として、合計 60%以上を合格とする。				
課題・評価に対するフィードバック方法	各講義の際に毎回出題する復習問題については、各講義終了時に解説を行う。終了試験では、全般理解度を確認し、試験後にまとめの解説を行う。				
オフィスアワー（研究室）	質問等はメールで受け付ける。		メールアドレス（#→@）	tsaka.20121006#gmail.com	
1	講義内容	腫瘍（新生物）総論（1） 腫瘍の定義、分類			
	該当到達目標	予習	テキストの 265-266 ページに目を通す。		1.5 時間
	1	復習	腫瘍の総論（腫瘍の定義、分類）につき理解する。配布プリントに目を通す。		1.5 時間
2	講義内容	腫瘍（新生物）総論（2） 画像診断、治療、予防			
	該当到達目標	予習	テキストの 123-136 ページの該当部分に目を通す。		1.5 時間
	1	復習	腫瘍の総論（画像診断、治療、予防）につき理解する。配布プリントに目を通す。		1.5 時間
3	講義内容	消化管（食道・胃）の悪性新生物■			
	該当到達目標	予習	テキストの 270-276、279-280 ページに目を通す。		1.5 時間
	1	復習	食道・胃疾患の悪性新生物につき理解する。配布プリントに目を通す。		1.5 時間
4	講義内容	消化管（大腸）および肝・胆の悪性新生物■			
	該当到達目標	予習	テキストの 276-285 ページに目を通す。		1.5 時間
	1	復習	大腸および肝胆道系の悪性新生物を理解する。配布プリントに目を通す。		1.5 時間
5	講義内容	膵臓および呼吸器系の悪性新生物			
	該当到達目標	予習	テキストの 286-291 ページに目を通す。		1.5 時間
	1	復習	膵臓および呼吸器系の悪性新生物を理解する。配布プリントに目を通す。		1.5 時間
6	講義内容	口唇、口腔、咽頭、骨、皮膚の悪性新生物			
	該当到達目標	予習	テキストの 266-270、291-293 ページに目を通す		1.5 時間
	1	復習	口唇、口腔、咽頭、骨、皮膚の悪性新生物を理解し、配布プリントに目を通す。		1.5 時間
7	講義内容	乳房、子宮、卵巣の新生物			
	該当到達目標	予習	テキストの 293-298 ページに目を通す。		1.5 時間
	1	復習	乳房、子宮、卵巣の新生物を理解し、配布プリントに目を通す。		1.5 時間

8	講義内容	前立腺、泌尿器、脳などの新生物		
	該当到達目標	予習	テキストの 298-302、312 ページに目を通す。	1.5 時間
	1	復習	前立腺、泌尿器、脳の新生物を理解する。配布プリントに目を通す。	1.5 時間
9	講義内容	内分泌腺、リンパ組織関連の悪性新生物、良性腫瘍(1)		
	該当到達目標	予習	テキストの 302-307、308-311、313 ページに目を通す	1.5 時間
	1	復習	内分泌腺の新生物、リンパ組織関連の悪性新生物、良性腫瘍を理解する。配布プリントに目を通す。	1.5 時間
10	講義内容	内分泌、栄養および代謝疾患、甲状腺疾患		
	該当到達目標	予習	テキストの 347-353 ページに目を通す。	1.5 時間
	1	復習	内分泌、栄養および代謝疾患、甲状腺疾患を理解する。配布プリントに目を通す。	1.5 時間
11	講義内容	糖尿病および内分泌疾患(1):副甲状腺疾患■		
	該当到達目標	予習	テキストの 355-361 ページに目を通す。	1.5 時間
	2	復習	糖尿病および内分泌疾患(1):副甲状腺疾患を理解する。配布プリントに目を通す。	1.5 時間
12	講義内容	内分泌疾患(2):下垂体疾患、副腎疾患(1)		
	該当到達目標	予習	テキストの 362-366 ページに目を通す。	1.5 時間
	2	復習	下垂体疾患、副腎疾患を理解する。配布プリントに目を通す。	1.5 時間
13	講義内容	副腎疾患(2)、栄養障害		
	該当到達目標	予習	テキストの 367-373 ページに目を通す。	1.5 時間
	2	復習	副腎疾患、栄養障害を理解する。配布プリントに目を通す。	1.5 時間
14	講義内容	代謝障害、体液・電解質異常		
	該当到達目標	予習	テキストの 373-384 ページに目を通す。	1.5 時間
	2	復習	代謝障害、体液・電解質異常を理解する。配布プリントに目を通す。	1.5 時間
15	講義内容	終了試験の実施(まとめ、重要ポイントの解説など)		
	該当到達目標	予習	終了試験にあたり、復習問題の理解、講義内容の復習を行う。	1.5 時間
	1,2	復習	終了試験の復習により、自己理解度を判断し、不十分と思われた箇所は解説を参考にしながら自己学習にて理解しておく。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	臨床医学各論Ⅲ(循環器・呼吸器)(専門基幹科目)				科目ナンバリング	HIB205
英文名	Clinical MedicineⅢ (Cardiovascular & Respiratory systems)				講義形態	講義
担当教員	小澤 滯司					
科目に関連した実務経験	非常勤医師として病院・診療所に勤務(経験)					
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格	診療情報管理士					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	8	健康・医療および情報に関する知識・技能		1	生涯学習力	
	1	問題解決力				
SDGs との関連	③⑥					
実施概要	循環器、呼吸器系の疾患の特徴・病因・症状・診断・治療・予後などに関する基本的事項					
①講義の目標						
②講義の実施方法	各講義で循環・呼吸器疾患の分類、症状、検査、治療について実務経験を含めて解説する。					
到達目標	1. 循環器系疾患の特徴・病因・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。■ 2. 呼吸器系疾患の特徴・病因・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。■					
使用教材	テキスト:診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅰ(基礎・医学編)」第8版 日本病院会					
参考文献	「病気がみえる」シリーズ MEDIC MEDIA 社 人体の構造と機能 第5版 医歯薬出版					
評価方法	期末試験 50%、レポート、ミニテスト、授業参加度等を 50%として、合計 60%以上を合格とする。					
課題・評価に対するフィードバック方法	講義中のレポート、ミニテストでは、実施直後に出題の意図、問題に対する模範解答を解説する。					
オフィスアワー(研究室)	火曜日の 3 時限と 4 時限			メールアドレス(#→@)	sozawa#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	循環器疾患 (1)循環器疾患総論 ①主要症候				
	該当到達目標	予習	参考書(人体構造・機能論のテキスト)第 5 章 循環系と講義教材、およびテキストの 473-474 ページに目を通す。			1.5 時間
	1	復習	循環器疾患の主要症候の発生メカニズムを理解する。			1.5 時間
2	講義内容	循環器疾患 (2)循環器疾患総論 ②心不全■				
	該当到達目標	予習	テキストの 519-523 ページに目を通す。			1.5 時間
	1	復習	左心不全と右心不全の発生メカニズムと症状を理解する。			1.5 時間
3	講義内容	循環器疾患 (3)循環器疾患総論 ③検査(i)心音、血液生化学、心電図■				
	該当到達目標	予習	テキストの 474-476 ページに目を通す。			1.5 時間
	1	復習	循環器疾患の際に、心音、血液生化学検査、心電図で検出される代表的な変化を理解する。			1.5 時間
4	講義内容	循環器疾患 (4)循環器疾患総論 ④検査(ii)心エコー、心カテテルなど■				
	該当到達目標	予習	テキストの 476-478 ページに目を通す。			1.5 時間
	1	復習	心エコー、心カテテル検査の概要を理解する。			1.5 時間
5	講義内容	循環器疾患 (5)リウマチ性心疾患、弁膜症■				
	該当到達目標	予習	テキストの 479-486 ページに目を通す。			1.5 時間
	1	復習	僧房弁と大動脈弁の異常に重点をおいて、弁膜症の原因、症状、検査、治療法を理解する。			1.5 時間
6	講義内容	循環器疾患 (6)先天性心疾患■				

	該当到達目標	予習	テキストの 487-495 ページに目を通す。	1.5 時間
	1	復習	先天性心疾患の種類、症状、検査、治療法を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	循環器疾患 (7)高血圧性疾患■		
	該当到達目標	予習	テキストの 495-500 ページに目を通す。	1.5 時間
	1	復習	高血圧の定義、原因、治療の目的、高血圧による臓器障害を理解する。	1.5 時間
	講義内容	循環器疾患 (8)虚血性心疾患■		
8	該当到達目標	予習	テキストの 501-506 ページに目を通す。	1.5 時間
	1	復習	狭心症と急性心筋梗塞の原因、症状、検査、治療法を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	循環器疾患 (9)肺性心疾患、その他の心疾患(心膜炎、心筋症など)■		
	該当到達目標	予習	テキストの 507-519 ページに目を通す。	1.5 時間
	1	復習	肺性心疾患、心膜疾患、急性心筋炎、心筋症の概要を理解する。	1.5 時間
	講義内容	循環器疾患 (10)動脈と静脈の疾患■		
10	該当到達目標	予習	テキストの 532-542 ページに目を通す。	1.5 時間
	1	復習	動脈硬化、大動脈瘤、大動脈解離、動脈血栓・塞栓、静脈血栓、痔核、食道静脈瘤などの概要を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	呼吸器疾患 (1)呼吸器疾患総論、呼吸不全■		
	該当到達目標	予習	参考書(人体構造・機能論のテキスト)第 9 章 呼吸器系と講義教材、およびテキストの 545-546 ページと 578-580 ページに目を通す。	1.5 時間
	2	復習	呼吸器疾患の主要症候の発生するメカニズムと呼吸不全の定義を理解する。	1.5 時間
	講義内容	呼吸器疾患 (2)上気道感染症、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症		
12	該当到達目標	予習	テキストの 548-550 ページに目を通す。■	1.5 時間
	2	復習	普通感冒とインフルエンザの区別、インフルエンザウイルスの多型性について理解する。また、新型コロナウイルス感染症の特徴、感染経路、症状、検査、治療と予防の要点について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	呼吸器疾患 (3)肺炎■		
	該当到達目標	予習	テキストの 550-558 ページに目を通す。	1.5 時間
	2	復習	肺炎の分類、原因、症状、検査、治療法について理解する。	1.5 時間
	講義内容	呼吸器疾患 (4)慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、および 1-14 回の講義での重要事項の指摘		
14	該当到達目標	予習	テキストの 561-564、565-566 ページに目を通す。■	1.5 時間
	1,2	復習	慢性閉塞性肺疾患の原因、症状、検査、治療法を十分に復習して理解する。および 1-14 回の講義で指摘された重要事項の理解度を確認する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ、重要事項の解説		
	該当到達目標	予習	テキスト、講義教材等を利用して 1-14 回の講義の内容を復習して、特に講義中に強調された重要事項について理解を深める。	1.5 時間
	1,2	復習	まとめ、重要事項の解説で示された事項のすべてを理解したことを確認する。	1.5 時間
	合計時間(予習・復習)			
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	臨床医学各論Ⅳ(消化器・腎泌尿器、皮膚)(専門基幹科目)			科目ナンバリング	HIB206
英文名	Clinical Medicine Ⅳ (Digestive & Urinary Systems etc.)			講義形態	講義
担当教員	坂本 輝彦				
科目に関連した実務経験	非常勤医師として病院に勤務(現在)				
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位		
履修を必須とする資格	診療情報管理士				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
	8	健康・医療および情報に関する知識・技能	1	生涯学習力	
	1	問題解決力			
SDGs との関連	③ ⑥				
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	消化器系、腎・泌尿器系の疾患、および皮膚疾患の特徴・病因・症状・診断・治療・予後などについて、基本的な知識を習得する。 各講義で毎回復習問題を出題し、講義終了時にその解説を行う。				
到達目標	1. 消化器系疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。■ 2. 腎・泌尿器系疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。■ 3. 皮膚疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。■				
使用教材	診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅰ(基礎・医学編)」第8版 日本病院会				
参考文献	「病気がみえる」シリーズ MEDIC MEDIA 社 人体の構造と機能 第5版 医歯薬出版				
評価方法	期末試験 50%、レポート、ミニテスト、授業参加度等を 50%として、合計 60%以上を合格とする。				
課題・評価に対するフィードバック方法	各講義の際に毎回出題する復習問題については、各講義終了時に解説を行う。終了試験では、全般理解度を確認し、試験後にまとめの解説を行う。				
オフィスアワー(研究室)	質問等はメールで受け付ける。		メールアドレス(#→@)	tsaka.20121006#gmail.com	
1	講義内容	消化器疾患(1) 消化器疾患総論			
	該当到達目標	予習	テキストの 585-588、608-611、623-627 ページに目を通す。		1.5 時間
	1	復習	消化器疾患の主要症候・検査などを理解する。配布プリントに目を通す。		1.5 時間
2	講義内容	消化器疾患(2) 口腔、食道、胃・十二指腸の疾患■			
	該当到達目標	予習	テキストの 588-596 ページに目を通す。		1.5 時間
	1	復習	口腔、食道、胃・十二指腸の疾患の検査・症状・治療を理解し、配布プリントに目を通す。		1.5 時間
3	講義内容	消化器疾患(3) 小腸、大腸の疾患■			
	該当到達目標	予習	テキストの 596-608 ページに目を通す。		1.5 時間
	1	復習	小腸、大腸の疾患の検査・症状・治療を理解し、配布プリントに目を通す。		1.5 時間
4	講義内容	消化器疾患(4) 肝臓疾患(1) ■			
	該当到達目標	予習	テキストの 608-615 ページに目を通す。		1.5 時間
	1	復習	肝臓疾患、肝障害(アルコール性、薬剤性)、肝不全の特徴・症状・検査・治療を理解し、配布プリントに目を通す。		1.5 時間
5	講義内容	消化器疾患(5) 肝臓疾患(2)			
	該当到達目標	予習	テキストの 616-623 ページに目を通す。		1.5 時間
	1	復習	慢性肝炎、脂肪肝などの特徴・症状・検査・治療を理解し、配布プリントに目を通す。		1.5 時間
6	講義内容	消化器疾患(5) 胆嚢、胆管、膵臓の疾患			
	該当到達目標	予習	テキストの 623-638 ページに目を通す。		1.5 時間
	2	復習	胆嚢、胆管、膵臓の特徴・症状・検査・治療を理解し、配布プリントに目を通す。		1.5 時間
7	講義内容	腎・泌尿器疾患(1) 腎疾患総論			

	該当到達目標	2	予習	テキストの 639-642 ページに目を通す。	1.5 時間
			復習	腎疾患の症状・検査などを理解し、配布プリントに目を通す。	1.5 時間
8	講義内容	腎・泌尿器疾患(2) 腎系球体疾患			
	該当到達目標	2	予習	テキストの 643-652 ページに目を通す。	1.5 時間
			復習	腎系球体疾患の症状・検査・治療などを理解し、配布プリントに目を通す。	1.5 時間
9	講義内容	腎・泌尿器疾患(3) 全身疾患と腎、腎尿細管間質性疾患			
	該当到達目標	2	予習	テキストの 653-659 ページに目を通す。	1.5 時間
			復習	全身疾患と腎、腎尿細管間質性疾患の症状、検査、治療法を理解し、配布プリントに目を通す。	1.5 時間
10	講義内容	腎・泌尿器疾患(4) 腎不全、尿管結石、尿細管疾患			
	該当到達目標	2	予習	テキストの 659-668 ページに目を通す。	1.5 時間
			復習	腎不全、尿路系、尿細管疾患を理解し、配布プリントに目を通す。	1.5 時間
11	講義内容	腎・泌尿器疾患(5) 尿路系疾患、生殖器疾患、不妊症			
	該当到達目標	3	予習	テキストの 669-683 ページに目を通す。	1.5 時間
			復習	尿路系疾患、生殖器疾患、不妊症の概要を理解し、配布プリントに目を通す。	1.5 時間
12	講義内容	皮膚疾患(1) 皮膚疾患総論、皮膚の感染症、水疱症			
	該当到達目標	3	予習	テキストの 735-741 ページに目を通す。	1.5 時間
			復習	皮膚疾患、感染症、水疱症の主症状・治療を理解し、配布プリントに目を通す。	1.5 時間
13	講義内容	皮膚疾患(2) 皮膚炎、湿疹、真菌症、自己免疫疾患			
	該当到達目標	3	予習	テキストの 743-753、760-763 ページに目を通す。	1.5 時間
			復習	皮膚炎、湿疹、真菌症、自己免疫疾患を理解し、配布プリントに目を通す。	1.5 時間
14	講義内容	皮膚疾患(3) 毛髪疾患、褥瘡、皮膚の結合織病(膠原病)、悪性腫瘍			
	該当到達目標	3	予習	テキストの 754-760、763-768 ページに目を通す。	1.5 時間
			復習	毛髪疾患、褥瘡、皮膚の結合織病(膠原病)、悪性腫瘍を理解し、配布プリントに目を通す。	1.5 時間
15	講義内容	終了試験の実施(まとめ、重要ポイントの解説など)			
	該当到達目標	1,2,3	予習	終了試験に向け、復習問題の理解、講義内容の復習を行う。	1.5 時間
			復習	終了試験の復習、自己理解度を判断し、不十分と思われた箇所は自己学習にて理解しておく。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)					45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。				

科目名	臨床医学各論Ⅴ（周産期、筋骨格）（専門基幹科目）				科目 ナンバリング	HIB207
英文名	Clinical Medicine Ⅴ（Perinatal Medicine etc.）				講義形態	講義
担当教員	坂本 輝彦					
科目に関連した 実務経験	非常勤医師として病院に勤務（現在）					
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする 資格	診療情報管理士					
学位授与方針 との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	8	健康・医療および情報に関する知識・技能		1	生涯学習力	
	1	問題解決力				
SDGs との関連	③ ⑥					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	妊娠、周産期における疾患、および筋・骨格系の疾患の特徴・病因・症状・診断・治療・予後などについて、基本的な知識を習得する。 各講義で毎回復習問題を出題し、講義終了時にその解説を行う。					
到達目標	1. 妊娠、周産期における疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。■ 2. 骨格系の疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。■					
使用教材	診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅰ（基礎・医学編）」第 8 版 日本病院会					
参考文献	「病気がみえる」シリーズ MEDIC MEDIA 社 人体の構造と機能 第 5 版 医歯薬出版					
評価方法	期末試験 50%、レポート、ミニテスト、授業参加度等を 50%として、合計 60%以上を合格とする。					
課題・評価に対する フィードバック方法	各講義の際に毎回出題する復習問題については、各講義終了時に解説を行う。終了試験では、全般理解度を確認し、試験後にまとめの解説を行う。					
オフィスアワー （研究室）	質問等はメールで受け付ける。			メールアドレス （#→@）	tsaka.20121006#gmail.com	
1	講義内容	生殖器の構造と機能、性周期				
	該当到達目標	予習	テキストの 689 ページに目を通す。			1.5 時間
	1	復習	生殖器の構造と機能、性周期を理解し、配布プリントに目を通す。			1.5 時間
2	講義内容	妊娠の成立と維持				
	該当到達目標	予習	テキストの 689-692 ページに目を通す。			1.5 時間
	1	復習	妊娠の成立と維持を理解し、配布プリントに目を通す。			1.5 時間
3	講義内容	正常の妊娠と分娩				
	該当到達目標	予習	テキストの 691-692 ページに目を通す。			1.5 時間
	1	復習	正常の妊娠と分娩を理解し、配布プリントに目を通す。			1.5 時間
4	講義内容	流産				
	該当到達目標	予習	テキストの 692-701 ページに目を通す。			1.5 時間
	1	復習	流産の概要を理解し、配布プリントに目を通す。			1.5 時間
5	講義内容	妊娠高血圧症候群、妊娠悪阻				
	該当到達目標	予習	テキストの 701-704 ページに目を通す。			1.5 時間
	1	復習	妊娠高血圧症候群、妊娠悪阻の症状・検査などを理解し、配布プリントに目を通す。			1.5 時間
6	講義内容	予想される分娩の諸問題（1） 多胎妊娠、胎位異常など				
	該当到達目標	予習	テキストの 705-708 ページに目を通す。			1.5 時間
	1	復習	多胎妊娠、胎位異常などの概念を理解し、配布プリントに目を通す。			1.5 時間
7	講義内容	予想される分娩の諸問題（2） 回旋異常など				
	該当到達目標	予習	テキストの 709-713 ページに目を通す。			1.5 時間

	1	復習	回旋異常などの症状・治療などを理解し、配布プリントに目を通す。	1.5 時間
8	講義内容	予想される分娩の諸問題(3) 前期破水、前置胎盤など		
	該当到達目標	予習	テキストの 714-718 ページに目を通す。	1.5 時間
	1	復習	前期破水、前置胎盤などを理解し、配布プリントに目を通す。	1.5 時間
9	講義内容	分娩・産褥における合併症		
	該当到達目標	予習	テキストの 719-724 ページに目を通す。	1.5 時間
	1	復習	分娩・産褥における合併症を理解し、配布プリントに目を通す。	1.5 時間
10	講義内容	周産期の児に発生する病態		
	該当到達目標	予習	テキストの 724-732 ページに目を通す。	1.5 時間
	2	復習	周産期の児に発生する病態概要を理解し、配布プリントに目を通す。	1.5 時間
11	講義内容	筋・骨格系疾患(1) 関節障害		
	該当到達目標	予習	テキストの 769-776 ページに目を通す。	1.5 時間
	2	復習	関節障害をきたす疾患を理解し、配布プリントに目を通す。	1.5 時間
12	講義内容	筋・骨格系疾患(2) 全身性結合組織障害■		
	該当到達目標	予習	テキストの 776-787 ページに目を通す。	1.5 時間
	2	復習	全身性結合組織障害の特徴を理解し、配布プリントに目を通す。	1.5 時間
13	講義内容	筋・骨格系疾患(3) 脊柱障害■		
	該当到達目標	予習	テキストの 787-798 ページに目を通す。	1.5 時間
	2	復習	脊柱障害の特徴を理解し、配布プリントに目を通す。	1.5 時間
14	講義内容	筋・骨格系疾患(4) 骨軟部組織障害		
	該当到達目標	予習	テキストの 798-810 ページに目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	骨軟部組織障害の特徴を理解し、配布プリントに目を通す。	1.5 時間
15	講義内容	終了試験の実施(まとめ、重要ポイントの解説など)		
	該当到達目標	予習	復習問題の理解、講義内容の復習を行う。	1.5 時間
	1,2	復習	終了試験を復習し、自己理解度を判断し、不十分と思われた箇所は自己学習にて理解しておく。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	臨床医学各論Ⅵ(精神・脳神経・感覚器、医学英語Ⅱ)(専門基幹科目)				科目ナンバリング	HIB208
英文名	Clinical Medicine Ⅵ (Nervous system) & Medical English Ⅱ				講義形態	講義
担当教員	坂本 輝彦、上原 徹					
科目に関連した実務経験	坂本: 非常勤医師として病院に勤務(現在) 上原: 非常勤医師として病院に勤務(現在)					
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格	「診療情報管理士」指定科目					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	1	コミュニケーションスキル		
	7	健康・医療および情報に関する知識・技能	1	生涯学習力		
	1	問題解決力				
SDGs との関連	③⑥					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	精神・神経系、感覚器の疾患の特徴・病因・症状・診断・治療・予後などに関する基本的事項、および疾患の症状・検査・診断・治療に関する英語表現法 各講義で精神神経疾患の分類、症状、検査、治療について実務経験を含めて解説する。 医学英語では、学生が問題集の演習問題を解いて、解答に至る過程を相互に説明することにより授業を進める。					
到達目標	1. 神経系疾患の特徴・病因・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。■ 2. 精神疾患の基本的事項を理解する。■ 3. 眼疾患の特徴・病因・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。 4. 多様な疾患の症状・検査・診断・治療に関する英語表現を日本語に訳すことができる。					
使用教材	テキスト: ①診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅰ(基礎・医学編)」第8版 日本病院会 ②診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅱ(基礎・医学用語編)」第8版 日本病院会 ③診療情報管理士教育問題集 2016 基礎・医学編 日本病院会					
参考文献	「病気がみえる」シリーズ MEDIC MEDIA 社 人体の構造と機能 第5版 医歯薬出版					
評価方法	期末試験 50%、レポート、ミニテスト、授業参加度等を 50%として、合計 60%以上を合格とする。					
課題・評価に対するフィードバック方法	講義中のレポート、ミニテストでは実施直後に出題の意図、模範解答を解説する。					
オフィスアワー(研究室)	質問等はメールで受け付ける。			メールアドレス (#→@)	tsaka.20121006#gmail.com	
1	講義内容	神経系疾患(1) 神経疾患を理解するための基礎的事項				
	該当到達目標 1	予習	参考書(人体構造・機能論のテキスト)第3章 神経系と講義教材、第4章 感覚器、およびテキスト①の 425-427 ページに目を通す。			1.5 時間
		復習	神経系の構造と機能に関する知識に基づき、主要症状の発生メカニズムを理解する。配布プリントに目を通す。			1.5 時間
2	講義内容	神経系疾患(2) 脳血管疾患(1)■				
	該当到達目標 1	予習	テキスト①の 527-532 ページに目を通す。			1.5 時間
		復習	脳血管疾患の種類、原因、症状、検査、治療法を理解する。配布プリントに目を通す。			1.5 時間
3	講義内容	神経系疾患(3) 脳血管疾患(2)および中枢神経系の炎症性疾患■				

	該当到達目標 1	予習	テキスト①の 427-429 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	脳血管疾患(前回の続き)および中枢神経系の炎症性疾患の種類、原因、症状、検査、治療法を理解する。配布プリントに目を通す。	1.5 時間
4	講義内容		神経系疾患(4) 神経変性疾患	
	該当到達目標 1	予習	テキスト①の 429-433 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	神経変性疾患の種類、原因、症状、検査、治療法を理解する。配布プリントに目を通す。	1.5 時間
5	講義内容		神経系疾患(5) 脱髄疾患、てんかん、末梢神経系疾患	
	該当到達目標 1	予習	テキスト①の 433-441 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	脱髄疾患、てんかん、末梢神経系疾患の種類、原因、症状、検査、治療法を理解する。配布プリントに目を通す。	1.5 時間
6	講義内容		神経系疾患(6) 神経・筋接合部、骨格筋の疾患、その他の神経系の障害	
	該当到達目標 1	予習	テキスト①の 441-446 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	重症筋無力症、筋ジストロフィー、脳性麻痺、水頭症の原因、症状、検査、治療法を理解する。配布プリントに目を通す。	1.5 時間
7	講義内容		眼疾患: 眼瞼、結膜、涙器、水晶体、硝子体、脈絡膜・網膜、視神経の障害	
	該当到達目標 3	予習	テキスト①の 447-461 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	主要な眼疾患の原因、症状、検査、治療法を理解する。配布プリントに目を通す。	1.5 時間
8	講義内容		医学英語Ⅱ(1) 造語法の基本(医学英語Ⅰの復習)	
	該当到達目標 4	予習	テキスト②の 1-10 ページを復習する。	1.5 時間
		復習	テキスト③の 12 章 問題 12-1 から 12-9 を解き直す。	1.5 時間
9	講義内容		医学英語Ⅱ(2) 循環器・呼吸器・消化器疾患の症状・検査・診断・治療の用語	
	該当到達目標 4	予習	テキスト③の 12 章で指定された問題を予め解いてから授業に臨むこと。	1.5 時間
		復習	授業で解いた問題について、テキスト②を参照して正解に至る道筋を確認する。	1.5 時間
10	講義内容		医学英語Ⅱ(3) 泌尿生殖器・血液・代謝・内分泌疾患等の症状・検査・診断・治療の用語	
	該当到達目標 4	予習	テキスト③の 12 章で指定された問題を予め解いてから授業に臨むこと。	1.5 時間
		復習	授業で解いた問題について、テキスト②を参照して正解に至る道筋を確認する。	1.5 時間
11	講義内容		医学英語Ⅱ(4) 精神神経・感覚器・骨格系・皮膚疾患等の症状・検査・診断・治療の用語	
	該当到達目標 4	予習	テキスト③の 12 章で指定された問題を予め解いてから授業に臨むこと。	1.5 時間
		復習	授業で解いた問題について、テキスト②を参照して正解に至る道筋を確認する。	1.5 時間
12	講義内容		医学英語Ⅱ(5) 特に難解な医学用語についての解説、および 1-12 回の授業での重要事項の指摘	
	該当到達目標 1,3,4	予習	テキスト③の 12 章で指定された問題を予め解いてから授業に臨むこと。	1.5 時間
		復習	授業で解いた問題について、テキスト②を参照して正解に至る道筋を確認する。および 1-12 回の授業で指摘された重要事項の理解度を確認する。	1.5 時間
13	講義内容		1-12 回の講義のまとめ、重要事項の解説	
	該当到達目標 1,3,4	予習	テキストと配布された教材を利用して 1-12 回の講義の内容を復習して、特に授業中に強調された点について理解を深める。	1.5 時間
		復習	まとめ、重要事項の解説で示された事項のすべてを理解したことを確認する。	1.5 時間
14	講義内容		精神と行動の障害(1) 精神疾患総論、器質性精神障害、精神作用物質など	
	該当到達目標 2	予習	テキスト①の 391-396 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	講義資料に基づき、テキスト対応箇所を再読する。	1.5 時間
15	講義内容		精神と行動の障害(2) 統合失調症、気分障害、神経症性障害、広汎性発達障害など	
	該当到達目標	予習	テキスト①の 397-422 ページに目を通す。	1.5 時間

	2	復習	講義資料に基づき、テキスト対応箇所を再読する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	1-13 回目の講義は坂本、14-15 回目の講義は上原が担当する。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	保健医療情報学(専門基幹科目)			科目ナンバリング	HIB209
英文名	Outline of Healthcare Informatics			講義形態	講義
担当教員	松尾 仁司				
科目に関連した実務経験	情報系企業で医療情報システムの研究開発に従事(経験) 保健医療福祉情報システム工業会(JAHIS)運営幹事(経験)				
学年・開講期	3 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位		
履修を必須とする資格	「診療情報管理士認定試験」指定科目				
学位授与方針との対応	2	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
	7	健康・医療および情報に関する知識・技能	1	生涯学習力	
		問題解決力			
SDGsとの関連	③⑧⑨⑪				
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	保健医療情報学は、情報技術を応用し、医療の質的向上・安全性向上と医療サービスの効率化などを実践的に達成することを目的とする分野である。本講義では、医療情報の特徴、医療情報化に関連する政策、病院や地域で活用される医療情報システム、医療情報の標準化、情報セキュリティなどを全般的に学ぶ。 講義の中で小テストを実施し、理解度の確認と解答の解説による再学習を行う。				
到達目標	1.日本病院会が認定する診療情報管理士認定試験の該当専門分野で合格点を取ることができる。 2.診療情報管理上特に重要な標準化とセキュリティに関する知識を理解することができる。■				
使用教材	診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ(専門課程編)初版 (社)日本病院会発行				
参考文献	適宜紹介する				
評価方法	期末試験の成績 70%、授業中の小テスト 30%で評価。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題・評価に対するフィードバック方法	小テストに関しては授業で解説を行う。				
オフィスアワー (研究室)	水曜日 3 限 (研究室:1 号館 6 階 607 室)		メールアドレス (#→@)	matsuo#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	導入・医療情報学とは			
	該当到達目標	予習	教科書の p.243~247 に目を通す。		1.5 時間
	1	復習	医療情報学の概念について理解する。		1.5 時間
2	講義内容	医療情報の特徴と種類■			
	該当到達目標	予習	教科書の p.247~252 に目を通す。		1.5 時間
	1	復習	医療情報の特徴と種類、利活用について理解する。		1.5 時間
3	講義内容	保健医療の情報化政策の歴史と関連法令■			
	該当到達目標	予習	教科書の p.252~258 に目を通す。		1.5 時間
	1	復習	医療の情報化には行政が深く関わっていることを理解する。		1.5 時間
4	講義内容	保健医療情報化政策の今後の方向性■			
	該当到達目標	予習	教科書の p.258~260 に目を通す。		1.5 時間
	1	復習	行政による医療の情報化推進策の方向性を理解する。		1.5 時間
5	講義内容	病院情報システム概論■			
	該当到達目標	予習	教科書の p.260~262 に目を通す。		1.5 時間
	1	復習	病院情報システムの特徴、歴史について理解する。		1.5 時間
6	講義内容	医事会計システム■			
	該当到達目標	予習	教科書の p.263 ~264 に目を通す。		1.5 時間
	1	復習	医事会計システムについて理解する。		1.5 時間
7	講義内容	病院の部門情報システム■			

令和4年度 医療情報学科シラバス

	該当到達目標	予習	教科書の p.264~269 に目を通す。	1.5 時間
	1	復習	臨床検査システム、放射線部門システムなどについて理解する。	1.5 時間
8	講義内容	オーダエントリシステムと電子カルテシステム■		
	該当到達目標	予習	教科書の p.269~276 に目を通す。	1.5 時間
	1	復習	オーダエントリシステムと電子カルテシステムの役割・特徴について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	地域医療情報システム■		
	該当到達目標	予習	教科書の p.277~284 に目を通す。	1.5 時間
	1	復習	遠隔医療システム、地域医療情報ネットワークシステムについて理解する。	1.5 時間
10	講義内容	診療情報の二次利用■		
	該当到達目標	予習	教科書の p.285~288 に目を通す。	1.5 時間
	1	復習	データウェアハウス、医療ビッグデータ処理について概念を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	個人が管理する保健医療記録■		
	該当到達目標	予習	教科書の p.288~291 に目を通す。	1.5 時間
	1	復習	EHR,PHR など個人健康情報の概念を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	医療情報の標準化■		
	該当到達目標	予習	教科書の p.291~297 に目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	用語・コードの標準化、伝送規格などの重要性を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	情報セキュリティ■		
	該当到達目標	予習	教科書の p.297~305 に目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	セキュリティポリシーや安全管理について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	医学系研究に関する倫理指針と保健医療の情報化のこれから■		
	該当到達目標	予習	教科書の p.305~308 に目を通す。	1.5 時間
	1	復習	医学系研究に関する倫理指針と保健医療情報分野の将来について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	全体まとめ		
	該当到達目標	予習	講義全体を通して重要なポイントを確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	保健医療情報学の重要なポイントを整理する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	生体情報学Ⅰ（専門基幹科目）				科目ナンバリング	HIB210
英文名	Biological InformationⅠ				講義形態	講義
担当教員	高橋 大志					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	3 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	10	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
SDGs との関連	④					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	生体は多くの優れた機能を有しており、これらの優れた機能を測定・解析し応用することにより医学的価値の高い医療機器を開発することが可能である。そのためには、生体信号（血圧や体温などの生体からの情報）を感度良く検出し解析する必要がある。本講義では、血圧計、心電計、脳波計など、医療現場で使用されている機器の検出・計測原理やデバイス構造を理解することを目的とする。なお、講義では教科書の当該内容をスライドで説明する。					
到達目標	1. 生体の特性及び生体情報の解析法を理解することができる。 2. 医療機器の情報検出法及び測定原理について理解することができる。					
使用教材	「医用工学入門」木村雄治著（コロナ社）（ISBN978-4-339-07075-0）					
参考文献						
評価方法	期末試験の成績にて評価（100％）し、60％以上で合格とする。					
課題・評価に対するフィードバック方法	3 年生後期の「生体情報学Ⅱ」（必修）において実験・実習を行うので、その実習内で講義の理解度を確認する。					
オフィスアワー（研究室）	質問はメールで受け付ける。 研究室：1 号館 314			メールアドレス（#→@）	takahashi-d#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	導入				
	該当到達目標	予習	教科書の p.1～6 を熟読する。			1.5 時間
	1,2	復習	生体情報学で何を学ぶのか理解する。			1.5 時間
2	講義内容	心臓の刺激伝導系と心電計				
	該当到達目標	予習	教科書の p.7～24 を熟読する。			1.5 時間
	1,2	復習	心電図の発生とその検出法について理解する。			1.5 時間
3	講義内容	脳波計				
	該当到達目標	予習	教科書の p.25～36 を熟読する。			1.5 時間
	1,2	復習	脳波の発生とその検出法について理解する。			1.5 時間
4	講義内容	血圧計				
	該当到達目標	予習	教科書の p.36～41 を熟読する。			1.5 時間
	1,2	復習	血圧とその測定法について理解する。			1.5 時間
5	講義内容	筋電計				
	該当到達目標	予習	教科書の p.81～84 を熟読する。			1.5 時間
	1,2	復習	筋電図の発生とその検出法について理解する。			1.5 時間
6	講義内容	体温計測法（サーモグラフィ、体温計）				
	該当到達目標	予習	教科書の p.49～51 を熟読する。			1.5 時間
	1,2	復習	生体から発生する体温情報について理解する。			1.5 時間
7	講義内容	パルスオキシメータと血液の光吸収特性				
	該当到達目標	予習	教科書の p.87～90 を熟読する。			1.5 時間
	1,2	復習	動脈血酸素飽和度とパルスオキシメータの原理について理解する。			1.5 時間

8	講義内容	呼吸流量計(スパイロメータ)			
	該当到達目標	予習	教科書の p.84~87 を熟読する。	1.5 時間	
	1,2	復習	呼吸流量とスパイロメータの原理について理解する。	1.5 時間	
9	講義内容	画像診断装置Ⅰ(単純 X 線撮影、X 線 CT)			
	該当到達目標	予習	教科書の p.115~118 を熟読する。	1.5 時間	
	1,2	復習	X 線による撮像原理について理解する。	1.5 時間	
10	講義内容	画像診断装置Ⅱ(MRI)			
	該当到達目標	予習	教科書の p.122~126 を熟読する。	1.5 時間	
	1,2	復習	MRI の原理について理解する。	1.5 時間	
11	講義内容	画像診断装置Ⅲ(PET・SPECT)			
	該当到達目標	予習	教科書の p.119~122 を熟読する。	1.5 時間	
	1,2	復習	PET・SPECT の原理について理解する。	1.5 時間	
12	講義内容	超音波診断装置			
	該当到達目標	予習	教科書の p.105~111 を熟読する。	1.5 時間	
	1,2	復習	超音波診断装置の原理について理解する。	1.5 時間	
13	講義内容	内視鏡			
	該当到達目標	予習	教科書の p.127~128 を熟読する。	1.5 時間	
	1,2	復習	内視鏡の原理と応用について理解する。	1.5 時間	
14	講義内容	患者監視システム			
	該当到達目標	予習	教科書の p.94~104 を熟読する。	1.5 時間	
	1,2	復習	患者監視システムの種類と用途について理解する。	1.5 時間	
15	講義内容	安全対策(電撃の安全対策)			
	該当到達目標	予習	教科書の p.162~170 を熟読する。	1.5 時間	
	1	復習	医療機器の電氣的安全対策について理解する。	1.5 時間	
合計時間(予習・復習)					45 時間
備考	物理エネルギーと生体計測装置の関連を理解できるように、必ず予習と復習に取り組むこと。 オンラインで実施する場合、成績は期末に課すレポートで評価(100%)し、未提出は不合格とする。 また、毎週のレポート提出をもって当該講義に出席したものとする。				

科目名		診療情報演習Ⅰ（専門基幹科目）			科目ナンバリング	HIB211
英文名		Medical Information ExerciseⅠ			講義形態	演習
担当教員		木村 憲洋				
科目に関連した実務経験		病院における経営企画室に 15 年従事し、病院経営、医療政策、新規事業の立ち上げなどを行なってきた。同時に診療情報管理士としても 5 年間 ICD コーディングや統計業務などを行ってきた。				
学年・開講期		2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位		
履修を必須とする資格		「診療情報管理士」指定科目				
学位授与方針との対応			豊かな人間性と幅広い教養	2	コミュニケーションスキル	
		4	健康・医療および情報に関する知識・技能	2	生涯学習力	
		2	問題解決力			
SDGs との関連		③ ⑪				
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		診療情報管理を行う上で必要な基礎的な知識の習得と実践的な能力を養う。 実際の認定試験と同様に問題集を解き、その後間違いについて調べていく。				
到達目標		1.診療情報管理に必要な基礎的知識が習得できる。■ 2.診療情報管理をスムーズに行うために必要な実践的能力を身に付ける。■				
使用教材		診療情報管理士テキスト診療情報管理Ⅰ、診療情報管理士テキスト診療情報管理Ⅲ、診療情報管理士教育問題集（基礎、専門）				
参考文献						
評価方法		授業中に出される課題を提出することにより、それを基に評価する。（100%）				
課題・評価に対するフィードバック方法		課題については、全体の状況について授業中に報告する。				
オフィスアワー（研究室）		月曜日 1 時限		メールアドレス（#→@）	連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	診療情報管理士に関する医学知識について■				
	該当到達目標	予習	診療情報管理士に関する医学知識について、臨床医学総論・各論で習ったことをまとめる。			1 時間
	1,2	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。			2 時間
2	講義内容	医学と医療■				
	該当到達目標	予習	医学と医療について、これまで習ったことをまとめる。			1 時間
	1,2	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。			2 時間
3	講義内容	医療概論■				
	該当到達目標	予習	医療概論について、これまで習ったことをまとめる。			1 時間
	1,2	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。			2 時間
4	講義内容	人体構造・機能論				
	該当到達目標	予習	人体構造・機能論について、これまで習ったことをまとめる。			1 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。			2 時間
5	講義内容	外傷学				
	該当到達目標	予習	外傷学について、これまで習ったことをまとめる。			1 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。			2 時間
6	講義内容	先天異常				
	該当到達目標	予習	先天異常について、これまで習ったことをまとめる。			1 時間

	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	2 時間
7	講義内容	中毒		
	該当到達目標	予習	中毒について、これまで習ったことをまとめる。	1 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	2 時間
8	講義内容	感染症および寄生虫症		
	該当到達目標	予習	感染症および寄生虫症について、これまで習ったことをまとめる。	1 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	2 時間
9	講義内容	新生物		
	該当到達目標	予習	新生物について、これまで習ったことをまとめる。	1 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	2 時間
10	講義内容	血液・代謝・内分泌		
	該当到達目標	予習	血液・代謝・内分泌について、これまで習ったことをまとめる。	1 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	2 時間
11	講義内容	精神		
	該当到達目標	予習	精神について、これまで習ったことをまとめる。	1 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	2 時間
12	講義内容	脳神経・神経		
	該当到達目標	予習	脳神経・神経について、これまで習ったことをまとめる。	1 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	2 時間
13	講義内容	循環器・呼吸器		
	該当到達目標	予習	循環器・呼吸器について、これまで習ったことをまとめる。	1 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	2 時間
14	講義内容	消化器・泌尿器		
	該当到達目標	予習	消化器・泌尿器について、これまで習ったことをまとめる。	1 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	2 時間
15	講義内容	皮膚・筋骨		
	該当到達目標	予習	皮膚・筋骨について、これまで習ったことをまとめる。	1 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	診療情報演習Ⅱ（専門基幹科目）				科目 ナンバリング	HIB212
英文名	Clinical Information Exercise II				講義形態	演習
担当教員	木村 憲洋					
科目に関連した 実務経験	病院における経営企画室に 15 年従事し、病院経営、医療政策、新規事業の立ち上げなどを行なってきた。					
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする 資格	「診療情報管理士」指定科目					
学位授与方針 との対応		豊かな人間性と幅広い教養	2	コミュニケーションスキル		
	4	健康・医療および情報に関する知識・技能	2	生涯学習力		
	2	問題解決力				
SDGs との関連	③⑪					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	診療情報管理士認定試験合格のため、医療制度や病院経営に関する理解を目標とする。 事前に与えられる現在の医療制度や病院経営に関する課題を調べ、まとめる。授業時間にグループによる発表を行い、参加者で講評する。					
到達目標	1. 医療制度と病院経営に関する理解の深化■ 2. 診療情報管理士試験へ向けて問題集などの正答率を上げる					
使用教材	病院のしくみ、医療費のしくみ、病院と医療のしくみ、診療情報管理士テキスト診療情報管理Ⅰ、診療情報管理士テキスト診療情報管理Ⅲ、診療情報管理士教育問題集（基礎、専門）					
参考文献						
評価方法	授業中に出される課題を提出することにより、それを基に評価する。（100%）					
課題・評価に対する フィードバック方法	現在の医療制度や病院経営に関する課題を与え、調べ、まとめる。そして授業で発表し、参加者で講評する。					
オフィスアワー （研究室）	月曜日 1 時限		メールアドレス （#→@）		連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	医療制度の課題 1■				
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示：例えば、医師不足について			3 時間
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる			0.5 時間
2	講義内容	医療制度の課題 2■				
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示：例えば、働き方改革			3 時間
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる			0.5 時間
3	講義内容	医療制度の課題 3■				
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示：例えば、公立病院の再編リスト			3 時間
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる			0.5 時間
4	講義内容	医療制度の課題 4■				
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示：例えば、高額医薬品問題			3 時間
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる			0.5 時間
5	講義内容	医療制度の課題 5■				
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示：例えば、デバイスラグ			3 時間
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる			0.5 時間
6	講義内容	医療制度の課題 6■				
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示：例えば、遠隔医療			3 時間

	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる	0.5 時間
7	講義内容	医療制度の課題 7■		
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示:例えば、国民医療費の高騰	3 時間
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる	0.5 時間
8	講義内容	医療制度の課題 8■		
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示:例えば、地域包括ケアシステム	3 時間
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる	0.5 時間
9	講義内容	病院経営に関する課題 1■		
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示:例えば、人件費率の高騰	3 時間
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる	0.5 時間
10	講義内容	病院経営に関する課題 2■		
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示:例えば、共同購入	3 時間
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる	0.5 時間
11	講義内容	病院経営に関する課題 3■		
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示:例えば、老朽化した建物の建て替え	3 時間
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる	0.5 時間
12	講義内容	病院経営に関する課題 4■		
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示:例えば、病院経営の複雑化	3 時間
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる	0.5 時間
13	講義内容	病院経営に関する課題 5■		
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示:例えば、診療報酬改定への対応	3 時間
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる	0.5 時間
14	講義内容	病院経営に関する課題 6■		
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示:例えば、優秀な事務系人材の採用と活用	3 時間
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる	0.5 時間
15	講義内容	病院経営に関する課題 7■		
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示:例えば、医師の採用	3 時間
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				52.5 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	情報数学基礎(専門基幹科目)				科目ナンバリング	HIB213
英文名	Basic Mathematics for Informatics				講義形態	講義
担当教員	東福寺 幾夫					
科目に関連した実務経験	オリンパス在職中に、血液分析装置等の制御用デジタル回路の研究開発やシステム開発に従事した。					
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応	1	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	7	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
	2	問題解決力				
SDGs との関連	④⑨					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	コンピュータやデジタル機器の原理を理解する上で必須となる基数変換、数の表現方法、論理演算、集合、関係などについて、その基礎知識を習得する。 配布するプリントを基に、板書を中心に解説する。さらに全員が演習問題を解き、指名された代表者が解答を板書することで、授業は進行する。また、理解度を確認する宿題や演習問題を課すことがある。学期末には、総合的な演習問題を配布し、授業内容の総復習を行う。					
到達目標	1. 情報学を学ぶ基礎である、数と量についてその特徴や表現方法を理解する。 2. 位取り記数法の意味を理解し、整数及び小数の基数変換ができる。 3. 論理値を対象とする論理演算の基礎を理解し、真理値表から論理式を作成ができる。■ 4. 論理演算法則を理解し、論理式の変換や簡略化ができる。■ 5. 論理演算と論理回路の対応を理解し、簡単な論理式と論理回路図の相互変換ができる。■ 6. 集合の基礎を理解し、集合の演算ができる。					
使用教材						
参考文献	自作のプリントを配布する。					
評価方法	授業への参加と貢献 20%、単元毎の小テスト 20%、期末試験 60%で評価し、60 点以上を合格とする。					
課題・評価に対するフィードバック方法	単元ごとに小テスト・演習を行い、理解度を確認し、必要に応じて補充の説明を実施する。					
オフィスアワー (研究室)	月曜日の 4 時限と水曜日 3 時限 1 号館 6 階 605		メールアドレス (#→@)		tofukuji#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンス				
	該当到達目標	予習	ガイダンス			1 時間
	1,2	復習	シラバスを読む			1.5 時間
2	講義内容	数の表現方法(整数)、r 進法、基数変換				
	該当到達目標	予習	プリントを読む			1 時間
	1,2	復習	プリントの演習問題を解く			1.5 時間
3	講義内容	2 進数の加減演算、乗算、負数の表現方法				
	該当到達目標	予習	プリントを読む			1 時間
	1,2	復習	プリントの演習問題を解く			1.5 時間
4	講義内容	数と量、小数(実数)の表現法、誤差				
	該当到達目標	予習	プリントを読む			1 時間
	1,2	復習	プリントの演習問題を解く			1.5 時間

5	講義内容	小数の表現・固定小数点、不動小数点			
	該当到達目標 1,2	予習	プリントを読む	1 時間	
		復習	プリントの演習問題を解く	1.5 時間	
6	講義内容	2 進法 10 進数			
	該当到達目標 1,2	予習	プリントを読む	1 時間	
		復習	プリントの演習問題を解く	1.5 時間	
7	講義内容	命題と論理演算			
	該当到達目標 3,4	予習	プリントを読む	1 時間	
		復習	プリントの演習問題を解く	1.5 時間	
8	講義内容	ブール代数・論理演算■			
	該当到達目標 3,4	予習	プリントを読む	1 時間	
		復習	プリントの演習問題を解く	1.5 時間	
9	講義内容	論理式と論理演算、論理式の簡略化■			
	該当到達目標 3,4	予習	プリントを読む	1 時間	
		復習	プリントの演習問題を解く	1.5 時間	
10	講義内容	論理式と論理回路■			
	該当到達目標 5	予習	プリントを読む	1 時間	
		復習	プリントの演習問題を解く	1.5 時間	
11	講義内容	組み合わせ回路 半加算器■			
	該当到達目標 5	予習	プリントを読む	1 時間	
		復習	プリントの演習問題を解く	1.5 時間	
12	講義内容	組み合わせ回路 全加算器■			
	該当到達目標 5	予習	プリントを読む	1 時間	
		復習	プリントの演習問題を解く	1.5 時間	
13	講義内容	組み合わせ回路 エンコーダ■			
	該当到達目標 5	予習	プリントを読む	1 時間	
		復習	プリントの演習問題を解く	1.5 時間	
14	講義内容	組み合わせ回路 デコーダ■			
	該当到達目標 6	予習	プリントの第 4 章を読む	1 時間	
		復習	プリントの練習問題を解く	1.5 時間	
15	講義内容	まとめ 総復習			
	該当到達目標 1,2,3,4,5	予習	演習問題を解く	1 時間	
		復習	演習問題を解き直す	1.5 時間	
合計時間(予習・復習)					37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。				

科目名	情報システム各論(専門基幹科目)				科目ナンバリング	HIB214
英文名	Special of Information System				講義形態	講義
担当教員	高橋 真悟					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	必修 2 単位			
履修を必須とする資格	IT パスポート試験 対応科目					
学位授与方針との対応	2	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	4	健康・医療および情報に関する知識・技能		4	生涯学習力	
		問題解決力				
SDGs との関連	④⑨					
実施概要	① Society5.0 において、IT 技術はますます必要不可欠なものとなっている。IT 技術や知識を習得し、今後の IT 社会を担うことができるよう学んでいく。					
①講義の目標	② 本講義はテキストおよび資料を用いて進めていく。また、毎回、小テストを実施する。					
②講義の実施方法						
到達目標	1.企業と法務に関する専門的な知識を取得することができる。 2.経営戦略、システム戦略に関する専門的知識を取得することができる。 3.開発技術やマネジメントに関する専門的な知識を取得することができる。 4.コンピュータシステムに関する専門的な知識を取得することができる。					
使用教材	IT パスポート試験 対策テキスト&過去問題集(FOM 出版)、最新版を使用する。					
参考文献						
評価方法	授業毎の小テスト 90%、授業への取り組み 10%。					
課題・評価に対するフィードバック方法	テストなど行い、正答率が低い箇所などをフィードバックする。					
オフィスアワー(研究室)	月曜 2 限		メールアドレス(#→@)	takahashi-shin#takasaki-u.ac.jp		
1	講義内容	ガイダンス				
	該当到達目標	予習	教科書の目次とシラバスを熟読し、勉強の進め方について理解する			0.5 時間
	1	復習	講義の概要、目的、評価方法を理解する。			2.5 時間
2	講義内容	企業活動に関する専門的な内容				
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する			0.5 時間
	1	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する			2.5 時間
3	講義内容	法務に関する専門的な内容				
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する			0.5 時間
	1	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する			2.5 時間
4	講義内容	ネットワークの基礎とセキュリティの最新状況				
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する			0.5 時間
	2	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する			2.5 時間
5	講義内容	システム戦略に関する専門的な内容				
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する			0.5 時間
	2	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する			2.5 時間
6	講義内容	開発技術に関する専門的な内容				
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する			0.5 時間
	2	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する			2.5 時間

7	講義内容	プロジェクトマネジメントに関する専門的な内容				
	該当到達目標 3	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	0.5	時間	
		復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	2.5	時間	
8	講義内容	サービスマネジメントに関する専門的な内容				
	該当到達目標 3	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	0.5	時間	
		復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	2.5	時間	
9	講義内容	システム構成要素に関する専門的な内容				
	該当到達目標 4	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	0.5	時間	
		復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	2.5	時間	
10	講義内容	ハードウェアに関する専門的な内容				
	該当到達目標 4	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	0.5	時間	
		復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	2.5	時間	
11	講義内容	ソフトウェアに関する専門的な内容				
	該当到達目標 4	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	0.5	時間	
		復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	2.5	時間	
12	講義内容	ネットワークに関する専門的な内容				
	該当到達目標 4	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	0.5	時間	
		復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	2.5	時間	
13	講義内容	ユーザ・インタフェースに関する専門的な内容				
	該当到達目標 4	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	0.5	時間	
		復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	2.5	時間	
14	講義内容	セキュリティに関する専門的な内容				
	該当到達目標 4	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	0.5	時間	
		復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	2.5	時間	
15	講義内容	まとめ				
	該当到達目標 1, 2, 3, 4	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	0.5	時間	
		復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	2.5	時間	
				合計時間(予習・復習)	45	時間
備考	講義では、大学で購入する PC を使用します。					

科目名	ネットワーク I (専門基幹科目)			科目ナンバリング	HIB215
英文名	Network I (Introduction to Network)			講義形態	講義
担当教員	長澤 亨				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位		
履修を必須とする資格	IT パスポート試験 対応科目 基本情報技術者試験				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
	6	健康・医療および情報に関する知識・技能	1	生涯学習力	
	3	問題解決力			
SDGs との関連	④				
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	移動体通信とインターネットにより、ユビキタスの情報通信の環境が整いつつある。このような情報基盤を作る情報通信ネットワークに関する基本的な知識と技術を習得することによって、現状と今後の方向について効果的な活用をめざす。 情報通信ネットワークの歴史的な変遷を踏まえて、通信工学の基本的な考え方、ネットワークの構築・管理側に必要となるネットワークの基礎知識を学ぶ。本講義のみでネットワークやインターネットに公開するサーバの構築は難しいが、構築・運営をする上で知っておくべきネットワーク全体の知識を習得する。 授業の進め方は、基本指定教科書の内容をまとめたスライドで進める。内容補足のために板書によってより詳しく解説し、知識の定着を図る。基本定期試験で成績を付けるが、章毎に練習問題で知識を確認する。				
到達目標	1.ネットワーク通信の基礎技術を説明できる。 2.インターネットの仕組みを説明できる。 3.OSI の参照モデルと TCP/IP の階層モデルを説明できる。 4.無線 LAN の仕組みを説明できる。 5.ネットワークセキュリティを説明できる。				
使用教材	教科書「図解ネットワーク仕事で使える基本の知識」増田若菜著 (技術評論社) ISBN978-4-7741-3880-0C3055 講義のスライドを随時プリントして配布する。				
参考文献					
評価方法	定期試験 70%、レポート 20%、出席 10%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。				
課題・評価に対するフィードバック方法	レポートにはコメントを付けて返却する。 定期試験の後に、出題の意図を掲示によって示す。				
オフィスアワー (研究室)	月曜日の 1 時限と 3 時限 質問はメールでも受け付ける。 研究室:1 号館 6 階 608		メールアドレス (#→@)	nagasawa#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンス			
	該当到達目標 1	予習	教科書の前書き、シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。		1 時間
		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する。		1.5 時間
2	講義内容	ネットワークの基礎知識			
	該当到達目標 1,2	予習	教科書の第 1 章 1-1～1-5 に目を通す		1 時間
		復習	ネットワークのプロトコルやレイヤ構造を理解する。		1.5 時間
3	講義内容	LAN とインターネット			
	該当到達目標	予習	教科書の第 1 章 1-6～1-10 に目を通す。		1 時間

	1,3	復習	インターネットの接続、回線事業者、ISP の役割 ADSL など理解する。	1.5 時間
4	講義内容	OSI 参照モデル		
	該当到達目標	予習	教科書の第2章 2-1～2-5 に目を通す。	1 時間
	1,3	復習	OSI 参照モデルとネットワーク標準プロトコル TCP/IP を理解する。	1.5 時間
5	講義内容	TCP/IP モデル		
	該当到達目標	予習	教科書の第2章 2-6～2-10 に目を通す。	1 時間
	1,3	復習	OSI 参照モデルとネットワーク標準プロトコル TCP/IP を理解する。	1.5 時間
6	講義内容	TCP/IP でネットワーク接続機器を識別する		
	該当到達目標	予習	教科書の第3章 3-1～3-5 に目を通す。	1 時間
	1,3	復習	TCP/IP の仕組みとポート番号について理解する。	1.5 時間
7	講義内容	TCP/IP と IP アドレス		
	該当到達目標	予習	教科書の第3章 3-6～3-9 に目を通す。	1 時間
	2,3	復習	IP アドレスのクラス、サブネットマスク、VLSM と CIDR について理解する。	1.5 時間
8	講義内容	IP アドレスと MAC アドレス		
	該当到達目標	予習	教科書の第3章 3-10～3-13 に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	MAC アドレス、ブロードキャストや ARP 要求について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	LAN で使われる技術		
	該当到達目標	予習	教科書の第4章 4-1～4-5 目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	ネットワークポロジ、LAN と WAN、ルーティングについて理解する。	1.5 時間
10	講義内容	LAN で使われるサービス		
	該当到達目標	予習	教科書の第4章 4-6～4-10 目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	ルーティングプロトコル、DHCP、NAT と NAPT について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	VPN の仕組み		
	該当到達目標	予習	教科書の第4章 4-11 に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	VPN を実現する (SSL-VPN、IPsec-VPN、IP-VPN) について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	無線 LAN の仕組み		
	該当到達目標	予習	教科書の第4章 4-12～4-13 に目を通す。	1 時間
	1,2,4	復習	無線 LAN の仕組みと CSMA/CD、CSMA・CA について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	ネットワークセキュリティ		
	該当到達目標	予習	教科書の第6章 6-6～6-12 に目を通す。	1 時間
	1,2,5	復習	ネットワークのセキュリティとファイアウォールについて理解する。	1.5 時間
14	講義内容	コンピュータウイルス		
	該当到達目標	予習	教科書の第6章 6-6～6-12 に目を通す。	1 時間
	1,2,5	復習	ネットワークのセキュリティとファイアウォールについて理解する。	1.5 時間
15	講義内容	ネットワークの構築と管理		
	該当到達目標	予習	教科書の第7章 7-1～7-5 に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	ネットワークの構成、ネットワーク機器、冗長化について理解する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 VOD: 出席と成績は課題提出で評価する。			

科目名		データベース概論(専門基幹科目)		科目ナンバリング	HIB216
英文名		Introduction to Database Systems		講義形態	講義
担当教員		石川 雅弘			
科目に関連した実務経験		研究員として WebDB システムを開発(経験)			
学年・開講期		2 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位	
履修を必須とする資格		基本情報技術者試験対応科目			
学位授与方針との対応			豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル
		7	健康・医療および情報に関する知識・技能	1	生涯学習力
		2	問題解決力		
SDGs との関連		8 9 12			
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		データの電子化とネットワークの普及が進み、さまざまな分野でますます大量のデータが蓄積されるようになった。その管理・活用の基盤としてデータベース管理システムの重要性は一層高まっている。 本科目では、表計算ソフトとデータベース管理システムの違いを理解するところから始め、業務向けデータベース管理システムの主流である関係データベース管理システム(RDBMS)について学ぶ。前半は主に関係モデルと正規化の理論、トランザクションについて学び、後半は RDBMS の標準的問い合わせ言語である SQL について学ぶ。 講義はスライドを用いて教材テキストに沿った解説をベースに進める。			
到達目標		1. 表計算ソフトとデータベース管理システムの違いを理解し、データベース技術の重要性を説明できる。 2. トランザクション管理、同時実行制御、障害復旧、セキュリティ管理など、データベース管理システムの役割について説明できる。 3. リレーションの正規化の目的と手順を説明できる。■ 4. SQL で基本的な問い合わせ文を作成できる。■ 5. データベース技術が社会の中でどのように利用されているかを説明することができる。			
使用教材		[改訂新版]これだけはおさえない データベース基礎の基礎」、谷尻かおり著、技術評論社 ISBN-13: 978-4774139937			
参考文献					
評価方法		期末試験(100%)で評価する。			
課題・評価に対するフィードバック方法		解答例の提示と解説を行う。			
オフィスアワー(研究室)		月曜 5 限	メールアドレス(#→@)	ishikawa#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	暮らしの中のデータベース			
	該当到達目標	5	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
			復習	講義の内容をまとめる。	1.5 時間
2	講義内容	ファイル、表計算ソフト、関係データベース			
	該当到達目標	1	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
			復習	ファイルや表計算ソフトによるデータ管理とデータベース管理システムによるデータ管理の違い、トランザクションの概念などを理解する。	1.5 時間
3	講義内容	関係データベースの基礎概念			
	該当到達目標	2	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
			復習	テーブル、レコード、フィールド、主キーの意味を理解する。	1.5 時間
4	講義内容	リレーションシップと参照性制約			
	該当到達目標	2	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
			復習	テーブル間のリレーションシップと参照制約の意味を理解する。	1.5 時間
5	講義内容	索引、関係演算、ビュー			

	該当到達目標 2	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
		復習	索引やビューを利用する目的と関係演算について理解する。	1.5 時間
6	講義内容	データベース設計の流れ		
	該当到達目標 2	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
		復習	データベース設計の流れの各ステップを理解する。	1.5 時間
7	講義内容	第一正規形■		
	該当到達目標 3	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
		復習	データベース設計における第一正規形の意義を理解し、テーブルを第一正規形に分解する手順を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	第二正規形■		
	該当到達目標 3	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
		復習	部分関数従属性、完全関数従属性、第二正規形を理解し、テーブルを第二正規形に分解する手順を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	第三正規形■		
	該当到達目標 3	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
		復習	推移的関数従属性、第三正規形を理解し、テーブルを第三正規形に分解する手順を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	主キー、外部キー、参照性制約■		
	該当到達目標 3	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
		復習	主キー、外部キー、参照性制約を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	SQL(1):DDL(データ定義言語)■		
	該当到達目標 4	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
		復習	SQL の書き方の基本を理解し、簡単なスキーマ定義ができるようにする。	1.5 時間
12	講義内容	SQL(2):DML(データ操作言語)①■		
	該当到達目標 4	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
		復習	SELECT 文と WHERE 句を用いた基本的な問い合わせ方法とテーブルの結合方法を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	SQL(3):DML(データ操作言語)②■		
	該当到達目標 4	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
		復習	副問合せ、集約関数、レコードの挿入・削除・更新方法を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	SQL(4):DCL(データ制御言語)■		
	該当到達目標 4	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
		復習	ユーザー権限やトランザクション管理の意味と SQL での実現方法を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当到達目標 1,2,3,4,5	予習	テキスト全体に目を通し、これまでの疑問点などをピックアップする。	1.5 時間
		復習	これまでの疑問点を解消し、理解を深める。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	基本情報技術者試験に対応。受験予定者は履修すること。 【オンラインで授業を実施する場合】 オンデマンド形式のリモート講義の形で進めるが、スライド資料とそれに沿った口述内容をテキスト化したものを提供する。予復習にも利用し内容理解につとめて欲しい。また、リモート講義では毎回小テストを行う。チャット・ビデオ通話や対面での質問にも応じるので、積極的に利用して欲しい。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	プログラミングⅡ (C プログラミング実用) (専門基幹科目)			科目ナンバリング	HIB217
英文名	ProgrammingⅡ (C Programming Practical Use)			講義形態	演習
担当教員	坂本 孝				
科目に関連した実務経験	SEとして情報通信企業に勤務(経験)				
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	必修 2 単位		
履修を必須とする資格	基本情報技術者試験対応科目				
学位授与方針との対応	2	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
	3	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
	5	問題解決力			
SDGs との関連	9				
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	「プログラミングⅠ」で学習した C 言語の基本的なプログラミング技法を基に、主にデータ処理技法を習得することを目的とする。毎回 5～10 題程度の小課題に取り組み、ステップアップ学習方式で多くの課題をこなすことにより、プログラミングにおける様々な手法を身につける。 講義テーマごとに教員が作成したプリントを使い、各回、前半は例題の説明を行い、後半は例題を参考にしながら各自課題に取り組む形式で進める。 課題は毎回 5～10 題程度あるので、授業内にできなかった分も含めて、次回授業までに仕上げて提出する。				
到達目標	1. 応用的な繰り返し処理について理解できる。■ 2. 実数型データを使った適切なデータ処理ができる。■ 3. 文字型データを使った適切なデータ処理ができる。■ 4. 配列を使った集計・探索等、様々なデータ処理ができる。■ 5. 文字型データ配列と文字列の関連について理解できる。■				
使用教材	自作のプリント				
参考文献					
評価方法	課題提出状況(80%)、授業における学習姿勢(20%)により評価する。				
課題・評価に対するフィードバック方法	課題の解答例を提示し、解説する。				
オフィスアワー (研究室)	火曜日 4 時限と 5 時限		メールアドレス (#→@)	sakamoto#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	二重ループ処理■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。		1 時間
	1	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。		2 時間
2	講義内容	long 型変数と float 型変数■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。		1 時間
	2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。		2 時間
3	講義内容	double 型変数と数値演算関数■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。		1 時間
	2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。		2 時間
4	講義内容	配列の基本■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。		1 時間
	1,2,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。		2 時間
5	講義内容	配列の基本 初期化■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。		1 時間
	1,2,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。		2 時間
6	講義内容	配列を利用した計算■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。		1 時間

	1,2,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
7	講義内容	配列を利用した計算(テーブル集計)■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
8	講義内容	二次元配列■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
9	講義内容	配列の応用 テーブルサーチ■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
10	講義内容	金種計算■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
11	講義内容	文字型データ① 文字コードの扱い■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
12	講義内容	文字型データ② 文字範囲の判定■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
13	講義内容	文字型データ③ 文字定数表記と文字の判定・変換■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
14	講義内容	文字型データの配列■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
15	講義内容	文字型データの配列 文字列■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	プログラミングⅢ(Cプログラミング応用)(専門基幹科目)			科目ナンバリング	HIB218
英文名	Programming Ⅲ (C Programming Application)			講義形態	演習
担当教員	坂本 孝				
科目に関連した実務経験	SEとして情報通信企業に勤務(経験)				
学年・開講期	2年 前期	選必・単位数	選択 2単位		
履修を必須とする資格	基本情報技術者試験対応科目				
学位授与方針との対応	2	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
	3	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
	5	問題解決力			
SDGsとの関連	9				
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	C言語プログラミングの最も特徴的な機能であるポインタを中心に、応用的なプログラミング技法を習得することを目的とする。毎回5～10題程度の小課題に取り組み、ステップアップ学習方式で多くの課題をこなすことにより、プログラミングにおける様々な手法を身につける。 講義テーマごとに教員が作成したプリントを使い、各回、前半は例題の説明を行い、後半は例題を参考にしながら各自課題に取り組む形式で進める。 課題は毎回5～10題程度あるので、授業内にできなかった分も含めて、次回授業までに仕上げて提出する。				
到達目標	1. 文字列について適切に処理ができる。■ 2. 自作の関数が作れる。■ 3. 構造体を使ったデータ処理ができる。■ 4. ポインタのメリット・デメリットを理解し、ポインタ操作を駆使したデータ処理ができる。■ 5. ファイルからデータを取込んで処理し、ファイルに書き出すことができる。■ 6. 2進数のビット操作ができる。■ 7. 資料を参照しながら、再帰プログラムを自分自身で作成することができる。■				
使用教材	自作のプリント				
参考文献					
評価方法	課題提出状況(80%)、授業における学習姿勢(20%)により評価する。				
課題・評価に対するフィードバック方法	課題の解答例を提示し、解説する。				
オフィスアワー(研究室)	火曜日 4時限と5時限		メールアドレス(#→@)	sakamoto#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	文字列の入力と編集■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。		1 時間
	1	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。		2 時間
2	講義内容	関数(引数がない場合)■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。		1 時間
	2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。		2 時間
3	講義内容	関数(引数がある場合)■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。		1 時間
	2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。		2 時間
4	講義内容	構造体■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。		1 時間
	3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。		2 時間
5	講義内容	構造体配列■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。		1 時間
	3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。		2 時間

6	講義内容	構造体と関数■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
7	講義内容	ポインタ■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
8	講義内容	ポインタと関数① 変数、配列を関数に渡す■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	2,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
9	講義内容	ポインタと関数② 文字列を関数に渡す■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	2,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
10	講義内容	構造体ポインタ■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	2,3,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
11	講義内容	ファイル処理① 書式指定入出力■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
12	講義内容	ファイル処理② 行単位・文字単位入出力■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
13	講義内容	ビット演算① 基本演算■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	6	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
14	講義内容	ビット演算② 指定ビットの ON/OFF■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	6	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
15	講義内容	再帰呼出し■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	7	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	プログラミングⅣ(Windows プログラミング)(専門基幹科目)			科目ナンバリング	HIB219
英文名	Programming Ⅳ (Windows Programming)			講義形態	演習
担当教員	坂本 孝				
科目に関連した実務経験	SE として情報通信企業に勤務(経験)				
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
履修を必須とする資格					
学位授与方針との対応	2	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
	3	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
	5	問題解決力			
SDGs との関連	9				
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	プログラミング言語として Visual C#を用い、ボタン、メニュー、テキストボックス等の部品やグラフィックスを使った Windows アプリケーションの作成方法を習得する。 講義テーマごとに教員が作成したプリントを使い、各回、前半は例題の説明を行い、後半は例題を参考にしながら各自課題に取り組む形式で進める。課題は毎回 2～3 題程度。				
到達目標	1. プログラミングに必要な PC 環境と操作方法について理解できる。 2. 各種コントロールを利用したプログラムの作成ができる。■ 3. タイマーを利用した定期更新プログラムの作成ができる。■ 4. 画像を利用したアニメーションプログラムの作成ができる。■ 5. 乱数を利用した簡単なゲームプログラムの作成ができる。■				
使用教材	自作のプリント				
参考文献					
評価方法	課題提出状況(80%)、授業における学習姿勢(20%)により評価する。				
課題・評価に対するフィードバック方法	課題の解答例を提示し、解説する。				
オフィスアワー (研究室)	火曜日 4 時限と 5 時限		メールアドレス (#→@)	sakamoto#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	環境設定とプロジェクト作成			
	該当到達目標	予習	不要	0 時間	
	1	復習	講義での説明内容をまとめ、基本操作の復讐をしておく。		3 時間
2	講義内容	テキストボックス、ボタン、ラベル■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。		1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。		2 時間
3	講義内容	ラジオボタン、チェックボックス、ピクチャーボックス■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。		1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。		2 時間
4	講義内容	グループボックス、リストボックス■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。		1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。		2 時間
5	講義内容	コンボボックス、ローカル変数とグローバル変数■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。		1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。		2 時間
6	講義内容	メニューバー■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。		1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。		2 時間
7	講義内容	日時取得、文字列操作■			

	該当到達目標 1,2	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。	2 時間
8	講義内容	タイマー■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。	2 時間
9	講義内容	コントロール有効化と無効化■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。	2 時間
10	講義内容	イメージリスト■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。	2 時間
11	講義内容	乱数■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。	2 時間
12	講義内容	画像の移動アニメと座標制御■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。	2 時間
13	講義内容	簡易ゲームプログラム制作① じゃんけんゲーム■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。	2 時間
14	講義内容	簡易ゲームプログラム制作② 画像当てゲーム■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。	2 時間
15	講義内容	簡易ゲームプログラム制作③ スロットゲーム■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す			

科目名	情報演習 I (専門基幹科目)				科目ナンバリング	HIB220
英文名	Information Exercise I				講義形態	演習
担当教員	石川 雅弘					
科目に関連した実務経験	会社員としてシステム開発(経験)					
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格	基本情報技術者試験対応科目					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	7	健康・医療および情報に関する知識・技能		1	生涯学習力	
	2	問題解決力				
SDGs との関連	8 9 12					
実施概要	情報処理技術やシステム開発、業務知識に関する基本的な知識を身に着け、基本情報技術者試験午前免除試験合格と秋の本試験の合格のための基礎を築くことを目指す。					
①講義の目標	授業は基本情報技術者試験午前の過去問題や e-learning への取り組みを中心に進める。					
②講義の実施方法						
到達目標	1. 基本情報技術者試験におけるテクノロジ系の基本的な知識を身に着けることができる。■ 2. 基本情報技術者試験におけるストラテジ系の基本的な知識を身に着けることができる。 3. 基本情報技術者試験におけるマネジメント系の基本的な知識を身に着けることができる。 4. 基本情報技術者試験午後問題に対応するための基礎を身に着けることができる。					
使用教材	「令和 04 年 基本情報技術者 合格教本」、角谷一成、技術評論社 ISBN-13: 978-4297124052					
参考文献	• 「令和 04-05 年 基本情報技術者 試験によくでる問題集【午後】」、角谷一成、技術評論社、ISBN-13: 978-4297123772 • e-learning 用教材と過去問題					
評価方法	期末試験(100%)か午前免除試験(100%)で評価する。					
課題・評価に対するフィードバック方法	解答例の提示と解説を行う。					
オフィスアワー(研究室)	月曜 5 限		メールアドレス(#→@)		ishikawa#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	基礎理論				
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。			1.5 時間
	1,2,3	復習	e-learning、過去問題に取り組む。			1.5 時間
2	講義内容	アルゴリズムとプログラミング■				
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。			1.5 時間
	1,2,3	復習	e-learning、過去問題に取り組む。			1.5 時間
3	講義内容	コンピュータシステム■				
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。			1.5 時間
	1,2,3	復習	e-learning、過去問題に取り組む。			1.5 時間
4	講義内容	データベース■				
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。			1.5 時間
	1,2,3	復習	e-learning、過去問題に取り組む。			1.5 時間
5	講義内容	ネットワーク				
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。			1.5 時間
	1,2,3	復習	e-learning、過去問題に取り組む。			1.5 時間
6	講義内容	セキュリティ				
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。			1.5 時間

	1,2,3	復習	e-learning、過去問題に取り組む。	1.5 時間
7	講義内容	システム開発■		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	e-learning、過去問題に取り組む。	1.5 時間
8	講義内容	プロジェクトマネジメント		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	e-learning、過去問題に取り組む。	1.5 時間
9	講義内容	問題演習①		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	4	復習	e-learning、過去問題に取り組む。	1.5 時間
10	講義内容	問題演習②		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	4	復習	e-learning、過去問題に取り組む。	1.5 時間
11	講義内容	問題演習③		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	4	復習	e-learning、過去問題に取り組む。	1.5 時間
12	講義内容	問題演習④		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	4	復習	e-learning、過去問題に取り組む。	1.5 時間
13	講義内容	問題演習⑤		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	4	復習	e-learning、過去問題に取り組む。	1.5 時間
14	講義内容	問題演習⑥		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	4	復習	e-learning、過去問題に取り組む。	1.5 時間
15	講義内容	実践問題		
	該当到達目標	予習	テキスト全体を見直しておく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	実践問題に取り組む。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	基本情報技術者試験合格が目標なので、他の試験対応科目も履修することが望ましい。 e-learning・過去問題への取り組みや疑問の解消には個々の積極的な姿勢が重要となるので、合格への意欲を持った参加が求められる。 【オンラインで授業を実施する場合】 オンデマンド形式のリモート講義の形で進める。 チャット・ビデオ通話や対面での質問にも応じるので、積極的に利用して欲しい。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	情報演習Ⅱ（専門基幹科目）				科目ナンバリング	HIB221
英文名	Information ExerciseⅡ				講義形態	演習
担当教員	石川 雅弘					
科目に関連した実務経験	会社員としてシステム開発（経験）					
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択	2 単位		
履修を必須とする資格	基本情報技術者試験対応科目					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	7	健康・医療および情報に関する知識・技能		1	生涯学習力	
	2	問題解決力				
SDGs との関連	8 9 12					
実施概要	情報処理技術やシステム開発、業務知識に関する基本的な知識を身に着け、基本情報技術者試験合格を目指す。					
①講義の目標	授業は基本情報技術者試験午後の過去問題への取り組みを中心に進め、適宜補足的講義・演習を行う。					
②講義の実施方法						
到達目標	5. 情報セキュリティの知識を身に着け、基本情報技術者試験午後問題が解けるようになる。 6. データベース、ネットワークに関する知識を身に着け、基本情報技術者試験午後問題が解けるようになる。 7. ハードウェア、ソフトウェアに関する知識を身に着け、基本情報技術者試験午後問題が解けるようになる。■ 8. データ構造とアルゴリズムに関する知識を身につけ、基本情報技術者試験午後問題が解けるようになる。■ 9. C 言語に関する知識を身につけ、基本情報技術者試験午後問題が解けるようになる。					
使用教材	「令和 04-05 年 基本情報技術者 試験によくでる問題集【午後】」、角谷一成、技術評論社、ISBN-13: 978-4297123772					
参考文献	適宜資料を配布する					
評価方法	期末試験（100％）で評価する。					
課題・評価に対するフィードバック方法	解答例の提示と解説を行う。					
オフィスアワー（研究室）	月曜 4 限			メールアドレス（#→@）	ishikawa#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	過去問題演習（1）				
	該当到達目標	予習	各個別科目のテキストを見直しておく。			1.5 時間
	1,2,3	復習	過去問題に取り組む。			1.5 時間
2	講義内容	過去問題演習（2）				
	該当到達目標	予習	各個別科目のテキストを見直しておく。			1.5 時間
	1,2,3	復習	過去問題に取り組む。			1.5 時間
3	講義内容	過去問題演習（3）				
	該当到達目標	予習	各個別科目のテキストを見直しておく。			1.5 時間
	1,2,3	復習	過去問題に取り組む。			1.5 時間
4	講義内容	データ構造とアルゴリズム（1）■				
	該当到達目標	予習	各個別科目のテキストを見直しておく。			1.5 時間
	4	復習	過去問題に取り組む。			1.5 時間
5	講義内容	データ構造とアルゴリズム（2）■				
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。			1.5 時間

	4	復習	過去問題に取り組む。	1.5 時間
6	講義内容	データ構造とアルゴリズム(3)■		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	4	復習	過去問題に取り組む。	1.5 時間
7	講義内容	データ構造とアルゴリズム(4)■		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	4	復習	過去問題に取り組む。	1.5 時間
8	講義内容	データ構造とアルゴリズム(5)■		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	4	復習	過去問題に取り組む。	1.5 時間
9	講義内容	C言語によるプログラミング(1)		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	5	復習	課題プログラムを完成・実行する。	1.5 時間
10	講義内容	C言語によるプログラミング(2)		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	5	復習	課題プログラムを完成・実行する。	1.5 時間
11	講義内容	C言語によるプログラミング(3)		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	5	復習	課題プログラムを完成・実行する。	1.5 時間
12	講義内容	過去問題演習(4)		
	該当到達目標	予習	指定した過去問題に取り組む。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5 時間
13	講義内容	過去問題演習(5)		
	該当到達目標	予習	指定した過去問題に取り組む。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5 時間
14	講義内容	総合演習(1)		
	該当到達目標	予習	指定した過去問題に取り組む。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5 時間
15	講義内容	総合演習(2)		
	該当到達目標	予習	指定した過去問題に取り組む。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	基本情報技術者試験合格が目標なので、他の関連する科目も履修することが望ましい。 午後問題への取り組みや疑問の解消には個々の積極的な姿勢が重要となるので、合格への意欲を持った参加が求められる。 【オンラインで授業を実施する場合】 オンデマンド形式のリモート講義の形で進める。 チャット・ビデオ通話や対面での質問にも応じるので、積極的に利用して欲しい。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	Web デザイン II (専門基幹科目)			科目ナンバリング	HIB222
英文名	Web Design II (HTML5 & JavaScript Programming)			講義形態	演習
担当教員	長澤 亨				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
履修を必須とする資格	Web クリエーター能力認定試験				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能	1	生涯学習力	
	4	問題解決力			
SDGs との関連	④				
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	レスポンス Web デザインは、これからのウェブ制作を支える重要な制作手法の一つである。本講義の目標は、レスポンス Web デザインの理念、Web デザイン II の HTML5 と JavaScript をベースにして、基本的な制作手法、必要とされるワークフローの考え方から制作の実践を通じて、レスポンス Web デザイン技術を修得することにある。授業の進め方は、教科書と資料を基本に進め、Web プログラミングの技術であるレスポンスデザインの技術を習得させる。まず、Web を構成する基本的な技術である JavaScript の知識を修得させること。つぎにレスポンスデザインで重要な CSS3 の記述方法を習得させる。また、各単元において演習課題をクリアすることで知識の定着度を確認する。最終的に各自レスポンス Web ページの Web サイトを構築する。知識が不足で課題が解けない場合は、予習復習が不足しているため、自習で補うことを促す。				
到達目標	1. レスポンス Web デザインの必要性や考え方を説明できる。 2. レスポンス Web デザインの基礎知識を理解している。 3. レスポンス Web デザインに必要なワークフローを説明できる。 4. ブラウザ・端末対応の仕様やブレイクポイントとレファレンスポイントの仕様を決めることができる。 5. レスポンスなコンテンツを作成することができる。				
使用教材	教科書:「レスポンス Web デザイン 制作の実践的ワークフローとテクニック」渡辺竜、ソシム ISBN978-4-88337-857-9 C2055				
参考文献					
評価方法	定期試験 50%、課題提出 40%、授業の参加度 10%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。				
課題・評価に対するフィードバック方法	課題に対する正解を示し、提出内容にコメントを付けて返却する。 定期試験の後、正解を示し、評価を返却する。				
オフィスアワー (研究室)	月曜日の 1 時限と 3 時限 質問はメールでも受け付ける。 研究室:1 号館 6 階 608		メールアドレス (#→@)	nagasawa#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンス、第 1 章いまレスポンス Web デザインなのか？			
	該当到達目標	予習	第 1 章を読んでおくこと		1 時間
	1	復習	第 1 章の復習		1.5 時間
2	講義内容	第 2 章レスポンス Web デザインの基礎知識①			
	該当到達目標	予習	2.1 から 2.3 を読んでおくこと		1 時間
	2	復習	2.1 から 2.3 の復習		1.5 時間
3	講義内容	第 2 章レスポンス Web デザインの基礎知識②			
	該当到達目標	予習	2.4 から 2.6 を読んでおくこと		1 時間
	2	復習	2.4 から 2.6 の復習		1.5 時間

4	講義内容	第3章レスポンス制作に必要なこと①		
	該当到達目標	予習	3.1 から 3.4 を読んでおくこと	1 時間
	2	復習	3.1 から 3.4 の復習	1.5 時間
5	講義内容	第3章レスポンス制作に必要なこと②		
	該当到達目標	予習	3.5 から 3.9 を読んでおくこと	1 時間
	2	復習	3.5 から 3.9 の復習	1.5 時間
6	講義内容	第4章レスポンスワークフロー①		
	該当到達目標	予習	4.1 から 4.3 を読んでおくこと	1 時間
	3	復習	4.1 から 4.3 の復習	1.5 時間
7	講義内容	第4章レスポンスワークフロー②		
	該当到達目標	予習	4.4 から 4.6 を読んでおくこと	1 時間
	3	復習	4.4 から 4.6 の復習	1.5 時間
8	講義内容	第4章レスポンスワークフロー③		
	該当到達目標	予習	4.7 から 4.9 を読んでおくこと	1 時間
	3	復習	4.7 から 4.9 の復習	1.5 時間
9	講義内容	第4章レスポンスワークフロー④		
	該当到達目標	予習	4.10 から 4.12 を読んでおくこと	1 時間
	3	復習	4.10 から 4.12 の復習	1.5 時間
10	講義内容	第5章レスポンス Web デザインの基礎の実践①		
	該当到達目標	予習	5.1 から 5.2 を読んでおくこと	1 時間
	2,3,4	復習	5.1 から 5.2 の復習	1.5 時間
11	講義内容	第5章レスポンス Web デザインの基礎の実践②		
	該当到達目標	予習	5.3 から 5.4 を読んでおくこと	1 時間
	2,3,4	復習	5.3 から 5.4 の復習	1.5 時間
12	講義内容	第5章レスポンス Web でデザインの基礎の実践③		
	該当到達目標	予習	5.5 から 5.7 を読んでおくこと	1 時間
	4,5	復習	5.5 から 5.7 の復習	1.5 時間
13	講義内容	第6章レスポンス Web デザインでサイトを構築する①		
	該当到達目標	予習	6.1 から 6.2 を読んでおくこと	1 時間
	4,5	復習	6.1 から 6.2 の復習	1.5 時間
14	講義内容	第6章レスポンス Web デザインでサイトを構築する②		
	該当到達目標	予習	6.3 から 6.4 を読んでおくこと	1 時間
	4,5	復習	6.3 から 6.4 の復習	1.5 時間
15	講義内容	第6章レスポンス Web デザインでサイトを構築する③		
	該当到達目標	予習	6.5 を読んでおくこと	1 時間
	5	復習	6.5 の復習	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 VOD:出席と成績は課題提出で評価する。			

科目名	情報処理演習 I（専門基幹科目）				科目ナンバリング	HIB223
英文名	Information Processing Exercise I				講義形態	演習
担当教員	田村 拓郎					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
	5	問題解決力				
SDGs との関連	④					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	Office 製品は世界の多くの企業で利用されているビジネスツールである。VBA は Excel などに標準搭載されている Visual Basic をベースとしたプログラミング言語で、作業の自動化やシステム開発にも用いられている。本講義では VBA の基礎から実践的なコーディングまでを学ぶことを目的とする。 授業では、教員が各回の内容を教材や実演を通じて説明し、学生は指示された課題を実施しファイルにまとめて提出する。					
到達目標	1.VBA の基礎的な機能、使い方を理解することができる。 2.VBA を用いた実践的なテクニックを習得することができる。					
使用教材	自作教材					
参考文献	図解！ExcelVBA のツボとコツがゼッタイにわかる本 秀和システム					
評価方法	課題提出状況(80%)、学習姿勢(20%)で評価する。					
課題・評価に対するフィードバック方法	提出物(ファイル)の内容が、求める課題の条件を満たしているかどうかを確認し、その結果を学生に伝え、必要に応じ、再提出を求める。					
オフィスアワー (研究室)	月曜日 4,5 限		メールアドレス (#→@)		tamura-t#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	講義全体のガイダンス				
	該当到達目標	予習	シラバスを確認しておく。			0 時間
	1	復習	講義内容・到達目標・学位授与方針・成績評価方法などを理解する。			0.5 時間
2	講義内容	VBA とは、マクロとの違い				
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。			0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。			2.5 時間
3	講義内容	VBA の基本構文				
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。			0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。			2.5 時間
4	講義内容	セルの値や書式の操作				
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。			0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。			2.5 時間
5	講義内容	変数の仕組みと使い方				
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。			0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。			2.5 時間
6	講義内容	条件分岐①				

	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2.5 時間
7	講義内容	条件分岐②		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2.5 時間
8	講義内容	繰り返し処理①		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2.5 時間
9	講義内容	繰り返し処理②		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2.5 時間
10	講義内容	対話型マクロ		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2.5 時間
11	講義内容	ユーザーフォーム		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2.5 時間
12	講義内容	基本的な入力や表示を行うコントロール		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2.5 時間
13	講義内容	文字列を操作する関数		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2.5 時間
14	講義内容	日付や時刻を操作する関数		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2.5 時間
15	講義内容	マクロの連携、まとめ		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	予習・復習の時間は参考程度であり、自らの習熟状況をふまえ必要に応じ各自で補完すること。			

科目名	アルゴリズムとデータ構造 I (専門基幹科目)			科目ナンバリング	HIB224
英文名	Algorithm and Data Structure I			講義形態	講義
担当教員	坂本 孝				
科目に関連した実務経験	SE として情報通信企業に勤務(経験)				
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位		
履修を必須とする資格	基本情報技術者試験対応科目				
学位授与方針との対応	2	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル
	3	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力
	5	問題解決力			
SDGs との関連	9				
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	データが加工されやすいように格納しておく形態をデータ構造といい、加工手順のことをアルゴリズムという。本講義では、情報処理技術者として必須となるデータ構造とアルゴリズムの代表的な知識を習得する。 各講義において、最初に前回授業内容の確認テストを実施、その後、各回テーマについて教員が作成したプリントを使って、説明および問題取組みを行っていく。				
到達目標	1. フローチャートをもとにトレースができる。■ 2. 基本記号を使ったフローチャートの作成ができる。■ 3. 代表的なアルゴリズムについて理解できる。■ 4. 代表的なアルゴリズムを疑似言語で表現できる。■ 5. 代表的なデータ構造について理解できる。■				
使用教材	自作のプリント				
参考文献					
評価方法	課題提出状況(50%)、確認テスト(30%)、授業における学習姿勢(20%)により評価する。				
課題・評価に対するフィードバック方法	課題の解答を提示し、解説する。				
オフィスアワー (研究室)	火曜日 4 時限と 5 時限		メールアドレス (#→@)	sakamoto#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	フローチャートを使った反復処理のトレース■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。		1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。		1.5 時間
2	講義内容	C 言語プログラムを使った反復処理のトレース■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。		1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。		1.5 時間
3	講義内容	配列内容のトレース■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。		1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。		1.5 時間
4	講義内容	線形探索■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。		1 時間
	1,2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。		1.5 時間
5	講義内容	二分探索■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。		1 時間
	1,2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。		1.5 時間
6	講義内容	基本選択法による整列■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。		1 時間
	1,2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。		1.5 時間

7	講義内容	隣接交換法による整列■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1,2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	1.5 時間
8	講義内容	基本挿入法による整列■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1,2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	1.5 時間
9	講義内容	疑似言語■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	1.5 時間
10	講義内容	ハッシュ探索■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	1.5 時間
11	講義内容	再帰呼出し■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	1.5 時間
12	講義内容	クイックソート■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	1.5 時間
13	講義内容	スタックとキュー■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	1.5 時間
14	講義内容	木構造■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	1.5 時間
15	講義内容	リスト構造■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	予習・復習についての時間は参考程度であり、単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	マルチメディア I (専門基幹科目)				科目ナンバリング	HIB225
英文名	Introduction to Multimedia				講義形態	演習
担当教員	田村 拓郎、木幡 直樹					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
	5	問題解決力				
SDGs との関連	④					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	本講義では、受講者がマルチメディアに関連する基礎的な事項を理解するとともに、クリエイターやデザイナーに用いられている Photoshop、Illustrator というふたつのアプリケーションの演習を通じて、マルチメディアコンテンツを作成するための基礎的な能力を身につけることを目標とする。 授業では、教員が各回の内容を教材や実演を通じて説明し、学生は指示された課題を実施しファイルにまとめて提出する。					
到達目標	1. マルチメディアに関連する基礎的な事項に関して、その概要を説明できる。 2. Illustrator の基本操作を習得し、CG を作成することができる。 3. Photoshop の基本操作を習得し、画像を素材として、加工して利用することができる。					
使用教材	自作教材					
参考文献						
評価方法	課題の提出状況とその出来栄え 90%、授業への参加態度 10%で評価する。					
課題・評価に対するフィードバック方法	提出物(ファイル)の内容が、求める課題の条件を満たしているかどうかを確認し、その結果を学生に伝え、必要に応じ、再提出を求める。					
オフィスアワー (研究室)	(田村)月曜日 4,5 限 (木幡)水 3 限、金 3 限		メールアドレス (#→@)	tamura-t#takasaki-u.ac.jp kohata#takasaki-u.ac.jp		
1	講義内容	講義全体のガイダンス				
	該当到達目標	予習	シラバスを確認しておく。			0 時間
	1	復習	講義内容・到達目標・学位授与方針・成績評価方法などを理解する。			0.5 時間
2	講義内容	マルチメディアと情報化社会				
	該当到達目標	予習	事前に指定した事項について調べまとめておく。			0.5 時間
	1	復習	専門用語の意味を再確認し、理解しておく。			1 時間
3	講義内容	情報のデジタル化				
	該当到達目標	予習	事前に指定した事項について調べまとめておく。			0.5 時間
	1	復習	専門用語の意味を再確認し、理解しておく。			1 時間
4	講義内容	マルチメディアの構成要素とその取扱い				
	該当到達目標	予習	事前に指定した事項について調べまとめておく。			0.5 時間
	1	復習	専門用語の意味を再確認し、理解しておく。			1 時間
5	講義内容	CG 作成演習(1) 基本操作				
	該当到達目標	予習	CG 作成ソフトの機能について調べておく。			0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。			2 時間
6	講義内容	CG 作成演習(2) 基本図形と変形操作				

	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2 時間
7	講義内容	CG 作成演習(3) パスの描画と編集		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2 時間
8	講義内容	CG 作成演習(4) レイヤーの基本		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2 時間
9	講義内容	CG 作成演習(5) 変形、合成、特殊効果		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2 時間
10	講義内容	CG 作成演習(6) 画像の配置と編集		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2 時間
11	講義内容	Photoshop(1) 画像サイズ、解像度、フォーマットの変換		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	3	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2 時間
12	講義内容	Photoshop(2) 範囲選択、写真合成		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	3	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2 時間
13	講義内容	Photoshop(3) ノイズ除去、色補正		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	3	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2 時間
14	講義内容	Photoshop(4) 透明化、グラデーション		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	3	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2 時間
15	講義内容	課題作品制作		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2,3	復習	授業外の時間も用いて、課題作品を完成させる。	10 時間
合計時間(予習・復習)				40.5 時間
備考	予習・復習の時間は参考程度であり、自らの習熟状況をふまえ各自で補完すること。			

科目名	データサイエンスⅡ（専門基幹科目）				科目ナンバリング	HIB226
英文名	Data science Ⅱ（Basic statistics for data science）				講義形態	講義
担当教員	光山 訓					
科目に関連した実務経験	企業において医療情報システム、データ分析ソフトウェアの開発に従事					
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応	1	豊かな人間性と幅広い教養		1	コミュニケーションスキル	
	1	健康・医療および情報に関する知識・技能		2	生涯学習力	
	5	問題解決力				
SDGs との関連	③					⑬
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	①講義の目標 データサイエンスは、単なる数値、記号の集まりであるデータから情報を読み取り、現実世界に役立つ判断を行うことを目的とした分野である。データの取得、蓄積、解析、モデル構築、検証、課題解決の全てを含む広範な知識が必要になる。大学 4 年間を通じて関連科目を学び知識を涵養する。本講義では、データに基づいた判断を行う際に重要となる統計的推測の基礎知識を習得するとともに、実践力を身に着ける。 ②講義の実施方法 授業は、指定教科書に基づいた講義により基礎知識の習得と理論の理解を進め、PC を利用した演習により知識の定着と実践・応用力の獲得を図る。最終段階では総合的な知識の定着度を確認するために総合演習を行う。なお、内容を理解し、スキルを身につけるためには、予習復習が必要である。					
到達目標	1. 確率の基本的な性質を説明することができる 2. 確率分布とは何かを説明することができる 3. 代表的な確率分布を説明することができる■ 4. 母集団、標本、標本分布を説明することができる 5. 区間推定とは何かを説明することができる 6. 統計的検定とは何かを説明することができる 7. 代表的な統計的検定手法を説明し、実際のデータに適用することができる					
使用教材	「統計学基礎」日本統計学科編、東京図書、ISBN978-4-489-02227-2 講義資料・演習教材は随時プリントして配布またはネット配信する。					
参考文献						
評価方法	総合演習 80%、授業への参加度 20%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。					
課題・評価に対するフィードバック方法	毎週演習を行い、授業中に解き方を説明する。誤りの多かった箇所については、気を付けるべきポイントを翌週フィードバックする。					
オフィスアワー（研究室）	月曜日 3 時限、木曜日 3 時限 質問はメールでも受け付ける。 1 号館 6 階 615		メールアドレス （#→@）		mitsuyama#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	本講の概要、記述統計の復習				
	該当到達目標	予習	変数の分類」「1.2 量的データの分布」「1.3 分布の特徴を表す指標」「1.6 2 変数データの記述と要約」を読む。			1.5 時間
	2,3,5,6	復習	講義資料を読み、復習する。			1.5 時間
2	講義内容	確率の基礎				
	該当到達目標	予習	「2.1 事象と確率」「2.2 条件付き確率」「2.3 ベイズの定理」を読む。			1.5 時間
	1	復習	講義資料を読み、復習する。			1.5 時間
3	講義内容	確率分布の基礎				

	該当到達目標 2	予習	「2.4 確率変数と確率分布」「2.5 期待値と分散」「2.6 モーメント」を読む。	1.5 時間
		復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
4	講義内容	いろいろな確率分布■		
	該当到達目標 3	予習	「2.7 主な離散型確率分布」「2.8 主な連続型確率分布」を読む。	1.5 時間
		復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
5	講義内容	2変数の確率分布		
	該当到達目標 3	予習	「2.9 2変数の確率分布」を読む。	1.5 時間
		復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
6	講義内容	大数の法則と中心極限定理		
	該当到達目標 1,2	予習	「2.11 大数の法則と中心極限定理」を読む。	1.5 時間
		復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
7	講義内容	母集団と標本		
	該当到達目標 4	予習	「3.1 母集団と標本」「3.2 統計的な研究の種類」「2.10 標本分布」を読む。	1.5 時間
		復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
8	講義内容	区間推定の基本		
	該当到達目標 5	予習	「3.3 点推定と区間推定」を読む。	1.5 時間
		復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
9	講義内容	いろいろな区間推定		
	該当到達目標 5	予習	「3.4 1 標本問題:1つの母集団の母数に関する推定」「3.5 2 標本問題:2つの母集団の母数に関する推定」を読む。	1.5 時間
		復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
10	講義内容	統計的仮説検定の基本		
	該当到達目標 6	予習	「4.1 仮説検定の考え方」「4.2 基本的な仮説検定の構造」を読む。	1.5 時間
		復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
11	講義内容	1つの母集団の母数に関する検定		
	該当到達目標 7	予習	「4.3 1 標本問題:1つの母集団の母数に関する検定」を読む。	1.5 時間
		復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
12	講義内容	2つの母集団の母数に関する検定		
	該当到達目標 7	予習	「4.4 2 標本問題:2つの母集団の母数に関する検定」を読む。	1.5 時間
		復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
13	講義内容	適合度と独立性の検定		
	該当到達目標 7	予習	「6.2 適合度の検定」「6.3 独立性の検定」を読む。	1.5 時間
		復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
14	講義内容	総合演習(1) Excelを使った検定		
	該当到達目標 7	予習	これまでの講義内容を講義資料、教科書で復習しておく。	2.0 時間
		復習	理解できていなかった事柄について、講義資料、教科書で復習する。	1.0 時間
15	講義内容	総合演習(2) 本講義全体の復習		
	該当到達目標 1～7	予習	これまでの講義内容を講義資料、教科書で復習しておく。	2.0 時間
		復習	理解できていなかった事柄について、講義資料、教科書で復習する。	1.0 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	医療管理総論(専門展開科目)				科目ナンバリング	HID301
英文名	Introduction to Medical Management Theory				講義形態	講義
担当教員	木村 憲洋					
科目に関連した実務経験	病院における経営企画室に 15 年従事し、病院経営、医療政策、新規事業の立ち上げなどを行ってきた。同時に診療情報管理士としても 5 年間 ICD コーディングや統計業務などを行ってきた。					
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	必修 2 単位			
履修を必須とする資格	「診療情報管理士」指定科目					
学位授与方針との対応	1	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	6	健康・医療および情報に関する知識・技能		2	生涯学習力	
	1	問題解決力				
SDGs との関連	③⑪					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	医療業界を理解するにあたり、医療の管理について知る必要がある。そこで、医療業界における医療資源を中心に医療管理について知識を習得する。 授業は、教科書の内容について、実際の病院の業務内容を説明しながら理解してもらう。					
到達目標	1.医療資源に関する理解をすることができる。 2.医療における法律の理解をすることができる。 3.診療情報管理士と医療業界の位置づけについて理解することができる。■					
使用教材	診療情報管理Ⅲ(日本病院会) 病院のしくみ(日本実業出版社) 病院と医療のしくみ(日本能率協会マネジメントセンター)					
参考文献						
評価方法	定期試験 100%を予定しているが、新興感染症の状況により出席や課題提出により評価する。					
課題・評価に対するフィードバック方法	講義中にディスカッションを行う。					
オフィスアワー(研究室)	月曜日 1 時限		メールアドレス(#→@)		連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	医療資源について■				
	該当到達目標	予習	教科書で医療資源についてまとめる。			1 時間
	1,2,3	復習	医療資源について理解する。			2 時間
2	講義内容	医療における物的資源■				
	該当到達目標	予習	教科書で物的資源についてまとめる。			1 時間
	1,2,3	復習	物的資源について理解する。			2 時間
3	講義内容	医療における人的資源■				
	該当到達目標	予習	教科書で人的資源についてまとめる。			1 時間
	1,2,3	復習	物的資源について理解する。			2 時間
4	講義内容	医療における財的資源■				
	該当到達目標	予習	教科書で財的資源についてまとめる。			1 時間
	1,2,3	復習	財的資源についてまとめる。			2 時間
5	講義内容	医療における情報資源■				
	該当到達目標	予習	教科書で情報資源についてまとめる。			1 時間
	1,2,3	復習	情報資源について理解する。			2 時間

6	講義内容	日本の医療制度■		
	該当到達目標 1,2,3	予習	教科書で日本の医療制度についてまとめる。	1 時間
		復習	日本の医療制度について理解する。	2 時間
7	講義内容	医療保障■		
	該当到達目標 1,2,3	予習	教科書で医療保障についてまとめる。	1 時間
		復習	医療保障について理解する。	2 時間
8	講義内容	医療制度の特徴■		
	該当到達目標 1,2,3	予習	教科書で医療制度の特徴についてまとめる。	1 時間
		復習	医療制度の特徴について理解する。	2 時間
9	講義内容	医療制度の成り立ち■		
	該当到達目標 1,2,3	予習	教科書で医療制度の成り立ちについてまとめる。	1 時間
		復習	医療制度の成り立ちについて理解する。	2 時間
10	講義内容	国民医療費の現状と将来■		
	該当到達目標 1,2,3	予習	教科書で国民医療費の現状と将来についてまとめる。	1 時間
		復習	国民医療費の現状と将来について理解する。	2 時間
11	講義内容	医療の需要と供給■		
	該当到達目標 1,2,3	予習	教科書で医療の需要と供給についてまとめる。	1 時間
		復習	医療の需要と供給について理解する。	2 時間
12	講義内容	人口の推移■		
	該当到達目標 1,2,3	予習	教科書で人口の推移についてまとめる。	1 時間
		復習	人口の推移について理解する。	2 時間
13	講義内容	地域医療■		
	該当到達目標 1,2,3	予習	教科書で地域医療についてまとめる。	1 時間
		復習	地域医療について理解する。	2 時間
14	講義内容	医療の提供構造■		
	該当到達目標 1,2,3	予習	教科書で医療の提供構造についてまとめる。	1 時間
		復習	医療の提供構造について理解する。	2 時間
15	講義内容	医療計画■		
	該当到達目標 1,2,3	予習	教科書で医療計画の提供構造についてまとめる。	1 時間
		復習	医療計画について理解する。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	医療管理各論Ⅰ（専門展開科目）				科目ナンバリング	HID302
英文名	Medical Management TheoryⅠ				講義形態	講義
担当教員	木村 憲洋					
科目に関連した実務経験	病院における経営企画室に15年従事し、病院経営、医療政策、新規事業の立ち上げなどを行ってきた。同時に診療情報管理士としても5年間ICDコーディングや統計業務などを行ってきた。					
学年・開講期	2年 前期	選必・単位数	選択 2単位			
履修を必須とする資格	「診療情報管理士」指定科目					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	6	健康・医療および情報に関する知識・技能		2	生涯学習力	
	2	問題解決力				
SDGsとの関連	③⑪					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	病院を的確に維持、運営していく上で重要な、病院の経営管理をはじめとする基礎的な知識を見につけることを目標とする。 授業は、教科書の内容について、実際の病院の業務内容を説明しながら理解してもらう。					
到達目標	1.病院経営における経営資源を理解することができる。 2.病院経営の基本を理解することができる。■					
使用教材	診療情報管理Ⅲ（日本病院会） 病院のしくみ（日本実業出版社） 病院と医療のしくみ（日本能率協会マネジメントセンター）					
参考文献						
評価方法	定期試験100%を予定しているが、新興感染症の状況により出席や課題提出により評価する。					
課題・評価に対するフィードバック方法	授業においてフィードバック					
オフィスアワー（研究室）	月曜日 1 時限		メールアドレス（#→@）		連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	病院経営管理■				
	該当到達目標	予習	教科書で病院経営管理についてまとめる。			1 時間
	1,2	復習	病院経営管理について理解する。			2 時間
2	講義内容	プロセス（工程）とは■				
	該当到達目標	予習	教科書で医療のプロセスについてまとめる。			1 時間
	1,2	復習	医療のプロセスについて理解する。			2 時間
3	講義内容	組織と機能■				
	該当到達目標	予習	教科書で組織と機能についてまとめる。			1 時間
	1,2	復習	組織と機能について理解する。			2 時間
4	講義内容	管理と組織■				
	該当到達目標	予習	教科書で病院の管理と組織についてまとめる。			1 時間
	1,2	復習	病院の管理と組織についてまとめる。			2 時間
5	講義内容	財務・経営管理■				
	該当到達目標	予習	教科書で財務・経営管理についてまとめる。			1 時間
	1,2	復習	財務・経営管理について理解する。			2 時間
6	講義内容	人事・労務管理■				

令和4年度 医療情報学科シラバス

	該当到達目標 1,2	予習	教科書で人事・労務管理についてまとめる。	1 時間
		復習	人事・労務管理について理解する。	2 時間
7	講義内容	施設管理■		
	該当到達目標 1,2	予習	教科書で施設管理についてまとめる。	1 時間
		復習	施設管理について理解する。	2 時間
8	講義内容	医療管理■		
	該当到達目標 1,2	予習	教科書で医療管理についてまとめる。	1 時間
		復習	医療管理について理解する。	2 時間
9	講義内容	診療部門■		
	該当到達目標 1,2	予習	教科書で診療部門についてまとめる。	1 時間
		復習	診療部門について理解する。	2 時間
10	講義内容	看護部門■		
	該当到達目標 1,2	予習	教科書で看護部門についてまとめる。	1 時間
		復習	看護部門について理解する。	2 時間
11	講義内容	医療技術部門・診療協力部門・メディカルスタッフ部門■		
	該当到達目標 1,2	予習	教科書で医療技術部門・診療協力部門・メディカルスタッフ部門についてまとめる。	1 時間
		復習	医療技術部門・診療協力部門・メディカルスタッフ部門について理解する。	2 時間
12	講義内容	教育研究部門■		
	該当到達目標 1,2	予習	教科書で教育研究部門についてまとめる。	1 時間
		復習	教育研究部門について理解する。	2 時間
13	講義内容	チーム医療■		
	該当到達目標 1,2	予習	教科書でチーム医療についてまとめる。	1 時間
		復習	チーム医療について理解する。	2 時間
14	講義内容	チーム医療の主な活動■		
	該当到達目標 1,2	予習	教科書でチーム医療の主な活動についてまとめる。	1 時間
		復習	チーム医療の主な活動について理解する。	2 時間
15	講義内容	チーム医療の推進■		
	該当到達目標 1,2	予習	教科書でチーム医療の推進についてまとめる。	1 時間
		復習	チーム医療の推進について理解する。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	医療管理各論Ⅱ（専門展開科目）				科目ナンバリング	HID303
英文名	Medical Management Theory Ⅱ				講義形態	講義
担当教員	木村 憲洋					
科目に関連した実務経験	病院における経営企画室に 15 年従事し、病院経営、医療政策、新規事業の立ち上げなどを行なってきた。同時に診療情報管理士としても 5 年間 ICD コーディングや統計業務などを行ってきた。					
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格	「診療情報管理士」指定科目					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	6	健康・医療および情報に関する知識・技能		2	生涯学習力	
	2	問題解決力				
SDGs との関連	③⑪					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	日本における医療制度について理解と DPC 制度の成立と DPC による請求について理解することを目的とする。 授業は、教科書の内容について、実際の病院の業務内容を説明しながら理解してもらう。					
到達目標	1.日本の医療制度を理解することができる。■ 2.DPC 制度を理解することができる。					
使用教材	診療情報管理Ⅲ（日本病院会）、診療情報管理士教育問題集（基礎、専門） 病院のしくみ（日本実業出版社） 病院と医療のしくみ（日本能率協会マネジメントセンター）					
参考文献						
評価方法	定期試験 100%を予定しているが、新興感染症の状況により出席や課題提出により評価する。					
課題・評価に対するフィードバック方法	講義中にディスカッションを行う。					
オフィスアワー（研究室）	月曜日 1 時限		メールアドレス（#→@）		連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	わが国の医療保険制度■				
	該当到達目標	予習	教科書で我が国の医療保険制度についてまとめる。			1 時間
	1,2	復習	我が国の医療保険制度について理解する。			2 時間
2	講義内容	保険診療と医療費の支払いの仕組み■				
	該当到達目標	予習	教科書で保険診療と医療費の支払いの仕組みについてまとめる。			1 時間
	1,2	復習	保険診療と医療費の支払いの仕組みについて理解する。			2 時間
3	講義内容	診療報酬制度の概要■				
	該当到達目標	予習	教科書で診療報酬制度の概要についてまとめる。			1 時間
	1,2	復習	診療報酬制度の概要について理解する。			2 時間
4	講義内容	診療報酬請求業務■				
	該当到達目標	予習	教科書で診療報酬請求業務についてまとめる。			1 時間
	1,2	復習	診療報酬請求業務についてまとめる。			2 時間
5	講義内容	ケースミックス区分法■				
	該当到達目標	予習	教科書でケースミックス区分法についてまとめる。			1 時間
	1,2	復習	ケースミックス区分法について理解する。			2 時間
6	講義内容	診断群分類■				

	該当到達目標 1,2	予習	教科書で診断群分類についてまとめる。	1 時間
		復習	診断群分類について理解する。	2 時間
7	講義内容	わが国の診断群分類誕生の背景■		
	該当到達目標 1,2	予習	教科書でわが国の診断群分類誕生の背景についてまとめる。	1 時間
		復習	わが国の診断群分類誕生の背景について理解する。	2 時間
8	講義内容	DPC の成り立ち■		
	該当到達目標 1,2	予習	教科書で DPC の成り立ちについてまとめる。	1 時間
		復習	DPC の成り立ちについて理解する。	2 時間
9	講義内容	DPC のコーディング■		
	該当到達目標 1,2	予習	教科書で DPC のコーディングについてまとめる。	1 時間
		復習	DPC のコーディングについて理解する。	2 時間
10	講義内容	DPC とコーディング■		
	該当到達目標 1,2	予習	教科書で DPC とコーディングについてまとめる。	1 時間
		復習	DPC とコーディングについて理解する。	2 時間
11	講義内容	DPC と経営分析■		
	該当到達目標 1,2	予習	教科書で DPC と経営分析についてまとめる。	1 時間
		復習	DPC と経営分析について理解する。	2 時間
12	講義内容	DPC と診療報酬点数■		
	該当到達目標 1,2	予習	教科書で DPC と診療報酬点数についてまとめる。	1 時間
		復習	DPC と診療報酬点数について理解する。	2 時間
13	講義内容	DPC と包括評価■		
	該当到達目標 1,2	予習	教科書で DPC と包括評価についてまとめる。	1 時間
		復習	DPC と包括評価について理解する。	2 時間
14	講義内容	介護保険制度■		
	該当到達目標 1,2	予習	教科書で介護保険制度についてまとめる。	1 時間
		復習	介護保険制度について理解する。	2 時間
15	講義内容	病院経営と診療報酬と介護報酬■		
	該当到達目標 1,2	予習	教科書で病院経営と診療報酬と介護報酬についてまとめる。	1 時間
		復習	病院経営と診療報酬と介護報酬について理解する。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	医療管理各論Ⅲ(専門展開科目)				科目ナンバリング	HID304
英文名	Medical Management Theory Ⅲ				講義形態	講義
担当教員	木村 憲洋					
科目に関連した実務経験	病院における経営企画室に 15 年従事し、病院経営、医療政策、新規事業の立ち上げなどを行ってきた。同時に診療情報管理士としても 5 年間 ICD コーディングや統計業務などを行ってきた。					
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格	「診療情報管理士」指定科目					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	6	健康・医療および情報に関する知識・技能		2	生涯学習力	
	2	問題解決力				
SDGs との関連	③⑪					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	質の高い医療を提供するための診療情報管理士に役割と医療安全や医療の質に関する基本について理解することを目標とする。 授業は、教科書の内容について、実際の病院の業務内容を説明しながら理解してもらう。					
到達目標	1.医療の質と診療情報管理士の役割について理解することができる。■ 2.医療安全の基本を理解することができる。					
使用教材	診療情報管理Ⅲ(日本病院会)、診療情報管理士教育問題集(基礎、専門) 病院のしくみ(日本実業出版社) 病院と医療のしくみ(日本能率協会マネジメントセンター)					
参考文献						
評価方法	定期試験 100%を予定しているが、新興感染症の状況により出席や課題提出により評価する。					
課題・評価に対するフィードバック方法	講義中にディスカッションを行う。					
オフィスアワー (研究室)	月曜日 1 時限		メールアドレス (#→@)		連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	医療安全概論■				
	該当到達目標	予習	教科書で医療安全概論についてまとめる。			1 時間
	1,2	復習	医療安全概論について理解する。			2 時間
2	講義内容	医療におけるリスクマネジメント■				
	該当到達目標	予習	教科書で医療におけるリスクマネジメントについてまとめる。			1 時間
	1,2	復習	医療におけるリスクマネジメントについて理解する。			2 時間
3	講義内容	ヒューマンエラー■				
	該当到達目標	予習	教科書でヒューマンエラーについてまとめる。			1 時間
	1,2	復習	ヒューマンエラーについて理解する。			2 時間
4	講義内容	医療事故■				
	該当到達目標	予習	教科書で医療事故についてまとめる。			1 時間
	1,2	復習	医療事故についてまとめる。			2 時間
5	講義内容	医事紛争■				
	該当到達目標	予習	教科書で医事紛争についてまとめる。			1 時間
	1,2	復習	医事紛争について理解する。			2 時間
6	講義内容	医療事故調査制度■				

令和4年度 医療情報学科シラバス

	該当到達目標 1,2	予習	教科書で医療事故調査制度についてまとめる。	1 時間
		復習	医療事故調査制度について理解する。	2 時間
7	該当到達目標 1,2	講義内容 医療の質と保障■		
		予習	教科書で医療の質と保証についてまとめる。	1 時間
		復習	医療の質と保証について理解する。	2 時間
8	該当到達目標 1,2	講義内容 チーム医療における診療情報共有■		
		予習	教科書でチーム医療における診療情報共有についてまとめる。	1 時間
		復習	チーム医療における診療情報共有について理解する。	2 時間
9	該当到達目標 1,2	講義内容 医療の質マネジメント■		
		予習	教科書で医療の質マネジメントについてまとめる。	1 時間
		復習	医療の質マネジメントについて理解する。	2 時間
10	該当到達目標 1,2	講義内容 医療の質の評価■		
		予習	教科書で医療の質の評価についてまとめる。	1 時間
		復習	医療の質の評価について理解する。	2 時間
11	該当到達目標 1,2	講義内容 医療の質の公表■		
		予習	教科書で医療の質の公表についてまとめる。	1 時間
		復習	医療の質の公表について理解する。	2 時間
12	該当到達目標 1,2	講義内容 医療マーケティング■		
		予習	教科書で医療マーケティングについてまとめる。	1 時間
		復習	医療マーケティングについて理解する。	2 時間
13	該当到達目標 1,2	講義内容 診療情報管理におけるデータの活用■		
		予習	教科書で診療情報管理におけるデータの活用についてまとめる。	1 時間
		復習	診療情報管理におけるデータの活用について理解する。	2 時間
14	該当到達目標 1,2	講義内容 電子カルテデータ、オーダーデータと医事会計データ■		
		予習	教科書で電子カルテデータ、オーダーデータと医事会計データについてまとめる。	1 時間
		復習	電子カルテデータ、オーダーデータと医事会計データについて理解する。	2 時間
15	該当到達目標 1,2	講義内容 診療情報管理データと医事会計データ■		
		予習	教科書で診療情報管理データと医事会計データについてまとめる。	1 時間
		復習	診療情報管理データと医事会計データについて理解する。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	診療情報管理Ⅰ（専門展開科目）				科目ナンバリング	HID305
英文名	Health information managementⅠ				講義形態	講義
担当教員	大川 喜代美					
科目に関連した実務経験	診療情報管理士として診療情報管理業務および医事課に勤務（経験）					
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格	診療情報管理士					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	4	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
	6	問題解決力				
SDGs との関連	① ② ③ ④ ⑤ ⑫					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	①診療情報管理の意義と役割について系統的に学習する。診療情報管理に関わる法令や諸規則、診療情報の機能的な記録方法やルール、構成を学ぶ。診療情報管理を実施するための基礎として診療情報の重要性を理解する。診療情報を適切に取り扱い、責任ある情報管理を行う能力を身に付ける。 ②授業期間全体を通じた授業の進め方 ・各講義ではテーマについて概要を説明する。授業はテキストにて要点を提示する。 ・予習・復習については、試験前後の学習にて補完すること。					
到達目標	1.診療情報管理の意義と役割を理解する■ 2.診療情報管理の歴史について知識を深める 3.診療情報管理と法規等を理解する■ 4.診療情報管理に関するガイドラインを理解する 5.診療記録の記載方式を理解する 6.診療記録の記載について知識を深める					
使用教材	診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 専門課程編（2020.7 初版） 診療情報管理士教育問題集（専門・8章～12章）					
参考文献	診療情報管理学 診療情報管理士業務指針 診療情報の記録指針					
評価方法	授業参加への積極性 10%、定期試験 90%					
課題・評価に対するフィードバック方法	授業時間内に期末試験について、出題の意図と内容の解説を行う。					
オフィスアワー（研究室）	大川（情報）：木曜日 2 限 （1 号館 609 研究室）		メールアドレス（#→@）	大川（情報）：okawa-ki#takasaki-u.ac.jp		
1	講義内容	ガイダンス				
	該当到達目標 1	予習	診療情報管理士テキストⅢ第8章「診療情報管理Ⅰ（法令・諸規則）」を読み、講義の目標を理解する。			1.5 時間
		復習	講義内容、到達目標、評価方法を確認し、診療情報管理士に必要な知識を認識する。			1 時間
2	講義内容	8-1-1 診療情報管理に関する用語の定義				
	該当到達目標 1	予習	診療録（カルテ）に記載されている用語の定義に目を通す。			1.5 時間
		復習	講義内容及び板書を基に診療情報管理に関する用語の定義を理解する。			1 時間
3	講義内容	8-1-2 診療記録の価値■				
	該当到達目標	予習	診療記録の価値に目を通す			1.5 時間

	1	復習	講義内容及び板書を基に診療記録の価値を理解する	1 時間
4	講義内容	8-1-3 診療情報管理の役割■		
	該当到達目標	予習	診療情報管理の役割に目を通す	1.5 時間
	1	復習	講義内容及び板書を基に診療教法管理の役割を理解する	1 時間
5	講義内容	8-2-1 診療記録のルーツと 8-2-2 諸外国における診療情報管理		
	該当到達目標	予習	診療記録のルーツと諸外国における診療情報管理に目を通す	1.5 時間
	1	復習	講義内容及び板書を基に診療記録のルーツと諸外国における診療情報管理を理解する	1 時間
6	講義内容	8-2-3 わが国における診療情報管理		
	該当到達目標	予習	診療情報管理士テキストⅣ第8章「診療情報管理Ⅰ」の日本における診療情報管理に目を通す	1.5 時間
	2	復習	講義内容及び板書を基に日本における診療情報管理を理解する	1 時間
7	講義内容	8-3 診療情報管理と法規等 1■		
	該当到達目標	予習	8-3-1 診療記録の記載と保存についての法規および、8-3-2 電子化に関する法規に目を通す	1.5 時間
	2	復習	講義内容及び板書を基に診療記録の記載と保存についての法規および、電子化に関する法規を理解する	1 時間
8	講義内容	8-3 診療情報管理と法規等 2■		
	該当到達目標	予習	8-3-3 診療記録の提示に関する法規および、8-3-4 医療事故にともなう法的責任に目を通す	1.5 時間
	2	復習	講義内容及び板書を基に診療記録の提示に関する法規および、医療事故にともなう法的責任を理解する	1 時間
9	講義内容	8-3 診療情報管理と法規等 3■		
	該当到達目標	予習	8-3-5 診療情報の守秘に関する法規および、8-3-6 個人情報の保護に関する法律に目を通す	1.5 時間
		復習	講義内容及び板書を基に診療情報の守秘に関する法規および、個人情報の保護に関する法律を理解する	1 時間
10	講義内容	8-3 診療情報管理と法規等 4■		
	該当到達目標	予習	8-3-7 医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンスおよび、8-3-8 個人情報保護法と厚生労働省のガイダンスに基づく病院の対応に目を通す	1.5 時間
	4	復習	講義内容及び板書を基に医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンスおよび、個人情報保護法と厚生労働省のガイダンスに基づく病院の対応を理解する	1 時間
11	講義内容	8-3 診療情報管理と法規等 5■		
	該当到達目標	予習	8-3-9 診療情報の提供に関する指針に目を通す	1.5 時間
	4	復習	講義内容及び板書を基に診療情報の提供に関する指針を理解する	1 時間
12	講義内容	8-4 診療記録の記載方式■		
	該当到達目標	予習	診療記録の記載方式である 8-4-1 POS と 8-4-2 クリニカルパスに目を通す	1.5 時間
	4	復習	講義内容及び板書を基に診療記録の記載方式である POS とクリニカルパスを理解する	1 時間

13	講義内容	8-5 診療情報の記載		
	該当到達目標 5	予習	8-5-1 診療記録の記載方法および、8-5-2 診療録の基本的な記載事項に目を通す	1.5 時間
		復習	講義内容及び板書を基に診療記録の記載方法および、診療録の基本的な記載事項を理解する	1 時間
14	講義内容	8-5-3 診療記録の種類		
	該当到達目標 6	予習	8-5-3 診療記録の種類に目を通す	1.5 時間
		復習	講義内容及び板書を基に診療記録の種類を理解する	1 時間
15	講義内容	診療情報管理の意義と役割まとめ		
	該当到達目標 6	予習	診療録、診療記録に関する法律や法規を踏まえて診療情報管理の意義と診療情報管理士の役割を考える	1.5 時間
		復習	講義内容及び板書を基に診療録、診療記録に関する法律や法規を踏まえて診療情報管理の意義と診療情報管理士の役割を理解する	1 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考				

科目名	診療情報管理Ⅱ(専門展開科目)			科目ナンバリング	HID306
英文名	Health information managementⅡ			講義形態	講義
担当教員	大川 喜代美				
科目に関連した実務経験	診療報管理士として診療情報管理業務および医事課に勤務(経験)				
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
履修を必須とする資格	診療情報管理士				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
	4	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
	6	問題解決力			
SDGs との関連	① ② ③ ④ ⑥ ⑫				
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	①診療情報管理士の専門性について理解し、医療に貢献する診療情報管理を実践していくための能力の基礎を身に付ける。診療情報管理を実施する場で容易に想起され、応用可能な基礎知識を習得する。 ②授業期間全体を通じた授業の進め方 各講義ではテーマについて概要を説明する。授業はテキストにて要点を提示する。				
到達目標	1.診療情報管理士について理解することができる。■ 2.診療情報管理士に求められる資質について知識を深めることができる。 3.診療情報管理士の基本業務について理解することができる。■ 4.紙カルテ運用における診療情報管理について知識を深め理解することができる。 5.電子カルテ運用における診療情報管理を理解することができる。 6.診療情報管理士による改善への取り組みについて知識を深め、実務に生かせるようにすることができる。 7.診療情報管理士の活動組織について知識を深め、実務に活用できるようにすることができる。				
使用教材	診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 専門課程編(2020.7 初版) 診療情報管理士教育問題集(専門・8章～12章)				
参考文献	診療情報管理学 診療情報管理士業務指針 診療情報の記録指針				
評価方法	授業参加への積極性 10%、定期試験 90%				
課題・評価に対するフィードバック方法	授業時間内に期末試験について、出題の意図と内容の解説を行う。				
オフィスアワー(研究室)	大川(情報):金曜日 3 限 (1 号館 609 研究室)		メールアドレス (#→@)	大川(情報):okawa-ki#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	9-1 診療情報管理士について■			
	該当到達目標 1	予習	9-1-1 診療情報管理士とは何かおよび、9-1-2 診療情報管理士の業務指針に目を通す		1.5 時間
		復習	講義内容及び板書を基に診療情報管理士とは何かおよび、診療情報管理士の業務指針を理解する		1 時間
2	講義内容	9-2 診療情報管理士に求められる資質			
	該当到達目標 2	予習	9-2-1 知識と技能、9-2-2 視点に目を通す		1.5 時間
		復習	講義内容及び板書を基に知識と技能、視点を理解する		1 時間
3	講義内容	9-3 診療情報管理士の基本業務 1			

3	該当到達目標	予習	9-3-1 診療情報を体系的・一元的に管理する業務、9-3-2 診療情報を安全に保存・管理する業務に目を通す	1.5 時間
		復習	講義内容及び板書を基に診療情報を体系的・一元的に管理する業務、安全に管理する業務を理解する	1 時間
4	講義内容	9-3 診療情報管理士の基本業務 2		
	該当到達目標	予習	9-3-3 診療情報を点検・管理する業務、9-3-4 個人情報としての診療情報を保護する業務、に目を通す	1.5 時間
	3	復習	講義内容及び板書を基に診療情報を点検・管理する業務、個人情報としての診療情報を保護する業務、病院管理・運営のための業務とその実施方法を理解する	1 時間
5	講義内容	9-3 診療情報管理士の基本業務 3■		
	該当到達目標	予習	9-3-5 病院管理・運営のための業務とその実施方法、9-3-6 診療情報の活用に向けたデータ処理・提供方法に目を通す	1.5 時間
	3	復習	講義内容及び板書を基に病院管理・運営のための業務とその実施方法、診療情報の活用に向けたデータ処理・提供方法を理解する	1 時間
6	講義内容	9-4 個人情報保護の視点からの保管管理■		
	該当到達目標	予習	9-4 個人情報保護の視点からの保管管理に目を通す	1.5 時間
4		復習	講義内容及び板書を基に個人情報保護の視点からの保管管理を理解する	1 時間
7	講義内容	9-5 紙カルテ運用における診療情報管理 1		
	該当到達目標	予習	9-5-1 ナンバリング、9-5-2 ファイリング(保管法)に目を通す	1.5 時間
4		復習	講義内容及び板書を基にナンバリング、ファイリング(保管法)を理解する	1 時間
8	講義内容	9-5 紙カルテ運用における診療情報管理 2		
	該当到達目標	予習	9-5-3 診療記録の保存期間と保存方法、9-5-4 パージングに目を通す	1.5 時間
	4	復習	講義内容及び板書を基に診療記録の保存期間と保存方法、パージングを理解する	1 時間
9	講義内容	9-5 紙カルテ運用における診療情報管理 3		
	該当到達目標	予習	9-5-5 紙カルテの管理方式および9-5-6 紙カルテの貸出管理に目を通す	1.5 時間
	5	復習	講義内容及び板書を基に紙カルテの管理方式および紙カルテの貸出管理を理解する	1 時間
10	講義内容	9-5 紙カルテ運用における診療情報管理 4		
	該当到達目標	予習	9-5-7 診療記録の回収および9-5-8 記録内容の点検に目を通す	1.5 時間
	5	復習	講義内容及び板書を基に診療記録の回収および記録内容の点検を理解する	1 時間
11	講義内容	9-6 電子カルテ運用における診療情報管理 1		
	該当到達目標	予習	9-6-1 電子カルテの運用、9-6-2 記載する場所の明確化、9-6-3 紙媒体情報の保存に目を通す	1.5 時間
	5	復習	講義内容及び板書を基に電子カルテの運用、記載する場所の明確化、紙媒体情報の保存を理解する	1 時間
12	講義内容	9-6 電子カルテ運用における診療情報管理 2		
	該当到達目標	予習	9-6-4 診療情報の点検および、9-6-5 個人情報保護への対応に目を通す	1.5 時間
	5	復習	講義内容及び板書を基に診療情報の点検および、個人情報保護への対応を理解する	1 時間

13	講義内容	9-7 診療情報の提供に係る業務			
	該当到達目標 6	予習	9-7-1 院内職員および 9-7-2 院外への情報提供と、9-7-3 医療機能情報の提供制度、9-7-4 患者への診療情報提供に目を通す	1.5 時間	
		復習	講義内容及び板書を基に院内職員および院外と、医療機能情報の提供制度、患者への診療情報提供を理解する	1 時間	
14	講義内容	9-8 診療情報管理士による改善への取り組み			
	該当到達目標 7	予習	9-8-1 医療の質の評価、9-8-2 医療安全管理、9-8-3 チーム医療、9-8-4 病院経営に目を通す	1.5 時間	
		復習	講義内容及び板書を基に医療の質の評価、医療安全管理、チーム医療、病院経営を理解する	1 時間	
15	講義内容	9-9 診療情報管理士の活動組織			
	該当到達目標 7	予習	9-9-1 診療情報管理部門、9-9-2 診療情報管理委員会、9-9-3 適切なコーディングに関する委員会に目を通す	1.5 時間	
		復習	講義内容及び板書を基に診療情報管理室、診療情報管理委員会、適切なコーディングに関する委員会について理解する	1 時間	
				合計時間(予習・復習)	37.5 時間
備考	診療情報管理士資格必修科目 予習・復習については、試験前後の学習にて補完すること。 質問はメールでも可能。 ■:実務経験に基づく内容を示す。				

科目名		診療情報管理Ⅲ(専門展開科目)			科目ナンバリング	HID307
英文名		Health information managementⅢ			講義形態	講義
担当教員		大川 喜代美				
科目に関連した実務経験		診療報管理士として診療情報管理業務および医事課に勤務(経験)				
学年・開講期		3 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位		
履修を必須とする資格		診療情報管理士				
学位授与方針との対応			豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル
		4	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力
		6	問題解決力			
SDGs との関連		① ② ③ ④ ⑥ ⑫				
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		① 診療情報管理士の実務で重要な DPC、医師事務作業補助、がん登録について理解を深める ② 授業期間全体を通じた授業の進め方 各講義ではテーマについて概要を説明する。授業はテキストにて要点を提示する。				
到達目標		1.DPC 業務について、実務上求められることを踏まえて実務者の視点から学習することができる。■ 2.医師事務作業補助者業務について、実務上求められることを踏まえて実務者の視点から学習することができる。 3.がん登録業務について、実務上求められることを踏まえて実務者の視点から学習することができる。■ 4.診療情報管理士認定試験対策することができる。				
使用教材		診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 専門課程編(2020.7 初版) 診療情報管理士教育問題集(専門・8章～12章)				
参考文献		診療情報管理学 診療情報管理士業務指針 診療情報の記録指針				
評価方法		授業参加への積極性 10%、定期試験 90%				
課題・評価に対するフィードバック方法		授業時間内に期末試験について、出題の意図と内容の解説を行う。				
オフィスアワー(研究室)		大川(情報):木曜日 2 限 (1 号館 609 研究室)		メールアドレス (#→@)	大川(情報):okawa-ki#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	10-1DPC 制度と実務 1■				
	該当到達目標	予習	10-1-1DPC と診療情報管理士(診療情報管理部門)との関わりに目を通す			1.5 時間
	1	復習	DPC と診療情報管理士(診療情報管理部門)との関わりを理解する			1 時間
2	講義内容	10-1DPC 制度と実務 2				
	該当到達目標	予習	10-1-2 影響調査(基礎調査)と診療情報管理士に目を通す			1.5 時間
	1	復習	影響調査(基礎調査)と診療情報管理士を理解する			1 時間
3	講義内容	10-1DPC 制度と実務 3				
	該当到達目標	予習	10-1-3DPC と影響調査(基礎調査)に目を通す			1.5 時間
	1	復習	DPC と影響調査(基礎調査)を理解する			1 時間
4	講義内容	10-1DPC 制度と実務 4				
	該当到達目標	予習	10-1-4 病院指標の公表と診療情報管理士に目を通す			1.5 時間
	1	復習	病院指標の公表と診療情報管理士を理解する			1 時間
5	講義内容	10-1DPC 制度と実務 5				

令和4年度 医療情報学科シラバス

	該当到達目標 1	予習	10-1-5 データ精度と診療情報管理士に目を通す	1.5 時間
		復習	データ精度と診療情報管理士を理解する	1 時間
6	講義内容	10-1DPC 制度と実務 6		
	該当到達目標 1	予習	10-1-6DPC データの活用に目を通す	1.5 時間
		復習	DPC データの活用を理解する	1 時間
7	講義内容	10-2 医師事務作業補助者業務について 1		
	該当到達目標 2	予習	10-2-1 医師事務作業補助者の業務と体制に目を通す	1.5 時間
		復習	医師事務作業補助者の業務と体制を理解する	1 時間
8	講義内容	10-2 医師事務作業補助者業務について 2		
	該当到達目標 2	予習	10-2-2 医師事務作業補助者と診療情報管理士の関わりに目を通す	1.5 時間
		復習	医師事務作業補助者と診療情報管理士の関わりを理解する	1 時間
9	講義内容	10-3 がん登録の実務について 1■		
	該当到達目標 3	予習	10-3-1 わが国のがん対策とがん登録に目を通す	1.5 時間
		復習	わが国のがん対策とがん登録を理解する	1 時間
10	講義内容	10-3 がん登録の実務について 2		
	該当到達目標 3	予習	10-3-2 がん登録に目を通す	1.5 時間
		復習	がん登録を理解する	1 時間
11	講義内容	診療情報管理 まとめ 1		
	該当到達目標 3	予習	診療情報管理士教育問題集 専門の 8 章の問題を解いておく	1.5 時間
		復習	診療情報管理士教育問題集 専門の 8 章の全問の正解をテキストで確認する	1 時間
12	講義内容	診療情報管理 まとめ 2		
	該当到達目標 4	予習	診療情報管理士教育問題集 専門の 9 章の問題を解いておく	1.5 時間
		復習	診療情報管理士教育問題集 専門の 9 章の全問の正解をテキストで確認する	1 時間
13	講義内容	診療情報管理 まとめ 3		
	該当到達目標 4	予習	診療情報管理士教育問題集 専門の 10 章の問題を解いておく	1.5 時間
		復習	診療情報管理士教育問題集 専門の 10 章の全問の正解をテキストで確認する	1 時間
14	講義内容	診療情報管理 まとめ 4		
	該当到達目標 4	予習	診療情報管理士教育問題集 専門の 10 章の問題を解いてお	1.5 時間
		復習	診療情報管理士教育問題集 専門の 10 章の全問の正解をテキストで確認する	1 時間
15	講義内容	期末テスト		
	該当到達目標 4	予習	DPC 業務・医師事務作業補助者業務・がん登録実務について、テキスト及び問題集で復習しておく	1.5 時間
		復習	解けなかった問題についてテキストで確認する	1 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	診療情報管理士資格必修科目 記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないためについては、各自で補完すること。 質問はメールでも可能。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	医療統計学Ⅰ（専門展開科目）				科目ナンバリング	HID308
英文名	Medical StatisticsⅠ				講義形態	講義
担当教員	石川 雅弘					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位			
履修を必須とする資格	診療情報管理士試験対応科目					
学位授与方針との対応	1	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	7	健康・医療および情報に関する知識・技能		1	生涯学習力	
	1	問題解決力				
SDGs との関連	8 9					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	今日の社会では、多種多様なデータが絶え間なく生成・蓄積されている。医療の現場においても、患者や医療従事者の状態、ケアの内容や程度、病院の経理状況などの様々なデータが存在する。データは適切に処理し意思決定に結びつける必要があるが、適切な分析手法の適用とその結果の解釈には統計的知識が不可欠である。 本科目では、データの整理、表現、比較のための記述統計学の基本的な概念や手法と、病院統計の基本を理解することを目標とする。講義はスライドを用いて教材テキストに沿った解説をベースに進める。また、練習問題を通して考え方・解き方の解説を行う。					
到達目標	1.データの尺度を説明できる。 2.基本統計量を計算できる。 3.箱ひげ図、ヒストグラム、散布図を作図でき、ピアソンの相関係数を計算・評価できる。 4.適切なグラフ表現を選択し、作成できる。 5.病院における各種指標の意味を理解し、計算できる。					
使用教材	「プレステップ統計学Ⅰ 記述統計学」、稲葉由之、弘文堂 ISBN-13: 978-4335000843					
参考文献	診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅲ」、一般社団法人日本病院会					
評価方法	期末試験（100％）で評価する。					
課題・評価に対するフィードバック方法	解答例の提示と解説を行う。					
オフィスアワー（研究室）	月曜 5 限		メールアドレス（#→@）	ishikawa#takasaki-u.ac.jp		
1	講義内容	記述統計学と推測統計学、データの尺度				
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。			1.5 時間
	1	復習	参考文献の該当範囲を読んでデータ尺度について理解を定着させる。			1.5 時間
2	講義内容	統計データの集計				
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。			1.5 時間
	1,2	復習	例題を解き直し、質的データと量的データの統計表を作成できるようにする。			1.5 時間
3	講義内容	統計表のグラフ表現				
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。			1.5 時間
	2,3	復習	例題を解き直し、棒グラフとヒストグラムの違いを確認し、正しいヒストグラムを作成できるようにする。			1.5 時間
4	講義内容	中心位置の統計量				
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。			1.5 時間
	2,3	復習	例題を解き直し、平均と中央値の意味と違いを確認する。			1.5 時間
5	講義内容	散らばりの統計量				
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。			1.5 時間
	2,3	復習	例題を解き直し、分散と標準偏差の意味と違いを確認する。			1.5 時間

6	講義内容	散らばりのグラフ表現		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	2,3,4	復習	例題を解き直し、四分位数・四分位範囲の求め方を確認し、箱ひげ図を作成できるようにする。	1.5 時間
7	講義内容	二変数の関連性 1		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	2,3,4	復習	共分散と相関係数、散布図に関する例題を解き直し、理解を深める。	1.5 時間
8	講義内容	二変数の関連性 2		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	2,3,4	復習	誤用を避け適切に活用できるよう、相関係数を評価する際の注意点を確認する。	1.5 時間
9	講義内容	ここまで(記述統計学)のまとめ		
	該当到達目標	予習	ここまでの内容で疑問点を明らかにしておく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業資料を見直し、疑問の解消に努める。	1.5 時間
10	講義内容	データのグラフ表現		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	4,5	復習	例題を解き直し、目的に応じた適切なグラフ選択ができるように各種グラフの特徴の理解を深める。	1.5 時間
11	講義内容	主な医療評価指標		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	該当範囲を読み直し、主な統計調査の内容と目的を確認する。	1.5 時間
12	講義内容	病院の経営管理指標		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	例題を解き直し、各種指標の意味を理解し、実際に計算できるようにする。	1.5 時間
13	講義内容	臨床研究の主な指標と倫理指針		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	テキストを読み直し、ケースコントロールとコホート研究の違いを理解し、また、人を対象とした研究に関する倫理指針への理解を深める。	1.5 時間
14	講義内容	検査を評価する様々な指標		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	例題を解き直し、陽性的中率などの主要な指標の意味と計算方法を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当到達目標	予習	テキスト全体に目を通し、これまでの疑問点などをピックアップする。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	疑問だった点についての理解を深める。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	毎回小テストを行うが、その結果は成績には反映しないので、復習に利用して欲しい。 診療情報管理士試験や基本情報技術者試験受験者は医療統計学Ⅱの履修も強く勧める。 【オンラインで授業を実施する場合】 オンデマンド形式のリモート講義の形で進める。 チャット・ビデオ通話や対面での質問にも応じるので、積極的に利用して欲しい。			

科目名	医療統計学Ⅱ（専門展開科目）			科目ナンバリング	HID309
英文名	Medical Statistics Ⅱ			講義形態	講義
担当教員	石川 雅弘				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
履修を必須とする資格	診療情報管理士試験対応科目				
学位授与方針との対応	1	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
	7	健康・医療および情報に関する知識・技能	1	生涯学習力	
	1	問題解決力			
SDGs との関連	8 9				
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	他の様々な分野同様、医療の現場においても様々なデータが生産・蓄積され続けている。それらを適切に処理し有効に活用する必要があるが、データの適切な分析とその結果の解釈には統計的知識が不可欠である。特に、関心の対象である全体（母集団）のデータが得られずその一部（標本）のデータしか得られない場合には、推測統計学の知識が必須である。 本科目では、推測統計学の基本的な考え方と、基本的な統計学的検定手法について学ぶ。特に各検定手法の利用シーンを理解し、実際に計算し検定を行えるようになることを目標とする。 講義はスライドを用いて教材テキストに沿った解説をベースに進める。また、問題演習を通して考え方・解き方の解説を行う。				
到達目標	1. 記述統計学と推測統計学の違いを説明できる。 2. 母集団と標本の関係、標本に望まれる性質を説明できる。 3. 点推定と区間推定を説明できる。 4. 統計学的検定の考え方と有意水準などの基本的概念の意味を説明できる。 5. 基本的な検定手法を適用すべき状況と前提条件を説明でき、検定を実行できる。				
使用教材	「プレステップ統計学Ⅱ 推測統計学」、稲葉由之、弘文堂 ISBN-13: 978-4335000874				
参考文献	診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅲ」、一般社団法人日本病院会				
評価方法	期末試験（100％）で評価する。				
課題・評価に対するフィードバック方法	解答例の提示と解説を行う。				
オフィスアワー （研究室）	月曜 4 限	メールアドレス （#→@）	ishikawa#takasaki-u.ac.jp		
1	講義内容	母集団と標本			
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。		1.5 時間
	1	復習	記述統計学と推測統計学の違いについて理解し、医療における推測統計学の役割への理解を深める。特に、母集団と標本の違い、標本抽出時に注意すべき点の理解を深める。		1.5 時間
2	講義内容	確率と確率変数			
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。		1.5 時間
	1,2	復習	講義内容をまとめ直し、確率変数への理解を深める。		1.5 時間
3	講義内容	確率分布			
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。		1.5 時間
	2,3	復習	講義内容をまとめ直し、経験確率と先験確率、確率変数と確率分布の概念の理解を深める。また、例題を解き直し二項分布に基づく確率計算ができるようにする。		1.5 時間
4	講義内容	大数の法則、中心極限定理			
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。		1.5 時間

	2,3	復習	例題を解き直し、経験確率と大数の法則、中心極限定理の意味の理解を深める。	1.5 時間
5	講義内容	正規分布、 χ^2 分布(カイ二乗分布)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	2,3	復習	例題を解き直し、正規分布・標準正規分布の性質について理解を深める。また、自由度の概念を確認する。	1.5 時間
6	講義内容	母平均の点推定と区間推定 1		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	2,3,4	復習	例題を解き直し、点推定と区間推定の考え方の違いと推定方法の理解を深める。	1.5 時間
7	講義内容	母平均の点推定と区間推定 2		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	2,3,4	復習	例題を解き直し、点推定と区間推定の考え方の違いと推定方法の理解を深める。	1.5 時間
8	講義内容	統計的仮説検定の考え方、母平均に対する検定(Z検定, t検定)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	2,3,4	復習	例題を解き直し、Z検定とt検定の計算ができるようにし、また、Z検定とt検定の適用条件の違いを理解する。	1.5 時間
9	講義内容	ここまで(推測統計学)のまとめ		
	該当到達目標	予習	ここまでの内容で疑問点を明らかにしておく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業資料や小テストを見直し、疑問の解消に努める。	1.5 時間
10	講義内容	母比率の二項検定とZ検定		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	4,5	復習	例題を解き直し、母比率の二項検定と、その近似計算としてのZ検定を実行できるようにする。	1.5 時間
11	講義内容	対応のない2群の平均値の差の検定(Z検定、studentのt検定)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	例題を解き直し、Z検定、studentのt検定の考え方の理解を深める。特に、studentのt検定は2つの母分散が等しい場合にしか適用できないことをよく理解する。	1.5 時間
12	講義内容	対応のない2群の平均値の差の検定(Welchのt検定)、対応のある2群の平均値の差の検定		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	例題を解き直し、それぞれの検定法の考え方と適用されるべき状況の理解を深める。特に、studentのt検定と異なり、Welchのt検定は前提無しに適用可能であり、より好ましい検定であることを理解する。	1.5 時間
13	講義内容	χ^2 検定(適合度の検定、独立性の検定)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	例題を解き直し、適合度の検定・独立性の検定の考え方への理解を深める。特に、 χ^2 検定は帰無仮説の下での期待値と観測値のズレを評価するものである点を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	χ^2 検定(マクネマー検定)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	例題を解き直し、マクネマー検定の考え方への理解を深める。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当到達目標	予習	テキスト全体に目を通し、これまでの疑問点などをピックアップする。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	疑問だった点についての理解を深める。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	毎回小テストを行うが、その結果は成績には反映しないので、復習に利用して欲しい。 【オンラインで授業を実施する場合】 オンデマンド形式のリモート講義の形で進める。			

	チャット・ビデオ通話や対面での質問にも応じるので、積極的に利用して欲しい。

科目名	医療統計学演習(専門展開科目)				科目ナンバリング	HID310
英文名	Medical Statistics Practice				講義形態	演習
担当教員	石川 雅弘					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格	診療情報管理士試験対応科目					
学位授与方針との対応	1	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	7	健康・医療および情報に関する知識・技能		1	生涯学習力	
	1	問題解決力				
SDGs との関連	8 9					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	医療の現場では日々様々なデータが発生・蓄積されており、医療診断や病院経営の改善などに役立つ可能性を秘めている。しかし、データを客観的に評価し適切に利用するには統計学的知識が不可欠であり、また、必要な計算を実際に行える必要がある。本科目では、医療統計学Ⅰ・Ⅱで学んだ様々な統計指標や手法について、Excel を用いて実際に計算しその結果を評価できるようになることを目標とする。 演習はテキスト内容に沿った内容の Excel ファイルを配付し、その中で問題を解きながら理解を深める形で進める。					
到達目標	1. Excel で基本統計量を計算できる。 2. Excel で棒グラフ、折れ線グラフ、ヒストグラムなどが作成できる。 3. Excel で散布図の作成、ピアソンの相関係数の計算、回帰直線による予測ができる。 4. Excel で二項分布、Z 分布、t 分布、カイニ乗分布の確率計算ができる。 5. Excel で母平均の点推定と区間推定ができる。 6. Excel で基本的な検定手法の計算ができる。					
使用教材	「Excel で学ぶ統計解析入門 Excel2019/2016 対応版」、菅民郎、オーム社 ISBN-13: 978-4274226410					
参考文献						
評価方法	期末試験(100%)で評価する。					
課題・評価に対するフィードバック方法	解答例の提示と解説を行う。					
オフィスアワー (研究室)	月曜 5 限			メールアドレス (#→@)	ishikawa#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	基本統計量の計算				
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。			1.5 時間
	1,2	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。			1.5 時間
2	講義内容	度数分布表、ヒストグラムの作成				
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。			1.5 時間
	1,2	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。			1.5 時間
3	講義内容	箱ひげ図の作成				
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。			1.5 時間
	1,2	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。			1.5 時間
4	講義内容	誤差グラフ・パレート図の作成				
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。			1.5 時間
	2	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。			1.5 時間
5	講義内容	相関係数の計算、散布図の作成				
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。			1.5 時間
	3	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。			1.5 時間

6	講義内容	散布図と回帰直線、回帰直線に基づく予測		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。	1.5 時間
7	講義内容	二項分布に基づく確率計算		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	4	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。	1.5 時間
8	講義内容	ポワソン分布に基づく確率計算		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	4	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。	1.5 時間
9	講義内容	正規分布に基づく確率計算、正規確率プロットの作成		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	4	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。	1.5 時間
10	講義内容	Excel の名前機能、条件付き書式、データ分析ツール		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	4	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。	1.5 時間
11	講義内容	母平均の推定、母比率の推定、サンプルサイズの決定法		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。	1.5 時間
12	講義内容	母平均の検定(Student の t 検定、Welch の t 検定)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	6	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。	1.5 時間
13	講義内容	Excel の分析ツールによる検定、T.TEST()関数による検定		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	6	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。	1.5 時間
14	講義内容	マクネマー検定		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	6	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当到達目標	予習	これまでの課題を見直し、疑問点をピックアップする。	1.5 時間
	1,2,3,4,5,6	復習	疑問を解消するよう、課題を見直す。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	内容の概説は行うが、医療統計学Ⅰを履修済みで、医療統計学Ⅱを履修中(もしくは履修済み)である前提で進める。 【オンラインで授業を実施する場合】 オンデマンド形式のリモート講義の形で進める。 チャット・ビデオ通話や対面での質問にも応じるので、積極的に利用して欲しい。			

科目名	医療情報学各論(専門展開科目)				科目ナンバリング	HID311
英文名	Theories of Medical Informatics				講義形態	講義
担当教員	松尾 仁司					
科目に関連した実務経験	情報系企業で医療情報システムの研究開発に従事(経験) 保健医療福祉情報システム工業会(JAHIS)運営幹事(経験) 医療機器企業で画像診断機器の研究開発に従事(経験)					
学年・開講期	3 年 後期	選必・単位数	選択	2 単位		
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応	1	豊かな人間性と幅広い教養		1	コミュニケーションスキル	
	6	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
	2	問題解決力				
SDGs との関連	3 4 8 9 10 11					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	本講義では、少子高齢化が進展する社会での医療機関において今後必要となる医療機器・情報システムの具体例を挙げ、その機能・役割を考えることを通して保健医療情報学で学んだことの肉付けを行う。参考資料で予習し、小課題を講義中にディスカッションして理解を深める。 医療機器関連の事業所紹介・ゲストスピーカーの講演等を実施する予定。					
到達目標	1. 少子高齢化社会を展望し、今後の医療サービスの姿と、それに相応しい新たな医療機器・情報システムとは何かを考える力をつけることができる。■ 2. 最先端の医療機器・情報システムの特徴を理解することができる。■					
使用教材	予習のための参考資料を共有フォルダにて配布する。					
参考文献	適宜紹介する。					
評価方法	期末試験 70%、レポート課題 30%で評価。 総合評価 60%以上を合格とする。					
課題・評価に対するフィードバック方法	講義中のディスカッション・レポート結果を参照しながら次回以降の講義を行う。					
オフィスアワー (研究室)	水曜日 3 限 (研究室:1 号館 6 階 607 室)			メールアドレス (#→@)	matsuo#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	導入・社会の潮流と展望				
	該当到達目標	予習	シラバスを読む。			1.5 時間
	1	復習	講義全体の目標を理解する。			1.5 時間
2	講義内容	少子高齢化社会				
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。			1.5 時間
	1	復習	少子高齢化を意識して 21 世紀のあるべき社会について考えを整理する。			1.5 時間
3	講義内容	健康寿命の延伸■				
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。			1.5 時間
	1	復習	21 世紀における健康・医療・介護の在り方について考えを整理する。			1.5 時間
4	講義内容	基盤技術の動向■				
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。			1.5 時間
	1,2	復習	医療機器・情報システムの基盤技術の動向について整理する。			1.5 時間
5	講義内容	医療分野のデータ利活用(Ⅰ)■				
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。			1.5 時間
	1,2	復習	健康・医療・介護分野でのデータ利活用の現状を把握する。			1.5 時間
6	講義内容	医療分野のデータ利活用(Ⅱ)■				
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。			1.5 時間

	1,2	復習	健康・医療・介護分野でのデータ利活用の将来について整理する。	1.5 時間
7	講義内容	健康支援システム■		
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1.5 時間
	1,2	復習	健康支援システムの動向について整理する。	1.5 時間
8	講義内容	高度医療機器(Ⅰ)－医療機器の実際－■		
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1.5 時間
	1,2	復習	医療機関で活用される小型医療機器について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	高度医療機器(Ⅱ)－高度先端医療－■		
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1.5 時間
	1,2	復習	高度先端医療機関での活用が期待される高度医療機器について整理する。	1.5 時間
10	講義内容	遠隔医療システム■		
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1.5 時間
	1,2	復習	遠隔医療システムの動向について整理する。	1.5 時間
11	講義内容	地域包括ケアシステム■		
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1.5 時間
	1,2	復習	地域包括ケアシステムの現状と動向について整理する。	1.5 時間
12	講義内容	介護支援システム		
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1.5 時間
	1,2	復習	介護支援システムの現状と展望についてまとめ理解する。	1.5 時間
13	講義内容	AI 技術の活用■		
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1.5 時間
	1,2	復習	医療情報分野における AI 技術の現状と課題を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	医療機関の将来像		
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1.5 時間
	1	復習	ICT 技術の発展による医療機関の将来像を整理する。	1.5 時間
15	講義内容	全体まとめ		
	該当到達目標	予習	講義全体を通しての重要なポイントに目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	今後必要となる医療機器・情報システムについて整理する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	生体情報学Ⅱ（専門展開科目）				科目ナンバリング	HID312
英文名	Biological Information Ⅱ				講義形態	演習
担当教員	東福寺 幾夫、長澤 亨、鈴木 亮二、高橋 大志、田村 拓郎、高橋真悟					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	3 年 後期	選必・単位数	必修 2 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応	1	豊かな人間性と幅広い教養		1	コミュニケーションスキル	
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能		1	生涯学習力	
	2	問題解決力				
SDGs との関連	① ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑨ ⑩ ⑪ ⑰					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	生体情報学Ⅱでは、生体情報学Ⅰで学んだ知識をもとに、1 号館 6 階の生体情報実験室にある生体計測機器および電子機器を用いて実験し、その原理と仕組みについて理解するとともに、報告書（レポート）の作成方法について学ぶ。 実験は班単位で実施するが、報告書（レポート）は個人毎に作成する。					
到達目標	1. 医療に利用されている機器の原理や操作方法を説明できる。 2. 電子回路・サーモグラフィー、心電・筋電などのデータの取得と解析ができる。 3. 人体の構造を理解し、目的部位の超音波画像をプローブで表示できる。					
使用教材	学科で作成した実験書を使用する。					
参考文献						
評価方法	評価は提出された報告書（100％）により行う。特に報告書に記載されている考察・課題の項目を重点的に評価する。報告書は実験終了後 1 週間以内に担当教員まで提出する。報告書未提出は不合格となる。					
課題・評価に対するフィードバック方法	1 週間後に提出された報告書に不備がある場合はその個所を明示して再提出とする。再提出は 2 回までで、それ以上は不合格となる。					
オフィスアワー（研究室）	各教員が最初のゼミにて示す。		メールアドレス（#→@）		各教員が最初のゼミにて示す。	
1	講義内容	ガイダンス				
	該当到達目標	予習	特になし			0 時間
	1	復習	配布された実験書の実験レポート作成要領を熟読する。			0.5 時間
2	講義内容	電流計の原理とテストによる直流電圧、抵抗の測定				
	該当到達目標	予習	実験書の p.7～18 を熟読する。			2 時間
	1,2	復習	レポート作成			5 時間
3	講義内容	レポート指導①				
	該当到達目標	予習	特になし			0 時間
	1,2	復習	レポート修正			1.5 時間
4	講義内容	オシロスコープを用いた CR 回路定数の測定				
	該当到達目標	予習	実験書の p.19～37 を熟読する。			2 時間
	1,2	復習	レポート作成			5 時間
5	講義内容	レポート指導②				
	該当到達目標	予習	特になし			0 時間

令和4年度 医療情報学科シラバス

	1,2	復習	レポート修正	1.5 時間
6	講義内容	血圧計、サーモグラフィー		
	該当到達目標	予習	実験書の p.38～66 を熟読する。	2 時間
	1,2	復習	レポート作成	5 時間
7	講義内容	レポート指導③		
	該当到達目標	予習	特になし	0 時間
	1,2	復習	レポート修正	1.5 時間
8	講義内容	筋電図、心電図		
	該当到達目標	予習	実験書の p.67～81 を熟読する。	2 時間
	1,2	復習	レポート作成	5 時間
9	講義内容	レポート指導④		
	該当到達目標	予習	特になし	0 時間
	1,2	復習	レポート修正	1.5 時間
10	講義内容	脳波、眼球運動		
	該当到達目標	予習	実験書の p.82～95 を熟読する。	2 時間
	1,2	復習	レポート作成	5 時間
11	講義内容	レポート指導⑤		
	該当到達目標	予習	特になし	0 時間
	1,2	復習	レポート修正	1.5 時間
12	講義内容	超音波診断(腹部)		
	該当到達目標	予習	実験書の p.96～100 を熟読する。	2 時間
	1,3	復習	レポート作成	5 時間
13	講義内容	レポート指導⑥		
	該当到達目標	予習	特になし	0 時間
	1,3	復習	レポート修正	1.5 時間
14	講義内容	レポート指導総括:全6回の実験レポート作成のポイントの解説		
	該当到達目標	予習	提出したレポートを見直しておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	レポート作成のポイントを理解。	1 時間
15	講義内容	全体まとめ:実験に用いた電子機器、生体計測機器の原理と仕組みを総括		
	該当到達目標	予習	実験書全体にもう一度目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	特になし	0 時間
合計時間(予習・復習)				55.5 時間
備考				

科目名		国際統計分類Ⅰ（専門展開科目）		科目ナンバリング	HID313
英文名		International Statistical Classification I		講義形態	講義
担当教員		大川 喜代美			
科目に関連した実務経験		診療報管理士として診療情報管理業務および医事課に勤務（経験）			
学年・開講期		2 年 後期	選必・単位数	選択	2 単位
履修を必須とする資格		診療情報管理士			
学位授与方針との対応			豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル
		4	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力
		6	問題解決力		
SDGs との関連		① ② ③ ④ ⑥ ⑫			
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		①診療情報管理士に必要とされるコーディングの能力は、医学に対する広い知識と、死因・疾病に係る国際的な統計の知識である。医学・医療の知識と共に日々研鑽し、新しい知識を習得するとともに、医療に対する社会のニーズをいち早く受け止め、診療情報を利活用できるようにする。 ②授業期間全体を通じた授業の進め方 各講義ではテーマについて概要を説明する。授業はテキストにて要点を提示する。			
到達目標		1.日本の人口動態統計のしくみと意義を理解することができる。 2.人口動態統計に用いられる国際疾病分類(ICD)についての理解を深め、その歴史と現在の譲許を理解することができる。 3.国際統計分類群(ファミリー)に属するその他の分類体系についての理解を深め、健康情報に関する幅広いコード体系についての意義と問題点を理解することができる。 4.日本に導入されている DPC/PDPS (Diagnosis Procedure Combination/Per-Diem Payment System) 制度における ICD の利用について理解することができる。■			
使用教材		診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 専門課程編(2020.7 初版) 診療情報管理士教育問題集(専門・8章～12章) ICD-10 第1巻「内容例示表」(2013 年版)			
参考文献		診療情報管理学 診療情報管理士業務指針 診療情報の記録指針			
評価方法		授業参加への積極性 10%、定期試験 90%			
課題・評価に対するフィードバック方法		授業時間内に期末試験について、出題の意図と内容の解説を行う。			
オフィスアワー (研究室)		大川(情報):金曜日 3 限 (1 号館 609 研究室)	メールアドレス (#→@)	大川(情報):okawa-ki#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	11-1 国際疾病分類論 1			
	該当到達目標 1	予習	11-1-1 わが国の人口動態統計に目を通す		1.5 時間
		復習	わが国の人口動態統計を理解する		1 時間
2	講義内容	11-1 国際疾病分類論 2			
	該当到達目標 2	予習	11-1-2 国際疾病分類(ICD)の歴史に目を通す		1.5 時間
		復習	国際疾病分類(ICD)の歴史を理解する		1 時間
3	講義内容	11-1 国際疾病分類論 3			
	該当到達目標	予習	11-1-3 国際疾病分類(ICD)の現状に目を通す		1.5 時間

	2	復習	国際疾病分類(ICD)の現状を理解する	1 時間
4	講義内容	11-1 国際疾病分類論 4		
	該当到達目標	予習	11-1-4 国際疾病分類(ICD)の構造に目を通す	1.5 時間
	2	復習	国際疾病分類(ICD)の構造を理解する	1 時間
5	講義内容	11-2 国際疾病分類群ファミリー論 1		
	該当到達目標	予習	11-1-2-1 国際疾病分類群ファミリー(WHO-EIC)の概念と構造に目を通す	1.5 時間
	3	復習	国際疾病分類群ファミリー(WHO-EIC)の概念と構造を理解する	1 時間
6	講義内容	11-2 国際疾病分類群ファミリー論 2		
	該当到達目標	予習	11-2-2 国際疾病分類群ファミリーに含まれる分類、国際生活機能分類(ICF)に目を通す	1.5 時間
	3	復習	国際疾病分類群ファミリーに含まれる分類、国際生活機能分類(ICF)を理解する	1 時間
7	講義内容	11-2 国際疾病分類群ファミリー論 3		
	該当到達目標	予習	11-2-2 2.国際疾病分類-腫瘍学(ICD-O)に目を通す	1.5 時間
	3	復習	国際疾病分類-腫瘍学(ICD-O)を理解する	1 時間
8	講義内容	11-3 国際疾病分類の利用 1		
	該当到達目標	予習	11-3-1 原死因選択ルール 1.死因の定義と死亡診断書に目を通す	1.5 時間
	3	復習	死因の定義と死亡診断書を理解する	1 時間
9	講義内容	11-3 国際疾病分類の利用 2		
	該当到達目標	予習	11-3-1 原死因選択ルール 2.原死因の選択ルールに目を通す	1.5 時間
	3	復習	原死因の選択ルールを理解する	1 時間
10	講義内容	11-3 国際疾病分類の利用 3		
	該当到達目標	予習	11-3-1 原死因選択ルール 3.各原則・ルールの内容「一般原則」「選択ルール 1～3」に目を通す	1.5 時間
	3	復習	各原則・ルールの内容「一般原則」「選択ルール 1～3」の例題に回答し理解する	1 時間
11	講義内容	11-3 国際疾病分類の利用 4		
	該当到達目標	予習	11-3-1 原死因選択ルール 各原則・ルールの内容「修正ルール A~F」に目を通す	1.5 時間
	3	復習	各原則・ルールの内容「修正ルール A~F」の例題に回答し理解する	1 時間
12	講義内容	11-3 国際疾病分類の利用 5		
	該当到達目標	予習	4.周産期死亡に目を通す	1.5 時間
	3	復習	周産期死亡について理解する	1 時間
13	講義内容	11-3-2 主要病態のコーディングと再選択ルール■		
	該当到達目標	予習	11-3-2 主要病態のコーディングと再選択ルール、1.主要病態の定義 に目を通す	1.5 時間
	3	復習	主要病態のコーディングと再選択ルールおよび主要病態の定義を理解する	1 時間
14	講義内容	11-3-2 2.主要病態の再選択ルール、3.コーディングのためのガイドライン		
	該当到達目標	予習	11-3-2 2.主要病態の再選択ルール 3.コーディングのためのガイドラインに目を通す	1.5 時間
	4	復習	主要病態の再選択ルール、コーディングのためのガイドラインを理解する	1 時間
15	講義内容	11-3-3ICD を用いるうえでの注意点■		

	該当到達目標	予習	11-3-3ICD を用いるうえでの注意点に目を通す	1.5	時間
	4	復習	ICD を用いるうえでの注意点を理解する	1	時間
合計時間(予習・復習)				37.5	時間
備考	診療情報管理士資格必修科目 記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないためについては、各自で補完すること。 質問はメールでも可能。 ■:実務経験に基づく内容を示す。				

科目名		国際統計分類Ⅱ(専門展開科目)		科目ナンバリング	HID313
英文名		International Statistical Classification II		講義形態	講義
担当教員		大川 喜代美			
科目に関連した実務経験		診療報管理士として診療情報管理業務および医事課に勤務(経験)			
学年・開講期		3 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位	
履修を必須とする資格		診療情報管理士			
学位授与方針との対応			豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル
		4	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力
		6	問題解決力		
SDGs との関連		① ② ③ ④ ⑥ ⑫			
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		①人体構造(解剖生理)、医学各論等で学習した知識を生かし、国際統計分類Ⅰの学習と関連付けながら、ICD-10 の各章に沿った疾病分類体系を学習し、その特徴を踏まえて統計として正しい分類ができるよう理解を深める。退院時要約や死亡診断書等を用いて診療記録の記載内容を把握し、主傷病名等の診断名および原死因の統計上必要な分類コードを正確に選択できる知識を習得する。 ②授業期間全体を通じた授業の進め方 各講義ではテーマについて概要を説明する。授業はテキストにて要点を提示する。			
到達目標		1.ICD-10 各章の分類体系およびその特徴と留意事項の理解することができる。 2.分類コードの演習を含めた総合学習することができる。■			
使用教材		診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 診療情報管理士教育問題集(専門・診療情報管理編) ICD-10 第1巻「内容例示表」(2013 年版) ICD-10 第3巻「索引表」(2013 年版)			
参考文献		診療情報管理学 診療情報管理士業務指針 診療情報の記録指針			
評価方法		授業参加への積極性 10%、定期試験 90%			
課題・評価に対するフィードバック方法		授業時間内に期末試験について、出題の意図と内容の解説を行う。			
オフィスアワー(研究室)		大川(情報):木曜日 2 限 (1 号館 609 研究室)		メールアドレス (#→@)	大川(情報):okawa-ki#takasaki-u.ac.jp
1	講義内容	12-1 国際疾病分類の基本 1			
	該当到達目標	予習	「12-1-1 コーディングを始めるにあたって」、「コーディングの目的および注意事項」、「12-1-2 ICD-10(2013 年版)準拠の概説」、「ICD と医学用語集の違い」、12-1-3「国際統計分類(ICD)」編さんの基準とその特徴」に目を通す		1.5 時間
		1 復習	「コーディングを始めるにあたって」、「コーディングの目的および注意事項」、「ICD-10(2013 年版)準拠の概説」、「ICD と医学用語集の違い」、「国際統計分類(ICD)」編さんの基準とその特徴」を理解する		1 時間
2	講義内容	12-1 国際疾病分類の基本 2			
	該当到達目標	予習	12-1-4「内容例示表」と「索引表」の使用方法、12-1-5複数病態分類、複合病態分類及び二重分類、12-1-6「内容例示表」及び「索引表」で用いられている表示記号と符号、12-1-7 用語の定義及び傷病名の構成に目を通す		1.5 時間

	1	復習	「内容例示表」と「索引表」の使用法、複数病態分類、複合病態分類及び二重分類、「内容例示表」及び「索引表」で用いられている表示記号と符号、用語の定義及び傷病名の構成を理解する	1 時間
3	講義内容	第1章・第3章・第4章の疾病分類体系の理解■		
	該当到達目標	予習	第1章・第3章・第4章の特徴と疾病構造に目を通す	1.5 時間
	2	復習	第1章・第3章・第4章の疾病分類体系の理解	1 時間
4	講義内容	第5章～第7章の疾病分類体系の理解■		
	該当到達目標	予習	第5章～第7章の特徴と疾病構造に目を通す	1.5 時間
	2	復習	第5章～第7章の疾病コーディングを理解する	1 時間
5	講義内容	第8章～第10章の疾病分類体系の理解■		
	該当到達目標	予習	第8章～第10章特徴と疾病構造に目を通す	1.5 時間
	2	復習	第8章～第10章の疾病コーディングを理解する	1 時間
6	講義内容	第11章～第13章の疾病分類体系の理解■		
	該当到達目標	予習	第11章～第13章特徴と疾病構造に目を通す	1.5 時間
	2	復習	第11章～第13章疾病コーディングを理解する	1 時間
7	講義内容	第2章新生物 疾病分類体系の理解 1■		
	該当到達目標	予習	第2章新生物のこの章の特徴に目を通す	1.5 時間
	2	復習	第2章新生物のこの章の特徴を理解する	1 時間
8	講義内容	第2章新生物のこの章の特徴を理解する■		
	該当到達目標	予習	新生物の分類を理解するための基本事項に目を通す	1.5 時間
	2	復習	新生物の分類を理解するための基本事項を理解する	1 時間
9	講義内容	第2章新生物 疾病分類体系の理解 3■		
	該当到達目標	予習	新生物の分類に際しての注意事項 1) 原発部位等に目を通す	1.5 時間
	2	復習	新生物の分類に際しての注意事項 1) 原発部位等を理解する	1 時間
10	講義内容	第2章新生物 疾病分類体系の理解 4■		
	該当到達目標	予習	2) 機能的活性および、異所性組織に目を通す	1.5 時間
	2	復習	2) 機能的活性および、異所性組織を理解する	1 時間
11	講義内容	第2章新生物 疾病分類体系の理解 5■		
	該当到達目標	予習	新生物における主傷病名の選択に目を通す	1.5 時間
	2	復習	新生物における主傷病名の選択を理解する	1 時間
12	講義内容	第2章新生物 疾病分類体系の理解 6■		
	該当到達目標	予習	第2章新生物の疾病構造に目を通す	1.5 時間
	2	復習	第2章新生物疾病コーディングを理解する	1 時間
13	講義内容	第14章～第16章の疾病分類体系の理解■		
	該当到達目標	予習	特第14章～第16章徴と疾病構造に目を通す	1.5 時間
	2	復習	第14章～第16章疾病コーディングを理解する	1 時間
14	講義内容	第17章～第19章の疾病分類体系の理解■		
	該当到達目標	予習	第17章～第19章特徴と疾病構造に目を通す	1.5 時間
	2	復習	第17章～第19章特徴と疾病構造を理解する	1 時間
15	講義内容	第20章・第21章の疾病分類体系の理解■		
	該当到達目標	予習	第20章・第21章の疾病分類体系と、原死因コーディングに目を通す	1.5 時間

	2	復習	第20章・第21章疾病コーディングと原死因コーディングを理解する	1 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	診療情報管理士資格必修科目 記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないためについては、各自で補完すること。 質問はメールでも可能。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	医療事務論Ⅰ（医療事務の基礎知識）（専門展開科目）				科目ナンバリング	HID315
英文名	Medical Clerical Theory Ⅰ				講義形態	講義
担当教員	高橋 真悟					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格	医療事務管理士技能認定試験					
学位授与方針との対応	2	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
	3	問題解決力				
SDGs との関連	③ ④					
実施概要	① 診療報酬に関する基礎知識を学び、病院勤務に必要な知識を身に付ける。					
①講義の目標	② 各講義で当該箇所を解説し、例題などの問題を解く。また、当該箇所について宿題レポートの課題を出す。					
②講義の実施方法						
到達目標	1.病院概論が理解できる。 2.医療保障制度が理解できる。 3.請求事務の基本を知る。 4.診察料について理解する。 5.医学管理料について理解する。 6.在宅医療について理解する。 7.投薬料について理解する。 8.注射料について理解する。 9.処置料を理解する。 10.リハビリテーション料を理解する。					
使用教材	医科医療事務テキスト 1～3、トレーニングブック、サポートブック、レポート集、レセプト用紙、診療報酬点数表。					
参考文献						
評価方法	授業への取り組み 10%、期末試験 90%					
課題・評価に対するフィードバック方法	課題を出した授業の翌週に答え合わせを行い、回収後、誤りの多い箇所について解説を行う。					
オフィスアワー（研究室）	水曜日 4 限。質問はメールでも可能。		メールアドレス（#→@）	takahashi-shin#takasaki-u.ac.jp		
1	講義内容	ガイダンス				
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 1「1 章 医療機関と薬局」に目を通す			1.5 時間
	1	復習	テキストの使い方、予習復習方法を理解し、実践する。			1.5 時間
2	講義内容	病院概論				
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 1「2 章 医療保険制度、3 章 保険給付」に目を通す			1.5 時間
	1, 2	復習	宿題レポートを作成する			1.5 時間
3	講義内容	医療保障制度について				
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「3 部 2 章 医療事務の仕事」に目を通す			1.5 時間
	2	復習	宿題レポートを作成する			1.5 時間
4	講義内容	診療報酬請求事務の基本と上書き				
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「3 部 3 章 レセプトの基礎知識、4 章 点数算定の原則」に目を通す			1.5 時間

	3	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
5	講義内容	診察料①		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「4 部 1 章初・再診料」に目を通す	1.5 時間
	4	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
6	講義内容	診察料②		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「4 部 1 章初・再診料」の例題を解く	1.5 時間
	4	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
7	講義内容	医学管理料①		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「2 章 医学管理等 B」に目を通す	1.5 時間
	5	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
8	講義内容	医学管理料②		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「2 章 医学管理等 B」の例題を解く	1.5 時間
	5	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
9	講義内容	在宅医療料		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「3 章 在宅医療 C」に目を通す	1.5 時間
	6	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
10	講義内容	投薬料①		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「4 章 投薬 F」に目を通す	1.5 時間
	7	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
11	講義内容	投薬料②		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「4 章 投薬 F」の例題を解く	1.5 時間
	7	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
12	講義内容	注射料		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「5 章 注射 G」に目を通す	1.5 時間
	8	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
13	講義内容	処置料①		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「6 章 処置 J」に目を通す	1.5 時間
	9	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
14	講義内容	処置料②		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「6 章 処置 J」の例題を解く	1.5 時間
	9	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
15	講義内容	リハビリテーション料		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「7 章 リハビリテーション H」に目を通す	1.5 時間
	10	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	医療事務管理士資格取得希望学生は必修科目。 医療事務論Ⅱとセットで必ず受講すること。(セットで履修できない場合は予めご相談ください) ※オンラインでの実施となった場合、各講義の課題提出をもって出席とする。			

科目名	医療事務論Ⅱ（点数計算とレセプトの書き方Ⅰ）（専門展開科目）				科目ナンバリング	HID316
英文名	Medical Clerical Theory Ⅱ				講義形態	演習
担当教員	高橋 真悟					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格	医療事務管理士技能認定試験					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能		2	生涯学習力	
	3	問題解決力				
SDGs との関連	③ ④					
実施概要	① 診療報酬に関する基礎知識を学び、病院勤務に必要な知識を身に付け、医療分野を学習する力を養う。					
①講義の目標	② 各講義で当該箇所を解説し、例題などの問題を解く。また、当該箇所について課題を出す。					
②講義の実施方法						
到達目標	1.病院概論の詳細を理解できる。 2.医療保障制度の詳細を理解できる。 3.請求事務の上書きをかけるようにできる。 4.診察料について、計算・請求できる。 5.医学管理料について、計算・請求できる。 6.在宅医療について、計算・請求できる。 7.投薬料について、計算・請求できる。 8.注射料について、計算・請求できる。 9.処置料を計算・請求できる。 10.リハビリテーション料を計算・請求できる。					
使用教材	医科医療事務テキスト 1～3、トレーニングブック、サポートブック、レポート集、レセプト用紙、診療報酬点数表。					
参考文献						
評価方法	授業への取り組み 10%、期末試験 90%					
課題・評価に対するフィードバック方法	宿題を出した翌週の授業にて答え合わせを行い、回収後、誤りの多い箇所について解説を行う。					
オフィスアワー（研究室）	水曜日 4 限。質問はメールでも可能。		メールアドレス（#→@）		takahashi-shin#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンス				
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 1「1 章 医療機関と薬局」内の問題を解く			1.5 時間
	1	復習	テキストの使い方、予習復習方法を理解し、実践する。			1.5 時間
2	講義内容	病院概論				
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 1「2 章 医療保険制度、3 章 保険給付」内の問題を解く			1.5 時間
	1, 2	復習	宿題レポートを作成する			1.5 時間
3	講義内容	医療保障制度について				
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「3 部 2 章 医療事務の仕事」内の問題を解く			1.5 時間
	2	復習	宿題レポートを作成する			1.5 時間
4	講義内容	診療報酬請求事務の基本と上書き				

	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「3 部 3 章 レセプトの基礎知識、4 章 点数算定の原則」内の問題を解く	1.5 時間
	3	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
5	講義内容	診察料①		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「4 部 1 章 初・再診料」内の問題を解く	1.5 時間
	4	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
6	講義内容	診察料②		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「4 部 1 章 初・再診料」内の問題を解く	1.5 時間
	4	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
7	講義内容	医学管理料①		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「2 章 医学管理等 B」内の問題を解く	1.5 時間
	5	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
8	講義内容	医学管理料②		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「2 章 医学管理等 B」内の問題を解く	1.5 時間
	5	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
9	講義内容	在宅医療料		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「3 章 在宅医療 C」内の問題を解く	1.5 時間
	6	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
10	講義内容	投薬料①		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「4 章 投薬 F」内の問題を解く	1.5 時間
	7	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
11	講義内容	投薬料②		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「4 章 投薬 F」内の問題を解く	1.5 時間
	7	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
12	講義内容	注射料		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「5 章 注射 G」内の問題を解く	1.5 時間
	8	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
13	講義内容	処置料①		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「6 章 処置 J」内の問題を解く	1.5 時間
	9	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
14	講義内容	処置料②		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「6 章 処置 J」内の問題を解く	1.5 時間
	9	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
15	講義内容	リハビリテーション料		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「7 章 リハビリテーション H」内の問題を解く	1.5 時間
	10	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	医療事務管理士資格取得希望学生は必修科目。 医療事務論Ⅰとセットで必ず受講すること。(セットで履修できない場合は予めご相談ください) ※オンラインでの実施となった場合、各講義の課題提出をもって出席とする。			

科目名	医療事務論Ⅲ（点数計算とレセプトの書き方Ⅱ）（専門展開科目）				科目ナンバリング	HID317
英文名	Medical Clerical Theory Ⅲ				講義形態	演習
担当教員	高橋 真悟					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格	医療事務管理士技能認定試験					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能		2	生涯学習力	
	3	問題解決力				
SDGs との関連	③ ④					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 診療報酬に関する基礎知識を学び、病院勤務に必要な知識を身に付け、医療分野を学習する力を養う。 ② 各講義で当該箇所を解説し、例題などの問題を解く。また、当該箇所について宿題レポートの課題を出す。					
到達目標	1.検査料を理解する。 2.手術料を理解する。 3.麻酔料を理解する。 4.画像診断料を理解する。 5.入院料について理解する。 6.公費負担医療やその他の制度について理解できる。 7.点検作業について理解する。					
使用教材	医科医療事務テキスト 1～3、トレーニングブック、サポートブック、レポート集、レセプト用紙、診療報酬点数表。					
参考文献						
評価方法	授業への取り組み 10%、期末試験 90%					
課題・評価に対するフィードバック方法	課題を出した授業の翌週に答え合わせを行い、回収後、誤りの多い箇所について解説を行う。					
オフィスアワー（研究室）	月曜日 2 限。質問はメールでも可能。			メールアドレス（#→@）	takahashi-shin#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	検査料①				
	該当到達目標 1	予習	医科医療事務テキスト 3「8 章 検査 D」に目を通す			1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する			1.5 時間
2	講義内容	検査料②				
	該当到達目標 1	予習	医科医療事務テキスト 3「8 章 検査 D」の例題を解く			1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する			1.5 時間
3	講義内容	検査料③				
	該当到達目標 1	予習	医科医療事務テキスト 3「9 章 病理診断 N」に目を通す			1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する			1.5 時間
4	講義内容	手術料①				
	該当到達目標 2	予習	医科医療事務テキスト 3「10 章 手術 K」に目を通す			1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する			1.5 時間
5	講義内容	手術料②				

	該当到達目標 2	予習	医科医療事務テキスト 3「10 章 手術 K」の例題を解く	1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
6	講義内容	麻酔料		
	該当到達目標 3	予習	医科医療事務テキスト 3「11 章 麻酔 L」に目を通す	1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
7	講義内容	画像診断料①		
	該当到達目標 4	予習	医科医療事務テキスト 3「12 章 画像診断 E」に目を通す	1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
8	講義内容	画像診断料②		
	該当到達目標 4	予習	医科医療事務テキスト 3「12 章 画像診断 E」の例題を解く	1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
9	講義内容	入院料①		
	該当到達目標 5	予習	医科医療事務テキスト 3「14 章 入院 A」に目を通す	1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
10	講義内容	入院料②		
	該当到達目標 5	予習	医科医療事務テキスト 3「14 章 入院 A」の例題を解く	1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
11	講義内容	公費負担医療		
	該当到達目標 6	予習	医科医療事務テキスト 1「1 章 公費負担医療」に目を通す	1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
12	講義内容	その他の制度		
	該当到達目標 6	予習	医科医療事務テキスト 1「2 章 その他の医療制度」に目を通す	1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
13	講義内容	点検・総括・まとめ		
	該当到達目標 7	予習	医科医療事務テキスト 3「レセプトの点検」に目を通す	1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
14	講義内容	模擬試験①		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 4 トレーニングブックの外来レセプト 1 枚を作成する	1.5 時間
		復習	模擬テストの解答を見直し、本試験に備える	1.5 時間
15	講義内容	模擬試験②		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 4 トレーニングブックの入院レセプト 1 枚を作成する	1.5 時間
		復習	模擬テストの解答を見直し、本試験に備える	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	医療事務管理士資格取得希望学生は必修科目。 医療事務論Ⅳとセットで必ず受講すること。(セットで履修できない場合は予めご相談ください) ※オンラインでの実施となった場合、各講義の課題提出をもって出席とする。			

科目名	医療事務論Ⅳ(公費負担医療他、総合演習)(専門展開科目)				科目ナンバリング	HID318
英文名	Medical Clerical Theory IV				講義形態	演習
担当教員	高橋 真悟					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択	2単位		
履修を必須とする資格	医療事務管理士技能認定試験					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能		2	生涯学習力	
	3	問題解決力				
SDGs との関連	③ ④					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 診療報酬に関する基礎知識を学び、病院勤務に必要な知識を身に付け、医療分野を学習する力を養う。 ② 各講義で当該箇所を解説し、例題などの問題を解く。また、当該箇所について宿題レポートの課題を出す。					
到達目標	1.検査料の計算・請求できる。 2.手術料の計算・請求できる。 3.麻酔料の計算・請求できる。 4.画像診断料の計算・請求できる。 5.入院料について、計算・請求できる。 6.公費負担医療やその他の制度について詳しく理解できる。 7.点検作業について、総括とまとめができる。					
使用教材	医科医療事務テキスト 1～3、トレーニングブック、サポートブック、レポート集、レセプト用紙、診療報酬点数表。					
参考文献						
評価方法	授業への取り組み 10%、期末試験 90%					
課題・評価に対するフィードバック方法	宿題を出した翌週の授業にて答え合わせを行い、回収後、誤りの多い箇所について解説を行う。					
オフィスアワー(研究室)	月曜日 2 限。質問はメールでも可能。			メールアドレス(#→@)	takahashi-shin#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	検査料①				
	該当到達目標 1	予習	医科医療事務テキスト 3「8 章 検査 D」内の問題を解く			1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する			1.5 時間
2	講義内容	検査料②				
	該当到達目標 1	予習	医科医療事務テキスト 3「8 章 検査 D」内の問題を解く			1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する			1.5 時間
3	講義内容	検査料③				
	該当到達目標 1	予習	医科医療事務テキスト 3「9 章 病理診断 N」内の問題を解く			1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する			1.5 時間
4	講義内容	手術料①				
	該当到達目標 2	予習	医科医療事務テキスト 3「10 章 手術 K」内の問題を解く			1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する			1.5 時間
5	講義内容	手術料②				

	該当到達目標 2	予習	医科医療事務テキスト 3「10 章 手術 K」内の問題を解く	1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
6	講義内容	麻酔料		
	該当到達目標 3	予習	医科医療事務テキスト 3「11 章 麻酔 L」内の問題を解く	1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
7	講義内容	画像診断料①		
	該当到達目標 4	予習	医科医療事務テキスト 3「12 章 画像診断 E」内の問題を解く	1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
8	講義内容	画像診断料②		
	該当到達目標 4	予習	医科医療事務テキスト 3「12 章 画像診断 E」内の問題を解く	1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
9	講義内容	入院料①		
	該当到達目標 5	予習	医科医療事務テキスト 3「14 章 入院 A」内の問題を解く	1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
10	講義内容	入院料②		
	該当到達目標 5	予習	医科医療事務テキスト 3「14 章 入院 A」内の問題を解く	1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
11	講義内容	公費負担医療		
	該当到達目標 6	予習	医科医療事務テキスト 1「1 章 公費負担医療」内の問題を解く	1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
12	講義内容	その他の制度		
	該当到達目標 6	予習	医科医療事務テキスト 1「2 章 その他の医療制度」内の問題を解く	1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
13	講義内容	点検・総括・まとめ		
	該当到達目標 7	予習	医科医療事務テキスト 3「レセプトの点検」内の問題を解く	1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
14	講義内容	模擬試験①		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 4 トレーニングブックの外来レセプト 1 枚を作成する	1.5 時間
		復習	模擬テストの解答を見直し、本試験に備える	1.5 時間
15	講義内容	模擬試験②		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 4 トレーニングブックの入院レセプト 1 枚を作成する	1.5 時間
		復習	模擬テストの解答を見直し、本試験に備える	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	医療事務管理士資格取得希望学生は必修科目。 医療事務論Ⅲとセットで必ず受講すること。(セットで履修できない場合は予めご相談ください) ※オンラインでの実施となった場合、各講義の課題提出をもって出席とする。			

科目名	医療経済学(専門展開科目)				科目 ナンバリング	HID319
英文名	Health Economics				講義形態	講義
担当教員	町田 修三					
科目に関連した 実務経験						
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする 資格						
学位授与方針 との対応	2	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能		1	生涯学習力	
	2	問題解決力				
SDGs との関連	34816					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	将来、医療関連の現場で働く可能性のある学生が、医療経済関連の知識や医療の実態を学び、専門家としての基礎知識を身につけることを目標としている。講義では、日本の医療の特性や現状を理解することに主眼を置くが、医療の国際化をにらんで海外諸国との比較を導入することで更に理解度を深めてゆく。また、新しい学問領域である薬剤経済学のエッセンスも一部紹介する。 授業のはじめに、コメントペーパー上に学生より出された質問や疑問に答えることで、前回の復習をする。知識提供型の講義ではあるが、可能な限りアクティブラーニングの手法を用いた講義にする。積極的な参加が求められる。					
到達目標	1. 経済財としての医療の特徴を説明できる。 2. 医療の供給体制の構築、医療スタッフそれぞれの役割、連携について説明できる。 3. 国民医療費の推移・動向と国民医療費の増大要因について理解し、他者に説明できる。 4. 診療報酬の基礎を理解したうえで、日本の薬価基準制度について他国との比較もふまえて説明できる。 5. 日本の社会保障制度の枠組みと特徴、特に医療制度、医療保険制度について説明できる。 6. これまで実施されてきた医療改革の事例を理解し、今後必要となる改革(混合診療や高齢者医療など)について自分の意見を持ち、他者に説明できる。 7. アメリカやヨーロッパ諸国の医療制度について、日本との違いを列挙し個々に説明できる。 8. 発展途上国の医療制度について、日本との違いを列挙し個々に説明できる。 9. 日本の病医院経営の現状分析ができ、医療経営や医療マネジメントの理論と実践手法を身につけている。また、医療スタッフをとりまく医療マネジメントの実際について理解している。 10. 製薬企業や医薬品市場の特徴と、医薬品流通の仕組みや特性について概説できる。 11. 薬剤経済学の一分野として、薬物療法の経済評価手法について、そのエッセンスを理解し概説できる。					
使用教材	必修テキストはない。講義では毎回資料、データを配布する					
参考文献	推薦テキストは多数あるので、講義の中で必要に応じて紹介する。					
評価方法	定期試験 80%、講義評価(コメントペーパー、クイズ、小レポート)20%で評価する。					
課題・評価に対する フィードバック方法	コメントペーパーに記載された学生からの質問事項、疑問点については、次回の講義で解説する。クイズについても次回の講義で解説する。小レポートについては、後日出題意図を解説するとともに、コメントを付して返却する。					
オフィスアワー (研究室)	月曜日 4 限目、金曜日 2 限目 研究室:1 号館 6 階 603		メールアドレス (#→@)		machida#takasaki-u.ac.jp	

1	講義内容	イントロダクション、日本の医療の基礎知識		
	該当到達目標	予習	シラバスを熟読し、講義の概要と目標を理解しておく	1 時間
		復習	クイズ形式で学習した日本の医療の特徴について確認する	1 時間
2	講義内容	医療需要(医療需要の特徴)		
	該当到達目標 1	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容についての理解を深める	1 時間
3	講義内容	医療の供給体制(医療労働市場、医療の質)(一部 AL[アクティブラーニング])実施)		
	該当到達目標 2	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の再理解と、興味を持った部分の自主的リサーチ	1 時間
4	講義内容	国民医療費の分析		
	該当到達目標 3	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の再理解と、興味を持った部分の自主的リサーチ	1 時間
5	講義内容	診療報酬と薬価制度(医療と薬剤の価格の決まり方)		
	該当到達目標 4	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の再理解と、興味を持った部分の自主的リサーチ	1.5 時間
6	講義内容	日本の医療制度と医療改革(一部 AL 実施)		
	該当到達目標 5,6	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の再理解と、興味を持った部分の自主的リサーチ	1.5 時間
7	講義内容	世界の医療制度 I (アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ)		
	該当到達目標 7	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の再理解と、興味を持った部分の自主的リサーチ	1.5 時間
8	講義内容	世界の医療制度 II (途上国と新興国)		
	該当到達目標 8	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の再理解と、興味を持った部分の自主的リサーチ	1.5 時間
9	講義内容	医療マネジメント I (病院の経営分析)		
	該当到達目標 9	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の再理解と、興味を持った部分の自主的リサーチ	1.5 時間
10	講義内容	医療マネジメント II (選ばれる病院になるための戦略)(一部 AL 実施)		
	該当到達目標 9	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の再理解と、興味を持った部分の自主的リサーチ	1.5 時間
11	講義内容	医薬品産業の分析 I (製薬企業の行動と産業構造)		
	該当到達目標 10	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の再理解と、興味を持った部分の自主的リサーチ	1.5 時間
12	講義内容	医薬品産業の分析 II (医薬品卸企業の行動と産業構造)(一部 AL 実施)		
	該当到達目標 10	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の再理解と、興味を持った部分の自主的リサーチ	1.5 時間
13	講義内容	薬剤経済学 I (薬剤療法の費用-効果分析、モデル分析)		
	該当到達目標 11	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の再理解、特に解答方法の再確認	1.5 時間
14	講義内容	薬剤経済学 II (演習)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておくとともに、練習問題を解いておく	1.5 時間

	11	復習	講義内容の再理解、特に解答方法の再確認	1.5 時間
15	講義内容	全体のまとめと確認テスト		
	該当到達目標	予習	これまで学習した事項について目を通し、理解を深めておく	3 時間
	1～11	復習	試験の出題意図、講義の理解度の再確認と今後の学習の方向性を考える	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				38 時間
備考	記載した予習・復習時間に加え、推薦テキストの講読や新聞・雑誌の医療関連記事のチェック等により、単位修得に必要な時間数を各自確保すること。			

科目名	ソフトウェア工学(専門展開科目)			科目ナンバリング	HID320
英文名	Software Engineering			講義形態	講義
担当教員	東福寺 幾夫				
科目に関連した実務経験	オリンパス在職中に、血液分析装置等の組込み用ソフトウェア開発や、病院検査室向け臨床検査システムのシステム開発管理に従事した。				
学年・開講期	3 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位		
履修を必須とする資格					
学位授与方針との対応	1	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
	7	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
	2	問題解決力			
SDGs との関連	① ③ ④ ⑤ ⑧ ⑨ ⑪ ⑫ ⑰				
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	ソフトウェアの規模は拡大の一途をたどっており、大規模なソフトウェアを効率的に正しく作成するためには適切な方法論が必要である。本講義では、大規模ソフトウェア開発のための基本的な方法論を学ぶ。 教科書を中心に、ポイントを板書で解説する。さらに全員が演習問題を解き、指名された代表者が解答を板書することで、授業は進行する。また、理解度を確認する宿題や演習問題を課すことがある。学期末には、総合的な演習問題を配布し、授業内容の復習を行う。				
到達目標	1. 大規模ソフトウェア開発に係る様々な課題を理解し、課題解決への取り組みについて説明できる。■ 2. ソフトウェアの開発工程を説明できる。■ 3. 要求分析についてしっかりと理解して説明することができる。 4. ソフトウェアの設計や開発について説明できる。■ 5. 開発したソフトウェアの品質管理、保守・再利用について説明できる。				
使用教材	「情報工学レクチャーシリーズ ソフトウェア工学」、高橋直久・丸山勝久共著、森北出版株式会社、2010年、3,000 円、ISBN978-4-627-81061-7 必要に応じて資料を配布する。				
参考文献					
評価方法	期末試験 70%、授業参加度 30%				
課題・評価に対するフィードバック方法	授業内で適宜コメントする。				
オフィスアワー (研究室)	月曜日の 4 時限と水曜日 3 時限 1 号館 6 階 605		メールアドレス (#→@)	tofukuji#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	講義全体のガイダンス			
	該当到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する		1 時間
	1	復習	講義内容、到達目標、成績評価法などを確認する		1.5 時間
2	講義内容	大規模ソフトウェア開発の課題■			
	該当到達目標	予習	教科書第 1 章に目を通す		1 時間
	1	復習	ソフトウェア危機、大規模ソフトウェアがもたらす問題、問題解決への取り組みについて理解する。		1.5 時間
3	講義内容	ソフトウェアの開発工程■			
	該当到達目標	予習	教科書第 2 章に目を通す		1 時間
	2	復習	ソフトウェアの開発工程、ウォーターフォールモデル、進化型プロセスモデルに		1.5 時間

			ついて理解する。	
4	講義内容	プロジェクト管理■		
	該当到達目標	予習	教科書第3章に目を通す	1 時間
	2	復習	プロジェクト管理、開発工数の見積、品質管理について理解する。	1.5 時間
5	講義内容	要求分析(1)■		
	該当到達目標	予習	教科書第4章に目を通す	1 時間
	3	復習	要求分析、要求獲得について理解する。	1.5 時間
6	講義内容	要求分析(2)■		
	該当到達目標	予習	教科書第4章に目を通す	1 時間
	3	復習	要求仕様化、要求確認について理解する。	1.5 時間
7	講義内容	構造化分析		
	該当到達目標	予習	教科書第5章に目を通す	1 時間
	3	復習	構造化分析、DFD、実体関連図、状態遷移図について理解する。	1.5 時間
8	講義内容	オブジェクト指向分析		
	該当到達目標	予習	教科書第6章に目を通す	1 時間
	3	復習	オブジェクト指向開発方法論、オブジェクト指向分析の手順について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	アーキテクチャ設計		
	該当到達目標	予習	教科書第7章に目を通す	1 時間
	4	復習	アーキテクチャ設計、アーキテクチャ設計のプロセス、アーキテクチャスタイルについて理解する。	1.5 時間
10	講義内容	ユーザインタフェース設計		
	該当到達目標	予習	教科書第8章に目を通す	1 時間
	4	復習	ユーザインタフェース設計、対話方式、画面設計について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	モジュール設計■		
	該当到達目標	予習	教科書第9章に目を通す	1 時間
	4	復習	モジュール設計、モジュール分割の評価基準、構造化システム設計について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	プログラミング		
	該当到達目標	予習	教科書第10章に目を通す	1 時間
	4	復習	プログラミング、構造化プログラミング、データ中心アプローチについて理解する。	1.5 時間
13	講義内容	テストと検証■		
	該当到達目標	予習	教科書第11章に目を通す	1 時間
	5	復習	ソフトウェアテスト、テスト技法、ソフトウェア検証、検証技法について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	保守と再利用■		
	該当到達目標	予習	教科書第12章に目を通す	1 時間
	5	復習	ソフトウェア保守、保守技法、ソフトウェア再利用、再利用技法について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当到達目標	予習	教科書全体に目を通す	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	教科書全体に目を通す	1.5 時間

合計時間(予習・復習)		37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。	

科目名	ネットワークⅡ（専門展開科目）				科目ナンバリング	HID321
英文名	Network Ⅱ（Network Construction Technology）				講義形態	講義
担当教員	長澤 亨					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格	IT パスポート、基本情報技術者試験					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	6	健康・医療および情報に関する知識・技能		1	生涯学習力	
	3	問題解決力				
SDGs との関連	④					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	ネットワーク技術は日々発展進化し、高速化がなされると同時に身の回りの機器がすべてネットワークに接続する時代になってきた。また、PC 以外にも様々なスマートメディアの利用が進む中で、セキュリティ技術の重要性が増すとともに、ネットワークの技術が大きく変わってきた。特に高速化技術と常時接続性、そして冗長化技術である。本講義では、実際のケーブル、PC はもちろん実際のルータやスイッチの設定を通して、ネットワーク技術を身に付けることを目的とする。授業の進め方は、基本指定教科書の内容をまとめたスライドで進めるが、内容補足のために板書によってより詳しく解説し、知識の定着を図る。定期試験に代えて章ごとに演習課題を解き、知識定着の確認を行う。演習課題の作成において知識が不足していると思われる場合は、教科書や関連資料等を熟読して補完するよう促す。					
到達目標	1.ネットワーク構築の流れを説明できる。 2.物理設計を説明できる。 3.論理設計を説明できる。 4.セキュリティ設計・負荷分散設計を説明できる。 5.高可用性を説明できる。 6.管理設計を説明できる。					
使用教材	教科書：ネットワーク技術＆設計入門 みやたひろし著 ISBN978－4－7973－7351					
参考文献						
評価方法	定期試験 60%、演習課題 40%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。					
課題・評価に対するフィードバック方法	課題に対する正解を示し、提出内容にコメントを付けて返却する。 定期試験の後、正解を示し、評価を返却する。					
オフィスアワー （研究室）	月曜日の 1 時限、3 時限 質問はメールでも受け付ける。 研究室：1 号館 6 階 608		メールアドレス （#→@）		nagasawa#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ネットワーク構築の流れ				
	該当到達目標	予習	「ネットワーク構築の流れ」を読んでおく			1 時間
	1	復習	学修内容を復習する			1.5 時間
2	講義内容	物理層の技術				
	該当到達目標	予習	「物理層の技術」を読んでおく			1 時間
	2	復習	学修内容を復習する			1.5 時間
3	講義内容	物理設計				

	該当到達目標 3	予習	「物理設計」を読んでおく	1 時間
		復習	学修内容を復習する	1.5 時間
4	講義内容	論理設計 1		
	該当到達目標	予習	「論理設計のデータリンク層の技術」を読んでおく	1 時間
	4	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
5	講義内容	論理設計 2		
	該当到達目標	予習	「論理設計のネットワーク層の技術」を読んでおく	1 時間
	4	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
6	講義内容	論理設計 3		
	該当到達目標	予習	「論理設計」を読んでおく	1 時間
	4,5	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
7	講義内容	セキュリティ設計・負荷分散設計 1		
	該当到達目標	予習	「トランスポート層の技術」を読んでおく	1 時間
	4,5	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
8	講義内容	セキュリティ設計・負荷分散設計 2		
	該当到達目標	予習	ファイアウォールでシステムを守る」を読んでおく	1 時間
	4,5	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
9	講義内容	セキュリティ設計・負荷分散設計 3		
	該当到達目標	予習	「セッション層からアプリケーション層」を読んでおく	1 時間
	4,5	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
10	講義内容	セキュリティ設計・負荷分散設計 4		
	該当到達目標	予習	「セキュリティ設計・負荷分散設計」を読んでおく	1 時間
	6	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
11	講義内容	高可用性設計 1		
	該当到達目標	予習	「冗長化技術」のを読んでおく	1 時間
	6	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
12	講義内容	高可用性設計 2		
	該当到達目標	予習	「高可用性」を読んでおく	1 時間
	6	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
13	講義内容	管理設計 1		
	該当到達目標	予習	「管理技術」を読んでおく	1 時間
	7	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
14	講義内容	管理設計 2		
	該当到達目標	予習	「監理設計」を読んでおく	1 時間
	7	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
15	講義内容	ネットワーク技術&設計入門のまとめ		
	該当到達目標	予習	「ネットワーク技術&設計入門」を読んでおく	1 時間
	8	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 VOD:出席と成績は課題提出で評価する。			

科目名	コンピュータアーキテクチャ(専門展開科目)			科目ナンバリング	HID322
英文名	Computer Architecture			講義形態	講義
担当教員	東福寺 幾夫				
科目に関連した実務経験	オリンパス在職中に、組み込み用マイコン応用回路の設計やシステムデバッグのためのエミュレータ開発、モニタプログラム(OS)の開発に従事した。				
学年・開講期	2年 前期	選必・単位数	選択 2単位		
履修を必須とする資格					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
	9	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
	1	問題解決力			
SDGsとの関連	3 4 5 7 8 9 17				
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	情報技術を学んでいくうえではコンピュータの基本的な知識を押さえておく必要がある。プログラミングを学ぶ上でも、コンピュータの仕組みや動作の原理を知っておくことは有用である。コンピュータシステムの設計原理であるコンピュータアーキテクチャを理解することで、効率のよいプログラム作成の基礎力を養成することを目標とする。 教科書を中心に、ポイントを板書で解説する。さらに全員が演習問題を解き、指名された代表者が解答を板書することで、授業は進行する。また、理解度を確認する宿題や演習問題を課すことがある。学期末には、総合的な演習問題を配布し、授業内容の復習を行う。				
到達目標	1. 「コンピュータアーキテクチャ」という用語を説明できる。 2. 命令の形式とアドレス指定の方式について説明できる。■ 3. 命令の実行サイクルと、割り込み制御について説明できる。■ 4. コンピュータの演算の仕組みを説明できる。 5. 記憶装置の階層化・高速化と仮想記憶方式について説明できる。 6. システムの構成方法と信頼性について説明できる。				
使用教材	教科書「わかりやすく図で学ぶコンピュータアーキテクチャ」 野地保著 共立出版				
参考文献					
評価方法	授業への参加と貢献 10%、授業毎のドリル 20%、期末試験 70%で評価し、60 点以上を合格とする。				
課題・評価に対するフィードバック方法	毎回の授業の冒頭でドリルを実施し、前回授業の振り返りを行う。また、出席カードで自宅での学習状況や授業における疑問点や改善要望等を収集する。				
オフィスアワー (研究室)	月曜日の 4 時限と水曜日 3 時限 1 号館 6 階 605		メールアドレス (#→@)	tofukuji#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンス			
	該当到達目標	予習	シラバスおよび教科書のまえがきを読み、講義の目標を理解する。		1 時間
	1	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価法などを確認する。		1.5 時間
2	講義内容	コンピュータアーキテクチャの基本ー1 コンピュータアーキテクチャとは・コンピュータ発達の歴史■			
	該当到達目標	予習	教科書第 1 章 1.1, 1.2 を読む		1 時間
	1	復習	教科書第 1 章の演習問題及びドリルを解く		1.5 時間
3	講義内容	コンピュータアーキテクチャの基本ー2 コンピュータアーキテクチャの概要■			
	該当到達目標	予習	教科書第 1 章 1.3 を読む		1 時間
	1	復習	教科書第 1 章の演習問題及びドリルを解く		1.5 時間
4	講義内容	情報の表現と単位ー1 情報の単位・数値の表現			

令和4年度 医療情報学科シラバス

	該当到達目標 1	予習	教科書第 2 章 2.1, 2.2 を読む	1 時間	
		復習	教科書第 2 章の演習問題及びドリルを解く	1.5 時間	
5	講義内容	情報の表現と単位ー2 文字の表現・誤り検出と訂正・論理演算■			
	該当到達目標 1	予習	教科書第 2 章 2.3～2.5 を読む	1 時間	
		復習	教科書第 2 章の演習問題を及びドリル解く	1.5 時間	
6	講義内容	命令セットアーキテクチャー1 命令の形式			
	該当到達目標 2,3	予習	教科書第 3 章 3.1 を読む	1 時間	
		復習	教科書第 3 章の演習問題及びドリルを解く	1.5 時間	
7	講義内容	命令セットアーキテクチャー2 アドレス方式・命令の種類■			
	該当到達目標 2,3	予習	教科書第 3 章 3.2, 3.2 を読む	1 時間	
		復習	教科書第 3 章の演習問題及びドリルを解く	1.5 時間	
8	講義内容	制御アーキテクチャー1 命令実行制御・マイクロプログラム制御			
	該当到達目標 2,3	予習	教科書第 4 章 4.1, 4.2 を読む	1 時間	
		復習	教科書第 4 章の演習問題及びドリルを解く	1.5 時間	
9	講義内容	制御アーキテクチャー2 高速化アーキテクチャ・割込み制御■			
	該当到達目標 2,3	予習	教科書第 4 章 4.3, 4.4 を読む	1 時間	
		復習	教科書第 4 章の演習問題及びドリルを解く	1.5 時間	
10	講義内容	演算アーキテクチャー1 演算の基本			
	該当到達目標 4	予習	教科書第 5 章 5.1 を読む	1 時間	
		復習	教科書第 5 章の演習問題及びドリルを解く	1.5 時間	
11	講義内容	演算アーキテクチャー2 演算アルゴリズム			
	該当到達目標 4	予習	教科書第 5 章 5.2 を読む	1 時間	
		復習	教科書第 5 章の演習問題を解く	1.5 時間	
12	講義内容	メモリアーキテクチャー1 記憶階層・仮想記憶			
	該当到達目標 5	予習	教科書第 6 章 6.1 を読む	1 時間	
		復習	教科書第 6 章の演習問題及びドリルを解く	1.5 時間	
13	講義内容	メモリアーキテクチャー2 高速化手法			
	該当到達目標 5	予習	教科書第 6 章 6.2 を読む	1 時間	
		復習	教科書第 6 章の演習問題及びドリルを解く	1.5 時間	
14	講義内容	システムアーキテクチャ 性能評価・信頼性			
	該当到達目標 6	予習	教科書第 10 章 10.1, 10.2 を読む	1 時間	
		復習	教科書第 10 章の演習問題及びドリルを解く	1.5 時間	
15	講義内容	まとめと演習			
	該当到達目標 1,2,3,4,5	予習	教科書を読み直す	1 時間	
		復習	演習問題を見直す	1.5 時間	
合計時間(予習・復習)					37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。				

科目名	情報セキュリティⅡ（専門導入科目）				科目ナンバリング	HID333
英文名	Cyber Security Ⅱ				講義形態	講義
担当教員	松尾 仁司					
科目に関連した実務経験	情報系企業で医療情報システムの研究開発に従事（経験） 保健医療福祉情報システム工業会（JAHIS）運営幹事（経験）					
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	選択	2 単位		
履修を必須とする資格	情報セキュリティマネジメント対応科目					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	2	コミュニケーションスキル		
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力		
	3	問題解決力				
SDGs との関連	③⑨⑪⑰					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	社会のデジタルトランスフォーメーションが進む中、世界的にサイバー攻撃のリスクが高まっている。本講義では情報セキュリティの専門的知識と技術学び、病院や企業におけるセキュリティ対策を理解する。 講義中に議論や課題演習を行い、知識を活用して情報セキュリティマネジメントの応用を学ぶ。					
到達目標	1. 情報セキュリティマネジメントの基礎知識を習得することができる。■ 2. セキュリティ・インシデン対応の実際を理解することができる。					
使用教材	情報セキュリティマネジメント合格教本（令和 03 年）（株）技術評論社					
参考文献	適宜紹介する					
評価方法	期末試験の成績 70%、授業中の小テスト 30%で評価。					
課題・評価に対するフィードバック方法	小テストと課題に関しては授業の中で解説を行う。					
オフィスアワー（研究室）	水曜日 3 限 （研究室：1 号館 6 階 607 室）			メールアドレス （#→@）	matsuo#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	導入：情報セキュリティ■				
	該当到達目標	予習	シラバスを読む			0.5 時間
	1	復習	講義の目標と情報セキュリティの基礎知識を確認する			2.5 時間
2	講義内容	ネットワーク				
	該当到達目標	予習	テキストを読み基礎知識を確認する			0.5 時間
	1	復習	ネットワーク関連技術とセキュリティを理解する			2.5 時間
3	講義内容	脅威と脆弱性				
	該当到達目標	予習	テキストを読み基礎知識を確認する			0.5 時間
	1	復習	情報セキュリティの脅威と脆弱性を理解する			2.5 時間
4	講義内容	マルウェアと不正アクセス対策				
	該当到達目標	予習	テキストを読み基礎知識を確認する			0.5 時間
	1	復習	マルウェア、不正アクセスについて理解する			2.5 時間
5	講義内容	暗号化と認証技術■				
	該当到達目標	予習	テキストを読み基礎知識を確認する			0.5 時間
	1	復習	暗号・認証システムを理解する。			2.5 時間
6	講義内容	アクセス管理と情報漏洩対策				
	該当到達目標	予習	テキストを読み基礎知識を確認する			0.5 時間
	1	復習	情報漏えい対策、アクセス管理について理解する			2.5 時間
7	講義内容	情報セキュリティの評価と管理■				
	該当到達目標	予習	テキストを読み基礎知識を確認する			0.5 時間
	1	復習	リスクコントロール手法と情報セキュリティポリシーについて理解する			2.5 時間
8	講義内容	情報セキュリティ関連法規とガイドライン■				

	該当到達目標 1	予習	テキストを読み基礎知識を確認する	0.5 時間
		復習	個人情報保護やセキュリティ関連法規、ガイドラインを理解する	2.5 時間
9	講義内容	ストラテジとマネジメント		
	該当到達目標 2	予習	テキストを読み基礎知識を確認する	0.5 時間
		復習	セキュリティシステム戦略とプロジェクトマネジメントについて理解する	2.5 時間
10	講義内容	コンピュータシステム■		
	該当到達目標 2	予習	テキストを読み基礎知識を確認する	0.5 時間
		復習	データベース等のシステム技術を理解する	2.5 時間
11	講義内容	情報セキュリティ対策課題(1)		
	該当到達目標 2	予習	基礎知識を整理して事例検討の準備をする	0.5 時間
		復習	事例を用いてセキュリティ課題と対策を理解する	2.5 時間
12	講義内容	情報セキュリティ対策課題(2)		
	該当到達目標 3	予習	基礎知識を整理して事例検討の準備をする	0.5 時間
		復習	事例を用いてセキュリティ課題と対策を理解する	2.5 時間
13	講義内容	情報セキュリティ対策課題(3)		
	該当到達目標 3	予習	基礎知識を整理して事例検討の準備をする	0.5 時間
		復習	事例を用いてセキュリティ課題と対策を理解する	2.5 時間
14	講義内容	情報セキュリティ対策課題(4)		
	該当到達目標 3	予習	基礎知識を整理して事例検討の準備をする	0.5 時間
		復習	事例を用いてセキュリティ課題と対策を理解する	2.5 時間
15	講義内容	全体まとめ		
	該当到達目標 3	予習	情報セキュリティマネジメントの重要なポイントを確認する	0.5 時間
		復習	情報セキュリティマネジメントの理解を確実にする	2.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	アニメーション制作演習(専門展開科目)				科目ナンバリング	HID331
英文名	Animation Production Exercise				講義形態	演習
担当教員	坂本 孝					
科目に関連した実務経験	Web クリエイターとしての大学広報業務(経験)					
学年・開講期	3 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応	5	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
SDGs との関連	9					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	PC やモバイル、Web ブラウザなどさまざまなデバイスやプラットフォームに向けたインタラクティブなアニメーションを作ることができる Adobe Animate を使って、基本的な操作からグラフィック描画やアニメーション制作ができるまでを学ぶ。 講義テーマごとに、前半は操作説明を行い、後半は各自課題に取り組む形式で進める。 毎回課題を出題するので、指定期日までに仕上げて提出する。					
到達目標	1. アニメーション制作に必要な PC 環境と操作方法について理解できる。 2. 描画ツールを使ったベクターグラフィックの描画ができる。■ 3. フレームアニメーションや各種トゥイーンアニメーションの制作ができる。■ 4. 画像を利用したアニメーションの制作ができる。■ 5. スクリプトを利用したアニメーション制御ができる。■					
使用教材	自作の教材					
参考文献						
評価方法	課題提出状況(80%)、授業における学習姿勢(20%)により評価する。					
課題・評価に対するフィードバック方法	課題の解答例を提示し、解説する。					
オフィスアワー (研究室)	火曜日 4 時限と 5 時限			メールアドレス (#→@)	sakamoto#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	描画ツールの基本操作■				
	該当到達目標	予習	不要			0 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。			2 時間
2	講義内容	フレームアニメーション■				
	該当到達目標	予習	不要			0 時間
	2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。			2 時間
3	講義内容	トゥイーンアニメーション■				
	該当到達目標	予習	不要			0 時間
	2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。			2 時間
4	講義内容	レイヤー■				
	該当到達目標	予習	不要			0 時間
	2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。			2 時間
5	講義内容	文字アニメーション■				
	該当到達目標	予習	不要			0 時間
	2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。			2 時間
6	講義内容	グラデーション■				
	該当到達目標	予習	不要			0 時間
	2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。			2 時間
7	講義内容	モーションガイド■				

令和4年度 医療情報学科シラバス

	該当到達目標 2,3	予習	不要	0 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。	2 時間
8	講義内容	カラーアニメーション■		
	該当到達目標 2,3	予習	不要	0 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。	2 時間
9	講義内容	シェイプアニメーション■		
	該当到達目標 2,3	予習	不要	0 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。	2 時間
10	講義内容	画像を利用したアニメーション■		
	該当到達目標 2,3,4	予習	不要	0 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。	2 時間
11	講義内容	ムービークリップ■		
	該当到達目標 2,3	予習	不要	0 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。	2 時間
12	講義内容	ボタン■		
	該当到達目標 2,3,5	予習	不要	0 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。	2 時間
13	講義内容	アクションスクリプト■		
	該当到達目標 2,3,5	予習	不要	0 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。	2 時間
14	講義内容	コンテンツのパブリッシュ■		
	該当到達目標 2,3,5	予習	不要	0 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。	2 時間
15	講義内容	作品制作		
	該当到達目標 2,3,4,5	予習	不要	0 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。	10 時間
合計時間(予習・復習)				38 時間
備考	予習・復習についての時間は参考程度であり、単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	アルゴリズムとデータ構造Ⅱ（専門展開科目）			科目ナンバリング	HID330
英文名	Algorithm and Data Structure Ⅱ			講義形態	講義
担当教員	坂本 孝				
科目に関連した実務経験	SEとして情報通信企業に勤務（経験）				
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
履修を必須とする資格	基本情報技術者試験対応科目				
学位授与方針との対応	2	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
	3	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
	5	問題解決力			
SDGs との関連	9				
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	基本情報技術者試験で過去に出題された問題に取り組む。 各講義において、過去問題を解くための基礎知識について解説し、その後、過去問題の取組みを行っていく。				
到達目標	1. 基本情報技術者試験で使用される疑似言語が理解できる。 2. 探索処理、整列処理の基本的なアルゴリズムが理解できる。■ 3. 文字列操作の応用アルゴリズムが理解できる。■ 4. スタック構造、木構造等のデータ構造が理解でき、これを処理するアルゴリズムが理解できる。■				
使用教材	教科書「基本情報 STEP UP 演習 アルゴリズム対策」(インフォテック・サーブ)				
参考文献					
評価方法	確認テスト(80%)、授業における学習姿勢(20%)により評価する。				
課題・評価に対するフィードバック方法	課題の解答を提示し、解説する。				
オフィスアワー (研究室)	火曜日 4 時限と 5 時限		メールアドレス (#→@)	sakamoto#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	1 次元配列の基本操作			
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。	1 時間	
	1	復習	講義で出題された課題に取り組む、次回講義までに仕上げる。	1.5 時間	
2	講義内容	順位付け処理■			
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。	1 時間	
	1	復習	講義で出題された課題に取り組む、次回講義までに仕上げる。	1.5 時間	
3	講義内容	2 次元配列の基本操作			
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。	1 時間	
	1	復習	講義で出題された課題に取り組む、次回講義までに仕上げる。	1.5 時間	
4	講義内容	配列を利用した図形処理■			
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。	1 時間	
	1	復習	講義で出題された課題に取り組む、次回講義までに仕上げる。	1.5 時間	
5	講義内容	データ探索			
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。	1 時間	
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組む、次回講義までに仕上げる。	1.5 時間	
6	講義内容	整列 基本選択法、隣接交換法			
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。	1 時間	
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組む、次回講義までに仕上げる。	1.5 時間	
7	講義内容	整列 基本挿入法、クイックソート			
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。	1 時間	

	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに仕上げる。	1.5 時間
8	講義内容	文字列の比較		
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。	1 時間
	1,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに仕上げる。	1.5 時間
9	講義内容	文字列の転記		
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。	1 時間
	1,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに仕上げる。	1.5 時間
10	講義内容	文字列の圧縮/復元		
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。	1 時間
	1,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに仕上げる。	1.5 時間
11	講義内容	ボイヤ・ムーア法		
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。	1 時間
	1,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに仕上げる。	1.5 時間
12	講義内容	スタック		
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。	1 時間
	1,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに仕上げる。	1.5 時間
13	講義内容	木構造		
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。	1 時間
	1,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに仕上げる。	1.5 時間
14	講義内容	ハッシュ法		
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。	1 時間
	1,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに仕上げる。	1.5 時間
15	講義内容	数学的アルゴリズム		
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。	1 時間
	1	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに仕上げる。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	予習・復習についての時間は参考程度であり、単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	データサイエンスⅢ(専門展開科目)				科目ナンバリング	HID332
英文名	Data science Ⅲ				講義形態	講義
担当教員	光山 訓					
科目に関連した実務経験	企業において機械学習を利用した製品、サービスの開発に従事					
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応	1	豊かな人間性と幅広い教養	0	コミュニケーションスキル		
	4	健康・医療および情報に関する知識・技能	1	生涯学習力		
	4	問題解決力				
SDGs との関連	③					⑪
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	①講義の目標 データサイエンスは、単なる数値、記号の集まりであるデータから情報を読み取り、現実世界に役立つ判断を行うことを目的とした分野である。データの取得、蓄積、解析、モデル構築、検証、課題解決の全てを含む広範な知識が必要になる。大学 4 年間を通じて関連科目を学び知識を涵養する。本講義では、近年急速に発達、実用化が進み、社会を変えるほどのインパクトを与えている AI(人工知能)、機械学習についての基礎知識を習得し、自ら使うことにより理解を深める。 ②講義の実施方法 授業は、指定教科書に基づいた講義により基礎知識の習得と理論の理解を進める。さらに Python によるプログラミング演習により知識の定着と実践・応用力の獲得を図る。Python プログラミングの基礎についても同時に習得する。最終段階では総合的な知識の定着度を確認するために総合演習を行う。内容を理解し、スキルを身につけるためには、予習復習が必要である。					
到達目標	1. AI、機械学習とは何かを説明できる■ 2. Python による AI プログラミングができる 3. 機械学習を用いた課題解決ができる■ 4. 主要な機械学習モデルの概要を理解し、使うことができる■ 5. 機械学習を適用する上での課題を理解し、対処することができる					
使用教材						
参考文献	「スッキリわかる Python による機械学習入門」、インプレス、ISBN9784295009948 講義資料・演習教材は随時プリントして配布またはネット配信する。					
評価方法	総合演習 80%、授業への参加度 20%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。					
課題・評価に対するフィードバック方法	毎週演習を行い、授業中に解き方を説明する。誤りの多かった箇所については、気を付けるべきポイントを翌週フィードバックする。					
オフィスアワー(研究室)	月曜日 3 時限、木曜日 3 時限 質問はメールでも受け付ける。 1 号館 6 階 615		メールアドレス (#→@)	mitsuyama#takasaki-u.ac.jp		
1	講義内容	ガイダンス、データサイエンスと AI・機械学習■				
	該当到達目標	予習	「第 1 章 AI と機械学習」を読む。			1.0 時間
	1	復習	講義資料を読み、復習する。			2.0 時間
2	講義内容	機械学習に必要な基礎統計学、Python プログラミングの基礎(1)				
	該当到達目標	予習	「第 2 章 機械学習に必要な基礎統計学」を読む。			1.0 時間
	2,4	復習	講義資料を読み、復習する。			2.0 時間
3	講義内容	機械学習によるデータ分析の流れ、Python プログラミングの基礎(2) ■				
	該当到達目標	予習	「第 3 章 機械学習によるデータ分析の流れ」を読む。			1.0 時間
	2,3	復習	講義資料を読み、復習する。			2.0 時間

4	講義内容	Python プログラミングの基礎(3)		
	該当到達目標	予習	「第0章 Python 基本文法の復習」を読む。	1.0 時間
	2	復習	講義資料を読み、復習する。	2.0 時間
5	講義内容	機械学習の体験		
	該当到達目標	予習	「第4章 機械学習の体験」を読む。	1.0 時間
	2,3	復習	講義資料を読み、復習する。	2.0 時間
6	講義内容	分類問題への機械学習の適用(1)		
	該当到達目標	予習	「5.1 アヤメの花を分類する」「5.2 データの前処理」を読む。	1.0 時間
	2,3,5	復習	講義資料を読み、復習する。	2.0 時間
7	講義内容	分類問題への機械学習の適用(2)		
	該当到達目標	予習	「5.3 モデルの作成と学習」「5.4 モデルの評価」「5.5 決定木の図の作成」を読む。	1.0 時間
	2,3,4,5	復習	講義資料を読み、復習する。	2.0 時間
8	講義内容	回帰問題への機械学習の適用(1)		
	該当到達目標	予習	「6.1 映画の「興行収入を予測する」「6.2 データの前処理」を読む。	1.0 時間
	2,3,4	復習	講義資料を読み、復習する。	2.0 時間
9	講義内容	回帰問題への機械学習の適用(2)		
	該当到達目標	予習	「6.3 モデルの作成と学習」「6.4 モデルの評価」「6.5 回帰式による影響度の分析」を読む。	1.0 時間
	2,3,4,5	復習	講義資料を読み、復習する。	2.0 時間
10	講義内容	機械学習における注意点(1)		
	該当到達目標	予習	「7.1 客船沈没事故から生き残れるかを予測」「7.2 データの前処理」「7.3 モデルの作成と学習」を読む。	1.0 時間
	2,3,4	復習	講義資料を読み、復習する。	2.0 時間
11	講義内容	機械学習における注意点(2)		
	該当到達目標	予習	「7.5 モデルの評価」を読む。	1.0 時間
	2,3,4,5	復習	講義資料を読み、復習する。	2.0 時間
12	講義内容	様々な機械学習モデル(1) ■		
	該当到達目標	予習	「第11章 さまざまな教師あり学習:回帰」を読む。	1.0 時間
	4	復習	講義資料を読み、復習する。	2.0 時間
13	講義内容	様々な機械学習モデル(2) ■		
	該当到達目標	予習	「第12章 さまざまな教師あり学習:分類」を読む。	1.0 時間
	4	復習	講義資料を読み、復習する。	2.0 時間
14	講義内容	総合演習(1) 機械学習プログラミング		
	該当到達目標	予習	これまでの講義内容を講義資料、教科書で復習しておく。	2.0 時間
	2,4	復習	授業内容を振り返り、練習問題を解くことで理解を深める。	1.0 時間
15	講義内容	総合演習(2) 本講義全体の復習		
	該当到達目標	予習	これまでの講義内容を講義資料、教科書で復習しておく。	2.0 時間
	1,3,4,5	復習	授業内容を振り返り、練習問題を解くことで理解を深める。	1.0 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名		情報処理演習Ⅱ（専門展開科目）				科目ナンバリング	HID323
英文名		Information Processing Exercise Ⅱ				講義形態	演習
担当教員		田村 拓郎					
科目に関連した実務経験							
学年・開講期		2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格							
学位授与方針との対応			豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
		5	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		5	問題解決力				
SDGs との関連		④					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		ネットワークシステムのコンテンツとして今やデータベースは情報システムの要となっている。本講義では、リレーショナル型データベースである ACCESS の基礎から実際の活用までを学ぶことを目的とする。 授業では、教員が各回の内容を教材や実演を通じて説明し、学生は指示された課題を実施しファイルにまとめて提出する。					
到達目標		1. データベースシステムの機能を理解できる。 2. ACCESS を用いて基本的な業務をデータベース化できる。					
使用教材		自作教材					
参考文献		Access テキスト基礎編 ムゲンダイ出版					
評価方法		課題提出状況(80%)、学習姿勢(20%)で評価する。					
課題・評価に対するフィードバック方法		提出物(ファイル)の内容が、求める課題の条件を満たしているかどうかを確認し、その結果を学生に伝え、必要に応じ、再提出を求める。					
オフィスアワー (研究室)		月曜日 4,5 限		メールアドレス (#→@)		tamura-t#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	講義全体のガイダンス					
	該当到達目標	予習	シラバスを確認しておく。				0 時間
	1	復習	講義内容・到達目標・学位授与方針・成績評価方法などを理解する。				0.5 時間
2	講義内容	データベースとは、Access の基本操作					
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。				0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。				2.5 時間
3	講義内容	テーブル機能 テーブルの作成					
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。				0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。				2.5 時間
4	講義内容	テーブル機能 レコードの追加、インポート、エクスポート					
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。				0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。				2.5 時間
5	講義内容	テーブル機能 データシート、フィールドプロパティ					
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。				0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。				2.5 時間
6	講義内容	クエリ機能 選択クエリ、リレーションシップ					
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。				0.5 時間

	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2.5 時間
7	講義内容	クエリ機能 抽出条件		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2.5 時間
8	講義内容	クエリ機能 演算子を用いた抽出		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2.5 時間
9	講義内容	クエリ機能 並べ替え		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2.5 時間
10	講義内容	クエリ機能 集計クエリ		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2.5 時間
11	講義内容	クエリ機能 クロス集計クエリ、パラメータクエリ		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2.5 時間
12	講義内容	クエリ機能 演習フィールド		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	3	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2.5 時間
13	講義内容	フォーム機能 フォームの作成		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	3	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2.5 時間
14	講義内容	フォーム機能 デザイン編集		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	3	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2.5 時間
15	講義内容	レポート機能 レポートの作成		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	3	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	3 時間
合計時間(予習・復習)				43 時間
備考	予習・復習の時間は参考程度であり、自らの習熟状況をふまえ各自で補完すること。			

科目名	マルチメディアⅡ（専門展開科目）				科目ナンバリング	HID324
英文名	MultimediaⅡ				講義形態	演習
担当教員	田村 拓郎					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	3 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
	5	問題解決力				
SDGs との関連	④					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	本講義では、プロフェッショナルの映像制作の現場でも幅広く使用されている動画編集ソフトである Premiere Pro の演習を通じて、マルチメディアコンテンツを作成するためのビデオ編集の開始から完成までの基礎的な能力を身につけることを目的とする。 授業では、教員が各回の内容を教材や実演を通じて説明し、学生は指示された課題を実施しファイルにまとめて提出する。					
到達目標	1.コンピュータによる動画の編集と制作の基礎を身につける。 2.編集作業等に用いるソフトウェアの適切な活用法を身につける。 3.企画立案、動画制作を行なうことができる。					
使用教材	自作教材					
参考文献						
評価方法	課題提出状況(40%)、提出された課題成果物の出来栄え(40%)、学習姿勢(20%)で評価する。					
課題・評価に対するフィードバック方法	提出物(ファイル)の内容が、求める課題の条件を満たしているかどうかを確認し、その結果を学生に伝え、必要に応じ、再提出を求める。					
オフィスアワー (研究室)	月曜日 4,5 限			メールアドレス (#→@)	tamura-t#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	講義全体のガイダンス				
	該当到達目標	予習	シラバスを確認しておく。			0 時間
	1	復習	講義内容・到達目標・学位授与方針・成績評価方法などを理解する。			0.5 時間
2	講義内容	映像編集の流れ				
	該当到達目標	予習	事前に指定した事項について調べておく。			0 時間
	1	復習	専門用語の意味を再確認し、理解しておく。			0.5 時間
3	講義内容	カット編集とインサート編集				
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。			0 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。			1 時間
4	講義内容	色補正				
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。			0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。			1 時間
5	講義内容	音声補正				
	該当到達目標	予習	CG 作成ソフトの機能について調べておく。			0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。			1 時間
6	講義内容	動画の書き出し				

	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	1 時間
7	講義内容	インタビュー動画の作成		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	1 時間
8	講義内容	画面切り替え		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	1 時間
9	講義内容	カット演出、画像編集		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	1 時間
10	講義内容	グラフィックの作り方と合成		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	1 時間
11	講義内容	アニメーションの作り方		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	1 時間
12	講義内容	課題作品制作 1 企画立案		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。動画企画を考える。	1 時間
	3	復習	動画企画を立案する。	5 時間
13	講義内容	課題作品制作 2 撮影、音声の制作		
	該当到達目標	予習	撮影の準備を行う。	0.5 時間
	3	復習	それぞれの課題制作を行なう。	10 時間
14	講義内容	課題作品制作 3 動画編集、内容構成		
	該当到達目標	予習	編集の準備を行う。	0.5 時間
	3	復習	それぞれの課題制作を行なう。	5 時間
15	講義内容	課題作品制作 4 動画編集、修正		
	該当到達目標	予習	編集の準備を行う。	0.5 時間
	3	復習	課題作品を完成させる。	5 時間
合計時間(予習・復習)				41.5 時間
備考	予習・復習の時間は参考程度であり、自らの習熟状況をふまえ各自で補完すること。			

科目名	Web デザインⅢ(専門展開科目)				科目ナンバリング	HID325
英文名	Web design Ⅲ (Responsive Design)				講義形態	演習
担当教員	長澤 亨、田村 拓郎					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格	Web クリエーター能力認定試験					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能		1	生涯学習力	
	4	問題解決力				
SDGs との関連	④					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	Web デザインⅠでは HTML と CSS について学んだ。ホームページを作成する場合 HTML と CSS だけでは十分ではなく、動きのあるホームページを作成できない。たとえば、マウスでボタンをクリックしたとき画像表示を変更や入力データをチェックしたり、マップを表示して拡大縮小や移動するときなどは Ajax という技術を利用する必要がある。その際、JavaScript とサーバ側の CGI との間で連携処理が必要である。このような、動的な処理を行うホームページを作成できるスキルを身につけることを目標とする。授業の進め方は、指定教科書およびプリントを基本に授業を進め、単元毎に演習問題を解き知識の定着を図る。最終段階では総合的な知識の定着度を確認するために総合演習課題を解く。 授業の進め方は、指定教科書およびプリントを基本に授業を進め、単元毎に演習問題を解き知識の定着を図る。					
到達目標	1.JavaScript の概要と記述ルールを説明できる。 2.JavaScript の基本的な文法を説明できる。 3.HTML、CSS(Cascading Style Sheets)と JavaScript の連携を説明できる。 4.JavaScript で利用されるライブラリを説明できる。 5.JavaScript と CGI(Common Gateway Interface)に連携を説明できる。					
使用教材	情報演習 5 ステップ 30 JavaScript ワークブック ISBN4-87783-818-x c3004					
参考文献						
評価方法	定期試験 50%、課題提出 40%、授業の参加度 10%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。					
課題・評価に対するフィードバック方法	課題に対する正解を示し、提出内容にコメントを付けて返却する。 定期試験の後、正解を示し、評価を返却する。					
オフィスアワー (研究室)	月曜日の 1 時限、3 時限 質問はメールでも受け付ける。 研究室:1 号館 6 階 608			メールアドレス (#→@)	nagasawa#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	Step01JavaScript の概要と記述ルール、Step02 イベントハンドラの利用				
	該当到達目標	予習	予め Step01 と Step02 を読んでおくこと			1 時間
	1,2,3	復習	Step01 と Step02 の演習の復習			1.5 時間
2	講義内容	Step03 関数の基本、Step04 変数の宣言				
	該当到達目標	予習	予め Step03 と Step04 を読んでおくこと			1 時間
	1,2,3	復習	Step03 と Step04 の演習の復習			1.5 時間
3	講義内容	Step05 変数の演算、Step06 配列				
	該当到達目標	予習	予め Step05 と Step06 を読んでおくこと			1 時間
	1,2,3	復習	Step05 と Step06 の演習の復習			1.5 時間

4	講義内容	Step07 関数の引数、Step08 繰り返し処理		
	該当到達目標	予習	予め Step07 と Step08 を読んでおくこと	1 時間
	1,2,3,4	復習	Step07 と Step08 の演習の復習	1.5 時間
5	講義内容	Step09 繰り返し処理と文字の表示、Step10 条件分岐 1		
	該当到達目標	予習	予め Step09 と Step10 を読んでおくこと	1 時間
	1,2,3,4	復習	Step09 と Step10 の演習の復習	1.5 時間
6	講義内容	Step11 条件分岐 2、Step12 break と continue		
	該当到達目標	予習	予め Step11 と Step12 を読んでおくこと	1 時間
	1,2,3,4	復習	Step11 と Step12 の演習の復習	1.5 時間
7	講義内容	Step13 関数の戻り値、Step14 文字入力とエラー処理		
	該当到達目標	予習	予め Step13 と Step14 を読んでおくこと	1 時間
	1,2,3,4	復習	Step13 と Step14 の演習の復習	1.5 時間
8	講義内容	Step15 オブジェクト、Step16 ウィンドの操作		
	該当到達目標	予習	予め Step15 と Step16 を読んでおくこと	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	Step15 と Step16 の演習の復習	1.5 時間
9	講義内容	Step17 スクロール処理、Step18 文字色、背景色の操作		
	該当到達目標	予習	予め Step17 と Step18 を読んでおくこと	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	Step17 と Step18 の演習の復習	1.5 時間
10	講義内容	Step19 画像の操作 1、Step20 画像の操作 2		
	該当到達目標	予習	予め Step19 と Step20 を読んでおくこと	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	Step19 と Step20 の演習の復習	1.5 時間
11	講義内容	Step21 日付、時刻の操作 1、Step22 日付、時刻の操作 2		
	該当到達目標	予習	予め Step21 と Step22 を読んでおくこと	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	Step21 と Step22 の演習の復習	1.5 時間
12	講義内容	Step23 フォームの操作 1、Step24 フォームの操作 2		
	該当到達目標	予習	予め Step23 と Step24 を読んでおくこと	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	Step23 と Step24 の演習の復習	1.5 時間
13	講義内容	Step25 URL と履歴の操作、Step26 Math オブジェクト		
	該当到達目標	予習	予め Step25 と Step26 を読んでおくこと	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	Step25 と Step26 の演習の復習	1.5 時間
14	講義内容	Step27 string オブジェクト、Step28 一定間隔で処理を繰り返し実行する		
	該当到達目標	予習	予め Step27 と Step28 を読んでおくこと	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	Step27 と Step28 の演習の復習	1.5 時間
15	講義内容	Step29 クッキーの操作 1、Step30 クッキーの操作 2		
	該当到達目標	予習	予め Step29 と Step30 を読んでおくこと	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	Step29 と Step30 の演習の復習	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 VOD:出席と成績は課題提出で評価する。			

科目名	Web プログラミング I (専門展開科目)			科目ナンバリング	HID326
英文名	Web Programing I (MySQL & PHP Programming)			講義形態	演習
担当教員	長澤 亨				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
履修を必須とする資格	Web クリエータ能力認定試験				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能	1	生涯学習力	
	4	問題解決力			
SDGs との関連	④				
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	現在、データベースでは関係データベースが使われている。膨大なデータを効率よく管理することを目指すとしている。一般にデータベースに追加、削除、検索などの管理機能を含めてデータベースシステムという。RDBMS の起源は、1970 年に IBM 社の EdgarF.Codd 氏が関係 DB に関する理論が基になっている。MySQL は Michael Widenius 氏が開発し、1995 年に誕生した RDBMS である。また、MySQL はオープンソースであるが、世界で 1000 万以上のサーバにインストールされて実際に動作している。本講義では、MySQL の基本と本質を理解することにある。 授業の進め方は、教科書をベースに基本的な知識を習得させる。実際にデータベースを操作し知識の定着を図る。新しい知識に関しては教科書に立ち返り、知識定着のために演習を行う。以上の繰り返しで授業を進める。演習が解けない場合は予習復習時間が不足分しているため、追加自習で補うことを促す。				
到達目標	1.関係データベースを簡潔に説明することができる。 2.MySQL データベースをインストールすることができる。 3.データベース、テーブルの作成、削除、変更ができる。 4.SQL 文でデータベースのデータを検索・登録・削除することができる。 5.PHP と MySQL を連携する方法を説明できる。				
使用教材	教科書:基礎からの MySQL SoftBankCreative 西沢夢路 ISBN978-4-7973-6945-8 C0055				
参考文献					
評価方法	定期試験 40%、課題提出 50%、授業の参加度 10%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。				
課題・評価に対するフィードバック方法	課題に対する正解を示し、提出内容にコメントを付けて返却する。 定期試験の後、正解を示し、評価を返却する。				
オフィスアワー (研究室)	月曜日の 1 時限、3 時限 質問はメールでも受け付ける。 1 号館 6 階 608		メールアドレス (#→@)	nagasawa#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンス、Chapter1 MySQL の概要			
	該当到達目標	予習	MySQL の概要を読んでおく		1 時間
	1	復習	MySQL の概要を復習する		1.5 時間
2	講義内容	Chapter2 MySQL の環境設定			
	該当到達目標	予習	MySQL の環境設定を読んでおく		1 時間
	1,2	復習	MySQL の環境設定を復習する		1.5 時間
3	講義内容	Chapter3 MySQL の基礎知識			
	該当到達目標	予習	MySQL の基礎知識を読んでおく		1 時間

	1,2	復習	MySQLの基礎知識を復習する	1.5 時間
4	講義内容	Chapter4 データベースの作成		
	該当到達目標	予習	データベースの作成を読んでおく	1 時間
	1,2	復習	課題を完成させる	1.5 時間
5	講義内容	Chapter5 データ型とデータの入力		
	該当到達目標	予習	データ型とデータの入力を読んでおく	1 時間
	1,3	復習	課題を完成させる	1.5 時間
6	講義内容	Chapter6 テーブルを改造する		
	該当到達目標	予習	「テーブルを改造する」を読んでおく	1 時間
	1,3	復習	課題を完成させる	1.5 時間
7	講義内容	Chapter7 テーブルやレコードをコピー・削除する		
	該当到達目標	予習	「テーブルやレコードをコピー・削除する」を読んでおく	1 時間
	1,4	復習	課題を完成させる	1.5 時間
8	講義内容	Chapter8 MySQLを使いこなす		
	該当到達目標	予習	「MySQLを使いこなす」を読んでおく	1 時間
	1,4	復習	課題を完成させる	1.5 時間
9	講義内容	Chapter9 データを編集する		
	該当到達目標	予習	「データを編集する」を読んでおく	1 時間
	1,4	復習	課題を完成させる	1.5 時間
10	講義内容	Chapter10 複数のテーブルを利用する		
	該当到達目標	予習	「複数のテーブルを利用する」を読んでおく	1 時間
	1,4	復習	課題を完成させる	1.5 時間
11	講義内容	Chapter11 ビューを使いこなす		
	該当到達目標	予習	「ビューを使いこなす」を読んでおく	1 時間
	1,4	復習	課題を完成させる	1.5 時間
12	講義内容	Chapter12 ストアドプロシージャを使いこなす		
	該当到達目標	予習	「ストアドプロシージャを使いこなす」を読んでおく	1 時間
	1,3,4	復習	課題を完成させる	1.5 時間
13	講義内容	Chapter13 トランザクションを使いこなす		
	該当到達目標	予習	「トランザクションを使いこなす」を読んでおく	1 時間
	1,3,4	復習	課題を完成させる	1.5 時間
14	講義内容	Chapter14 ファイルを使ったやり取り		
	該当到達目標	予習	ファイルを使ったやり取り読んでおく	1 時間
	1,3,4,5	復習	課題を完成させる	1.5 時間
15	講義内容	総合演習、まとめ		
	該当到達目標	予習	理解できていなかった部分を明確にする	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	最終的な課題を完成させる	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 VOD:出席と成績は課題提出で評価する。			

科目名	Web プログラミングⅡ（専門展開科目）				科目ナンバリング	HID327
英文名	Web ProgramingⅡ（Server Side Programming）				講義形態	演習
担当教員	長澤 亨					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	3 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格	Web クリエーター能力認定試験					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能		1	生涯学習力	
	4	問題解決力				
SDGs との関連	④					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	PHP は 1995 年ごろ「Personal Home Page Tools」として作られ、Web アプリケーションに特化したサーバサイドスクリプト言語である。PHP の特徴は関数が大量にあり、それらは高速に動作する。また、オブジェクト指向的な手法をとることもでき、UNIX や Windows のいずれのプラットフォームでも開発し、動作する。本講義では、PHP の基本を理解し、PHP とデータベースを連携した Web アプリケーション開発するための技能の習得を目指す。 授業の進め方は、教科書と資料を基本に進め、Web サイトの管理運用技術を習得させる。まず、Web を構成する基本的な要素についての知識を学び、演習課題で知識を定着させる。最終的に独自の Web サイトを構築する。知識が定着しておらず予習復習が不足している場合には、自習で補うことを促す。					
到達目標	1. PHP の基本を説明できる。 2. HTML、CSS、JavaScript、PHP の関係を説明できる。 3. HTML と PHP の連携プログラムを作成できる。 4. PHP と MySQL の連携プログラムを作成できる。 5. インターネットに公開するときの対策を説明できる。					
使用教材	教科書：基礎からの MySQL SoftBank Creative 西沢夢路 ISBN978-4-7973-6945-8 C0055					
参考文献						
評価方法	定期試験 60%、課題提出 30%、授業の参加度 10%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。					
課題・評価に対するフィードバック方法	課題に対する正解を示し、提出内容にコメントを付けて返却する。 定期試験の後、正解を示し、評価を返却する。					
オフィスアワー （研究室）	月曜日の 1 時限、3 時限 質問はメールでも受け付ける。 1 号館 6 階 608		メールアドレス （#→@）		nagasawa#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンス、MySQL+PHP の基礎				
	該当到達目標 1	予習	Chapter15「MySQL を利用するための PHP」を読んでおくこと			1 時間
		復習	授業の復習			1.5 時間
2	講義内容	Chapter16 PHP の基礎知識 1				
	該当到達目標 1	予習	「PHP の変数、文字列、関数」の部分を読んでおくこと			1 時間
		復習	「PHP の変数、文字列、関数」に関する課題を仕上げる			1.5 時間
3	講義内容	Chapter16 PHP の基礎知識 2				
	該当到達目標 1	予習	「比較演算子、繰り返し処理」を読んでおくこと			1 時間
		復習	「比較演算子、繰り返し処理」の課題を仕上げる			1.5 時間
4	講義内容	Chapter16 PHP の基礎知識 3				
	該当到達目標	予習	「条件分岐、配列」を読んでおくこと			1 時間

	1	復習	「条件分岐、配列」の課題を仕上げる	1.5 時間
5	講義内容	Chapter17 PHP スクリプトとHTML1		
	該当到達目標	予習	HTML の復習と HTML ファイルを PHP スクリプトで書き出す	1 時間
	1,2	復習	HTML ファイルを PHP スクリプトで書き出す課題を仕上げる	1.5 時間
6	講義内容	Chapter17 PHP スクリプトとHTML2		
	該当到達目標	予習	「POST と GET によるデータ送信」を読んでおくこと	1 時間
	1,2,3	復習	「POST と GET によるデータ送信」の課題を仕上げる	1.5 時間
7	講義内容	Chapter18 PHP スクリプトでMySQLを操作する 1		
	該当到達目標	予習	PHP スクリプトでMySQL サーバに接続する。	1 時間
	1,2,4	復習	「PHP スクリプトでMySQL サーバに接続」の課題を仕上げる	1.5 時間
8	講義内容	Chapter18 PHP スクリプトでMySQLを操作する 2		
	該当到達目標	予習	PHP スクリプトでクエリを発行する。	1 時間
	1,2,4	復習	「PHP スクリプトでクエリを発行」の課題を仕上げる	1.5 時間
9	講義内容	Chapter19 MySQL+PHP の実践 1		
	該当到達目標	予習	「簡単掲示板を作る」を読んでおく	1 時間
	1,2,3,4	復習	「簡単掲示板を作る」の課題を仕上げる	1.5 時間
10	講義内容	Chapter19 MySQL+PHP の実践 2		
	該当到達目標	予習	「トップページの作成」を読んでおく	1 時間
	1,2,3,4	復習	「トップページの作成」の課題を仕上げる	1.5 時間
11	講義内容	Chapter19 MySQL+PHP の実践 2		
	該当到達目標	予習	「表示・挿入・削除・検索機能の作成」を読んでおく	1 時間
	1,2,3,4	復習	「表示・挿入・削除・検索機能の作成」の課題を仕上げる	1.5 時間
12	講義内容	Chapter20 インターネットに公開するときの対策 1		
	該当到達目標	予習	「公開されるフォルダに重要な情報を置かない」を読んでおく	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	学修した内容を復習する	1.5 時間
13	講義内容	Chapter20 インターネットに公開するときの対策 2		
	該当到達目標	予習	「正規表現を意図しないタグを実行させない」を読んでおく	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	正規表現の課題を仕上げる	1.5 時間
14	講義内容	実用掲示板の作成		
	該当到達目標	予習	「実用になる掲示板を作る」を読んでおく	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	実用になる掲示板の課題を仕上げる	1.5 時間
15	講義内容	環境設定		
	該当到達目標	予習	Windows サービス、MySQL のパスワード変更を読んでおく	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	学修した内容を仕上げる	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 VOD:出席と成績は課題提出で評価する。			

科目名	オブジェクトプログラミング I (専門展開科目)				科目ナンバリング	HID328
英文名	Object Programming I				講義形態	演習
担当教員	石川 雅弘					
科目に関連した実務経験	会社員としてプログラム開発(経験)					
学年・開講期	2 年 後期		選必・単位数	選択 2 単位		
履修を必須とする資格	基本情報技術者試験対応科目					
学位授与方針との対応	1	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能		1	生涯学習力	
	3	問題解決力				
SDGs との関連	8 9 12					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	現在のソフトウェア開発においてはオブジェクト指向設計とオブジェクト指向プログラミングが一般化しており、多くのプログラミング言語がオブジェクト指向の考え方を取り込んでいる。本科目ではプログラミング言語 Java を用い、プログラミングの基礎スキルを身につけるとともに、オブジェクト指向プログラミングの基本的概念を理解し実践できるようになることを目標とする。 演習は統合開発環境を用いて実際にプログラミングを行うのが主体となる。教材テキストに沿った解説を行いつつ、テキストの例題や課題のプログラミングを行うことで理解を深めるが、つまずく点は人により様々であるので、問題があれば必ず質問・解消すること。					
到達目標	1. 統合開発環境の基本的な利用方法が身についている。■ 2. Java 言語の基本的な文法を理解し、プログラムを作成・実行できる。■ 3. クラスの定義やクラスの継承など、Java 言語のオブジェクト指向機構の基本的な機能を利用してプログラムを作成・実行できる。 4. インターフェース、例外処理などの機能を適切に利用したプログラムを作成できる。					
使用教材	「やさしい Java 第 7 版」、高橋麻奈著、SB クリエイティブ ISBN-13: 978-4815600846					
参考文献	「プログラミング言語 Java 第 4 版」、柴田芳樹訳、東京電機大学出版局 ISBN-13: 978-4501552602					
評価方法	課題提出(30%)＋試験課題(70%)で評価する。					
課題・評価に対するフィードバック方法	解答例の提示と解説を行う。					
オフィスアワー (研究室)	月曜 5 限		メールアドレス (#→@)	ishikawa#takasaki-u.ac.jp		
1	講義内容	統合開発環境 Eclipse の基本操作とプログラムの作成・実行				
	該当到達目標	予習	不要	1.5 時間		
	1,2	復習	使用する統合開発環境の基本的な操作方法を習得する。			1.5 時間
2	講義内容	Java の基本、定数、変数、データ型、式と演算子				
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。			1.5 時間
	1,2	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。			1.5 時間
3	講義内容	条件分岐(if 文、witch 文)、繰り返し(for 文、while 文)				
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。			1.5 時間
	1,2	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。			1.5 時間
4	講義内容	1 次元配列、2 次元配列				
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。			1.5 時間
	1,2	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。			1.5 時間
5	講義内容	課題演習(オブジェクト指向以前)1				
	該当到達目標	予習	課題に取り組む。			1.5 時間

	1,2	復習	課題を完成させる。	1.5 時間
6	講義内容	課題演習(オブジェクト指向以前)2		
	該当到達目標	予習	課題に取り組む。	1.5 時間
	1,2	復習	課題を完成させる。	1.5 時間
7	講義内容	クラス定義の基本、フィールド、メソッド、インスタンスの生成		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間
8	講義内容	アクセス制限、オーバーロード		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間
9	講義内容	コンストラクタとコンストラクタのオーバーロード		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間
10	講義内容	クラス変数、クラスメソッド		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間
11	講義内容	既存クラスの利用(String, StringBuffer, Integer, Math)、オブジェクトの配列		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間
12	講義内容	継承、オーバーライド、Object クラス、アノテーション		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間
13	講義内容	抽象クラスとインターフェース		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	3,4	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間
14	講義内容	例外とファイル処理		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	3,4	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間
15	講義内容	総合課題■		
	該当到達目標	予習	テキスト全体を見直しておく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	総合課題を完成させる。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	【オンラインで授業を実施する場合】 オンデマンド形式のリモート講義の形で進める。 チャット・ビデオ通話や対面での質問にも応じるので、積極的に利用して欲しい。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名		オブジェクトプログラミングⅡ（専門展開科目）			科目ナンバリング	HID329
英文名		Object ProgrammingⅡ			講義形態	演習
担当教員		石川 雅弘				
科目に関連した実務経験		会社員としてプログラム開発（経験）				
学年・開講期		3 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位		
履修を必須とする資格		基本情報技術者試験対応科目				
学位授与方針との対応		1	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル
		5	健康・医療および情報に関する知識・技能		1	生涯学習力
		3	問題解決力			
SDGs との関連		8 9 12				
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		現代のプログラミング言語の多くはオブジェクト指向の考え方を取り込んでいる。本科目では、プログラミング言語 Java を用い、オブジェクト指向の基本概念であるカプセル化、継承、多態性への理解を深め、オブジェクト指向プログラミングのスキルを身に着ける。また、例外処理、マルチスレッドプログラミング、GUI とイベント駆動型プログラミング、ネットワークプログラミングなどの基本を学ぶ。 演習は統合開発環境を用いて実際にプログラミングを行うのが主体となる。教材テキストに沿った解説を行いつつ、テキストの例題や課題のプログラミングを行うことで理解を深めるが、つまづく点は人により様々であるので、問題があれば必ず質問・解消すること。				
到達目標		1. Java 言語でオブジェクト指向、パッケージなどを利用したプログラムを作成できる。■ 2. Java 言語で例外を適切に扱ったプログラムを作成できる。 3. Java 言語で基本的なマルチスレッドプログラムを作成できる。 4. Java 言語で基本的な GUI プログラムを作成できる。 5. Java 言語で基本的なネットワークプログラムを作成できる。				
使用教材		「やさしい Java 活用編 第6版」、高橋麻奈著、SB クリエイティブ ISBN-13: 978-4815600839				
参考文献		「プログラミング言語 Java 第 4 版」、柴田芳樹訳、東京電機大学出版局 ISBN-13: 978-4501552602				
評価方法		課題提出(30%)＋試験課題(70%)で評価する。				
課題・評価に対するフィードバック方法		解答例の提示と解説を行う。				
オフィスアワー (研究室)		月曜 4 限		メールアドレス (#→@)	ishikawa#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	Java におけるオブジェクト指向の基本				
	該当到達目標	予習	オブジェクトプログラミングⅠのテキストを全体的に読み返しておく。			1.5 時間
	1	復習	課題プログラムを完成・実行する。			1.5 時間
2	講義内容	例外と入出力(1)				
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。			1.5 時間
	1,2	復習	課題プログラムを完成・実行する。			1.5 時間
3	講義内容	例外と入出力(2)				
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。			1.5 時間
	1,2	復習	課題プログラムを完成・実行する。			1.5 時間
4	講義内容	例外と入出力(3)				
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。			1.5 時間
	1,2	復習	課題プログラムを完成・実行する。			1.5 時間
5	講義内容	マルチスレッドプログラミング(1)				
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。			1.5 時間

	1,3	復習	課題プログラムを完成・実行する。	1.5 時間
6	講義内容	マルチスレッドプログラミング(2)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	1,3	復習	課題プログラムを完成・実行する。	1.5 時間
7	講義内容	マルチスレッドプログラミング(3)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	1,3	復習	課題プログラムを完成・実行する。	1.5 時間
8	講義内容	GUIプログラミング(1)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	1,4	復習	課題プログラムを完成・実行する。	1.5 時間
9	講義内容	GUIプログラミング(2)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	1,4	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間
10	講義内容	GUIプログラミング(3)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	1,4	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間
11	講義内容	ネットワークプログラミング(1)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	1,5	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間
12	講義内容	ネットワークプログラミング(2)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	1,5	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間
13	講義内容	ネットワークプログラミング(3)		
	該当到達目標	予習	テキスト全体を見直しておく。	1.5 時間
	1,5	復習	課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間
14	講義内容	総合演習(1)■		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間
15	講義内容	総合演習(2)■		
	該当到達目標	予習	テキスト全体を見直しておく。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	総合課題を完成させる。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	オブジェクトプログラミングⅠを履修済みの前提で進める。(最初の4回はオブジェクトプログラミングⅠの教科書を使用する) 【オンラインで授業を実施する場合】 オンデマンド形式のリモート講義の形で進める。 チャット・ビデオ通話や対面での質問にも応じるので、積極的に利用して欲しい。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	病院実習(応用展開科目)			科目ナンバリング	HIA341
英文名	Hospital Training			講義形態	講義
担当教員	大川 喜代美				
科目に関連した実務経験	診療報管理士として診療情報管理業務および医事課に勤務(経験)				
学年・開講期	3 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位		
履修を必須とする資格	診療情報管理士				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
	4	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
	6	問題解決力			
SDGs との関連	① ② ③ ④ ⑥ ⑫				
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 病院の基本的機能の理解、入院および外来診療録の具体的管理状況の理解、診療録管理部門の病院内で果たしている機能の理解、疾病統計・サマリー等がどのようなものかを学習する。 ②実習期間全体を通じた学習の進め方 ・各実習先病院に事前訪問し実習内容について説明を受ける。 ・実習は各実習先病院にて担当者より要点をおよびに業務内容を提示される。指示に従い業務を遂行する。 ・実習前指導を行うため、必ず出席すること。 ・予習復習は毎日行うこと。 ・実習終了後、コメントを頂いた実習ノート、推敲した内容の印刷したもの、推敲した原稿を word で作成し mail 添付して提出する。				
到達目標	実習内容は以下のとおりである。 1.病院の基本機能を理解する■ 2.入院および外来診療録の具体的管理状況を理解する■ 3.診療録管理部門が病院内で果たしている機能を理解する■ 4.疾病統計・サマリー等がどのようなものかを具体的に理解する■ 5.診療録の量的・質的点検の方法を理解する■ 6.診療録の収納、検索、貸出業務を理解する■ 7.傷病名、手術、処置等のコーディングの補助業務を理解する■				
使用教材	ICD-10 第1巻・第3巻 診療情報管理士テキストⅢ・Ⅳ				
参考文献	診療情報管理学 診療情報管理士業務指針 診療情報の記録指針				
評価方法	実習報告書の提出(10%)および、実習先病院から返送される診療情報管理病院実習個人評価票(90%)に基づいて評価する。				
課題・評価に対するフィードバック方法	実習ノートの提出後に実習先病院の担当者よりコメントが記入されて実習生に返却される。				
オフィスアワー (研究室)	大川(情報):木曜日 2 限 (1 号館 609 研究室)		メールアドレス (#→@)	大川(情報):okawa-ki#takasaki-u.ac.jp	
講義内容	各病院の実習担当より、事前訪問時の打ち合わせおよび実習当日に説明がある。■				
	予習	診療情報管理士テキストⅢおよびテキストⅣを読んで復習し、病院に必要な法律、実務の知識を再確認しておく。			期間中適宜
	復習	実習中に担当者から受けた注意や、実習中に質問した事を実習ノートに書く。			期間中適宜

		最終日に実習ノート10日分を推敲し報告書をまとめる。	
合計時間(予習・復習)			時間
備考	診療情報管理士資格必修科目 実習ノートは、病院の実習担当者のコメントをもらい、報告書と共に提出すること。		

科目名	インターンシップ(応用展開科目)				科目ナンバリング	HIA342
英文名	Internship				講義形態	演習
担当教員	田村 拓郎					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	3 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	5	コミュニケーションスキル		
		健康・医療および情報に関する知識・技能	5	生涯学習力		
		問題解決力				
SDGs との関連	8					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	社会人としての仕事の取り組み方や就職活動への心構えなどを学び、キャリアデザイン力を向上させることを目的とする。本科目は以下の流れで進行する。 ・ 学内で事前のガイダンスと研修を実施し、インターンの目的や必要なマナー、業界研究等について説明する。 ・ 研修先において実地研修を 1～2 週間行い、社会や職業への理解を深める。 ・ 実習終了後、学内で研修報告会を行い、インターンシップの成果について発表を行う。					
到達目標	1.業界研究等、資料をまとめることができる。 2.企業人として真摯に職業に取り組む姿についてレポートできる。 3.自らの職業選択についてデザインできる。					
使用教材						
参考文献						
評価方法	事前学習と事後研修(課題提出、報告会への参加ならびに発表を含む)50%、実地研修(研修先の評価結果を含む)50%で評価する。					
課題・評価に対するフィードバック方法	事前学習の課題は、授業担当者からのコメントを付して返却する。研修報告会に向けて作成した資料は資料集として当日配布を予定している。					
オフィスアワー (研究室)	月曜日 4,5 限		メールアドレス (#→@)	tamura-t#takasaki-u.ac.jp		
講義内容	4 月中旬 概要説明ガイダンス 5 月初旬～7 月中旬 事前研修 夏休み・冬休み 実地研修(1～2 週間) 2 月初旬 事後研修(研修報告会)					
	予習	実習先に関する予習、実習指導で準備した資料の確認				期間中適宜
	復習	実習先で教わったことの再確認、現場で得た実体験のまとめ、報告会用資料準備				期間中適宜
合計時間(予習・復習)					時間	
備考						

科目名	Web 制作演習(応用展開科目)			科目ナンバリング	HIA343
英文名	Web Production Exercise			講義形態	演習
担当教員	長澤 亨、田村 拓郎				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	3 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
履修を必須とする資格	Web クリエータ能力認定試験				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
	4	健康・医療および情報に関する知識・技能	2	生涯学習力	
	4	問題解決力			
SDGs との関連	④				
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	ネットワークを通して情報発信する場合、Web 管理システムが用いられる。近年、Web 制作技術を持たない多くの組織が社内で Web サイトの運営をするのが一般的になった。本演習では制作のしやすさ、拡張性の高さから WordPress を用いて Web サイトの制作技術を修得し、企画段階から制作後の運営方法を身に付けることを目的とする。 授業の進め方は、Web デザインⅠ～Ⅲ、Web プログラミングⅠ・Ⅱに関する知識を確認するために、基本的な演習課題を解かせる。知識不足であると思われる部分に関しては、講義し定着を図る。最終的に実際の Web サイトのテーマを見つけ、共同作業において実用可能な Web サイトを構築する。そして公開におけるセキュリティやその運用に関する知識を習得させる。なお、知識不足と思われる学生は追加自習を促す。				
到達目標	1. CMS(Contents Management System)について説明できる。 2. Web サイト制作に必要な、企画、制作、運営について説明できる。 3. WordPress のインストールと設定について説明できる。 4. WordPress の基本操作について説明できる。 5. Web サイト制作の基本フローについて説明できる。 6. Web サイトのカスタマイズについて説明できる。				
使用教材	小さな会社の WordPress サイト制作・運営ガイド 田中勇輔 翔泳社 ISBN978-4-7981-3229-7 C3055				
参考文献					
評価方法	課題提出 50%、授業の参加度 50%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。				
課題・評価に対するフィードバック方法	課題に対する正解を示し、提出内容にコメントを付けて返却する。				
オフィスアワー (研究室)	月曜日の 1 時限、3 時限、質問はメールでも受け付ける。1 号館 6 階 608		メールアドレス (#→@)	nagasawa#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	Chapter1 WordPress のすすめ			
	該当到達目標	予習	Chapter1 WordPress のすすめ		1 時間
	1,2	復習	演習講義内容の復習		1.5 時間
2	講義内容	Chapter2 サイト制作の準備			
	該当到達目標	予習	Chapter2 サイト制作の準備		1 時間
	1,2	復習	演習講義内容の復習		1.5 時間
3	講義内容	Chapter3 WordPress のインストール			
	該当到達目標	予習	Chapter3 WordPress のインストール		1 時間
	3	復習	演習講義内容の復習		1.5 時間

4	講義内容	Chapter4 WordPress の基本操作①		
	該当到達目標	予習	Chapter4 WordPress の基本操作を熟読	1 時間
	4	復習	演習講義内容の復習	1.5 時間
5	講義内容	Chapter4 WordPress の基本操作②		
	該当到達目標	予習	Chapter4 WordPress の基本操作を熟読	1 時間
	4	復習	演習講義内容の復習	1.5 時間
6	講義内容	Chapter4 WordPress の基本操作③		
	該当到達目標	予習	Chapter4 WordPress の基本操作を熟読	1 時間
	4	復習	演習講義内容の復習	1.5 時間
7	講義内容	Chapter5 サイト制作の基本フロー		
	該当到達目標	予習	Chapter4 WordPress の基本操作を熟読	1 時間
	5	復習	演習講義内容の復習	1.5 時間
8	講義内容	Chapter5 サイト制作の基本フロー		
	該当到達目標	予習	Chapter5 サイト制作の基本フロー	1 時間
	5	復習	演習講義内容の復習	1.5 時間
9	講義内容	Chapter6 カスタマイズの基本知識		
	該当到達目標	予習	基本操作を熟読	1 時間
	6	復習	演習講義内容の復習	1.5 時間
10	講義内容	サイト制作演習①		
	該当到達目標	予習	企画書の作成	1 時間
	3,4,5,6	復習	企画書の完成	1.5 時間
11	講義内容	サイト制作演習②		
	該当到達目標	予習	制作編①	1 時間
	3,4,5,6	復習	制作作業	1.5 時間
12	講義内容	サイト制作演習③		
	該当到達目標	予習	制作編②	1 時間
	3,4,5,6	復習	制作作業	1.5 時間
13	講義内容	制作作業		
	該当到達目標	予習	制作編③	1 時間
	3,4,5,6	復習	制作作業	1.5 時間
14	講義内容	サイト制作演習⑤		
	該当到達目標	予習	運営編	1 時間
	3,4,5,6	復習	運営カスタマイズ作業	1.5 時間
15	講義内容	Web 制作演習の総合復習		
	該当到達目標	予習	全体を見直しておく	1 時間
	1,2,3,4,5,6	復習	総合的に復習する	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 VOD:出席と成績は課題提出で評価する。			

科目名	特別ゼミⅠ（応用展開科目）			科目ナンバリング	HIA344
英文名	Special Exercises on InformationⅠ			講義形態	演習
担当教員	学科全教員				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
履修を必須とする資格					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	2	コミュニケーションスキル	
	4	健康・医療および情報に関する知識・技能	2	生涯学習力	
	2	問題解決力			
SDGs との関連	③ ④ ⑨				
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	この科目は、応用展開科目のため、問題解決型（PBL）の「実践体験型」の学習形式をとり、原則一方的な講義形式ではなく、「問題の解決策を考え、調査し、話し合い、必要な知識を明確し、獲得した知識を問題解決に適用し、まとめる。」の流れで学習することで問題解決能力の資質を身につけることを目指す。				
到達目標	この科目は、「健康・医療および情報分野に関わる現代社会の諸問題を発見し、分析し、考察し、その解決法を提案する能力」の資質を備えた人材育成を教育目標とし、テーマ毎の到達目標を以下に示す。 1. インフラの構築:ファイルサーバ「ネットワークとサーバの構築する力を身につける。 2. データの活用:データ管理・分析ソフト(EXCEL、ACCESS、SPSS など)を使って、様々な分野のデータを分析し、データの活用と分析する力を身につける。 3. AI の活用:人工知能の基礎、AI の様々な手法を学び、多様な適用方法を、演習を通して学び、人工知能の活用力を身につける。 4. アプリの作成:Java や C#などの言語でアプリを作成し、プログラミング能力を身につける。 5. わかる応用数学:行列、フィルタ処理、実空間と周波数空間など、数学的な取り扱いについて学習し、デジタル処理を理解する。 6. わかる電子回路:ロジック回路など、演習を通して学び、デジタル回路の理解を深める。 7. コンピュータの仕組み:コンピュータの仕組みについて学び、PC 関する知識を習得する。 8. enPit(セキュリティ):情報技術の習得のみならず、社会人として、他者と協調しながら問題解決し仕事を推進するための力(社会人基礎力)の育成を目指す。 9. 生きるための英会話:Zoom などを使った遠隔授業に対応できる能力を身につける。 10. Python 活用:データ処理や AI を利用する上で役に立つ知識を身につける。 11. 就活対策:就活に必要な履歴書、自己 PR などに必要となる文章力を身につける。				
使用教材	教員が、必要に応じて作成し配布する。				
参考文献					
評価方法	参加度(30%)、発表(30%)、レポート(40%)により総合的に評価する。				
課題・評価に対するフィードバック方法	課題テーマに関する資料や論文などを検索し、その内容をまとめ報告し、内容を討論する。プレゼンテーション内容や課題レポートの内容は、その都度教員が精査し、適切にアドバイスする。				
オフィスアワー(研究室)	各教員が最初の授業で提示する。	メールアドレス (#→@)	各教員が最初の授業で提示する。		
講義内容	各学生が希望テーマに分かれて学習し、到達目標の資質を涵養する。 1. インフラの構築				

	2. データの活用 3. AI の活用 4. アプリの作成 5. わかる応用数学 6. わかる電子回路 7. コンピュータの仕組み 8. enPit(セキュリティ) 9. 生きるための英会話 10. Python の活用 11. 就活対策 その他		
	予習	各教員が必要に応じて指示する。	期間中適宜
	復習	各教員が必要に応じて指示する。	期間中適宜
	合計時間(予習・復習)		
備考	集中講義として開講		

科目名	特別ゼミⅡ（応用展開科目）			科目ナンバリング	HIA345
英文名	Special Exercises on InformationⅡ			講義形態	演習
担当教員	学科全教員				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位		
履修を必須とする資格					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	2	コミュニケーションスキル	
	4	健康・医療および情報に関する知識・技能	2	生涯学習力	
	2	問題解決力			
SDGs との関連	③ ④ ⑨				
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	この科目は、応用展開科目のため、問題解決型（PBL）の「実践体験型」の学習形式をとり、原則一方的な講義形式ではなく、「問題の解決策を考え、調査し、話し合い、必要な知識を明確し、獲得した知識を問題解決に適用し、まとめる。」の流れで学習することで問題解決能力の資質を身につけることを目指す。				
到達目標	この科目は、「健康・医療および情報分野に関わる現代社会の諸問題を発見し、分析し、考察し、その解決法を提案する能力」の資質を備えた人材育成を教育目標とし、テーマ毎の到達目標を以下に示す。 12. インフラの構築:ファイルサーバ「ネットワークとサーバの構築する力を身につける。 13. データの活用:データ管理・分析ソフト(EXCEL、ACCESS、SPSS など)を使って、様々な分野のデータを分析し、データの活用と分析する力を身につける。 14. AI の活用:人工知能の基礎、AI の様々な手法を学び、多様な適用方法を、演習を通して学び、人工知能の活用力を身につける。 15. アプリの作成:Java や C#などの言語でアプリを作成し、プログラミング能力を身につける。 16. わかる応用数学:行列、フィルタ処理、実空間と周波数空間など、数学的な取り扱いについて学習し、デジタル処理を理解する。 17. わかる電子回路:ロジック回路など、演習を通して学び、デジタル回路の理解を深める。 18. コンピュータの仕組み:コンピュータの仕組みについて学び、PC 関する知識を習得する。 19. enPit(セキュリティ):情報技術の習得のみならず、社会人として、他者と協調しながら問題解決し仕事を推進するための力(社会人基礎力)の育成を目指す。 20. 生きるための英会話:Zoom などを使った遠隔授業に対応できる能力を身につける。 21. Python 活用:データ処理や AI を利用する上で役に立つ知識を身につける。 22. 就活対策:就活に必要な履歴書、自己 PR などに必要となる文章力を身につける。				
使用教材	教員が、必要に応じて作成し配布する。				
参考文献					
評価方法	参加度(30%)、発表(30%)、レポート(40%)により総合的に評価する。				
課題・評価に対するフィードバック方法	課題テーマに関する資料や論文などを検索し、その内容をまとめ報告し、内容を討論する。プレゼンテーション内容や課題レポートの内容は、その都度教員が精査し、適切にアドバイスする。				
オフィスアワー(研究室)	各教員が最初の授業で提示する。	メールアドレス(#→@)	各教員が最初の授業で提示する。		
講義内容	各学生が希望テーマに分かれて学習し、到達目標の資質を涵養する。 12. インフラの構築				

	13. データの活用		
	14. AI の活用		
	15. アプリの作成		
	16. わかる応用数学		
	17. わかる電子回路		
	18. コンピュータの仕組み		
	19. enPit(セキュリティ)		
	20. 生きるための英会話		
	21. Python の活用		
	22. 就活対策		
	その他		
	予習	各教員が必要に応じて指示する。	期間中適宜
	復習	各教員が必要に応じて指示する。	期間中適宜
	合計時間(予習・復習)		
備考	集中講義として開講		

科目名	特別ゼミⅢ（応用展開科目）				科目ナンバリング	HIA346
英文名	Special Exercises on InformationⅢ				講義形態	演習
担当教員	学科全教員					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	2	コミュニケーションスキル		
	4	健康・医療および情報に関する知識・技能	2	生涯学習力		
	2	問題解決力				
SDGs との関連	③ ④ ⑨					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	この科目は、応用展開科目のため、問題解決型（PBL）の「実践体験型」の学習形式をとり、原則一方的な講義形式ではなく、「問題の解決策を考え、調査し、話し合い、必要な知識を明確し、獲得した知識を問題解決に適用し、まとめる。」の流れで学習することで問題解決能力の資質を身につけることを目指す。					
到達目標	この科目は、「健康・医療および情報分野に関わる現代社会の諸問題を発見し、分析し、考察し、その解決法を提案する能力」の資質を備えた人材育成を教育目標とし、テーマ毎の到達目標を以下に示す。 23. インフラの構築:ファイルサーバ「ネットワークとサーバの構築する力を身につける。 24. データの活用:データ管理・分析ソフト（EXCEL、ACCESS、SPSS など）を使って、様々な分野のデータを分析し、データの活用と分析する力を身につける。 25. AI の活用:人工知能の基礎、AI の様々な手法を学び、多様な適用方法を、演習を通して学び、人工知能の活用力を身につける。 26. アプリの作成:Java や C#などの言語でアプリを作成し、プログラミング能力を身につける。 27. わかる応用数学:行列、フィルタ処理、実空間と周波数空間など、数学的な取り扱いについて学習し、デジタル処理を理解する。 28. わかる電子回路:ロジック回路など、演習を通して学び、デジタル回路の理解を深める。 29. コンピュータの仕組み:コンピュータの仕組みについて学び、PC 関する知識を習得する。 30. enPit（セキュリティ）:情報技術の習得のみならず、社会人として、他者と協調しながら問題解決し仕事を推進するための力（社会人基礎力）の育成を目指す。 31. 生きるための英会話:Zoom などを使った遠隔授業に対応できる能力を身につける。 32. Python 活用:データ処理や AI を利用する上で役に立つ知識を身につける。 33. 就活対策:就活に必要な履歴書、自己 PR などに必要な文章力を身につける。					
使用教材	教員が、必要に応じて作成し配布する。					
参考文献						
評価方法	参加度（30％）、発表（30％）、レポート（40％）により総合的に評価する。					
課題・評価に対するフィードバック方法	課題テーマに関する資料や論文などを検索し、その内容をまとめ報告し、内容を討論する。プレゼンテーション内容や課題レポートの内容は、その都度教員が精査し、適切にアドバイスする。					
オフィスアワー（研究室）	各教員が最初の授業で提示する。		メールアドレス（#→@）		各教員が最初の授業で提示する。	
講義内容	各学生が希望テーマに分かれて学習し、到達目標の資質を涵養する。 23. インフラの構築					

	24. データの活用		
	25. AI の活用		
	26. アプリの作成		
	27. わかる応用数学		
	28. わかる電子回路		
	29. コンピュータの仕組み		
	30. enPit(セキュリティ)		
	31. 生きるための英会話		
	32. Python の活用		
	33. 就活対策		
	その他		
	予習	各教員が必要に応じて指示する。	期間中適宜
	復習	各教員が必要に応じて指示する。	期間中適宜
合計時間(予習・復習)			
備考	この科目は、開講年で受講できるテーマが変わります。開講予定一覧を参照して下さい。		

科目名	特別ゼミⅣ（応用展開科目）				科目ナンバリング	HIA347
英文名	Special Exercises on InformationⅣ				講義形態	演習
担当教員	学科全教員					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	3 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	2	コミュニケーションスキル		
	4	健康・医療および情報に関する知識・技能	2	生涯学習力		
	2	問題解決力				
SDGs との関連	③ ④ ⑨					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	この科目は、応用展開科目のため、問題解決型（PBL）の「実践体験型」の学習形式をとり、原則一方的な講義形式ではなく、「問題の解決策を考え、調査し、話し合い、必要な知識を明確し、獲得した知識を問題解決に適用し、まとめる。」の流れで学習することで問題解決能力の資質を身につけることを目指す。					
到達目標	この科目は、「健康・医療および情報分野に関わる現代社会の諸問題を発見し、分析し、考察し、その解決法を提案する能力」の資質を備えた人材育成を教育目標とし、テーマ毎の到達目標を以下に示す。 34. インフラの構築:ファイルサーバ「ネットワークとサーバの構築する力を身につける。 35. データの活用:データ管理・分析ソフト（EXCEL、ACCESS、SPSS など）を使って、様々な分野のデータを分析し、データの活用と分析する力を身につける。 36. AI の活用:人工知能の基礎、AI の様々な手法を学び、多様な適用方法を、演習を通して学び、人工知能の活用力を身につける。 37. アプリの作成:Java や C#などの言語でアプリを作成し、プログラミング能力を身につける。 38. わかる応用数学:行列、フィルタ処理、実空間と周波数空間など、数学的な取り扱いについて学習し、デジタル処理を理解する。 39. わかる電子回路:ロジック回路など、演習を通して学び、デジタル回路の理解を深める。 40. コンピュータの仕組み:コンピュータの仕組みについて学び、PC 関する知識を習得する。 41. enPit（セキュリティ）:情報技術の習得のみならず、社会人として、他者と協調しながら問題解決し仕事を推進するための力（社会人基礎力）の育成を目指す。 42. 生きるための英会話:Zoom などを使った遠隔授業に対応できる能力を身につける。 43. Python 活用:データ処理や AI を利用する上で役に立つ知識を身につける。 44. 就活対策:就活に必要な履歴書、自己 PR などに必要となる文章力を身につける。					
使用教材	教員が、必要に応じて作成し配布する。					
参考文献						
評価方法	参加度（30％）、発表（30％）、レポート（40％）により総合的に評価する。					
課題・評価に対するフィードバック方法	課題テーマに関する資料や論文などを検索し、その内容をまとめ報告し、内容を討論する。プレゼンテーション内容や課題レポートの内容は、その都度教員が精査し、適切にアドバイスする。					
オフィスアワー（研究室）	各教員が最初の授業で提示する。		メールアドレス（#→@）		各教員が最初の授業で提示する。	
講義内容	各学生が希望テーマに分かれて学習し、到達目標の資質を涵養する。 34. インフラの構築					

	35. データの活用	
	36. AI の活用	
	37. アプリの作成	
	38. わかる応用数学	
	39. わかる電子回路	
	40. コンピュータの仕組み	
	41. enPit(セキュリティ)	
	42. 生きるための英会話	
	43. Python の活用	
	44. 就活対策	
	その他	
	予習	各教員が必要に応じて指示する。 期間中適宜
	復習	各教員が必要に応じて指示する。 期間中適宜
		合計時間(予習・復習)
備考	この科目は、開講年で受講できるテーマが変わります。開講予定一覧を参照して下さい。	

科目名	情報演習Ⅲ(応用展開科目)				科目ナンバリング	HIA348
英文名	Information Practice Ⅲ				講義形態	演習
担当教員	石川 雅弘					
科目に関連した実務経験	会社員としてシステム開発、研究員として WebDB 開発。					
学年・開講期	3 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格	基本情報技術者試験対応科目					
学位授与方針との対応	1	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	6	健康・医療および情報に関する知識・技能		1	生涯学習力	
	2	問題解決力				
SDGs との関連	8 9 12					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	現代は医療を含めあらゆる分野において情報・通信システムが導入されており、その活用の範囲はますます広がっている。そこで必要となる情報セキュリティ、ネットワーク、データベースなどの技術と、情報技術の骨格を成すデータ構造とアルゴリズムの知識、そしてそれらを実践において活用するためのプログラミングスキルなど、求められる知識もスキルも高度化している。本科目では特に、基本情報技術者試験午後問題レベルで求められるアルゴリズム・疑似コード・プログラミングスキルを確かなものとすることを目標とする。 授業は基本情報技術者試験午後問題レベルの課題・演習への取り組みを中心に進め、適宜補足的講義を行う。					
到達目標	10. 情報システムのハードウェア・ソフトウェア・ネットワーク構成を理解し、説明できる。■ 11. 情報システムに必要なセキュリティ対策や基本的セキュリティ技術を説明できる。 12. 基本的なデータ構造やアルゴリズムについて、疑似コードや C 言語で実装できる。■					
使用教材	適宜資料を配布する					
参考文献						
評価方法	期末試験(100%)で評価する。					
課題・評価に対するフィードバック方法	解答例の提示と解説を行う。					
オフィスアワー(研究室)	月曜 5 限		メールアドレス(#→@)		ishikawa#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	過去問題演習				
	該当到達目標	予習	各個別科目のテキストを見直しておく。			1.5 時間
	1,2,3	復習	過去問題に取り組む。			1.5 時間
2	講義内容	疑似コード				
	該当到達目標	予習	データ構造とアルゴリズムのテキストを見返しておく。			1.5 時間
	3	復習	過去問題に取り組む。			1.5 時間
3	講義内容	情報セキュリティ(1)				
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。			1.5 時間
	3	復習	過去問題に取り組む。			1.5 時間
4	講義内容	情報セキュリティ(2)				
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。			1.5 時間
	3	復習	過去問題に取り組む。			1.5 時間
5	講義内容	データ構造とアルゴリズム(1)■				
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。			1.5 時間
	3	復習	過去問題に取り組む。			1.5 時間
6	講義内容	データ構造とアルゴリズム(2)■				
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。			1.5 時間

	3	復習	課題プログラムを完成・実行する。	1.5 時間
7	講義内容	データ構造とアルゴリズム(3)■		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	3	復習	課題プログラムを完成・実行する。	1.5 時間
8	講義内容	データ構造とアルゴリズム(4)■		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	3	復習	課題プログラムを完成・実行する。	1.5 時間
9	講義内容	データ構造とアルゴリズム(5)■		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	3	復習	課題プログラムを完成・実行する。	1.5 時間
10	講義内容	データ構造とアルゴリズム(6)■		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	3	復習	課題プログラムを完成・実行する。	1.5 時間
11	講義内容	過去問題演習(1)		
	該当到達目標	予習	指定した過去問題に取り組む。	1.5 時間
	3	復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5 時間
12	講義内容	過去問題演習(2)		
	該当到達目標	予習	指定した過去問題に取り組む。	1.5 時間
	3	復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5 時間
13	講義内容	過去問題演習(3)		
	該当到達目標	予習	指定した過去問題に取り組む。	1.5 時間
	3	復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5 時間
14	講義内容	総合演習(1)		
	該当到達目標	予習	これまでの資料に目を通しておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5 時間
15	講義内容	総合演習(2)		
	該当到達目標	予習	これまでの資料に目を通しておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	基本情報技術者試験合格を目標とするので、他の関連する科目も履修することが望ましい。 課題への取り組みや疑問の解消には個々の積極的な姿勢が重要となるので、合格への意欲を持って継続的に学習に取り組んでほしい。 【オンラインで授業を実施する場合】 基本的にオンデマンド形式のリモート講義の形で進める。 チャット・ビデオ通話や対面での質問にも応じるので積極的に利用して欲しい。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	情報演習Ⅳ(応用展開科目)				科目ナンバリング	HIA349
英文名	Information Practice Ⅳ				講義形態	演習
担当教員	石川 雅弘					
科目に関連した実務経験	会社員としてシステム開発、研究員として WebDB 開発。					
学年・開講期	3 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格	基本情報技術者試験対応科目					
学位授与方針との対応	1	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	6	健康・医療および情報に関する知識・技能		1	生涯学習力	
	2	問題解決力				
SDGs との関連	8 9 12					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	現代は医療を含めあらゆる分野において情報システムが導入されており、その活用の範囲はますます広がっている。そこで必要となる情報セキュリティ、ネットワーク、データベースなどの技術と情報技術の骨格を成すデータ構造とアルゴリズムの知識、そしてそれを実践するためのプログラミングスキルなど、求められる知識もスキルも高度化している。本科目では、これらの知識を確かなものとし、より高度な内容を学ぶ力を涵養することを目指す。 授業は基本情報技術者試験午後問題のレベルの課題・演習への取り組みを中心に進め、適宜補足的講義を行う。					
到達目標	13. 情報システムの基本的なハードウェア・ソフトウェア・ネットワーク構成を説明できる。■ 14. 情報システムに必要なセキュリティ対策や基本的セキュリティ技術を説明できる。 15. 関係データベースの基礎的理論を理解し、基本的な利用ができる。■ 16. 基本的なデータ構造やアルゴリズムについて、疑似コードや C 言語で実装できる。■					
使用教材	適宜資料を配布する					
参考文献						
評価方法	期末試験(100%)で評価する。					
課題・評価に対するフィードバック方法	解答例の提示と解説を行う。					
オフィスアワー(研究室)	月曜 4 限		メールアドレス(#→@)	ishikawa#takasaki-u.ac.jp		
1	講義内容	過去問題演習				
	該当到達目標	予習	各個別科目のテキストを見直しておく。			1.5 時間
	1,2,3,4	復習	過去問題に取り組む。			1.5 時間
2	講義内容	情報セキュリティ(1)				
	該当到達目標	予習	情報セキュリティのテキストを見直しておく。			1.5 時間
	2	復習	過去問題に取り組む。			1.5 時間
3	講義内容	情報セキュリティ(2)				
	該当到達目標	予習	情報セキュリティのテキストを見直しておく。			1.5 時間
	2	復習	過去問題に取り組む。			1.5 時間
4	講義内容	データ構造とアルゴリズム(1)■				
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。			1.5 時間
	4	復習	過去問題に取り組む。			1.5 時間
5	講義内容	データ構造とアルゴリズム(2)■				
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。			1.5 時間
	4	復習	過去問題に取り組む。			1.5 時間
6	講義内容	データ構造とアルゴリズム(3)■				
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。			1.5 時間

	4	復習	過去問題に取り組む。	1.5 時間
7	講義内容	データ構造とアルゴリズム(4)■		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	4	復習	過去問題に取り組む。	1.5 時間
8	講義内容	過去問題演習(1)		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	4	復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5 時間
9	講義内容	過去問題演習(2)		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	4	復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5 時間
10	講義内容	過去問題演習(3)		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	4	復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5 時間
11	講義内容	過去問題演習(4)		
	該当到達目標	予習	指定した過去問題に取り組む。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5 時間
12	講義内容	過去問題演習(5)		
	該当到達目標	予習	指定した過去問題に取り組む。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5 時間
13	講義内容	過去問題演習(6)		
	該当到達目標	予習	指定した過去問題に取り組む。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5 時間
14	講義内容	総合演習(1)		
	該当到達目標	予習	これまでの資料に目を通しておく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5 時間
15	講義内容	総合演習(2)		
	該当到達目標	予習	これまでの資料に目を通しておく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	基本情報技術者試験合格が目標なので、他の関連する科目も履修することが望ましい。 課題への取り組みや疑問の解消には個々の積極的な姿勢が重要となるので、合格への意欲を持った参加が求められる。 【オンラインで授業を実施する場合】 基本的にオンデマンド形式のリモート講義の形で進める。 チャット・ビデオ通話や対面での質問にも応じるので、積極的に利用して欲しい。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	診療情報演習Ⅲ（応用展開科目）				科目ナンバリング	HIA350
英文名	Health Information Management Practice Ⅲ				講義形態	演習
担当教員	大川 喜代美					
科目に関連した実務経験	診療報管理士として診療情報管理業務および医事課に勤務（経験）					
学年・開講期	3 年 前期	選必・単位数	選択	2 単位		
履修を必須とする資格	診療情報管理士					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	4	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
	6	問題解決力				
SDGs との関連	① ② ③ ④ ⑥ ⑪ ⑫					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 診療情報管理士認定試験合格のため分類法およびコーディングについてより深い知識を習得。 ② 診療情報『管理士テキストの『専門・診療情報管理』について良く理解し、問題集を全て正解する。 【授業期間全体を通じた授業の進め方】 各講義ではテーマについて概要を説明する。授業はテキストにて要点を提示する。					
到達目標	1.テキスト診療情報管理（専門課程編）分類法 要約症例（サマリー）の主要病態の正しい選択、および正確なコーディングができる。 2.模擬試験にて診療情報管理士認定試験合格ラインに到達することができる。■					
使用教材	診療情報管理Ⅲ、診療情報管理Ⅳ、診療情報管理士教育問題集専門 1 章～7 章、診療情報管理士教育問題集専門 8 章～12 章、ICD-10(2013 年版)第1巻・第3巻、プリント配布					
参考文献	診療情報管理学 診療情報管理士業務指針 診療情報の記録指針					
評価方法	授業への参加度 90%（原則欠席不可）、課題完成 10%					
課題・評価に対するフィードバック方法	次回の課題プリントを配布する。翌週課題の解答および解説をする。 模擬テストの実施により、不得意問題を把握し、個別に指導する。					
オフィスアワー（研究室）	大川（情報）：木曜日 2 限 （1 号館 609 研究室）		メールアドレス （#→@）	大川（情報）：okawa-ki#takasaki-u.ac.jp		
1	講義内容	第Ⅰ章、第Ⅲ章				
	該当到達目標	予習	診療情報管理士テキスト（専門課程編）分類法の症例を読み、主傷病名を選択する方法を予習する。			1.5 時間
		1	復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。		
2	講義内容	第Ⅳ章、第Ⅴ章				
	該当到達目標	予習	配布した第Ⅳ章、第Ⅴ章の要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。			1.5 時間
		1	復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。		
3	講義内容	第Ⅵ章、第Ⅶ章				
	該当到達目標	予習	配布した第Ⅵ章、第Ⅶ章の要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。			1.5 時間
		1	復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。		
4	講義内容	第Ⅷ章、第Ⅸ章				
	該当到達目標	予習	配布した第Ⅷ章、第Ⅸ章の要約症例を解き、解らないところを質問できるように			1.5 時間

	1		しておく。	
		復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	1 時間
5	講義内容	第X章、第XI章		
	該当到達目標	予習	配布した第X章、第XI章の要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。	1.5 時間
	1	復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	1 時間
6	講義内容	第XII章、第II章①		
	該当到達目標	予習	配布した第XII章、第II章の要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。	1.5 時間
	1	復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	1 時間
7	講義内容	第II章②		
	該当到達目標	予習	配布した第II章の要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。	1.5 時間
	1	復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	1 時間
8	講義内容	第XIII章、第XIV章		
	該当到達目標	予習	配布した第XIII章、第XIV章の要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。	1.5 時間
	1	復習	第XIII章、第XIV章の授業での解答と解説を振り返り、理解する。	1 時間
9	講義内容	第XV章、第XVI章		
	該当到達目標	予習	配布した第XV章、第XVI章の要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。	1.5 時間
	1	復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	1 時間
10	講義内容	第XVII章、第XVIII章		
	該当到達目標	予習	配布した第XVII章、第XVIIIの要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。	1.5 時間
	1	復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	1 時間
11	講義内容	第XIX章、第XX章		
	該当到達目標	予習	配布した第XIX章、第XX章の要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。	1.5 時間
	1	復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	1 時間
12	講義内容	第XXI章 原死因		
	該当到達目標	予習	配布した第XXI章 原死因の要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。	1.5 時間
	1	復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	1 時間
13	講義内容	原死因		
	該当到達目標	予習	配布した原死因要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。	1.5 時間
	1	復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	1 時間
14	講義内容	過去問模擬試験■		
	該当到達目標	予習	前回までの問題と解説を読み返し模擬試験に備える。	1.5 時間
	2	復習	授業での模試の解答と解説を振り返り、理解する。	1 時間
15	講義内容	第1回業者模試■		
	該当到達目標	予習	分類法コーディングで不得意な章の解答・解説を読み返し模擬試験に備える。	1.5 時間

	2	復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	1 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	診療情報管理士資格必修科目 質問はメールでも可能。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	診療情報演習Ⅳ(応用展開科目)				科目ナンバリング	HIA351
英文名	Health Information Management Practice IV				講義形態	演習
担当教員	大川 喜代美					
科目に関連した実務経験	診療報管理士として診療情報管理業務および医事課に勤務(経験)					
学年・開講期	3 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格	診療情報管理士					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	4	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
	6	問題解決力				
SDGs との関連	① ② ③ ④ ⑥ ⑫					
実施概要	① 診療情報管理士認定試験対策					
①講義の目標	②基礎科目、専門科目の総復習を行う。					
②講義の実施方法	各講義ではテーマについて概要を説明する。授業はテキストにて要点を提示する。					
到達目標	1. 診療情報管理士教育問題集 国際統計分類Ⅰ 第1章～第21章の問題演習を解くことができる。■ 2. 診療情報管理士教育問題集 国際疾病分類概論の問題演習を解くことができる。■ 3. 模擬試験内容を解くことができる。					
使用教材	診療情報管理Ⅳ専門 8 章～12 章、診療情報管理士教育問題集専門 8 章～12 章、ICD-10(2013 年版) 第1巻・第3巻					
参考文献	診療情報管理学 診療情報管理士業務指針 診療情報の記録指針					
評価方法	授業への参加度 90%(原則欠席不可)、課題完成 10%					
課題・評価に対するフィードバック方法	授業時間内に期末試験について、出題の意図と内容の解説を行う。					
オフィスアワー(研究室)	大川(情報):木曜日 2 限 (1 号館 609 研究室)		メールアドレス (#→@)		大川(情報):okawa-ki#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	第Ⅰ章、第Ⅲ章■				
	該当到達目標	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編第Ⅰ章、第Ⅲ章の問題を解く。			1.5 時間
	1	復習	授業での解答・解説を良く読み理解する。			1 時間
2	講義内容	第Ⅳ章、第Ⅴ章■				
	該当到達目標	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編第Ⅳ章、第Ⅴ章の問題を解く。			1.5 時間
	1	復習	授業での解答・解説を良く読み理解する。			1 時間
3	講義内容	第Ⅵ章、第Ⅶ章■				
	該当到達目標	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編第Ⅵ章、第Ⅶ章の問題を解く。			1.5 時間
	1	復習	授業での解答・解説を良く読み理解する。			1 時間
4	講義内容	第Ⅷ章、第Ⅸ章■				
	該当到達目標	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編第Ⅷ章、第Ⅸ章の問題を解く。			1.5 時間
	1	復習	授業での解答・解説を良く読み理解する。			1 時間
5	講義内容	第Ⅹ章、第Ⅺ章■				
	該当到達目標	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編第Ⅹ章、第Ⅺ章の問題を解く。			1.5 時間
	1	復習	授業での解答・解説を良く読み理解する。			1 時間

6	講義内容	第Ⅶ章、第Ⅱ章①■			
	該当到達目標 1	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編第Ⅶ章、第Ⅱ章の問題を解く。	1.5 時間	
		復習	授業での解答・解説を良く読み理解する。	1 時間	
7	講義内容	第Ⅱ章②■			
	該当到達目標 1	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編第Ⅱ章の問題を解く。	1.5 時間	
		復習	授業での解答・解説を良く読み理解する。	1 時間	
8	講義内容	第ⅩⅢ章、第ⅩⅣ章■			
	該当到達目標 1	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編第ⅩⅢ章、第ⅩⅣ章の問題を解く。	1.5 時間	
		復習	授業での解答・解説を良く読み理解する。	1 時間	
9	講義内容	第ⅩⅤ章、第ⅩⅥ章■			
	該当到達目標 1	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編第ⅩⅤ章、第ⅩⅥ章の問題を解く。	1.5 時間	
		復習	授業での解答・解説を良く読み理解する。	1 時間	
10	講義内容	第ⅩⅦ章、第ⅩⅧ章■			
	該当到達目標 1	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編第ⅩⅦ章、第ⅩⅧ章の問題を解く。	1.5 時間	
		復習	授業での解答・解説を良く読み理解する。	1 時間	
11	講義内容	第ⅩⅨ章、第ⅩⅩ章■			
	該当到達目標 1	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編第ⅩⅨ章、第ⅩⅩ章の問題を解く。	1.5 時間	
		復習	授業での解答・解説を良く読み理解する。	1 時間	
12	講義内容	第ⅩⅪ章 原死因■			
	該当到達目標 1	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編第ⅩⅪ章の問題を解く。	1.5 時間	
		復習	授業での解答・解説を良く読み理解する。	1 時間	
13	講義内容	原死因■			
	該当到達目標 1	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編原死因の問題を解く。	1.5 時間	
		復習	授業での解答・解説を良く読み理解する。	1 時間	
14	講義内容	11 章 国際統計分類Ⅰ■			
	該当到達目標 2	予習	診療情報管理士教育問題集専門第 11 章・12 章 国際疾病分類概論の問題を解く。	1.5 時間	
		復習	授業での解答・解説を良く読み理解する。	1 時間	
15	講義内容	第1回業者模試			
	該当到達目標	予習	診療情報管理士教育問題集専門 11 章・12 章のポイントを振り返り理解する	1.5 時間	
		復習	模試を自己採点し、解答・解説を良く読み理解する。	1 時間	
合計時間(予習・復習)					37.5 時間
備考	診療情報管理士資格必修科目 質問はメールでも可能。 ■:実務経験に基づく内容を示す。				

科目名	チーム医療アプローチ演習(応用展開科目)				科目ナンバリング	HIA356
英文名	Interprofessional Practice				講義形態	演習
担当教員	小池洋子(看護)、木村憲洋(情報)、加藤大輔(福祉)、竹内真理(栄養)、大林恭子(薬学)、篠原智行(理学)、小竹利夫(子ども)					
科目に関連した実務経験	小池(看護):看護師として一般病院に勤務(経験) 木村(情報):病院経営企画及び診療情報管理にて病院に勤務(経験) 加藤(福祉):MSWとしてケアミックス病院に勤務(経験) 竹内(栄養):管理栄養士として国立病院機構に勤務(経験)。健大附属クリニック管理栄養士兼務。 大林(薬学):薬剤師として大学病院に勤務(経験)大学病院に非常勤勤務。 篠原(理学):理学療法士として急性期、回復期病院に勤務(経験)。生活期病院に非常勤勤務。 小竹(子ども):障害児母子通所支援施設に勤務					
学年・開講期	3年 前期	選必・単位数	選択 1単位			
履修が必須となる資格						
学位授与方針との対応	2	豊かな人間性と幅広い教養		2	コミュニケーションスキル	
	3	健康・医療および情報に関する知識・技能		1	生涯学習力	
	2	問題解決力				
SDGs との関連	3 4 8 16 17					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	チーム医療が必要な事例を用いて、福祉・医療系の各専門職の役割・活動および患者、家族に必要な福祉・医療活動について検討する。さらにチーム医療を促進するための福祉・医療系専門職の協働の必要性、および専門職の連携の課題について学ぶ。					
到達目標	1. 各専門職の役割と活動について理解し、多職種が連携・協働することの意義を述べる。■ 2. 多職種間での情報伝達・共有の必要性を理解し、効果的な情報伝達・共有方法について考えを述べる。■ 3. チーム医療を促進するための福祉・医療系専門職の連携・協働の必要性を説明できる。■ 4. チーム医療における専門職の連携を促進するための課題を考察できる。					
使用教材	関連する資料を随時配布する。					
参考文献	指定なし。					
評価方法	1～4回の振り返りシートの記述内容、演習参加への積極性・授業態度 40%、5、6回の模擬症例検討内容等 20%、7、8回の演習参加への積極性・授業態度および発表内容・発表態度 20%、授業後レポート 20% (対面授業・オンライン授業共通)					
課題に対するフィードバック	模擬症例検討を行う際には、グループごとに結果をまとめて発表させ、それに対して教員と他チームの学生による検討を行いフィードバックする。					
オフィスアワー (研究室)	・ 小池(看護) 月曜日 4限、5号館 412 研究室 ・ 木村(情報) 月曜 1限 7号館 610 研究室 ・ 加藤(福祉) 木曜 2限、1号館 513 研究室 ・ 竹内(栄養) 木曜 2限、1号館 308 研究室 ・ 大林(薬学) 月曜 1限、7号館 307 研究室 ・ 篠原(理学) 水曜 3限、3号館 206 研究室 ・ 小竹(子ども) 月曜 1限、8号館 403 研究室		メールアドレス (#→@)		・ 小池(看護) koike-y#takasaki-u.ac.jp ・ 木村(情報) norihito#takasaki-u.ac.jp ・ 加藤(福祉) kato-d#takasaki-u.ac.jp ・ 竹内(栄養) mtakeuchi#takasaki-u.ac.jp ・ 大林(薬学) obayashi#takasaki-u.ac.jp ・ 篠原(理学) shinohara-t#takasaki-u.ac.jp ・ 小竹(子ども) kotake@takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンス / チーム医療アプローチについて【合同】				
	該当到達目標	予習	チーム医療について調べておく。			1.5 時間

	1,2,3,4	復習	演習の目標や進め方、提出物を確認する。	1.5 時間
2	講義内容	チームカンファレンスの目的と方法■【合同】		
	該当到達目標	予習	各専門職の役割、チームカンファレンスの目的について調べておく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	チームカンファレンスの目的、方法、留意点を整理する。	1.5 時間
3	講義内容	効果的な情報伝達と共有①■【合同】		
	該当到達目標	予習	情報伝達と共有方法について調べて考えておく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	情報伝達と共有方法の工夫を整理する。	1.5 時間
4	講義内容	効果的な情報伝達と共有②■【合同】		
	該当到達目標	予習	情報伝達と共有方法について調べて考えておく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	情報伝達と共有方法の工夫を整理する。	1.5 時間
5	講義内容	模擬症例検討①(模擬症例に対する自職種の役割、アプローチについて)【各学科】		
	該当到達目標	予習	疾病と治療について学習し、自職種の関わり方をまとめる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	模擬症例への自職種の役割、アプローチを整理する。	1.5 時間
6	講義内容	模擬症例検討②(模擬症例に対する自職種の役割、アプローチについて)【各学科】		
	該当到達目標	予習	発表の準備をしておく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	模擬症例への自職種の役割、アプローチを整理する。	1.5 時間
7	講義内容	模擬症例検討③(模擬症例への最善の医療に向けたチーム医療アプローチについて)*グループワーク■【合同】		
	該当到達目標	予習	模擬症例への自職種の役割、アプローチを他職種に説明する方法について準備しておく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	模擬症例への各職種の役割、チーム医療アプローチの意義を整理する。	1.5 時間
8	講義内容	模擬症例検討④(模擬症例への最善の医療に向けたチーム医療アプローチについて)*グループワーク発表■【合同】		
	該当到達目標	予習	発表の準備をしておく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	模擬症例への各職種の役割、チーム医療アプローチの意義を整理する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				24 時間
備考	【履修条件】原則、チーム医療アプローチ論を履修していること。 【授業期間全体を通じた授業の進め方】 1 回目の講義は、テーマについて概要を説明する。授業はパワーポイントにより要点を提示する。 2～8 回目の講義は、グループワークの形式で進める。 オンライン授業になった際は、ZOOM を使い可能な限りグループワークを行うが、状況に応じてその都度指示する。 【キーワード】専門職、チーム医療、多職種連携 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	SPI 講座 I（非言語能力 I）（応用展開科目）			科目ナンバリング	HIA352
英文名	SPI Course I（Non-verbal ability I）			講義形態	演習
担当教員	石田 正史				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	必修 1 単位		
履修を必須とする資格					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能		2	生涯学習力
	3	問題解決力			
SDGs との関連	④				
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	SPI は、あらゆる職業に共通して求められる潜在的な業務遂行能力、職業適性や性格等の検査である。これらの能力が人材の能力適性検査の基準とされている。能力適性検査は「言語能力」と「非言語能力」から成るが、本講座では後者を扱う。非言語能力に関する領域において、企業との能力適性検査に円滑かつスピーディーに解答ができる力を修得する。単元ごとに小テストを実施し、単元の振り返りを行う。また、出席カードで自宅での学習状況や授業における疑問点や改善要望等を収集する。				
到達目標	1. 演習を通して、数理的な思考能力を身につける。 2. 演習を通して、数理的な処理能力を身につける。				
使用教材	講師作成テキスト				
参考文献					
評価方法	授業への参加・貢献 10%、自宅学習の状況 10%、授業中に実施する小テスト 20%、期末試験 60%で総合的に評価する。				
課題・評価に対するフィードバック方法	単元ごとに小テストを実施し、単元の振り返りを行う。また、出席カードで自宅での学習状況や授業における疑問点や改善要望等を収集する。				
オフィスアワー（研究室）	木曜日の 4・5 時限、質問はメールでも受け付ける。		メールアドレス（#→@）	ishida1206#hb.tp1.jp	
1	講義内容	ガイダンス			
	該当到達目標	予習	シラバスに目を通しておく		1 時間
	1,2	復習	テキストに目を通す。		1 時間
2	講義内容	基礎計算①分数、正負の加減乗除、公約数、公倍数			
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く		1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。		1 時間
3	講義内容	基礎計算②方程式、不等式等の計算			
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く		1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。		1 時間
4	講義内容	鶴亀算、年齢算、植木算			
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く		1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。		1 時間
5	講義内容	速さ①速さ、平均の速さ、旅人算			
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く		1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。		1 時間
6	講義内容	速さ②流水算、通過算、時計算			
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く		1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。		1 時間

7	講義内容	仕事算・給排水算		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
8	講義内容	濃度		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
9	講義内容	歩合算、割合		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
10	講義内容	図形①平面図形と計量		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
11	講義内容	図形②立体図形と計量		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
12	講義内容	空間把握(軌跡、折り紙、展開図など)		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
13	講義内容	場合の数・確率①場合の数、順列、組合せ		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
14	講義内容	場合の数・確率②確率		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
15	講義内容	規則性の発見(数列、魔方陣)		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
合計時間(予習・復習)				30 時間
備考				

科目名	SPI 講座Ⅱ（非言語能力Ⅱ）（応用展開科目）				科目ナンバリング	HIA353
英文名	SPI Course Ⅱ（Non-verbal ability Ⅱ）				講義形態	演習
担当教員	石田 正史					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	必修 1 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能		2	生涯学習力	
	3	問題解決力				
SDGs との関連	④					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	SPI は、あらゆる職業に共通して求められる潜在的な業務遂行能力、職業適性や性格等の検査である。これらの能力が人材の能力適性検査の基準とされている。能力適性検査は「言語能力」と「非言語能力」から成るが、本講座では後者を扱う。非言語能力に関する領域において、企業との能力適性検査に円滑かつスピーディーに解答ができる力を修得する。単元ごとに小テストを実施し、単元の振り返りを行う。また、出席カードで自宅での学習状況や授業における疑問点や改善要望等を収集する。					
到達目標	1. 演習を通して、数理的な思考能力を身につける。 2. 演習を通して、数理的な処理能力を身につける。					
使用教材	講師作成テキスト					
参考文献						
評価方法	授業への参加・貢献 10%、自宅学習の状況 10%、授業中に実施する小テスト 20%、期末試験 60%で総合的に評価する。					
課題・評価に対するフィードバック方法	単元ごとに小テストを実施し、単元の振り返りを行う。また、出席カードで自宅での学習状況や授業における疑問点や改善要望等を収集する。					
オフィスアワー （研究室）	木曜日の 3・4 時限、質問はメールでも受け付ける。		メールアドレス （#→@）		ishida1206#hb.tp1.jp	
1	講義内容	記数法				
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。			1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。			1 時間
2	講義内容	演算、虫食い算				
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。			1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。			1 時間
3	講義内容	矢印問題（PERT 法、ブラックボックス、物流と比率）				
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。			1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。			1 時間
4	講義内容	グラフとその領域（一次関数、二次関数、分数関数）				
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。			1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。			1 時間
5	講義内容	判断推理①論理				
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。			1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。			1 時間
6	講義内容	判断推理②集合				
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。			1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。			1 時間

7	講義内容	判断推理③文章推理		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
8	講義内容	判断推理④順序、位置・方位		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
9	講義内容	資料①分布図、構成比		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
10	講義内容	資料②指数、増加率		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
11	講義内容	物理①電気回路		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
12	講義内容	物理②運動力学		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
13	講義内容	物理③てこ、滑車		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
14	講義内容	SPI 非言語分野模擬試験		
	該当到達目標	予習	テキスト全体を見直す。	1 時間
	1,2	復習	模擬試験を見直す。	1 時間
15	講義内容	総まとめ		
	該当到達目標	予習	テキスト全体を見直す	1 時間
	1,2	復習	テキストで不得意分野を見直す。	1 時間
合計時間(予習・復習)				30 時間
備考				

科目名	SPI 講座Ⅲ(言語能力Ⅰ)(応用展開科目)				科目ナンバリング	HIA354
英文名	SPI Course Ⅲ (Language Ability Ⅰ)				講義形態	演習
担当教員	根本 敬彦					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	3 年 前期	選必・単位数	必修 1 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
	5	問題解決力				
SDGs との関連	④					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	SPI の言語能力の各分野を網羅的に学習し、言語能力検査の出題傾向に即した問題演習を反復することによって、「就職力」の向上と幅広い教養の醸成を図ることを目的とします。SPI の能力適性検査の成績による「足切り」の増加という事態を踏まえ、年々SPI のスコアが上昇傾向にあるだけに、80%以上の正答率をあげることに伴う言語分野の攻略のために、実践的な知識・問題対応力の修得を目標とします。とくに近年の国際学力調査(PISA)における「読解力」の順位の急落傾向という事態に鑑み、すべての学問の基礎としての「読解力」の強化には十二分に注力します。授業は事前配布プリントを使用し、重要事項を確認したうえで問題演習を中心に行います。実践的な「就職力」の向上を目的とする科目であることを自覚し、授業には積極的に取り組み、また授業内容の定着度を高めるため、とくに復習は重視してください。					
到達目標	1. 語句の意味に関する多様な出題を検討し、理解できる。 2. 語句の知識に関する多様な出題を検討し、理解できる。 3. 文章読解に関する多様な出題を検討し、理解できる。					
使用教材	毎回事前に、要点整理および問題演習のための自己作成プリントを配布します。					
参考文献	適宜授業時に紹介します。					
評価方法	平常授業への積極的参加度(質疑応答を含む)(15%)、小テスト(適宜実施)(15%)、定期試験(70%)で評価する。総合評価 60%以上を合格とします。					
課題・評価に対するフィードバック方法	小テストについては、実施後出題内容の重要ポイントについて解説します。					
オフィスアワー(研究室)	授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で質問に応じます。		メールアドレス(#→@)		qgn335k9#outlook.jp	
1	講義内容	言語能力の向上—ガイダンス				
	該当到達目標	予習	シラバスの内容を読み、言語分野克服のための要点を理解する。			0.5 時間
	1	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法について確認する。			0.5 時間
2	講義内容	同義語・類義語				
	該当到達目標	予習	事前配布プリントによって、同義語・類義語の出題形式を認識し、概要を知る。			0.5 時間
	1	復習	同義語・類義語の多様な出題を検討し、理解する。			0.5 時間
3	講義内容	対義語・反対語				
	該当到達目標	予習	事前配布プリントによって、対義語・反対語の出題形式を認識し、概要を知る。			0.5 時間
	1	復習	対義語・反対語の多様な出題を検討し、理解する。			0.5 時間
4	講義内容	言葉の対応関係(1)－包含関係・行為関係				
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、包含関係・行為関係の出題形式を認識し、概要を知る。			0.5 時間
	1	復習	包含関係・行為関係の多様な出題を検討し、理解する。			0.5 時間
5	講義内容	言葉の対応関係(2)－原料関係・用途関係				
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、原料関係・用途関係の出題形式を認識し、概要を知る。			0.5 時間

	1	復習	原料関係・用途関係の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
6	講義内容	同音異義語・同訓異字		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、同音異義語・同訓異字の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	2	復習	同音異義語・同訓異字の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
7	講義内容	同音異字・同訓異義語		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、同音異字・同訓異義語の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	2	復習	同音異字・同訓異義語の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
8	講義内容	ことわざ・慣用句・故事成語		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、ことわざ・慣用句・故事成語の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	2	復習	ことわざ・慣用句・故事成語の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
9	講義内容	三字熟語・四字熟語		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、三字熟語・四字熟語の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	2	復習	三字熟語・四字熟語の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
10	講義内容	その他・語句の知識(敬語・難解語句・文法・誤記しやすい字)		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、その他・語句の知識の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	2	復習	その他・語句の知識の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
11	講義内容	文章読解(1)－要旨把握・内容合致		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、要旨把握・内容合致問題の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	3	復習	要旨把握・内容合致問題の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
12	講義内容	文章読解(2)－文章整序		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、文章整序問題の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	3	復習	文章整序問題の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
13	講義内容	文章読解(3)－空欄補充		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、空欄補充問題の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	3	復習	空欄補充問題の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
14	講義内容	文章読解(4)－特定語理解		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、特定語理解の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	3	復習	特定語理解の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
15	講義内容	総合問題演習・解説		
	該当到達目標	予習	当該科目の既習内容の確認をする。	0.5 時間
	1,2,3	復習	総合問題演習の解説を踏まえ、要点を確認する。	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考	「コロナ就活」および「コロナ禍」収束後の社会・就職事情の変容を見据えた柔軟な対応力の獲得を目指し、意欲的な授業への参加を望みます。			

科目名	SPI 講座Ⅳ(言語能力Ⅱ)(応用展開科目)				科目 ナンバリング	HIA355
英文名	SPI Course Ⅳ (Language Ability Ⅱ)				講義形態	演習
担当教員	根本 敬彦					
科目に関連した 実務経験						
学年・開講期	3 年 後期	選必・単位数	必修 1 単位			
履修を必須とする 資格						
学位授与方針 との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
	5	問題解決力				
SDGs との関連	④					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	一般常識問題のうち、主に人文科学分野の各科目の頻出テーマの出題傾向に即した問題演習を反復することによって、「就職力」の向上と幅広い教養の醸成を図ることを目的とします。一般常識テストの正答率をあげるために、実践的な知識・問題対応力の修得を目標とします。とくに近時の社会変容に伴う出題頻度の高い時事問題や国際社会に関する問題などへの対策に極力傾注します。授業は事前配布プリントを使用し、重要事項を確認したうえで問題演習を中心に行います。実践的な「就職力」の向上を目的とする科目であることを十二分に自覚し、授業には積極的に取り組み、また授業内容の定着度を高めるため、とくに復習は重視してください。					
到達目標	1. 日本史に関する多様な出題を検討し、理解できる。 2. 世界史に関する多様な出題を検討し、理解できる。 3. 地理に関する多様な出題を検討し、理解できる。					
使用教材	毎回事前に、要点整理および問題演習のための自己作成プリントを配布します。					
参考文献	適宜授業時に紹介します。					
評価方法	平常授業への積極的参加度(質疑応答を含む)(15%)、小テスト(適宜実施)(15%)、定期試験(70%)で評価する。総合評価 60%以上を合格とします。					
課題・評価に対する フィードバック方法	小テストについては、実施後出題内容の重要ポイントについて解説します。					
オフィスアワー (研究室)	授業日の授業開始前もしくは終了後に 教室等で質問に応じます。		メールアドレス (#→@)		qgn335k9#outlook.jp	
1	講義内容	日本史(1) 一律令国家の形成と衰退				
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、律令国家の形成と衰退についての出題形式を認識し、概要を知る。			0.5 時間
	1	復習	律令国家の形成と衰退についての多様な出題を検討し、理解する。			0.5 時間
2	講義内容	日本史(2) 中世の政治と経済				
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、中世の政治と経済についての出題形式を認識し、概要を知る。			0.5 時間
	1	復習	中世の政治と経済についての多様な出題を検討し、理解する。			0.5 時間
3	講義内容	日本史(3) 近世の政治と経済				
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、近世の政治と経済についての出題形式を認識し、概要を知る。			0.5 時間
	1	復習	近世の政治と経済についての多様な出題を検討し、理解する。			0.5 時間
4	講義内容	日本史(4) 近現代の政治と社会				
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、近現代の政治と社会についての出題形式を認識し、概要を知る。			0.5 時間
	1	復習	近現代の政治と社会についての多様な出題を検討し、理解する。			0.5 時間

5	講義内容	世界史(1)ーヨーロッパ世界の形成		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、ヨーロッパ世界の形成についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	2	復習	ヨーロッパ世界の形成についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
6	講義内容	世界史(2)ー近代ヨーロッパ世界の成立		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、近代ヨーロッパ世界の成立についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	2	復習	近代ヨーロッパ世界の成立についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
7	講義内容	世界史(3)ー市民社会の成長		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、市民社会の成長についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	2	復習	市民社会の成長についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
8	講義内容	世界史(4)ー中国史二つの世界大戦		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、二つの世界大戦についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	2	復習	二つの世界大戦についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
9	講義内容	世界史(5)ー中国史		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、中国史についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	2	復習	中国史についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
10	講義内容	地理(1)ー気候・植生・土壌		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、気候・植生・土壌についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	3	復習	気候・植生・土壌についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
11	講義内容	地理(2)ー農牧業		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、農牧業についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	3	復習	農牧業についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
12	講義内容	地理(3)ーエネルギー資源・鉱物資源		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、エネルギー資源・鉱物資源についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	3	復習	エネルギー資源・鉱物資源についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
13	講義内容	地理(4)ー世界各国地誌		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、世界各国地誌についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	3	復習	世界各国地誌についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
14	講義内容	地理(5)ー環境問題		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、環境問題についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	3	復習	環境問題についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
15	講義内容	総合問題演習・解説		
	該当到達目標	予習	当該科目の既習内容の確認をする。	0.5 時間
	1,2,3	復習	総合問題演習の解説を踏まえ、要点を確認する。	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考	「コロナ就活」および「コロナ禍」収束後の社会・就職事情の変容を見据えた柔軟な対応力の獲得を目指し、意欲的な授業への参加を望みます。			

科目名	医療情報ゼミ(応用展開科目)				科目ナンバリング	HIA357
英文名	Medical Information Seminar				講義形態	講義
担当教員	学科全教員(各学生が希望するゼミに分かれて受講する)					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	3 年 後期	選必・単位数	必修 2 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応	1	豊かな人間性と幅広い教養		2	コミュニケーションスキル	
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
	2	問題解決力				
SDGs との関連	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑧ ⑨ ⑪ ⑰					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	専門導入科目、専門基幹科目、専門展開科目を踏まえて、実践的な応用を通じて、医療と情報に関する理解を深めることを講義目標とする。 各学生が希望するゼミに分かれ、到達目標に沿って、様々な知識を修得するとともに、卒業研究に必要な基礎的な知識の修得、就活に必要な知識を学び、円滑な卒業研究と就職活動ができるように研鑽する。					
到達目標	1. 医療系資格を優先的に取得する学生は、医療現場における基礎的な知識として、「医療事務管理士」に合格する。 2. 情報系資格を優先的に取得する学生は、情報現場における基礎的な知識として、「IT パスポート」に合格する。すでに合格している学生は、上位の資格を目指す。 3. 四年次の卒業研究に繋ぐため、各テーマに沿った基礎的な知識を修得する。 4. 就職活動に向けた自己 PR などの事項について、効果的な書類作成の術を身に付ける。					
使用教材	教員が、必要に応じて作成し配布する。					
参考文献						
評価方法	参加度(30%)、期末試験(40%)、外部試験(30%)により総合的に評価する。 医療系資格を優先的に取得する学生は「医療事務管理士」、情報系資格を優先的に取得する学生は「IT パスポート」の試験に合格することが、単位認定の条件となる。					
課題・評価に対するフィードバック方法	模擬試験に関しては答案を返却し解説する。 卒論テーマに関するレポートでは、内容を精査し訂正やアドバイスを付加して返却する。また、就活に関する自己 PR 等の文章に関しては、添削指導を行う。					
オフィスアワー(研究室)	各教員が最初のゼミにて示す。		メールアドレス(#→@)		各教員が最初のゼミにて示す。	
講義内容	学生の状況と卒業研究のテーマを勘案した時間配分で、卒業研究および就職活動に必要な知識を学ぶ					
	予習	各教員が必要に応じて予習内容を知らせる				期間中適宜
	復習	各教員が必要に応じて復習内容を知らせる				期間中適宜
合計時間(予習・復習)					時間	
備考	各自、単位修得に必要な学修時間を充足できるよう予習復習に努めること。					

科目名	医療情報学総合演習(応用展開科目)				科目 ナンバリング	HIA358
英文名	Comprehensive Practice of Medical Informatics				講義形態	演習
担当教員	医療情報学科教員全員					
科目に関連した 実務経験						
学年・開講期	4 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位			
履修を必須とする 資格						
学位授与方針 との対応	2	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	4	健康・医療および情報に関する知識・技能		1	生涯学習力	
	3	問題解決力				
SDGs との関連	③ ④ ⑤					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	これまでに学んできた健康医療の専門知識と情報のスキルをベースに、本演習では健康医療分野での現実の課題と情報技術を有機的に結び付け問題解決能力を養い、社会の一員として活躍できる力を身に付ける。 オムニバスの演習形式で、各回の担当教員より提示された課題に取り組む。健康医療分野において、情報技術が活かされている具体的事例について学び、現実の課題と情報技術を有機的に結び付ける。					
到達目標	1. 我が国の健康医療を取り巻く状況や課題を理解し、それら課題の有力な解決手段の1つとしてこれまでに学んできた情報技術を捉えることができる。 2. 健康医療分野に情報技術が活かされている具体的事例を理解することができる。					
使用教材	各担当教員自作の資料を使用する。					
参考文献						
評価方法	レポート課題により評価し 60%以上で合格とする。					
課題・評価に対する フィードバック方法	オムニバス形式の演習科目なので、その都度担当教員がフィードバックを行う。					
オフィスアワー (研究室)	質問及び学習相談には、授業開始前もしくは終了後に応じる。		メールアドレス (#→@)		連絡手段については、各自で教員に確認すること。	
1	講義内容	最先端医療(小澤)				
	該当到達目標	予習	幹細胞の活用による再生医療と重粒子線がん治療の基礎的知識を得ておく。			1 時間
	1,2	復習	日本発の最先端医療の概要を理解する。			2 時間
2	講義内容	医療経営(木村)				
	該当到達目標	予習	病院経営について基本的な事項について調べてみる。			1 時間
	1	復習	病院経営における経営資源と特徴について講義で聞いたことを整理する。			2 時間
3	講義内容	医療経済(町田)				
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布する資料・データに目を通し理解しておく。			1 時間
	1	復習	日本の医療政策について理解を深め、海外との比較ができるようにする。			2 時間
4	講義内容	医療倫理学(大石)				
	該当到達目標	予習	「医療倫理の四原則」について調べておく。			1 時間
	1	復習	配布資料を読み返し、ケーススタディについてさらに考察する。			2 時間
5	講義内容	診療情報管理(大川)				
	該当到達目標	予習	チーム医療での診療情報管理士の役割と病院事務職について調べておく。			1 時間
	1	復習	配布資料を読み返し、理解を深める。			2 時間
6	講義内容	医療の情報化(松尾)				

	該当到達目標 1,2	予習	参考資料に目を通し理解しておく。	1	時間
		復習	健康医療ビッグデータの活用について理解する。	2	時間
7	講義内容	遠隔医療(東福寺)			
	該当到達目標 1,2	予習	不要。	0	時間
		復習	当日配布した課題について取り組む。	3	時間
8	講義内容	医療機器(高橋大志)			
	該当到達目標 1,2	予習	資料を読み各種医療機器類を理解しておく。	1	時間
		復習	講義で提示された課題に取り組む。	2	時間
9	講義内容	在宅健康モニタリング(鈴木)			
	該当到達目標 1,2	予習	参考資料に目を通し理解しておく。	1	時間
		復習	講義で提示された課題に取り組む。	2	時間
10	講義内容	臨床研究の手続き(高橋真悟)			
	該当到達目標 1,2	予習	研究や研究を進めていく上での注意点について理解しておく。	1	時間
		復習	配布資料中の課題に取り組む。	2	時間
11	講義内容	人工知能(長澤)			
	該当到達目標 1,2	予習	講義用資料を事前に提示するので熟読する。	1	時間
		復習	講義時に配布したレポート課題に取り組む。	2	時間
12	講義内容	統計学(石川)			
	該当到達目標 1,2	予習	3年生までに学習した基礎的な統計学を復習しておく。	1	時間
		復習	講義で提示された例題を理解する。	2	時間
13	講義内容	画像処理(光山)			
	該当到達目標 1,2	予習	講義用資料を参照フォルダに入れておくので、それを熟読する。	1	時間
		復習	講義で配布した資料・問題演習を行う。	2	時間
14	講義内容	マルチメディア(田村)			
	該当到達目標 1,2	予習	不要。	0	時間
		復習	講義で行ったことをまとめ、課題を作成する。	3	時間
15	講義内容	IoT(坂本)			
	該当到達目標 1,2	予習	講義用資料をあらかじめ各自で印刷し、内容について事前に調べておく。	1	時間
		復習	講義内容をまとめてレポート作成する。	2	時間
合計時間(予習・復習)					45 時間
備考	予習・復習については、試験前の学習で補完すること。				

科目名	卒業研究(卒業研究)				科目ナンバリング	HIG401
英文名	Graduation Study				講義形態	演習
担当教員	学科全教員					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	4 年 通年	選必・単位数	必修 4 単位			
履修を必須とする資格						
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	2	コミュニケーションスキル		
	3	健康・医療および情報に関する知識・技能	2	生涯学習力		
	3	問題解決力				
SDGs との関連	③					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	卒業研究は医療情報学についての勉学の総仕上げである。これまで、修得した知識・技能に基づいて、教員の指導のもとに、テーマを設定し、テーマに即した方法(文献研究、調査研究、実験研究、事例研究システム開発など)により研究をすすめる。 実施に当たっては計画・データ収集・整理・討論・発表・卒業論文作成など一連の能力を涵養する。また推進プロセスにおいては学生の自主性を尊重するが、PDCA サイクルによる進捗管理や指導教員へのホウレンソウ(報告・連絡・相談)などによりコミュニケーションスキルの向上を目指す。また、2 度の発表会では、自分の研究を他者に説明し理解を得るために、抄録作成およびプレゼンテーションを全員が体験する。					
到達目標	1. 卒業研究を通じて、未知なるものを探究する考え方やその方法を身に付ける。 2. 研究の成果を整理まとめ、発表(プレゼンテーション)する技術を身に付ける。 3. 研究論文としての基本構成(背景・目的・方法・結果・考察・結論)に従った卒業論文をまとめる。					
使用教材	教員が、必要に応じて作成し配布する。					
参考文献						
評価方法	参加度(30%)、卒論発表 2 回(30%)、卒業論文(40%)により総合的に評価する。					
課題・評価に対するフィードバック方法	卒業論文のテーマに関する資料や論文検索し、その内容をまとめ報告し、内容を討論する。プレゼンテーション内容や卒業論文の内容は、その都度教員が精査し、適切にアドバイスする。					
オフィスアワー (研究室)	各教員が最初の授業で提示する。		メールアドレス (#→@)		各教員が最初の授業で提示する。	
講義内容	各学生が希望するテーマに分かれ、到達目標に沿って下記のように研究を進める。					
	1. 研究テーマの設定					
	2. 研究テーマに沿った文献・資料の収集と整理					
3. 研究内容の適切な課題設定と研究の実施						
4. 研究内容の中間発表(9 月下旬)						
5. 研究内容の本発表(12 月下旬)						
6. 卒業研究を卒業論文としてまとめ、提出する(1 月下旬)。						
	予習	各教員が必要に応じて指示する。				期間中適宜
	復習	各教員が必要に応じて指示する。				期間中適宜
合計時間(予習・復習)						
備考	単位修得に必要な時間が確保されるよう、各自、データ収集・整理・論文作成などを行う。					

科目名	生涯学習社会と図書館(司書科目)				科目ナンバリング	—
英文名	Lifelong Learning Society and Library				講義形態	講義
担当教員	斎藤 順二					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格	司書					
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と幅広い教養		—	コミュニケーションスキル	
	—	健康・医療および情報に関する知識・技能		—	生涯学習力	
	—	問題解決力				
SDGs との関連						
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	生涯学習及び社会教育の本質と意義の理解を図り、学校教育・家庭教育等との関連、並びに社会教育施設、専門的職員の役割、学習活動への支援等の基本について理解できる。 授業では、テキストを単元ごとに読解し要約する。また「日本の名作」の朗読 CD を補助教材として使用する。					
到達目標	1. 高齢社会の到来で、従来の学歴社会から生涯学習社会への移行が進展している現況を理解できる。 2. 図書館は社会生活で「知の拠点」として大きな役割を果たすことが求められていると認識している。 3. 図書館にあって、地域住民の課題解決と学習支援サービスに対応できる司書を目指す。					
使用教材						
参考文献						
評価方法	まとめのミニレポート(各章の要約と朗読 CD の感想)15 回で 90%評価する。授業参加度を 10%加味する。総合評価 60%以上を合格とする。					
課題・評価に対するフィードバック方法	まとめのミニレポートは毎回提出してもらい、次回採点・評価して返却する。					
オフィスアワー (研究室)	質問には授業開始前もしくは終了後に教室等で応じる。		メールアドレス (#→@)		連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	生涯学習と社会教育				
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT1 に目を通す。			1 時間
	1	復習	生涯学習へのアプローチ			1.5 時間
2	講義内容	〈社会〉と〈教育〉				
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT2 に目を通す。			1 時間
	1	復習	生涯学習の展開と学習の実際を理解する。			1.5 時間
3	講義内容	〈社会教育〉の始まり				
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT3 に目を通す。			1 時間
	1	復習	生涯学習社会の役割と連携を理解する。			1.5 時間
4	講義内容	誰のための教育か？				
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT4 に目を通す。			1 時間
	1	復習	生涯学習振興施策の立案と推進を理解する。			1.5 時間
5	講義内容	誰が〈教育する〉のか？				
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT5 に目を通す。			1 時間

	1	復習	社会教育の意義・発展・特質を理解する。	1.5 時間
6	講義内容	公教育とは何か？		
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT6 に目を通す。	1 時間
	1	復習	社会教育行政の意義・役割を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	戦後日本の教育政策		
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT7 に目を通す。	1 時間
	1	復習	自治体の制度と教育関連法規を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	教育の自由		
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT8 に目を通す。	1 時間
	1	復習	社会教育の内容・方法・形態を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	ユネスコの生涯教育論		
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT9 に目を通す。	1 時間
	1	復習	学習への支援と学習成果の評価と活用を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	学校教育と生涯教育		
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT10 に目を通す。	1 時間
	3	復習	社会教育施設・生涯学習関連施設の管理・運営を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	社会教育と生涯教育		
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT11 に目を通す。	1 時間
	3	復習	社会教育指導者の役割を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	生涯教育理念の普及と変質		
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT12 に目を通す。	1 時間
	3	復習	生涯学習の実際(群馬県生涯学習センター・指導者バンク)を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	わが国における生涯学習論の展開		
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT13 に目を通す。	1 時間
	3	復習	生涯学習の実際(高崎市生涯学習推進本部の学習推進計画)を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	わが国における生涯学習理念の普及と変質		
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT14 に目を通す。	1 時間
	3	復習	生涯学習の実際(講演会・放送大学・フィールドワーク等)を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	生涯学習体験報告会		
	該当到達目標	予習	まとめのレポート	1 時間
	1,2,3	復習	私の生涯学習計画をまとめて発表する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。			

科目名	図書館概論(司書科目)			科目ナンバリング	—
英文名	Introduction to Librarianship			講義形態	講義
担当教員	秋山 美和子				
科目に関連した実務経験	地方公務員(管理職)として公共図書館に勤務(経験)				
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
履修を必須とする資格	司書				
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と幅広い教養		—	コミュニケーションスキル
	—	健康・医療及び情報に関する知識・技能		—	生涯学習力
	—	問題解決力			
SDGs との関連	④				
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	図書館情報学の入門として、図書館の歴史、社会的意義、機能、役割、組織の運営、図書館の課題と展望までを概観し、図書館とは何かを理解できるようにする。 授業は、参考資料も適宜配付しながら、授業毎に配付するレジュメに沿って進めていく。また、授業毎に学生からの意見・質問等を受け、次回授業時に回答を記した用紙を配付する。				
到達目標	1.図書館の社会的意義、機能、役割等について論述できるようにする。■ 2.図書館の歴史から将来展望までを、社会の変化に合わせて理解する。■ 3.図書館の組織の運営について理解する。■				
使用教材	高山正也・岸田和明編著『改訂 図書館概論』(樹村房) ISBN 978-4-88367-271-4 必要に応じて資料を配布				
参考文献	授業中に提示				
評価方法	最終レポート 40%、課題 2 回 40%、講義への参加態度 20%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。				
課題・評価に対するフィードバック方法	各講義終了時に学生から感想等の提出を受け、疑問点やさらに解説が必要な事項等について次回の講義で解説する。				
オフィスアワー(研究室)	質問及び学習相談には、授業開始前もしくは終了後に応じる。		メールアドレス(#→@)	メールアドレスは初回授業時に提示する。	
1	講義内容	ガイダンス(授業の進め方、評価方法)、図書館の社会的意義			
	該当到達目標	予習	シラバス、教科書の監修者の言葉から 1 章の該当箇所までを読み、本講義の目標および図書館の社会的意義について確認する。		1 時間
	1	復習	講義概要、到達目標、評価方法を理解し、自分なりの学習計画を立てる。図書館の社会的意義について理解する。		2 時間
2	講義内容	図書館の歴史			
	該当到達目標	予習	1 章の該当箇所を読み、図書館の歴史について表にまとめるなどして整理し、場合によっては調べてみる。		1 時間
	1,2	復習	図書館の歴史と社会の変化を、関連づけて考えられるようにする。		2 時間
3	講義内容	図書館の機能とサービス■			
	該当到達目標	予習	2 章の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べてみる。		1 時間
	1	復習	図書館資料を知り、図書館の機能とサービスの基本的な考え方について理解する。		2 時間
4	講義内容	パブリックサービスとテクニカルサービス■			
	該当到達目標	予習	2 章の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べてみる。		1 時間
	1	復習	利用者への直接サービス(パブリックサービス)と、それを支える間接的な業務(テクニカルサービス)について理解する。		2 時間

5	講義内容	図書館員の基本理念■		
	該当到達目標	予習	2章の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べてみる。	1 時間
	1	復習	図書館員の基本理念となる宣言等について、制定された社会的背景や意義、事例等を調べて図書館員のあるべき姿について理解する。	2 時間
6	講義内容	公共図書館(存在意義とあるべき姿)		
	該当到達目標	予習	3章の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べてみる。	1 時間
	1,3	復習	公共図書館の存在意義とあるべき姿について、基本的な考え方を理解する。	2 時間
7	講義内容	公共図書館(成立と展開)■		
	該当到達目標	予習	3章の該当箇所を読み、自分が関心のある公共図書館について調べる。	1 時間
	1,2,3	復習	近代公共図書館の変遷と、図書館改革の動きについて理解する。	2 時間
8	講義内容	各種図書館(国立図書館、学校図書館)■		
	該当到達目標	予習	4章の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べてみる。	1 時間
	1,3	復習	国立国会図書館のサイトを実際に利用し、国立図書館としての機能と役割について理解する。また、学校図書館の意義について理解する。	2 時間
9	講義内容	各種図書館(大学図書館、専門図書館)■		
	該当到達目標	予習	4章の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べてみる。	1 時間
	1,3	復習	大学図書館の機能と役割について、体験を通して理解する。また、専門図書館、図書館類縁施設等の機能と役割について理解する。	2 時間
10	講義内容	図書館の経営、連携・協力■		
	該当到達目標	予習	5章の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べてみる。	1 時間
	1,2,3	復習	図書館経営と図書館の連携・協力の種類について理解する。	2 時間
11	講義内容	図書館の職員と組織■		
	該当到達目標	予習	5章の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べてみる。	1 時間
	1,2,3	復習	図書館の職員(体制、職務、資質向上に関すること)および図書館の組織構造について理解する。	2 時間
12	講義内容	図書館の施設・設備■		
	該当到達目標	予習	5章の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べてみる。	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容を参考にしながら、実際に公共図書館を訪問して施設・設備について調査し、理解する。	2 時間
13	講義内容	図書館に関連する機関・団体■		
	該当到達目標	予習	6章を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べてみる。	1 時間
	1,2,3	復習	図書館関連団体、出版・書店・取次の制度、その他の関連組織・団体等について理解する。	2 時間
14	講義内容	図書館の課題と展望■		
	該当到達目標	予習	7章を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べてみる。	1 時間
	1,2,3	復習	社会の変化に対応した図書館のあり方について理解する。	2 時間
15	講義内容	講義のまとめ		
	該当到達目標	予習	教科書、ノート等を確認し、自分の関心・疑問を整理し、疑問点や質問事項があれば講師にメールで連絡する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	図書館とは何かを自ら考え、論述できるようにする。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	講義では、積極的に発言することを期待する。復習に力点をおいて、学習内容を深めること。できるだけ多くの図書館を訪ねたり、インターネットで検索したりして実際に体験してみること。			

	■:実務経験に基づく内容を示す

科目名	図書館制度・経営論(司書科目)			科目ナンバリング	—
英文名	Introduction to Library Administration and Management			講義形態	講義
担当教員	秋山 美和子				
科目に関連した実務経験	地方公務員(管理職)として公共図書館に勤務(経験)				
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位		
履修を必須とする資格	司書				
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と幅広い教養		—	コミュニケーションスキル
	—	健康・医療及び情報に関する知識・技能		—	生涯学習力
	—	問題解決力			
SDGs との関連	④				
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	図書館職員となるための知識として、図書館に関する法律、自治体行政の制度・図書館政策について学ぶ。また、「図書館学は実学である」という視点に立ち、できる限り実際の図書館の状況を交えながら図書館経営の考え方、職員、施設・設備等の経営資源、サービス計画、調査と評価、管理形態等について解説する。 授業は、参考資料も適宜配付しながら、授業毎に配付するレジュメに沿って進めていく。また、授業毎に学生からの意見・質問等を受け、次回授業時に回答を記した用紙を配付する。				
到達目標	1.図書館に関する法制度、自治体行政の制度・政策について理解する。■ 2.図書館の理念を踏まえ、それが実際の図書館の運営にどのように反映されているか理解する。■ 3.図書館職員の職務を学び、経営的な視点を身につける。■				
使用教材	糸賀雅児・薬袋秀樹編集『図書館制度・経営論』(樹村房) ISBN 978-4-88367-202-8 必要に応じて資料を配布				
参考文献	授業中に提示				
評価方法	レポート 40%、課題 2 回 40%、講義への参加態度 20%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。				
課題・評価に対するフィードバック方法	各講義終了時に学生から感想等の提出を受け、疑問点やさらに解説が必要な事項等について次の講義で解説する。				
オフィスアワー (研究室)	質問及び学習相談には、授業開始前もしくは終了後に応じる。		メールアドレス (#→@)	メールアドレスは初回授業時に提示する。	
1	講義内容	ガイダンス(授業の進め方、評価方法)、図書館における制度と経営■			
	該当到達目標	予習	シラバスに目を通し、講義の進め方等を理解する。教科書の監修者の言葉、序文、序章を読み、本講座の趣旨を理解する。		1 時間
	1	復習	講義内容、到達目標、評価方法を理解し、自分なりの学習計画を立てる。図書館における制度と経営を学ぶ必要性を理解する。		2 時間
2	講義内容	図書館制度の概観■			
	該当到達目標	予習	I 部 1 章を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べてみる。		1 時間
	1	復習	図書館関係法規の体系等を把握し、図書館制度の学習について理解する。		2 時間
3	講義内容	図書館の制度(日本国憲法、教育基本法、地方自治法等)■			
	該当到達目標	予習	I 部 2 章を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べてみる。		1 時間
	1	復習	各法律と図書館との関係を理解する。		2 時間
4	講義内容	図書館の制度(図書館法)■			
	該当到達目標	予習	I 部 3 章を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べてみる。		1 時間
	1	復習	図書館制度・経営の基本となる図書館法について理解する。		2 時間
5	講義内容	図書館の制度(他館種の図書館に関連する法規)■			
	該当到達目標	予習	I 部 4 章を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べてみる。		1 時間
	1	復習	公共図書館以外他館種の法律について理解する。		2 時間
6	講義内容	図書館の制度(子ども読書活動推進法・文字活字文化振興法)■			

	該当到達目標 1,2	予習	I部5章を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べてみる。	1 時間
		復習	図書館サービスの柱の一つである子供の読書活動の推進に関する法規を理解する。	2 時間
7	該当到達目標 1,2	講義内容	図書館の制度(図書館サービス、経営関係法規)	
		予習	I部6章を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べてみる。	1 時間
		復習	図書館サービスや経営に関連した法規を理解する。	2 時間
8	該当到達目標 1,2	講義内容	図書館政策(国・地方自治体)■	
		予習	I部7章を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べてみる。	1 時間
		復習	国の図書館政策として主な基準・答申・報告および地方公共団体の図書館政策について理解する。	2 時間
9	該当到達目標 1,2,3	講義内容	図書館の経営(公共性)■	
		予習	II部1章を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べてみる。	1 時間
		復習	図書館の公共性と経営について理解する。	2 時間
10	該当到達目標 1,2,3	講義内容	図書館の経営(館種ごとの経営論)■	
		予習	II部2章を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べてみる。	1 時間
		復習	館種ごとの経営論およびガバナンスについて理解する。	2 時間
11	該当到達目標 1,2,3	講義内容	図書館の経営(組織と職員)■	
		予習	II部3章を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べてみる。	1 時間
		復習	図書館を運営していくための組織、職員体制、職員の役割について理解する。また、図書館ボランティアの活動についても調べてみる。	2 時間
12	該当到達目標 1,2,3	講義内容	図書館の経営(計画とマーケティング、予算の確保)■	
		予習	II部4章、5章を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べてみる。	1 時間
		復習	図書館の各種計画について理解し、図書館経営を可能にする予算確保の方法について知る。	2 時間
13	該当到達目標 1,2,3	講義内容	図書館の経営(経営評価)■	
		予習	II部6章を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べてみる。	1 時間
		復習	図書館の経営評価の意義と目的、方法、課題について理解する。	2 時間
14	該当到達目標 1,2,3	講義内容	図書館の経営(多様な管理形態)■	
		予習	II部7章を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べてみる。	1 時間
		復習	業務委託、指定管理者制度等、多様化する管理形態の現状、課題について理解する。	2 時間
15	該当到達目標 1,2,3	講義内容	講義のまとめ	
		予習	教科書、ノート等を確認し、自分の関心・疑問を整理し、疑問点や質問事項があれば講師にメールで連絡する。	1 時間
		復習	図書館の制度・経営論について自ら考え、論述できるようにする。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	講義では、積極的に発言することを期待する。 復習に力点をおいて、学習内容を深めること。 できるだけ多くの図書館を訪ねたり、インターネットで検索したりして実際に体験してみること。 ■:実務経験に基づく内容を示す			

科目名	図書館情報技術論(司書科目)				科目ナンバリング	—
英文名	Introduction to Library Service Technology				講義形態	講義
担当教員	田村 拓郎					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	3 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格	司書					
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と幅広い教養		—	コミュニケーションスキル	
	—	健康・医療および情報に関する知識・技能		—	生涯学習力	
	—	問題解決力				
SDGs との関連	④					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	近年の情報機器の多様化や進歩には目覚ましいものがある。図書館においても CD、DVD、コンピュータソフトなどの多様なメディアやコンピュータに代表される各種の情報機器が整備されてきている。また、これらの図書館資料にネットワーク情報資源を加えて、図書館情報資源としてとらえる必要がある。図書館業務に必要な基礎的な情報技術を修得するために、コンピュータ等の基礎、図書館業務システム、データベース、検索エンジン、電子資料、コンピュータシステム等について解説し、利用法について学修する。 授業では、教員が各回の内容を教材や実演を通じて説明し、学生は指示された課題を実施しファイルにまとめて提出する。					
到達目標	1.図書館業務やサービスに必要な、情報機器やコンピュータシステムの知識を習得できる。 2.実際にコンピュータ等を利用し検索などができる。					
使用教材	図書館情報技術論					
参考文献						
評価方法	課題提出状況(70%)、学習姿勢(30%)で評価する。					
課題・評価に対するフィードバック方法	課題発表を行い、受講生同士の質疑応答を行なう。					
オフィスアワー(研究室)	月曜日 4,5 限			メールアドレス(#→@)	tamura-t#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	講義全体のガイダンス				
	該当到達目標	予習	シラバスを確認しておく。			0 時間
	1	復習	講義内容・到達目標・学位授与方針・成績評価方法などを理解する。			0.5 時間
2	講義内容	コンピュータとネットワークの基礎				
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。			0.5 時間
	1	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。			2 時間
3	講義内容	LAN の構成、プロトコル				
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。			1 時間
	1	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。			2 時間
4	講義内容	コンピュータシステムの管理				
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。			0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行い、発表の準備をする。			1 時間
5	講義内容	データベースの仕組み				
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。			1 時間
	1	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。			2 時間

6	講義内容	図書館業務システムの仕組み		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1,2	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
7	講義内容	図書館における情報技術活用の現状		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1,2	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
8	講義内容	電子資料		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1,2	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
9	講義内容	電子資料の管理技術		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
10	講義内容	電子図書館とデジタルアーカイブ		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1,2	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
11	講義内容	情報技術と社会		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1,2	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
12	講義内容	インターネットと図書館		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1,2	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
13	講義内容	最新の情報技術と図書館		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
14	講義内容	Web2.0 と Library2.0		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1,2	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
15	講義内容	展望、まとめ		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1,2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	4 時間
合計時間(予習・復習)				42.5 時間
備考	予習・復習の時間は参考程度であり、自らの習熟状況をふまえ各自で補完すること。			

科目名	図書館サービス概論(司書科目)				科目ナンバリング	—
英文名	Introduction to Library Services				講義形態	講義
担当教員	太田 克子					
科目に関連した実務経験	司書として県立図書館に勤務(経験)、学校司書として県立高校に勤務(経験) 司書として県総合教育センターにて教育専門図書館を担当(経験)					
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格	司書					
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と幅広い教養		—	コミュニケーションスキル	
	—	健康・医療および情報に関する知識・技能		—	生涯学習力	
	—	問題解決力				
SDGs との関連	① ③ ④					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	図書館サービスの考え方を理解し、様々なサービスを展開する上での知識と技術を学びます。 授業は、教科書と教員の作成するプリントを使って説明します。パワーポイントによる図の提示を行います。					
到達目標	1. 公共図書館が行っている様々なサービスの意義を理解する■ 2. 住民を支援するサービス展開ができる知識と技術を習得する■ 3. 課題解決型サービスを理解する■ 4. アウトリーチサービスを理解する■ 5. 学校図書館・類縁機関等との連携を理解する■					
使用教材	『図書館サービス概論』 高山 正也・村上篤太郎 編著 樹村房 2019 年 2000 円					
参考文献	『図書館情報学基礎資料』今まど子・小山 憲司編著 樹村房 第 3 版 2021 年 1000 円 『図書館のめざすもの』 竹内愼著 日本図書館協会 2014 年 『生きるための図書館』(岩波新書) 竹内愼著 岩波書店 2019 年 780 円					
評価方法	試験 60% 課題・確認テスト 40% 総合評価 60%以上を合格とする					
課題・評価に対するフィードバック方法	提出課題にコメントを付けて返却する。					
オフィスアワー (研究室)	質問及び学習相談は授業開始前もしくは終了後に応じる。			メールアドレス (#→@)	ota-y#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	オリエンテーション 図書館サービスの理念				
	該当到達目標	予習	教科書 p1～p9 を読んでおくこと			1.5 時間
	1	復習	「図書館員の倫理綱」「図書館法」「ユネスコ公共図書館宣言」を復習する			1.5 時間
2	講義内容	図書館サービスの意義				
	該当到達目標	予習	教科書 p10～p22 を読んでおくこと			1.5 時間
	1	復習	「ランガナータン 5 法則」を復習する			1.5 時間
3	講義内容	図書館サービスの変遷(1)				
	該当到達目標	予習	教科 p23～p32 を読んでおくこと			1.5 時間
	1,2	復習	『市民の図書館』について調べる			1.5 時間
4	講義内容	図書館サービスの変遷(2)				
	該当到達目標	予習	教科書 p33～p43 を読んでおくこと			1.5 時間
	1,2	復習	「公貸権」を調べる			1.5 時間
5	講義内容	図書館サービスの種類と方法				
	該当到達目標	予習	教科書 p44～p56 を読んでおくこと			1.5 時間
	1,2,4	復習	図書館サービスの種類と方法を理解する			1.5 時間
6	講義内容	資料提供サービス 相互貸借の実際■				
	該当到達目標	予習	教科書 p58～p79 を読んでおくこと			1.5 時間

	1,2,5	復習	相互貸借のしくみを理解する	1.5 時間
7	講義内容	情報提供サービス■		
	該当到達目標	予習	教科書 p80～p95 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2	復習	情報提供サービスをまとめる	1.5 時間
8	講義内容	利用対象別サービス(1) ビジネス支援サービスの実際■		
	該当到達目標	予習	教科書 p96～p117 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	利用対象者別サービスを理解する	1.5 時間
9	講義内容	利用対象別サービス(2) 多文化サービスの実際■アウトリーチサービスの実際■		
	該当到達目標	予習	教科書 p96～p117 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	障害者サービスの種類をまとめる	1.5 時間
10	講義内容	図書館サービスとコミュニケーション(1)■		
	該当到達目標	予習	教科書 p118～p127 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2,	復習	各自近隣の図書館と書店に出向き、掲示やサインについてレポートすること	4.5 時間
11	講義内容	図書館サービスとコミュニケーション(2)■		
	該当到達目標	予習	教科書 p128～p133 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2,	復習	コミュニケーションをとるべき関係機関、類縁機関等を一覧にする	1.5 時間
12	講義内容	図書館サービスと著作権 学校図書館と著作権■		
	該当到達目標	予習	教科書 p134～p151 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2,3	復習	司書として想定できる著作権の設問を3つ作成し提出	1.5 時間
13	講義内容	図書館サービスの協力と連携■		
	該当到達目標	予習	教科書 p152～p174 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2,5	復習	学校支援サービスについてまとめる	1.5 時間
14	講義内容	図書館サービスの課題と展望 および 資料保存について■		
	該当到達目標	予習	教科書 p175～p186 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	資料保存に筆余蘊ことをまとめる	1.5 時間
15	講義内容	図書館サービスと図書館員の心得 まとめ		
	該当到達目標	予習	嘗て、図書館が破壊されたり、資料が焼かれたりした事実を調べて提出	1.5 時間
	1	復習	「図書館員の倫理綱」「図書館法」「ユネスコ公共図書館宣言」「アメリカ社会に役立つ図書館の12か条」を読む	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				48 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	情報サービス論(司書科目)				科目ナンバリング	—
英文名	Introduction to Information Services				講義形態	講義
担当教員	太田 克子					
科目に関連した実務経験	司書として県立図書館に勤務(経験)、学校司書として県立高校に勤務(経験) 司書として県総合教育センターにて教育専門図書館を担当(経験)					
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格	司書					
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と幅広い教養		—	コミュニケーションスキル	
	—	健康・医療および情報に関する知識・技能		—	生涯学習力	
	—	問題解決力				
SDGsとの関連	① ③ ④					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	図書館には、人々が様々な目的で訪れます。教養や趣味で生活を豊かにという方もいれば、必要な情報を得たい方もいます。商店開業・仕事の調べものなどのビジネス、まちおこし、出産・育児、闘病・介護、障害、多文化、災害、貧困など図書館が情報サポートする場面は多岐にわたっています。図書館が蓄積した知は市井の人々を支援する情報基盤です。この授業では、利用者と情報を結びつける図書館員の専門的な役割を扱います。 授業は、教科書と教員の作成するプリントを使って説明します。パワーポイントによる図の提示を行います。					
到達目標	1. 図書館における情報サービスの意義を理解する 2. 情報サービスの種類と内容を理解する 3. 各種情報源の特徴と利用法を理解する■ 4. レファレンスサービスにおける回答の方法を学び、実践的に対応できるようになる■ 5. 発信型情報サービスの意義を理解する■					
使用教材	『情報サービス論』山口真也[ほか]編著 ミネルヴァ書房 2018 年 2,800 円					
参考文献	『情報サービス論』山崎久道編 樹村房 2019 年 『情報サービス論』竹之内禎編著 学文社 2013 年 『夜明けの図書館 1～5』埜納タオ著 双葉社 2011 年～2017 年 『レファレンスサービス』長澤雅男著 丸善 1995 年					
評価方法	筆記試験 50% 課題・小テスト 50% 総合評価 60%以上を合格とする					
課題・評価に対するフィードバック方法	課題にコメントを付けて返却する。					
オフィスアワー (研究室)	質問及び学習相談は授業開始前もしくは終了後に応じる。			メールアドレス (#→@)	ota-y#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	オリエンテーション 情報社会と図書館の情報サービス				
	該当到達目標	予習	教科書 p1～p11 を読んでおくこと			1.5 時間
	1	復習	p12～p14 コラムを読んで意見を提出する			1.5 時間
2	講義内容	図書館における情報サービスの種類				
	該当到達目標	予習	教科書 p15～p41 を読んでおくこと			1.5 時間
	1,2	復習	p42～p44 のコラムを読んで意見を提出する			1.5 時間
3	講義内容	レファレンスサービスの理論と実践(1)レファレンスサービスの定義・種類				
	該当到達目標	予習	教科書 p45～p57 を読んでおくこと			1.5 時間
	1,2	復習	図書館の館種とそれぞれに重視される情報サービスを理解する			1.5 時間
4	講義内容	レファレンスサービスの理論と実践(2)レファレンスサービスの機能・情報探索行動				
	該当到達目標	予習	教科書 p58～p65 を読んでおくこと			1.5 時間

	1,2	復習	次世代 OPAC の特徴を理解する	1.5 時間
5	講義内容	レファレンスサービスの理論と実践(3)レファレンスプロセス・レファレンスインタビュー■		
	該当到達目標	予習	教科書 p66～p97 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2	復習	レファレンスプロセスを理解する	1.5 時間
6	講義内容	レファレンスサービスの理論と実践(4)レファレンスライブラリアン・コレクション・思考ツール■		
	該当到達目標	予習	教科書 p98～p121 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2	復習	デジタルレファレンスサービスの種類と機能を理解する	1.5 時間
7	講義内容	ブックリストをつくってみよう(1)		
	該当到達目標	予習	「健康」「福祉」をキーワードにブックリストのテーマを考えておく	1.5 時間
	1,2,5	復習	テーマに合う図書をグレードや内容によってグルーピングしておく	1.5 時間
8	講義内容	ブックリストをつくってみよう(2)発表		
	該当到達目標	予習	テーマに沿ったブックリストを制作する	3 時間
	1,2,5	復習		0 時間
9	講義内容	情報検索の理論と方法■		
	該当到達目標	予習	教科書 p122～p142 を読んでおくこと	1.5 時間
	3,4	復習	自由語検索と統制語検索を理解する	1.5 時間
10	講義内容	各種情報源の特質と利用法(1)■		
	該当到達目標	予習	教科書 p143～p150 を読んでおくこと	1.5 時間
	3,4	復習	事実調査の種類と特性を理解する	1.5 時間
11	講義内容	各種情報源の特質と利用法(2)■		
	該当到達目標	予習	教科書 p151～p166 を読んでおくこと	1.5 時間
	3,4	復習	文献調査の情報源を確認する	1.5 時間
12	講義内容	各種情報源の特質と利用法(3)■		
	該当到達目標	予習	教科書 p167～p203 を読んでおくこと	1.5 時間
	3,4	復習	各種情報源の特質と利用法の概要を理解する	1.5 時間
13	講義内容	発信型情報サービス&著作権■		
	該当到達目標	予習	教科書 p204～p218 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2,5	復習	発信型情報サービスの種類を理解する	1.5 時間
14	講義内容	利用教育・情報リテラシー教育の展開、学校図書館利用教育■		
	該当到達目標	予習	教科書 p219～p228 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2,5	復習	探求学習の過程における学校図書館の情報サービスを確認する	1.5 時間
15	講義内容	これからの情報サービス担当者としての役割		
	該当到達目標	予習	教科書 p229～p237 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2,5	復習	レファレンスサービスと利用者サービスの担当者の条件を確認する	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名		児童サービス論(司書科目)			科目ナンバリング	—
英文名		Library Service for Children			講義形態	講義
担当教員		小柳 聡美				
科目に関連した実務経験		学校図書館司書として公立小中学校に勤務(現在) 教務職員として進学塾に勤務(経験)				
学年・開講期		2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
履修を必須とする資格		司書				
学位授与方針との対応		—	豊かな人間性と幅広い教養		—	コミュニケーションスキル
		—	健康・医療および情報に関する知識・技能		—	生涯学習力
		—	問題解決力			
SDGs との関連		③ ④				
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		児童サービス(対象は乳幼児からヤングアダルトまで)の概要と意義、担当者の専門的職務、歴史的変遷と発展内容、児童資料の特色と選択、発達と学習への「読書」の役割、児童コレクションの形成と管理、さらにヤングアダルトサービスの概要と資料の特色を認識する。 生涯学習の一環としての児童サービスの重要性を理解するとともに、どのようにすれば子ども達に読書の楽しさと喜びを伝えられるかについて学ぶ授業です。特に各自がオリジナルの図書館案内を作成することによって、児童サービスの内容を認識でき、キャリアプランへの構築へと繋がります。				
到達目標		1.公共図書館における児童サービスの重要性を理解する。 2.児童資料の類型について理解し、選択・評価できる。 3.公共図書館を利用する児童のニーズを理解し、対応できる能力を身につける。■ 4.子どもと本を結びつけることの重要性を理解し、援助できる。				
使用教材		『児童サービス論 新訂版』JAL 図書館情報学テキストシリーズⅢ6 堀川照代 編著(日本図書館協会) ISBN978-4-8204-1909-9				
参考文献		『児童サービス論』JAL 図書館情報学テキストシリーズⅢ6 堀川照代 編著(日本図書館協会) ISBN978-4-8204-1315-8				
評価方法		筆記試験 70%、オリジナル図書館案内(児童向け)の作成 20%、授業参加度(含読み聞かせ実践)10%で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。なお詳しい評価基準は、初回講義時に提示する。				
課題・評価に対するフィードバック方法		提出物は講義内で発表時間を設け、講評する。 筆記試験の意図は、第1回の講義で説明する。				
オフィスアワー(研究室)		質問には授業開始前もしくは終了後に教室等で応じます。		メールアドレス(#→@)	連絡手段は初回授業時に提示します。	
1	講義内容	児童サービスの概要と意義				
	該当到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。 なぜ司書資格を取得しようと思ったか、という点を交えて自己紹介が出来るようにしておく。			1.5 時間
		1	復習	教科書 p.9～p.18 を読む。		
2	講義内容	児童サービス担当者の専門的職務				
	該当到達目標	予習	教科書 p.19～p.35 に目を通す。			1.5 時間
		1	復習	児童サービス担当者の専門性を理解する。 教科書 p.254～p.261 を読む。		

3	講義内容	児童資料の類型		
	該当到達目標	予習	教科書 p.36～p.38 に目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	児童資料の形態と内容を理解する。	1.5 時間
4	講義内容	児童資料の特色と選択 1 絵本の種類とグレード		
	該当到達目標	予習	教科書 p.39～p.44 に目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	学んだ種類の絵本を、図書館等で探し、読む。	1.5 時間
5	講義内容	児童資料の特色と選択 2 児童文学・創作児童文学、昔話・伝承文学、詩		
	該当到達目標	予習	教科書 p.45～p.54 に目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	紹介された作品の中から1作品を選び、読む。	1.5 時間
6	講義内容	児童資料の特色と選択 3 ノンフィクション、レファレンスブック		
	該当到達目標	予習	教科書 p.55～p.75 に目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	レファレンスブックとは何か理解する。 図書館においてレファレンスブックの位置を確認する。	1.5 時間
7	講義内容	児童資料の特色と選択 4 児童資料の出版と流通		
	該当到達目標	予習	児童資料に限らず、現在の出版と流通について調べておく。	1.5 時間
	1,2	復習	児童資料の出版と流通について理解する。	1.5 時間
8	講義内容	児童資料の特色と選択 5 児童コレクションの形成と評価		
	該当到達目標	予習	教科書 p.76～p.88 に目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	児童コレクションの形成について理解し、評価できるようにする。	1.5 時間
9	講義内容	児童サービスの業務 1 資料提供サービス		
	該当到達目標	予習	教科書の p.89～p.94 に目を通す。	1.5 時間
	1,3,4	復習	資料提供サービスについて理解する。	1.5 時間
10	講義内容	児童サービスの業務 2 情報サービス		
	該当到達目標	予習	教科書の p.95～p.100 に目を通す。	1.5 時間
	1,3	復習	情報サービスについて理解する。	1.5 時間
11	講義内容	児童サービスの業務 3 乳幼児サービス		
	該当到達目標	予習	教科書の p.173～p.185 に目を通す。	1.5 時間
	1,3	復習	乳幼児サービスについて理解する。	1.5 時間
12	講義内容	児童サービスの方法・技術(読み聞かせとストーリーテリング)■		
	該当到達目標	予習	教科書の p.154～p.177 に目を通す。	1.5 時間
	1,3,4	復習	次週、読み聞かせの実践で使用する絵本(1～3冊)と、ストーリーテリングしてみたい作品を選ぶ。	1.5 時間
13	講義内容	絵本読み聞かせ指導■		
	該当到達目標	予習	選んだ絵本、作品を読む練習をする。	1.5 時間
	1,4	復習	読み聞かせの方法について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	ヤングアダルトサービスの概要と資料の特色		
	該当到達目標	予習	教科書 p.186～p.204 に目を通す。	1.5 時間
	1,3	復習	ヤングアダルトサービスとは何か理解する。	1.5 時間
15	講義内容	児童サービス対象者向けオリジナル図書館案内の提出・発表		
	該当到達目標	予習	図書館案内の作成。	1.5 時間
	1,3	復習	全講義の振り返り。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	近隣の公共図書館を来館し、現在の児童サービスの現状を実際に見聞して来てください(警戒度が下がり、外出可能な場合)。			

	オンライン等で実施の場合は、改めてご連絡します。基本的にはシラバスの順序に従って教科書を用い、講師オリジナルの内容説明資料や読み聞かせ実践資料を配信します。連絡・相談にも随時応じます。 ■:実務経験に基づく内容を示します。

科目名	情報サービス演習(司書科目)				科目ナンバリング	—
英文名	Practicum of Information Retrieval				講義形態	講義
担当教員	太田 克子、田村 拓郎					
科目に関連した実務経験	(太田) 司書として県立図書館に勤務(経験)、学校司書として県立高校に勤務(経験) 司書として県総合教育センターにて教育専門図書館を担当(経験)					
学年・開講期	3 年 通年	選必・単位数	選択	4 単位		
履修を必須とする資格	司書					
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と幅広い教養		—	コミュニケーションスキル	
	—	健康・医療および情報に関する知識・技能		—	生涯学習力	
	—	問題解決力				
SDGs との関連	① ③ ④					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	1. 情報サービスの組織化、情報源整備、情報源の評価、情報検索の実際、レファレンス質問への対応、発信型情報サービスについて、公共図書館職員の実務を想定した課題に取り組みながら学びます。また、学校図書館における情報サービスの事例についても紹介します。 2. レファレンスツールの適切な活用法を身につけます。 3. 授業では、本学の図書館で実際にレファレンスブックを使って、事例課題についての資料探索を体験するほか、各自行った事前課題についてグループで検討し、成果発表による学修の共有を行います。 4. 毎回課題を出しますので、本学図書館や公共図書館等を利用して取り組んでください。					
到達目標	1. データベースの仕組みを知り、情報検索の理論を理解するとともにインターネット情報源を活用ができる■ 2. 基本的なレファレンスブックの特徴を把握し、レファレンス質問の内容に合わせて選択・活用し、探索できる■ 3. レファレンス質問をめぐる図書館利用者とのコミュニケーションの基本を理解する■ 4. 発信型情報サービスを理解する■					
使用教材	(太田)『情報サービス演習』原田智子編著(樹村房、2020)					
参考文献	(太田)『レファレンスブックス』長澤雅男・石黒祐子共著 日本図書館協会 2016					
評価方法	(太田)課題 2 回 30%、毎回の課題 70% (田村)毎回の課題 80%、講義中の質疑応答等 20% 総合評価 60%以上を合格とする。					
課題・評価に対するフィードバック方法	(太田)課題にコメントをつけて返却する (田村)課題発表を行い、受講生も含めた質疑応答等を行う					
オフィスアワー (研究室)	(太田)質問及び学習相談は授業開始前もしくは終了後に応じる。 (田村)月曜日 4,5 限 (研究室 1 号館 6 階 604)		メールアドレス (#→@)		(太田)ota-y#takasaki-u.ac.jp (田村)tamura-t#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	オリエンテーション 情報サービスの基礎知識■				
	該当到達目標	予習	教科書 P2~P21 を読んでおく			1.5 時間
	1,2,3,4	復習	P24 例題1と P27 の例題 2 を確認する			1.5 時間
2	講義内容	情報資源の探し方■				
	該当到達目標	予習	P34~P48 を読んでおく			1.5 時間
	1,2	復習	P46 例題 3 と P52 例題 7 を確認する			1.5 時間
3	講義内容	図書情報の探し方■				
	該当到達目標	予習	課題を解いておく			1.5 時間

	1,2	復習	提示されたサイトを検索する	1.5 時間
4	講義内容	雑誌及び雑誌記事の探し方■		
	該当到達目標	予習	課題を解いておく	1.5 時間
	1,2	復習	提示された提示された資料を検索する	1.5 時間
5	講義内容	新聞記事の探し方■		
	該当到達目標	予習	課題を解いておく	1.5 時間
	1,2	復習	提示された資料を検索する	1.5 時間
6	講義内容	言葉・事柄・統計の探し方■		
	該当到達目標	予習	課題を解いておく	1.5 時間
	1,2	復習	提示された資料を検索する	1.5 時間
7	講義内容	言葉・事柄・統計の探し方(2)■		
	該当到達目標	予習	課題を解いておく	1.5 時間
	1,2	復習	提示された資料を検索する	1.5 時間
8	講義内容	レファレンスブックの POP の作成発表■		
	該当到達目標	予習	各自、紹介したいレファレンスブックの POP を作成発表	3.0 時間
	2,4	復習		0.0 時間
9	講義内容	歴史・日時の探し方■		
	該当到達目標	予習	課題を解いておく	1.5 時間
	1,2	復習	提示された資料を検索する	1.5 時間
10	講義内容	地理・地名・地図の探し方■		
	該当到達目標	予習	課題を解いておく	1.5 時間
	1,2	復習	提示された資料を検索する	1.5 時間
11	講義内容	人物・企業・団体の探し方■		
	該当到達目標	予習	課題を解いておく	1.5 時間
	1,2	復習	提示された資料を検索する	1.5 時間
12	講義内容	実際のレファレンスインタビューを想定し草稿をつくる■		
	該当到達目標	予習		0.0 時間
	1,2,3	復習	実際のレファレンスインタビューを想定して動画または PowerPoint を作成	3.0 時間
13	講義内容	実際のレファレンスインタビューを想定作成した動画または PowerPoint を発表■		
	該当到達目標	予習	実際のレファレンスインタビューを想定して動画もしくは PowerPoint で作成提出	3.0 時間
	1,2,3	復習		0.0 時間
14	講義内容	法令・判例・特許の探し方■		
	該当到達目標	予習	課題を解いておく	1.5 時間
	1,2	復習	提示された資料を検索する	1.5 時間
15	講義内容	レファレンスコレクションの整備と発信型情報サービス■		
	該当到達目標	予習	パスファインダーの例を探しておく	1.5 時間
	1,2,4	復習	P188~P197 を参考に、レファレンスコレクションの評価基準をまとめる	1.5 時間
16	講義内容	ガイダンス 後期講義説明		
	該当到達目標	予習	特になし	0 時間
	1,2,3,4	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
17	講義内容	Web 検索の概要		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1,2	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
18	講義内容	Web による情報の収集 1		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1,2	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
19	講義内容	Web による情報の収集 2		

	該当到達目標 1,2	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
		復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
20	講義内容 該当到達目標 1,2	Web による情報の収集 3		
		予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
		復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
21	講義内容 該当到達目標 1,2	論文検索の概要		
		予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
		復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
22	講義内容 該当到達目標 1,2	論文検索		
		予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
		復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
23	講義内容 該当到達目標 1,2	論文検索の実際 1		
		予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
		復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
24	講義内容 該当到達目標 1,2	論文検索の実際 2		
		予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
		復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
25	講義内容 該当到達目標 1,2	論文検索の実際 3		
		予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
		復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
26	講義内容 該当到達目標 1,2	論文検索のまとめ 1		
		予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
		復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
27	講義内容 該当到達目標 1,2	論文検索のまとめ 2		
		予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
		復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
28	講義内容 該当到達目標 1,2,3,4	情報サービスの現状		
		予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
		復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
29	講義内容 該当到達目標 1,2,3,4	新しい発信型情報サービス		
		予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
		復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
30	講義内容 該当到達目標 1,2,3,4	講義のまとめ		
		予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
		復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	3 時間
合計時間(予習・復習)				90 時間
備考	この科目は「情報サービス論」を履修していなければ受講できません この科目は課題提出等で基本的なパソコンの操作が必要です。各自で習得しておいてください。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名		図書館情報資源概論(司書科目)		科目ナンバリング	—
英文名		Introduction to Library Information Resources		講義形態	講義
担当教員		斎藤 順二			
科目に関連した実務経験					
学年・開講期		3 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位	
履修を必須とする資格		司書			
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と幅広い教養		—	コミュニケーションスキル
	—	健康・医療および情報に関する知識・技能		—	生涯学習力
	—	問題解決力			
SDGs との関連					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		高度情報化社会の進展に伴い、図書館環境も大きく変わりつつある。ここでは、印刷資料・非印刷資料・電子資料とネットワーク情報資源について、類型と特質、選択・収集・保存等、図書館業務に必要な情報資源に関する知識の基本について理解できることを目標にする。 授業では、テキストを単元ごとに読解し要約する。また「日本の名作」の朗読 CD を補助教材として使用する。			
到達目標		1. 多様化する図書館情報資源(印刷メディア)の有効活用を考えることができる。 2. 多様化する図書館情報資源(非印刷メディア)の有効活用を考えることができる。 3. 多様化する図書館情報資源(電子メディア)の有効活用を考えることができる。			
使用教材		馬場俊明編著『図書館情報資源概論』(日本図書館協会)定価(1,900 円+税)			
参考文献					
評価方法		まとめのミニレポート(各章の要約と朗読 CD の感想)15 回で 90%評価する。授業参加度を 10%加味する。総合評価 60%以上を合格とする。			
課題・評価に対するフィードバック方法		まとめのミニレポートは毎回提出してもらい、次回採点・評価して返却する。			
オフィスアワー (研究室)		質問には授業開始前もしくは終了後に教室等で応じる。	メールアドレス (#→@)	連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	図書館情報資源の意義			
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT1 に目を通す。		1 時間
	1,2,3	復習	図書館情報資源の定義と類型について理解する。		1.5 時間
2	講義内容	図書館情報資源と図書館の自由			
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT2 に目を通す。		1 時間
	1,2,3	復習	表現の自由と検閲の問題を理解する。		1.5 時間
3	講義内容	印刷資料の類型と特質			
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT3 に目を通す。		1 時間
	1	復習	図書・雑誌・新聞の特質を理解する。		1.5 時間
4	講義内容	非印刷資料の類型と特質			
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT4 に目を通す。		1 時間
	3	復習	映像・音声資料の特質を理解する。		1.5 時間
5	講義内容	電子資料の類型と特質			
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT5 に目を通す。		1 時間
	3	復習	電子メディアの特質を理解する。		1.5 時間

6	講義内容	ネットワーク情報資源の類型と特質		
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT6 に目を通す。	1 時間
	3	復習	通信メディアの特質を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	地域資料・行政資料		
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT7 に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	政府刊行物・灰色文献についても理解する。	1.5 時間
8	講義内容	情報資源の生産(出版)と流通		
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT8 に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	主な出版社の基本的な知識を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	図書館業務と情報資源に関する知識		
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT9 に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	主な著者の基本的な知識を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	コレクション形成の理論		
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT10 に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	資料の選択・収集について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	コレクション形成の方法		
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT11 に目を通す。	1 時間
	3	復習	選択ツールの利用・選定を理解する	1.5 時間
12	講義内容	人文・社会科学分野の情報資源とその特性		
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT12 に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	各分野の情報資源を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	科学技術・生活分野の情報資源とその特性		
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT13 に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	各分野の情報資源を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	資料の受入・除籍・保存・管理		
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT14 に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	資料の補修・配架・展示・点検等も理解する。	1.5 時間
15	講義内容	学習の整理と展望		
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT15 に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	近未来の図書館構想も視野に入れて理解を深める。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。			

科目名	情報資源組織論(司書科目)				科目ナンバリング	—
英文名	Introduction to Library Information Resources Organization				講義形態	講義
担当教員	太田 克子					
科目に関連した実務経験	司書として県立図書館に勤務(経験)、学校司書として県立高校に勤務(経験) 司書として県総合教育センターにて教育専門図書館を担当(経験)					
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
履修を必須とする資格	司書					
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と幅広い教養		—	コミュニケーションスキル	
	—	健康・医療および情報に関する知識・技能		—	生涯学習力	
	—	問題解決力				
SDGs との関連	① ③ ④					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	図書館には膨大かつ多種多様な情報資源が備わっています。それらに利用者がアクセスするには、情報資源を一定のルールに従って分類し、整理し、保存され、その仕組みが維持されていなければなりません。いかなる利用者也目的の資料に迅速かつ的確に辿り着ける仕組みは、情報資源の組織化にかかっています。その図書館の根幹に関わる技術の意義と機能を理解します。 授業は、教科書を使って説明する。パワーポイントによる図の提示を行っていく。					
到達目標	1. 情報資源を組織化する意義を理解する■ 2. 記述目録法を理解する■ 3. 主題目録法(分類・件名)を理解する■ 4. その他、情報資源の組織化を理解する■					
使用教材	『情報資源組織論』 榎本裕希子[ほか]著 学文社 2019 年 1,900 円					
参考文献	『日本目録規則 2018 年版』 日本図書館協会 2018 年 『日本目録規則 1987 年版改訂 3 版』 日本図書館協会 2006 年 『日本十進分類法 新訂 10 版』 もりきよし原著 日本図書館協会 2015 年 『基本件名標目表 第 4 版』 日本図書館協会 1999 年					
評価方法	試験 50%、課題、確認テスト 50% 総合評価 60%以上を合格とする					
課題・評価に対するフィードバック方法	課題にコメントを付けて返却する。					
オフィスアワー(研究室)	質問及び学習相談は授業開始前もしくは終了後に応じる。			メールアドレス(#→@)	ota-y#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	オリエンテーション 情報資源組織化の意義と理論				
	該当到達目標	予習	教科書 p1～p11 を読んでおくこと			1.5 時間
	1	復習	「私と図書館」作文提出			1.5 時間
2	講義内容	書誌コントロールの標準化				
	該当到達目標	予習	教科書 p12～p17 を読んでおくこと			1.5 時間
	1	復習	確認テスト			1.5 時間
3	講義内容	書誌記述法■				
	該当到達目標	予習	教科書 p18～p23 を読んでおくこと			1.5 時間
	1,2	復習	確認テスト			1.5 時間
4	講義内容	日本目録規則(1)■				
	該当到達目標	予習	教科書 p24～p29 を読んでおくこと			1.5 時間
	1,2	復習	確認テスト			1.5 時間
5	講義内容	日本目録規則(2)■				
	該当到達目標	予習	教科書 p30～p35 を読んでおくこと			1.5 時間

	1,2	復習	確認テスト	1.5 時間
6	講義内容	主題分析の意義と考え方■		
	該当到達目標	予習	教科書 p38～p42 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,3	復習	確認テスト	1.5 時間
7	講義内容	主題分析と索引法■		
	該当到達目標	予習	教科書 p44～p49 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,3	復習	確認テスト	1.5 時間
8	講義内容	基本件名標目表■		
	該当到達目標	予習	教科書 p50～p55 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,3	復習	確認テスト	1.5 時間
9	講義内容	主題分析と分類法■		
	該当到達目標	予習	教科書 p56～p61 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,3	復習	確認テスト	1.5 時間
10	講義内容	日本十進分類法(1)■		
	該当到達目標	予習	教科書 p62～p67 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,3	復習	確認テスト	1.5 時間
11	講義内容	日本十進分類法(2)■		
	該当到達目標	予習	教科書 p67～p69 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,3	復習	確認テスト	1.5 時間
12	講義内容	書誌情報の作成と流通■		
	該当到達目標	予習	教科書 p70～p74 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	確認テスト	1.5 時間
13	講義内容	書誌情報の提供■		
	該当到達目標	予習	教科書 p76～p80 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,4	復習	確認テスト	1.5 時間
14	講義内容	ネットワーク資源の組織化とメタデータ		
	該当到達目標	予習	教科書 p82～p86 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,4	復習	確認テスト	1.5 時間
15	講義内容	多様な情報資源の組織化■		
	該当到達目標	予習	教科書の p88～p92 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,4	復習	確認テスト	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	情報資源組織演習(司書科目)				科目ナンバリング	—
英文名	Library Information Resources Organization Practice				講義形態	講義
担当教員	太田 克子					
科目に関連した実務経験	司書として県立図書館に勤務(経験)、学校司書として県立高校に勤務(経験) 司書として県総合教育センター教育専門図書館を担当(経験)					
学年・開講期	2 年 通年	選必・単位数	選択 4 単位			
履修を必須とする資格	司書					
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と幅広い教養		—	コミュニケーションスキル	
	—	健康・医療および情報に関する知識・技能		—	生涯学習力	
	—	問題解決力				
SDGs との関連	① ③ ④					
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	図書館の実際の業務を想定して、情報資源の組織化に関する演習を行う。利用者が資料・情報に迅速かつ的確に辿り着けるように、多様な情報資源の組織化を行うための実践的なスキルを習得する。 多様なメディア(視聴覚資料、地図、紙芝居、楽譜、灰色文献等)の記述にも触れる。 受講生には、毎回課題の解答を板書して発表してもらう。特に分類作業については、グループで主題分析の検討をした結果を説明してもらう。この過程を通して利用者の資料・情報探索のニーズを考え、図書館の対応のあり方を考える 授業の進め方については、前半は、教科書を使って要点をまとめていく。後半は演習問題の解答合わせをする。					
到達目標	1. 1.『日本目録規則』(NCR)に準拠し情報資源の目録記述ができる。■ 2. アクセスポイントの排列ができる。■ 3. 『日本十進分類法』(NDC)と『基本件名標目表』(BSH)に準拠し、その使い方を習得し、情報資源の主題分析ができ、分類記号付与、件名付与ができる。■ 4. 請求記号を付与できる。■					
使用教材	『目録法キイノート』 宮沢厚雄著 樹村房 2016 年 1,500 円 『分類法キイノート』 宮沢厚雄著 樹村房 2019 年 1,500 円 『日本十進分類法 新訂 10 版簡易版』 もりきよし原編 日本図書館協会 2018 年 3,000 円					
参考文献	『日本目録規則 2018 年版』 日本図書館協会 2018 年 『日本目録規則 1987 年版改訂 3 版』 日本図書館協会 2006 年 『日本十進分類法 新訂 10 版』 もりきよし原著 日本図書館協会 2015 年 『基本件名標目表 第 4 版』 日本図書館協会 1999 年					
評価方法	試験 50% 小テスト・授業貢献度等 50% 総合評価 60%以上を合格					
課題・評価に対するフィードバック方法	小テストを添削して返却する。					
オフィスアワー(研究室)	質問及び学習相談は授業開始前もしくは終了後に応じる。		メールアドレス(#→@)	ota-y#takasaki-u.ac.jp		
1	講義内容	オリエンテーション 目録の意義 目録の種類について事例を紹介する■				
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第 1 章を読んでおくこと			1.5 時間
	1	復習	目録の種類と書誌の種類をまとめる			1.5 時間
2	講義内容	日本目録規則■				
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第 2 章を読んで問題を解いておくこと			1.5 時間
	1	復習	書誌事項のエリアを把握する 記述の情報源の優先順をまとめる			1.5 時間
3	講義内容	タイトルと責任表示(1)■				
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第 3 章を読んで問題を解いておくこと			1.5 時間

	1	復習	責任表示の役割を調べる	1.5 時間
4	講義内容	タイトルと責任表示(2)■		
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第4章を読んで問題を解いておくこと	1.5 時間
	1	復習	部編名、別タイトル、複数作品を収録する図書についてまとめる	1.5 時間
5	講義内容	タイトルと責任表示に関する総合演習問題■		
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第5章を読んで問題を解いておくこと	1.5 時間
	1	復習	p25～p27を復習する	1.5 時間
6	講義内容	版表示、出版・頒布等の事項■		
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第6章を読んで問題を解いておくこと	1.5 時間
	1	復習	版と刷、出版地についてまとめる	1.5 時間
7	講義内容	形態、注記、ISBN■		
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第7章を読んで問題を解いておくこと	1.5 時間
	1	復習	p34～p38を復習する	1.5 時間
8	講義内容	単行書に関する総合演習問題■		
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第8章を読んで問題を解いておくこと	1.5 時間
	1	復習	p41～p45を復習する	1.5 時間
9	講義内容	書誌単位(1)■		
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第9章を読んで問題を解いておくこと	1.5 時間
	1	復習	単行(基礎)単位と集合単位について復習する	1.5 時間
10	講義内容	書誌単位(2)■		
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第10章を読んで問題を解いておくこと	1.5 時間
	1	復習	シリーズものとセットものについて復習する	1.5 時間
11	講義内容	3層の書誌階層(1) 構成単位の例■		
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第11章を読んで問題を解いておくこと	1.5 時間
	1	復習	単行(基礎)単位、集合単位、構成単位について復習する	1.5 時間
12	講義内容	3層の書誌階層(2)■		
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第12章を読んで問題を解いておくこと	1.5 時間
	1	復習	p76～p78を復習する	1.5 時間
13	講義内容	書誌単位に関する総合演習問題■		
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第13章を読んで問題を解いておくこと	1.5 時間
	1	復習	p83～p88を復習する	1.5 時間
14	講義内容	目録法に関する総合演習問題 雑誌・灰色文献・地図等の例■		
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第14章を読んで問題を解いておくこと	1.5 時間
	1	復習	p94～p95をまとめる	1.5 時間
15	講義内容	見出し項目の選出と編成■		
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第15章を読んで問題を解いておくこと	1.5 時間
	1,2	復習	第15章より、統一タイトルと排列のルールをまとめる	1.5 時間
16	講義内容	分類記号の位置づけと日本十進分類法■		
	該当到達目標	予習	教科書『分類法キイノート』の第1・2章を読んでおくこと	1.5 時間
	3	復習	第1・2章より主要な図書館分類法についてまとめる	1.5 時間
17	講義内容	主題分析 本表の見方と階層構造■		
	該当到達目標	予習	教科書『分類法キイノート』の第3章を読んで問題を解いておくこと	1.5 時間
	3	復習	第3章より本表の見方を理解する	1.5 時間
18	講義内容	主題分析 主題の特定と相関関係■		
	該当到達目標	予習	教科書『分類法キイノート』の第4章を読んで問題を解いておくこと	1.5 時間
	3	復習	第4章より分類記号付与の注意点をまとめる	1.5 時間
19	講義内容	補助表 形式区分■		

	該当到達目標 3	予習	教科書『分類法キイノート』の第 5 章を読んで問題を解いておくこと	1.5	時間	
		復習	教科書 p36～p37 を復習する	1.5	時間	
20	講義内容	補助表 地理区分・海洋区分■				
	該当到達目標 3	予習	教科書『分類法キイノート』の第 6 章を読んで問題を解いておくこと	1.5	時間	
		復習	地理区分・日本地方区分・海洋区分を理解する	1.5	時間	
21	講義内容	補助表 言語区分・言語共通区分■				
	該当到達目標 3	予習	教科書『分類法キイノート』の第 6 章を読んで問題を解いておくこと	1.5	時間	
		復習	地理区分と言語区分について p.48 を復習すること	1.5	時間	
22	講義内容	補助表 文学共通区分・地域的論述の細区分・その他の固有補助表■				
	該当到達目標 3	予習	教科書『分類法キイノート』の第 8 章を読んで問題を解いておくこと	1.5	時間	
		復習	文学について、日本の時代区分と海外の時代区分をまとめて表にすること	1.5	時間	
23	講義内容	補助表に関する演習問題■				
	該当到達目標 3	予習	教科書『分類法キイノート』の第 9 章の問題を解いておくこと	1.5	時間	
		復習	p.63 を復習すること	1.5	時間	
24	講義内容	分類規程 複数主題(対等と相互作用)■				
	該当到達目標 3	予習	教科書『分類法キイノート』の第 10 章を読んで問題を解いておくこと	1.5	時間	
		復習	p67～p70 を復習すること	1.5	時間	
25	講義内容	分類規程 複数主題(重点処置)■				
	該当到達目標 3	予習	教科書『分類法キイノート』の第 11 章を読んで問題を解いておくこと	1.5	時間	
		復習	p82～p83 を復習すること	1.5	時間	
26	講義内容	分類規程 伝記■				
	該当到達目標 3	予習	教科書『分類法キイノート』の第 12 章を読んで問題を解いておくこと	1.5	時間	
		復習	p84～p87 を復習すること	1.5	時間	
27	講義内容	分類規程に関する演習問題 館種による分類について■				
	該当到達目標 3	予習	教科書『分類法キイノート』の第 13 章の問題を解いておくこと	1.5	時間	
		復習	p.90 の分類法の心得 25 選を復習すること	1.5	時間	
28	講義内容	分類法に関する演習問題■				
	該当到達目標 3	予習	教科書『分類法キイノート』の第 14 章の問題を解いておくこと	1.5	時間	
		復習	p.98 の問題を復習すること	1.5	時間	
29	講義内容	所在記号 件名 多様な館種の請求記号の事例を紹介しながらイメージできるようにする■				
	該当到達目標 3,4	予習	最寄りの公共図書館に出向いて、所在記号や別置記号にどんなものがあるか、まとめておく	1.5	時間	
		復習	教科書『分類法キイノート』の第 15 章を読んで復習すること	1.5	時間	
30	講義内容	まとめ	情報資源組織化の意義			
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	情報資源組織化の意義を考えること	1.5	時間	
		復習	情報資源組織化の意義をまとめる	1.5	時間	
合計時間(予習・復習)					90	時間
備考	この科目は「情報資源組織論」を履修していなければ受講できません。 『日本十進分類法第 10 版』第 2 区分表を必ず覚えてから受講してください。 各章の演習問題を解いて授業に臨んでください。 ■:実務経験に基づく内容を示す。					

科目名	図書館サービス特論(司書科目)			科目ナンバリング	—
英文名	Lecture on Library Services			講義形態	講義
担当教員	小柳 聡美				
科目に関連した実務経験	学校図書館司書として公立小中学校に勤務(現在) 教務職員として進学塾に勤務(経験)				
学年・開講期	3 年 後期	選必・単位数	選択 1 単位		
履修を必須とする資格	司書				
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と幅広い教養	—	コミュニケーションスキル	
	—	健康・医療および情報に関する知識・技能	—	生涯学習力	
	—	問題解決力			
SDGs との関連	③ ④				
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	司書資格取得必修科目で学んだ内容を実際に司書業務の中に活かすには、カウンターサービス並びにフロアワークに必要なコミュニケーション能力を伸ばすことが不可欠である。特に日本人に固有なノンバーバル・コミュニケーションの理解と将来の超高齢化・少子化を考慮しながらのコミュニケーション能力の育成により、生涯学習としての図書館利用を促せるサービス環境の構築を目指す。 第 2 回の授業より、導入で前回の講義内容を 400 字にまとめて発表してもらう。				
到達目標	1. 対人業務に必要なコミュニケーション能力を学び、その能力を具体的に修得できる。■ 2. コミュニケーションの定義を正確に理解する。 3. 多種多様な利用者に対し、円滑なコミュニケーションが実現できる対応力を身につける。■				
使用教材	教科書『コミュニケーション学入門』大田信男(大修館書店) ISBN4-469-21186-9				
参考文献					
評価方法	筆記試験 70%、授業時間内提出物 20%、授業参加度 10%で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。なお詳しい評価基準は、初回講義時に提示する。				
課題・評価に対するフィードバック方法	提出物は講義内で発表時間を設け、講評する。 筆記試験の意図は、第 1 回の講義で説明する。				
オフィスアワー (研究室)	質問には授業開始前もしくは終了後に教室等で応じます。		メールアドレス (#→@)	連絡手段は初回授業時に提示します。	
1	講義内容	コミュニケーションの必要性			
	該当到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。 なぜ司書資格を取得しようと考えたか、という点を交えて自己紹介が出来るようにしておく。		2 時間
	1,2	復習	教科書第 1 章を読み、コミュニケーションとは何かを理解する。		2 時間
2	講義内容	ノンバーバル・コミュニケーションのメッセージ性			
	該当到達目標	予習	教科書第 3 章に目を通す。		2 時間
	1,2	復習	バーバル・コミュニケーション、ノンバーバル・コミュニケーションとは何か理解する。		2 時間
3	講義内容	マス・コミュニケーションと社会			
	該当到達目標	予習	教科書第 5 章に目を通す。		1.5 時間
	1	復習	マス・コミュニケーション、マス・メディアとは何か理解する。		2 時間
4	講義内容	若者文化とコミュニケーション			
	該当到達目標	予習	教科書第 9 章に目を通す。		1.5 時間

	1,3	復習	(現在「若者」である)自分にとっての若者文化とは何か考察する。	2 時間
5	講義内容	図書館サービスとコミュニケーションの関係		
	該当到達目標	予習	図書館における自身の「コミュニケーション」体験について発表できるように準備しておく。	1.5 時間
	1,4	復習	図書館において必要なコミュニケーションとは何か考察する。	1.5 時間
6	講義内容	カウンターサービスとフロアワークの目的と意義■		
	該当到達目標	予習	教科書第4章に目を通す。	1.5 時間
	1,4	復習	カウンターサービス、フロアワークとは何か、違いも含めて理解する。	1.5 時間
7	講義内容	情報化の進展と図書館サービス		
	該当到達目標	予習	教科書11, 12章に目を通す。	2 時間
	1	復習	図書館における情報化の必要性について理解する。	2 時間
8	講義内容	「モノ」と「コト」に付けられた「名前」		
	該当到達目標	予習	教科書第2章に目を通す。	2 時間
	1	復習	全講義の振り返り。	2 時間
合計時間(予習・復習)				29 時間
備考	キーワード:「ノンバーバル・コミュニケーション」「フロアワーク」「カウンターサービス」「生涯学習」 オンラインで実施の場合は、改めてご連絡します。基本的にはシラバスの順序に従って教科書を用い、講師オリジナルの内容説明資料を配信します。連絡・相談にも随時応じます。 ■:実務経験に基づく内容を示します。			

科目名	図書館情報資源特論(司書科目)				科目ナンバリング	—
英文名	Lecture on Library Information Resources				講義形態	講義
担当教員	斎藤 順二					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	3 年 後期	選必・単位数	選択 1 単位			
履修を必須とする資格	司書					
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と幅広い教養		—	コミュニケーションスキル	
	—	健康・医療および情報に関する知識・技能		—	生涯学習力	
	—	問題解決力				
SDGs との関連						
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	「図書館情報資源概論」で学んだ内容をさらに発展的に学習し理解を深める観点から、図書館情報資源に関する領域の課題を選択し、高度化・多様化する利用者のニーズに応えられることを目標にする。 授業では、テキストを単元ごとに読解し要約する。また「日本の名作」の朗読 CD を補助教材として使用する。					
到達目標	1. 各分野の情報資源の特性を知る。 2. 各分野の情報資源にアクセスできる。					
使用教材						
参考文献	『図書館情報資源概論』(継続使用)					
評価方法	まとめのミニレポート(各章の要約と朗読 CD の感想)15 回で 90%評価する。授業参加度を 10%加味する。総合評価 60%以上を合格とする。					
課題・評価に対するフィードバック方法	まとめのミニレポートは毎回提出してもらい、次回採点評価して返却する。					
オフィスアワー (研究室)	質問には授業開始前もしくは終了後に教室等で応じる。		メールアドレス (#→@)		連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	資料特論(灰色文献)				
	該当到達目標	予習	教科書 UNIT18 に目を通す。			1 時間
	1,2	復習	灰色文献にアクセスし、理解を深める。			1.5 時間
2	講義内容	資料特論(政府刊行物)				
	該当到達目標	予習	教科書 UNIT19 に目を通す。			1 時間
	1,2	復習	政府刊行物にアクセスし、理解を深める。			1.5 時間
3	講義内容	資料特論(地域資料)				
	該当到達目標	予習	教科書 UNIT20 に目を通す。			1 時間
	1,2	復習	地域社会分野の情報資源にアクセスし、理解を深める。			1.5 時間
4	講義内容	人文科学分野の情報資源				
	該当到達目標	予習	教科書 UNIT21 に目を通す。			1 時間
	1,2	復習	人文科学分野の情報資源にアクセスし、理解を深める。			1.5 時間
5	講義内容	社会科学分野の情報資源				
	該当到達目標	予習	教科書 UNIT22 に目を通す。			1 時間
	1,2	復習	社会科学分野の情報資源にアクセスし、理解を深める。			1.5 時間
6	講義内容	科学技術分野の情報資源				

令和4年度 医療情報学科シラバス

	該当到達目標 1,2	予習	教科書 UNIT28 に目を通す。	1 時間
		復習	科学技術分野の情報資源にアクセスし、理解を深める。	1.5 時間
7	講義内容	生活分野の情報資源		
	該当到達目標 1,2	予習	教科書 UNIT29 に目を通す。	1 時間
		復習	生活分野の情報資源にアクセスし、理解を深める。	1.5 時間
8	講義内容	NIE(教育に新聞を！)の活動報告		
	該当到達目標 1	予習	教科書 UNIT38 に目を通す。	1 時間
		復習	NIE 活動に参加し、新聞記事をスクラップにまとめる。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				20 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完してください。			